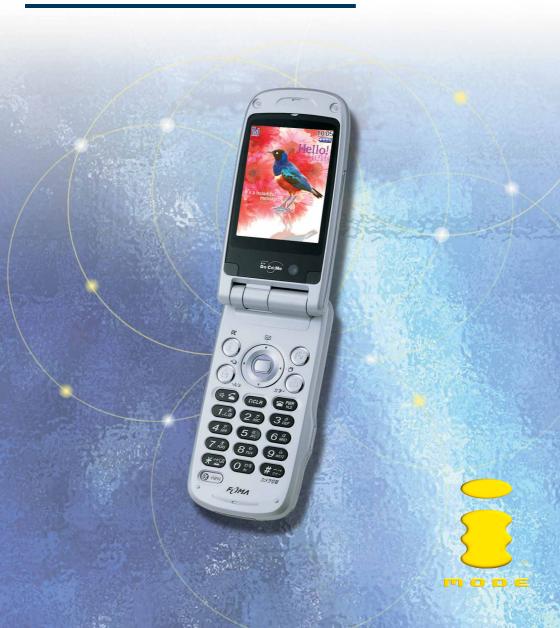
取扱説明書　基本編

FOMA® SH900i

'05.1

i-MODE®

ドコモ　W-CDMA方式

このたびは、「FOMA SH900i」を
お買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
FOMA SH900iの取扱説明書は、『基本編』、『アプリケーション編』
の２冊から構成されています。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書『基本編』および
別冊の『アプリケーション編』をよくお読みいただき、
FOMA SH900iを正しく、効果的にお使いくださいますようお願いいたします。
FOMA SH900iは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンション等の高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- FOMA端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモ及び別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性等に関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

FOMA端末、FOMAカードをお使いになる前に、取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。また、電池パックおよびアダプタ（充電器を含む）をお使いになる前には、機器に添付の個別の取扱説明書をよくお読みのうえ、ご使用ください。なお、取扱説明書にご不明な点がございましたら、下記にお問い合わせください。

■お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

ドコモの携帯電話、PHSからの場合　（局番なしの）**151**　無料

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

0120-800-000　携帯・PHS OK

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

※（FOMA）商品については一部取り扱ってない店舗がございます。あらかじめご了承ください。

この『FOMA SH900i取扱説明書基本編』の本文中においては、「FOMA SH900i」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

著作権と商標について

著作権・肖像権について

- お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
  実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
  また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。
- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。
- 本製品はMPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づき、下記に該当するお客様による個人的で且つ非営利目的に基づく使用がライセンス許諾されております。これ以外の使用についてはライセンス許諾されておりません。
  ・ MPEG-4ビデオ規格準拠のビデオ（以下「MPEG-4ビデオ」と記載します）を符号化すること。
  ・ 個人的で且つ営利活動に従事していないお客様が符号化したMPEG-4ビデオを複号すること。
  ・ ライセンス許諾を受けているプロバイダーから取得したMPEG-4ビデオを復号すること。
  その他の用途で使用する場合など詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。
- 本製品はMPEG-4 Systems Patent Portfolio Licenseに基づき、MPEG-4システム規格準拠の符号化についてライセンス許諾されています。但し、下記に該当する場合は追加のライセンスの取得及びロイヤリティの支払いが必要となります。
  ・ タイトルベースで課金する物理媒体に符号化データを記録又は複製すること。
  ・ 永久記録及び／又は使用のために、符号化データにタイトルベースで課金してエンドユーザーに配信すること。
  追加のライセンスについては米国法人MPEG LA, LLCより許諾を受けることができます。詳細については、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせ下さい。

登録商標・商標について

- 「FOMA／フォーマ」、「ｉメロディ／アイメロディ」、「mopera／モペラ」、「ｉアプリサーチ／アイアプリサーチ」、「ｉエリア／アイエリア」、「FirstPass」、「キャラ電」、「デコメール／デコレーションメール」、「着モーション」、「ｉショット／アイショット」、「Freedom Of Mobile multimedia Access」、「マルチアクセス」、「ｉモーションメール／アイモーションメール」、「ｉアプリ／アイアプリ」、「ｉモーション／アイモーション」、「ｉモード」、「デュアルネットワーク」、「クイックキャスト」、「i-mode」ロゴ、「i-motion」ロゴ、「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- 本製品は、インターネット機能としてNetFront v3.0 for FOMAを搭載しています。
  NetFront v3.0は、株式会社ACCESSの製品です。　Copyright © 1996-2004 ACCESS CO., LTD.
  NetFront及び **NetFront** は、株式会社ACCESSの日本ならびにその他の国における登録商標または商標です。
  本製品のソフトウェアの一部に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- 本製品は、簡易ウインドウマネージャ機能ソフトウェアとして、株式会社ACCESSのWAVEを搭載しています。
  Copyright © 1997-2004 ACCESS CO., LTD.
- Windows、PowerPointは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
  （Windowsの正式名称は、Microsoft® Windows® operating systemです。）
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。
- 本製品は、赤外線データ通信機能として株式会社ACCESSのIrFront®を搭載しています。
  IrFront®は株式会社ACCESSの日本およびその他の国における登録商標または商標です。
  Copyright © 1996-2004 ACCESS CO.,LTD.
- JAVAおよびすべてのJAVA関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国Sun Microsystems,Inc.の商標または登録商標です。
- QuickTimeは、米国Apple Computer, Inc.の米国およびその他の国における登録商標です。
- 下記の１件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM 社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307	5,490,165	5,056,109	5,504,773	5,101,501	5,506,865	5,109,390	5,511,073
5,228,054	5,535,239	5,267,261	5,544,196	5,267,262	5,568,483	5,337,338	5,600,754
5,414,796	5,657,420	5,416,797	5,659,569	5,710,784	5,778,338		

- 本製品のインターネット通信機能は、株式会社ACCESSのAVE-TCPを搭載しています。
  AVE-TCP は、株式会社ACCESSの日本国およびその他の国における登録商標または商標です。
  Copyright © 1986-2004 ACCESS CO.,LTD.
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品はMacromedia, Inc.のMacromedia® Flash™テクノロジーを搭載しています。
  Copyright © 1995-2004 Macromedia, Inc. All rights reserved.
  Macromedia、Flash、Macromedia FlashはMacromedia, Inc.の米国内外における商標または登録商標です。
- miniSD™ miniSD™マークは商標です。
- Powered by JBlend™　© 1997-2004 Aplix Corporation. All rights reserved.
  JBlendおよびJBlendに関連する商標は、日本およびその他の国における株式会社アプリックスの商標または登録商標です。
- picsel POWERED ドキュメントビューアはPicsel Poweredにより実現しております。
  Picsel, PicselPowered and the Picsel cube logo are trademarks or registered trademarks of Picsel Technologies Ltd and/or its affiliates.
- 「**CP8 PATENT**」
- その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

取扱説明書の構成について

FOMA SH900iの取扱説明書は、『基本編』、『アプリケーション編』の２冊で構成されています。
以下に各取扱説明書の概要をご紹介します。目的に合わせてお読みください。なお、取扱説明書はなくさないよう大切に保管してください。

FOMA SH900i取扱説明書　基本編（本書）

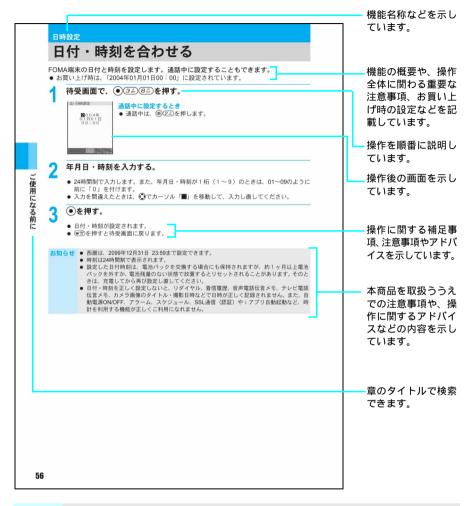
- 各部の名称や機能、電池パックの充電方法など、FOMA端末の基本的な事柄について説明しています。
- 電話のかけかた／受けかた、文字の入力方法など、FOMA端末の基本操作について説明しています。
- 電話をかけるときの機能や通話中の機能、FOMA端末を便利に使うための各種設定方法や操作方法について説明しています。
- 留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、当社が提供するネットワークサービスについて説明しています。
- 「故障かな？」と思ったときの対処方法やアフターサービスなどについて知っておいていただきたいことを説明しています。

FOMA SH900i取扱説明書　アプリケーション編

- ｉモードでサイトへ接続する方法や、ｉアプリ、ｉモーションを利用する方法について説明しています。
- ｉモードメールやSMS（ショートメッセージサービス）を利用してメールをやり取りする方法について説明しています。
- カメラの使い方や画像、動画／ｉモーション、メロディの操作方法などについて説明しています。
- 赤外線通信機能やminiSDメモリーカードの操作方法について説明しています。
- FOMA PC設定ソフトのインストールについて説明しています。また、FOMA SHシリーズデータリンクソフトをご紹介しています。
- FOMA端末のパケット通信機能、64Kデータ通信機能などの利用方法について説明しています。

本書の見かたについて

本書の記載について

本書の誌面は、次のように構成されています。

お知らせ

- 本書でのボタンの表記方法については、P.31を参照してください。
- お買い上げ時の設定については、P.320～P.326の「メニュー一覧」を参照してください。
- 表中に参照ページの項目がある場合、ア は『アプリケーション編』のページを表しています。
  例：

メニュー	機　能	表示される画面	参照ページ
電話機能	自分の電話番号	電話番号確認画面	P.58
メール機能	メールを書く	メール作成の宛先／題名／本文入力画面	ア P.127

目次

はじめに

はじめに

メニューの選択方法

ご使用になる前に

基本操作編

電話のかけかた／受けかた

電話に出られないときの応対方法を設定する

テレビ電話のかけかた／受けかた

電話帳を利用する

マナーモードを設定する

応用操作編

電話機能を利用する

音の設定を変更する

ディスプレイの表示やボタンの設定を変更する

携帯電話の操作を制限する

タイマー機能を利用する

スケジュールを登録する

ToDoリストを登録する

その他の機能を利用する

マルチアクセス・アシスタントビュー

ネットワークサービスを利用する

文字の入力のしかた

付録

FOMA SH900iの多彩な機能

FOMAとは、第3世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格のひとつとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

フェイスtoフェイスコミュニケーション

テレビ電話

離れている相手の方と顔を見ながら会話をすることができます。相手の方の音声をスピーカから再生したり、メインカメラに切り替えて周囲のライブ映像を送信することもできます。

☞P.86

キャラ電対応

テレビ電話中、ご自分の映像の代わりにキャラクタを表示させ、ボタン操作でキャラクタを動かすことができます。

☞P.87『アプリケーション編』P.30、P.90

202万画素カメラと高精細ディスプレイ

202万画素※CCDのカメラ搭載

※カメラ有効画素数

オートフォーカス対応のデジタルカメラを搭載。静止画や動画の撮影・再生を行うことができます。連写やフレーム付撮影も可能です。また、11万画素のCMOSサブカメラにより、自分撮りやテレビ電話を利用することもできます。

☞『アプリケーション編』P.208

多彩な画像編集

カメラ撮影した静止画は待受画面などに利用したり、画像補正、フェイスエフェクト、パノラマ画像合成など編集することができます。編集前と編集後の静止画を見比べながらの作業が可能です。

☞『アプリケーション編』P.260

2.4型QVGA高精細大画面液晶／1.2型高精細大画面背面液晶

豊かな表現力で、撮影した静止画、動画や文字を表示します。横160 ×縦120 ドット大画面のTFT液晶をサブディスプレイに搭載しています。

☞P.34、P.35

デコメール

デコメール対応

ｉモードメールの文字に色を付けたり、文字の大きさを変えたり画像を貼り付けるなど、表現力豊かなメールコミュニケーションが楽しめます。

☞『アプリケーション編』P.130

パソコンとの連携

ドキュメントビューア

miniSD メモリーカードに保存したWord/Excel/PowerPoint/PDFなどのパソコン文書を携帯で持ち歩き、高精細大画面液晶で見ることができます。

☞『アプリケーション編』P.314

赤外線通信／赤外線リモコン

赤外線を利用して他の赤外線機能を搭載したFOMA端末などとデータのやりとりを行うことができます。また、ｉアプリにより、テレビのリモコンとしても利用できます。

☞『アプリケーション編』P.324、P.331

miniSDメモリーカード搭載

コンパクトな miniSD メモリーカードに対応。FOMA端末とminiSDメモリーカードとの間で、データのやりとりをしたり、パソコンとの連携が可能です。miniSDメモリーカードへの直接保存による長時間の動画撮影＆再生にも対応しています。

☞『アプリケーション編』P.227、P.332

多彩な機能

着モーション対応

ｉモードのサイトからｉモーションをFOMA端末に取り込み、着信音や着信画像に設定できます。メロディだけではなくお好きな歌手などの歌声なども着信音としてご利用いただけます。
☞P.158、『アプリケーション編』P.29、P.105

文字読み取りが可能

紙などに印刷されたURL、メールアドレス、電話番号などをカメラで読み取ることができます。
☞『アプリケーション編』P.249

バーコードリーダー

カメラでバーコードやQRコードを読み取ることができます。読み取った文字を電話帳に登録したり、読み取った画像やメロディを再生することができます。
☞『アプリケーション編』P.246

PIMロック

メールやマルチメディア、電話帳、スケジュールなどを他の人が表示、使用できないように制限できます。
☞P.194

ボイスレコーダー

FOMA端末を閉じたまま、サブマイクを使って音声を録音することができます。添付のminiSDメモリーカード（16MB）を利用すると、最大約2時間まで録音できます。
☞『アプリケーション編』P.253

ｉモード機能

ｉモード（有料）

１画面最大100Kバイトの表示に対応。よりリッチな画面で豊富な情報を楽しめるようになりました。
☞『アプリケーション編』P.26

ｉモードメール

☞『アプリケーション編』P.121

ｉショット対応

☞『アプリケーション編』P.136

ｉモーションメール

☞『アプリケーション編』P.148

ｉモーション対応

☞『アプリケーション編』P.105

大容量Flash対応

大容量Flashに対応。よりリッチな表現が楽しめるようになりました。Flash画像を待受画面に設定することもできます。
☞『アプリケーション編』P.56、P.258

大容量ｉアプリ、ｉアプリDX対応

アプリケーションサイズが大容量になって、いままでにないｉアプリの楽しみかたが大幅に拡がりました。
☞『アプリケーション編』P.70

豊富なネットワークサービス

デュアルネットワークサービス（有料）

☞P.282

留守番電話サービス（有料）

☞P.263

キャッチホン（有料）

☞P.268

ショートメッセージサービス（SMS）（無料）

☞『アプリケーション編』P.164

転送でんわサービス（無料）

☞P.271

FOMA SH900iを使いこなす！

ここでは、FOMA SH900iの特徴や機能を紹介します。

テレビ電話 ☞P.86

サブカメラ使用でフェイス to フェイスコミュニケーション

お互いの顔を見ながら会話することができます。

メインカメラ使用でライブ中継

メインカメラとサブマイクを使うと、周囲の映像＋音声をリアルタイムで相手の方にお届けすることができます。

キャラ電

テレビ電話中、キャラ電を利用して、コミュニケーションを一層楽しむことができます。

©BVIG

バニティミラー

テレビ電話で会話を始める前に、自分側の映像がご自分のFOMA端末に表示されます。身だしなみを整えるのに利用できます。

ドキュメントビューア ☞『アプリケーション編』P.314

miniSDメモリーカードに記録された、Word、Excel、PowerPoint、PDFファイル、画像（JPEG、GIF、PNG、BMP）を、FOMA端末で表示することができます。

Wordファイルの例

Excelファイルの例

PowerPointファイルの例

PDFファイルの例

デコメール ☞『アプリケーション編』P.130

iモードメール本文の文字の大きさや背景の色を変えたり、画像を貼り付けたりして装飾したデコメールを簡単に作成できます。

本文入力画面

パレット表示画面

プレビュー画面

送信画面

送信

ビジュアルAVケータイライフ

202万画素※カメラ・オートフォーカス撮影・miniSDメモリーカードに撮影画像を保存できるのでそのままプリントが簡単☞『アプリケーション編』P.208、P.281

※カメラ有効画素数

記録画素数は900iシリーズ最高の「２M記録」で、デジタルカメラに迫る高画質な静止画を撮影することができます。被写体に合わせてピントを固定するフォーカスロック機能も搭載。デジタルカメラと同様の操作感覚、サイドシャッターの２段押しです。miniSDメモリーカードに保存した画像は、簡単にプリントすることができ、写真としてもお楽しみいただけます。

miniSDメモリーカード記録で長時間動画撮影☞『アプリケーション編』P.227

添付のminiSDメモリーカード（16Mバイト）を利用すると、最大約60分の長時間動画撮影を行うことができます。容量の大きい市販のminiSDメモリーカードの利用により、さらに長時間の録画が可能になります。

撮影＋即送信で簡単画像コミュニケーション☞『アプリケーション編』P.245

ブラケット＆高速連写で簡単特殊撮影☞『アプリケーション編』P.223

最大25枚まで撮影できる高速連写のほか、明るさやピクチャーライトの色を変えて連写する「ブラケット連写」、連写した５枚を重ね合わせて１枚に合成する「オーバーラップ連写」など、簡単な操作で連写撮影が可能です。

オーバーラップ連写の例

高精細だからできる、２画面簡単編集☞『アプリケーション編』P.260

静止画の編集では、編集前の画面と編集後の画面の両方が表示されるため、編集作業をスムーズに行うことができます。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示内容の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。		
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。	水ぬれ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
ぬれ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。		

指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

「安全上のご注意」は、下記の５項目に分けて説明しています。

FOMA端末・電池パック・アダプタ（充電器含む）の取扱いについて（共通）

⚠危険

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指示

指定品以外のものを使用した場合、FOMA端末および電池パックを漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

- 電池パック SH02
- 卓上ホルダ SH01
- ACアダプタ SH01
- DCアダプタ SH01

※その他、互換性のある商品については、当社窓口までお問い合わせください。

⚠警告

ガソリンスタンドなど、引火、爆発の恐れがある場所では、使用しないでください。

禁止

プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵が発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

禁止

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）を入れないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

⚠注意

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。
特に、miniSDメモリーカードやminiSDメモリーカードアダプタを乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

子供が使用する場合は、保護者が取扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

指示

けがなどの原因となります。

直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。

禁止

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。

禁止

故障の原因となります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所には置かないでください。

禁止

落下して、けがや故障の原因となります。

FOMA端末の取扱いについて

⚠警告

自動車などを運転中に使用しないでください。

禁止

安全走行を損ない、事故の原因となります。車などを安全な場所に停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。
道路交通法の改正により、2004年11月1日から運転中の携帯電話の使用は、罰則の対象となります。

分解、改造をしないでください。

分解禁止

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。

水滴がついたまま、卓上ホルダ、ACアダプタ、DCアダプタに接続しないでください。

水ぬれ禁止

火災、感電、故障などの原因となります。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

禁止

発熱、発火などの事故または故障の原因となります。

警告

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。また、自動的に電源が入る機能（自動電源ON）を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用など禁止行為をした場合は法令により罰せられる場合があります。

高精度な制御や微弱な信号を取扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。

FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

ピクチャーライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させたり、直視したりしないでください。

視力傷害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

miniSDメモリーカードを取り外すときは、指でminiSDメモリーカードを押し込み、miniSDメモリーカードが出てきても、すぐに指を離さないようにしてください。
挿入するときは、miniSDメモリーカードがスロットに確実に挿入されるまでしっかり押し込み、すぐに指を離さないでください。
miniSDメモリーカードスロットを顔の方に向けて、miniSDメモリーカードを挿入したり、取り外さないでください。

急に指を離すとminiSDメモリーカードが飛び出し、けがの原因となります。

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると、誤動作するなどの影響を与えることがあります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響をあたえる恐れがあります。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

発熱，発火などの事故または故障などの原因となります。

注意

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあります。

安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

磁気カードなどをFOMA端末に近づけたり、挟んだりしないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

FOMA端末を閉じるときは、ストラップやカードなどを挟まないでください。

ディスプレイなどを破損する原因となります。

⚠注意

内蔵カメラのレンズに太陽光などの強い光が進入する状態で長時間放置しないでください。

レンズの集光作用により、火災、故障の原因となります。

FOMA端末を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属（クロムメッキ）を使用しています。
マルチガイドボタン、ｉモードボタン、メールボタン、カメラボタン、電話帳ボタン、背面ボタン、メインカメラのパネル部分、ピクチャーライトリング部分、リアカバーの飾り（バッジ）、左右側面の飾り
また、リアカバー、外部接続端子、充電端子、miniSDメモリーカードスロットカバーを開けると金属があります。

背面に付着物がないことを確かめてからご使用ください。

背面のスピーカ部の磁石に画鋲やピンなどの金属が付着した場合、思わぬけがの原因となります。

屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

FOMA端末内のFOMAカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。

火災、感電、故障の原因となります。

電池パックの取扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

電池パックを分解したり、改造をしないでください。また、直接はんだ付けしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水、雨水、海水、ペットの尿などで濡れた電池パックを充電したり、使用したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

火のそばやストーブのそばなど、高温の場所での使用、放置はしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

危険

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックをFOMA端末に接続するときに、うまく接続できない場合は、無理に接続しないでください。また、電池パックの向きを確かめてから接続してください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パックを濡らさないでください。

電池パックに水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障など水ぬれ禁止の原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。

電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明などの原因となります。

警告

電池パックの使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、FOMA端末から取り外し、使用しないでください。

そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で洗い流してください。

皮膚に傷害を起こす原因となります。

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

直射日光の強い場所や炎天下の車などの高温の場所で使用、放置しないでください。

漏液、発熱、性能、寿命を低下させる原因となります。

注意

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となることがあります。不要となった電池パックは端子にテープなどを貼り、絶縁してから当社窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

長時間使用しない場合は、FOMA端末から外し、乾燥した冷暗所に保存してください。

乾燥した冷暗所に保存しない場合、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

電池パックは、電池残量なしの状態で保管・放置をしないでください。

長時間放置される場合は半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。

アダプタ（充電器含む）の取扱いについて

⚠警告	
コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。 禁止 火災、故障、感電、傷害の原因となります。	充電中は、充電器および卓上ホルダを不安定な場所に置かないでください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団で覆ったり、包んだりしないでください。 禁止 FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。
アダプタ（充電器含む）を水、雨水、海水、ペットの尿などで濡れやすい場所で絶対に使用しないでください。 水ぬれ禁止 発熱、発火などの事故や故障（充電不良など）の原因となります。	ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では、絶対に使用しないでください。 禁止 感電の原因となります。
タコ足配線はしないでください。 禁止 火災、感電、故障の原因となります。	強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。 禁止 アダプタ（充電器含む）の破損などによるけが、感電、発熱の原因となります。
発火事故防止のため、引火性ガスが発生する場所では、絶対に充電しないでください。 禁止 爆発や火災の原因となります。	アダプタ（充電器含む）のコードを熱器具に近づけないでください。 禁止 アダプタ（充電器含む）のコードの被覆がとけて、火災、感電の原因となります。
濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。 ぬれ手禁止 感電の原因となります。	アダプタ（充電器含む）を濡らさないでください。 水ぬれ禁止 水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取扱いにご注意ください。
アダプタ(充電器含む)のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。 禁止 感電、発熱、火災の原因となります。	分解、改造をしないでください。 分解禁止 火災、感電、故障の原因となります。
指定の電源、電圧で使用してください。 指示 誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。 また、海外での使用は故障などの原因となります。 ACアダプタ：AC100V（国内の家庭用交流100Vコンセントのみに接続すること） DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）	DCアダプタや車載アダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。 指示 誤ったヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。
プラグについたほこりは、拭き取ってください。 指示 火災の原因となります。	長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源プラグを抜く 感電、火災、故障の原因となります。

⚠警告

万が一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、直ちにプラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いてください。 電源プラグを抜く 感電、発煙、火災の原因となります。	DC アダプタや車載アダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。 禁止 火災の原因となります。
自動車のシガーライタソケットの中が灰などで汚れていると接触不良によりプラグ部分が熱くなることがあります。お使いになる前に必ずきれいにしてください。 指示 感電、ショート、火災の原因となります。	AC アダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。 指示 感電、ショート、火災の原因となります。

⚠注意

アダプタ（充電器含む）は温度５℃～35℃の範囲でご使用ください。 指示 この温度範囲以外では、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。また、性能や寿命を低下させる原因となります。	お手入れの際は、プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて、行ってください。 電源プラグを抜く 感電の原因となります。
コンセントやシガーライタソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、アダプタ（充電器含む）のコードや電源プラグが熱いときは使用を中止してください。 指示 そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。	アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）コードや電源コードを引っ張らず、プラグを持って抜いてください。 指示 コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。
濡れた電池パックを充電しないでください。 水ぬれ禁止 電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となることがあります。	アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものを載せたりしないでください。 禁止 感電、火災の原因となります。

医用電気機器近くでの取扱いについて

記載の内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（電波環境協議会［旧不要電波問題対策協議会］）に準拠したものです。

⚠警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

指示

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、FOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内ではFOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても、付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能（自動電源ON）を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

指示

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

FOMAカードの取扱いについて

⚠警告

電子レンジなどの加熱調理器や高圧容器にFOMAカードを入れないでください。

禁止

溶損、発熱、発煙やデータの消失、故障の原因となります。

⚠注意

FOMAカードを使用する機器は、当社が指定したものを使用してください。

指示

指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。指定品については、当社窓口までお問い合わせください。

FOMAカード（IC部分）を取り外す際にご注意ください。

指示

手や指を傷つける可能性があります。

ICを不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

禁止

データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードは、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。

指示

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

禁止

故障の原因となります。

FOMAカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。

禁止

故障の原因となります。

ICを傷つけないでください。

禁止

故障の原因となります。

FOMAカードを火の中に入れたり、加熱したりしないでください。

禁止

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードはほこりの多い場所には保管しないでください。

禁止

故障の原因となります。

FOMAカード保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。

禁止

故障の原因となります。

FOMAカードを火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。

禁止

溶損、発熱、発煙、データの消失、故障の原因となります。

FOMAカードを濡らさないでください。

水ぬれ禁止

水やペットの尿などの液体が付着すると故障の原因となります。

FOMAカードを分解、改造しないでください。

分解禁止

データの消失、故障の原因となります。

取扱い上の注意について

共通のお願い

- 水をかけないでください。FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）は防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また、身につけている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有償修理となります。
- お手入れは、乾いた柔らかい布で行ってください。FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。お取扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で行ってください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれることがあります。また、アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている所や電磁波が発生している所で使用しないでください（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- トラックや車、オートバイが近くを通ったとき、雑音が入る場合があります。
- 汚れやすい所に置かないでください。
- FOMA端末の背面（スピーカ部）および受話口に磁気を発生する部品を使用していますので、キャッシュカード等、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- 充電端子はときどき乾いた綿棒で清掃してください。
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- FOMA端末は常温（５℃～35℃）の範囲でご使用ください。
- エアコンの吹出し口の近くに置かないでください。急激な湿度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末に無理な力がかかるような場所に置かないでください。
  多くの物がつまった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ると、液晶画面、内部基板などの破損、故障の原因となり、保証の対象外となります。また、液晶画面やボタンに砂ホコリ等が付着していますと、液晶画面に傷が付くことがありますので定期的に清掃を行ってください。
- 抜け防止機構のあるコンセントを使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 電池パックやアダプタ（充電器含む）に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- お客様がFOMA端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

FOMA端末についてのお願い

- 一般の電話機やテレビ・ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ズボンやスカートの後ろポケットにFOMA端末を入れたまま、椅子などに座らないでください。また、鞄の底など無理な力がかかるような場所には入れないでください。故障の原因となります。
- ストラップなどを挟んだままFOMA端末を折りたたまないでください。故障、破損の原因となります。
- 極端な高温、低温は避けてください。FOMA端末は５℃～35℃の範囲でご使用ください。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 連続通話や連続カメラ撮影により温かくなることがありますが、異常ではありません。
- miniSD メモリーカードスロットカバーを開いたままで使用／放置すると、衝撃により破損する場合があります。miniSDメモリーカードを取り付けたり、取り外したあとは必ずminiSDメモリーカードスロットカバーを閉じてください。

miniSDメモリーカードについてのお願い

- FOMA端末の電源を入れたままの状態でminiSDメモリーカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。また、miniSDメモリーカードアクセス中（「SD」点滅）には、電源を切ったり、電池を抜いたり、強い衝撃を与えたりしないでください。データが壊れたり正常に働かなくなることがあります。
- miniSDメモリーカードを取り外すときは、必ずminiSDメモリーカードを軽く押し込み「カチッ」と鳴ったことを確認したあと、miniSDメモリーカードを引き抜いてください。無理に引き抜くと、FOMA端末やminiSDメモリーカードを破損させてしまいます。

電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 電池パックの寿命の目安は約１年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。
- 電池パックの端子を金属などでショートさせると大電流が流れて発熱することがありますので、取扱いにはご注意ください。
- 不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てないでください。不要になった電池パックは端子にテープなどを貼り付け絶縁してから、当社窓口へお持ちいただくか、電池を分別している市町村ではその規則に従って処理してください。
- はじめてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 充電は、適正な周囲温度（５℃～35℃）の場所で行ってください。

アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 電池パックを充電するときは、必ず専用のアダプタ（充電器含む）を使用してください。専用以外のアダプタ（充電器含む）を使うと、事故の原因となります。また、アダプタ（充電器含む）を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が、温かくなることがありますが異常ではありません。そのままご使用ください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 周囲の温度が５℃〜35℃にならない場所
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオの近く
- DCアダプタを使用して充電する場合は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる原因となります。

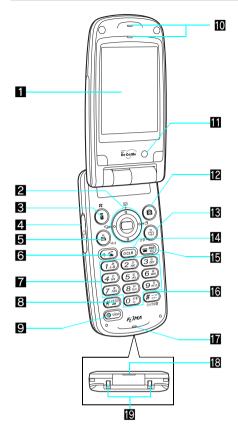
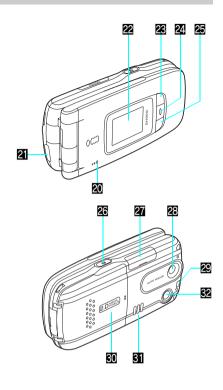
FOMAカードについてのお願い

- 極端な高温・低温は避けてください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- 取り付け取り外しには、ご注意ください。
  IC部分の取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になる端末への挿入には必要以上の負荷をかけないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありませんのでそのままご使用ください。
- 他の IC カードリーダライタなどに FOMA カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードは当社窓口にお持ちください。
- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などでふいてください。

本体付属品について

お知らせ
- オプション品・関連機器についてはP.340を参照してください。

はじめに

各部の名称と機能

1 メインディスプレイ（☞P.34）

2 マルチガイドボタン（４方向ボタン＆決定ボタン）（☞P.31）

- 機能メニュー、リダイヤル、着信履歴、伝言メモ／音声メモ、ショートカットメニューを表示・選択するときや操作を実行・決定するときに押します。
- 決定ボタンを１秒以上押すとズームメニューを表示します。（☞P.40）

3 ｉモード／操作ガイダンス用ボタンⓘ

- テレビ電話をかけたり受けたりするときに押します。（☞P.87、P.90）
- ｉモードを利用するときに押します。（☞『アプリケーション編』P.26）
- 操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。（☞P.31）
- １秒以上押すと、ｉ アプリ画面が表示されます。（☞『アプリケーション編』P.74）

4 イヤホンマイク端子

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売品）などを接続するための端子です。（☞P.251）
イヤホンジャック変換アダプタ（別売品）を使用すると、従来のスイッチ付イヤホンマイクなども利用できます。

5 メール／A／aボタン

- メール機能を利用するときに押します。（☞『アプリケーション編』P.127）
- 文字を入力中に大文字／小文字を切り替えます。（☞P.297）
- 2回押すとiモード問い合わせをします。（☞『アプリケーション編』P.144）

6 開始／ハンズフリーボタン

- 音声電話をかけるときや受けるときに押します。

- 音声電話の通話中に１秒以上押すとハンズフリーに切り替わります。（☞P.69）
- テレビ電話の通話中に押すとハンズフリーに切り替わります。（☞P.91）

7 ダイヤル／文字入力ボタン
- 電話番号を入力するときに押します。（☞P.62）
- 文字を入力するときに押します。（☞P.296）

8 ＊／改行／ドライブモードボタン
- 「＊」や、「゛」（濁点）、「゜」（半濁点）を入力したり改行するときに押します。（☞P.299）
- ドライブモードを設定／解除するときに１秒以上押します。（☞P.76）
- カメラ撮影時、ファインダをメインディスプレイ⇔サブディスプレイに切り替えます。（☞『アプリケーション編』P.231）

9 ｉアプリ待受画面／viewボタン
- ｉアプリ待受画面起動：ｉアプリ待受画面を設定しているときに押すと、ｉアプリが起動します。（☞P.167）
- アシスタントビュー起動：音声電話の通話中や操作中に押すと、電話帳やメールなど他の機能のデータを確認することができます。（☞P.258）
- ショートカットメニュー登録：画面に「」が表示されているときに１秒以上押すと、ショートカットメニューに登録することができます。（☞P.236）
- 静止画の全画面表示：カメラモード（静止画モード）の撮影前や撮影後、マルチメディアの静止画再生中に押すと、画像が全画面に表示されます。（☞『アプリケーション編』P.242）

10 受話口
相手の方の声がここから聞こえます。

11 サブカメラ
ご自分を撮影したり、テレビ電話時に自分側の映像を相手の方に送信するのに使用します。

12 カメラ／操作ガイダンス用ボタン
- カメラモードを利用するときに押します。（☞『アプリケーション編』P.219）
- 操作ガイダンスに表示される機能を実行するときに押します。（☞P.31）
- １秒以上押すと、マルチメディアのイメージ画面を表示します。（☞『アプリケーション編』P.255）

13 電話帳ボタン
- 電話帳を利用するときに押します。（☞P.108）
- 入力する文字の種類を変更するときに押します。（☞P.316）
- 文字入力中に１秒以上押すとメールアドレスなどの一部を簡単に入力することができます。（☞307）

14 クリアボタン
- 入力した電話番号や文字などを削除するときに使います。（☞P.300）
- 前のメニューやページに戻るときに押します。

15 電源／終了／応答保留ボタン
- 電源を入れる／切るときに２秒以上押します。（☞P.53）
- 通話やｉモードを終了するとき、着信時の応答を保留するときに押します。（☞P.76）

16 #／マナーモード／カメラ切替ボタン
- 「#」や「ー」（長音）、「、」（読点）、「。」（句点）、「!」（感嘆符）、「?」（疑問符）、「･」（中点）を入力するときに押します。
- マナーモードを設定／解除するときに１秒以上押します。（☞P.139）
- 撮影時はメインカメラとサブカメラを切り替えます。（☞『アプリケーション編』P.232）

17 送話口
ご自分の声をここから伝えます。

18 外部接続端子
ACアダプタ（☞P.50）や、DCアダプタ（☞P.52）、FOMA USB接続ケーブル（別売品）など外部機器を接続するための端子です。

19 充電端子
卓上ホルダで充電するための端子です。（☞P.51）

20 サブマイク
- メインカメラでの動画撮影時に音声を録音します。
- FOMA端末を閉じてボイスレコーダーを使うときに音声を録音します。
- ハンズフリー通話時の音声をここから拾います。

21 赤外線ポート
赤外線を送受信する窓です。（☞『アプリケーション編』P.326）

22 サブディスプレイ（☞P.32～P.35）

次ページへ続く

㉓背面上ボタン（☞P.35～P.38）

㉔背面中央ボタン（☞P.35～P.38）

㉕背面下ボタン（☞P.35～P.38）

㉖シャッター（☞P.36～P.38）
- 静止画や動画を撮影するときに使います。（☞『アプリケーション編』P.221、P.229）
- 深く押すと、オートフォーカスで撮影できます。
- 半押しでフォーカスロックをかけてから深く押して撮影することもできます。（☞『アプリケーション編』P.238）

㉗miniSDメモリーカードスロットカバー
この中にminiSDメモリーカードを挿入するスロットがあります。（☞『アプリケーション編』P.333）
ご利用時は必ずカバーを閉じてお使いください。

㉘メインカメラ
周囲を撮影したり、テレビ電話時に周囲の映像を相手の方に送信するのに使います。

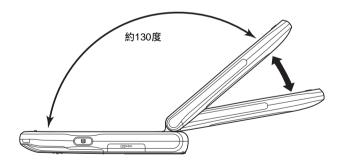
㉙ストラップ取付口（☞P.53）

㉚リアカバー（☞P.47）

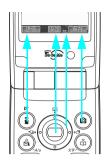
㉛スピーカ
- 着信音などが鳴ります。
- 音声電話／テレビ電話のハンズフリー通話時に相手の方の声や、待受中のTV電話伝言メモの録音内容を聞くことができます。

㉜ピクチャーライト／着信／充電ランプ
- 暗い場所での撮影を補助するライトです。（☞『アプリケーション編』P.231）
- 電話がかかってくると点滅します。
- 充電中は赤色に点灯します。（☞P.50）
- 省電力モードで「ランプ表示あり」に設定すると黄色で点滅します。ただし、FOMA端末を閉じているときは、「ランプ表示あり」に設定していても点滅しません。（☞P.181）

FOMA端末の開きかた

電話をかけたり、受けたりするときや各種設定を行うときなど、FOMA端末を利用するときは、FOMA端末を開きます。
- FOMA端末は、約130度に開いた状態でいったん止めることができます。テレビ電話通話時に机の上などに置いてハンズフリーで会話をするときなどに便利です。
- 両手で持って軽く開いてください。力を入れすぎると、破損の原因となります。
- 携帯するときは、FOMA端末を閉じておくことをおすすめします。

お知らせ
- FOMA端末を閉じたままでも、iモードメールなどの着信は自動的に受けることができます。
- 本書では、これ以降FOMA端末を開いた状態での操作を中心に説明しています。
- イヤホンマイク端子および外部接続端子のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。
- miniSDメモリーカードスロットカバーは、無理に開かないでください。破損する場合があります。

操作ガイダンスの操作方法

操作ガイダンスに表示されている機能を実行したいときは、対応するボタンを押します。

ボタン	説　明
	画面左下に表示されている機能を実行します。
	画面中央下に表示されている機能を実行します。
	画面右下に表示されている機能を実行します。
	マルチガイドボタン（４方向ボタン）を使って、操作が可能な方向を矢印で表示します。

マルチガイドボタンの使いかた（４方向ボタン＆決定ボタン）

本書では、マルチガイドボタンの操作を以下のように表記しています。

決定ボタン　４方向ボタン

と表記しているときは、決定ボタンを押します。

- 操作の実行・決定を行います。

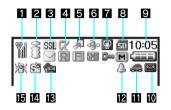
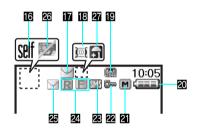
、、、、、、と表記しているときは、４方向ボタンの対応する部分を押します。

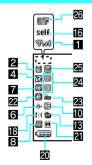
お知らせ
- カメラ撮影時の操作については、『アプリケーション編』P.219以降を参照してください。

はじめに

ディスプレイの見かた

FOMA端末にはメインディスプレイとサブディスプレイがあります。電源を入れたときや機能の設定中などに、現在の状態を確認することができます。
何かのボタンを押すと一定時間、ディスプレイの照明が点灯します。お買い上げ時は、「15秒」に設定されています。(☞P.176)

メインディスプレイ上部に表示されるマーク

メインディスプレイ上部に表示されるマーク

メインディスプレイ下部に表示されるマーク

サブディスプレイ

1 電波状態表示(☞P.63)
電波の強さの目安を表示します。

2 iモード表示(☞『アプリケーション編』P.34)
iモードの状態を表示します。

3 SSL表示(☞『アプリケーション編』P.36)
SSLに対応しているサイトやホームページを表示中に表示します。

4 iアプリ表示(☞『アプリケーション編』P.74)
iアプリの状態を表示します。
:iアプリ実行中
iアプリ待受画面表示中※
:iアプリ待受画面設定中
:iアプリDX実行中
iアプリDX待受画面表示中※
:iアプリDX待受画面設定中
※ iアプリが待受画面として表示されていますが操作できない状態です。

5 ショートカットメニュー表示(☞P.236)
ショートカットメニューに登録できるときに表示します。

6 外部機器接続表示(☞『アプリケーション編』P.355)
パソコンなどの外部機器を接続しているときに表示します。
:外部機器を接続中
(緑色):外部機器を接続し、パケット通信中
(赤色):外部機器を接続し、パケットデータ送受信中
:外部機器を接続し、64Kデータ通信中

7 マナーモード表示(☞P.139)
マナーモード設定中に表示します。

8 miniSDメモリーカード表示(☞『アプリケーション編』P.332)
(グレー):miniSDメモリーカードを装着中
(ピンク):miniSDメモリーカード内のデータを参照中
(点滅):miniSDメモリーカードにアクセス中

9 時計表示（☞P.56）
設定されている時刻を表示します。

10 伝言メモ表示（☞P.79）
音声電話伝言メモまたはTV電話伝言メモを設定しているときに表示します。伝言メモが録音されているときは、両方の件数を合わせ、「～」と表示されます。

11 ドライブモード表示（☞P.76）
ドライブモードを設定しているときに表示します。

12 アラーム／スケジュールアラーム／ToDoアラーム表示（☞P.201、P.216、P.232）
その日にスケジュールアラーム、ToDoアラームまたはアラームが設定されているときに表示します。

13 留守番電話新メッセージあり
（☞P.266）
留守番電話サービスをご利用の場合で、新しい伝言メッセージがあるときに表示します。

14 サイレント表示（☞P.75）
音声電話着信音選択を「サイレント」に設定しているときに表示します。

15 バイブレータ表示（☞P.141）
バイブレータを設定しているときに表示します。

16 セルフモード表示self（☞P.197）
セルフモードを設定し、電話の発信、着信、ｉモードメール／SMSの送受信、ｉモード、赤外線通信の機能を使えないようにしたときに表示します。

17 アシスタントビュー表示（☞P.258）
アシスタントビューを起動してデータを確認しているときに起動元アプリケーション種別を表示します。
：ｉモードメール／SMS
：通話中
：電話帳
：ToDoリスト
：スケジュール
：テキストメモ
：ｉモード

18 赤外線通信表示
赤外線通信機能で他の機器とデータ通信を行っているときに表示します。
（☞『アプリケーション編』P.324）
赤外線リモコンの送信中に点滅します。
（☞『アプリケーション編』P.331）

19 音声／テレビ電話中表示
（☞P.62、P.69、P.86）
音声電話中やテレビ電話の通話の状態を表示します。
：テレビ電話（32K）中
：テレビ電話（64K）中
：音声電話中
：ハンズフリー（テレビ電話32K）中
：ハンズフリー（テレビ電話64K）中
：ハンズフリー（音声電話）中

20 電池残量／充電中表示（☞P.54）
電池パックの状態を表示します。

21 メモリ警告表示
マルチメディア用のメモリの状態を表示します。
：イメージのメモリの空き容量が6Kバイト未満になったとき、または静止画の保存件数が300件に達したときに表示されます。
：ｉ モーションのメモリの空き容量が10Kバイト未満になったとき、または動画／ｉモーションの保存件数が100件に達したときに表示されます。
：イメージとｉモーションのメモリの空き容量について、上記の両方の状態が重なったときに表示されます。

22 制限表示（☞P.191）
各種制限の設定状態を表示します。
：シークレットモード
：シークレットデータ編集中
：ダイヤル発信制限中
：オールロック中
：PIMロック中
：背面ボタン操作無効設定中（サブディスプレイのみ）

23 SMS受信表示（☞『アプリケーション編』P.168）
SMSの受信状態を表示します。
（緑色）：SMS を受信したときに表示されます。
（黒色）：FOMA端末（本体）のSMSがいっぱいのときに表示されます。
（青色）：FOMAカードのSMSがいっぱいのときに表示されます。
（黄色）：FOMA 端末（本体）と FOMA カードのSMSがいっぱいのときに表示されます。

24 メッセージRアイコン、メッセージFアイコン表示RF（☞『アプリケーション編』P.111）
メッセージR／F受信状態、センターのメッセージR／F保管状態を表示します。ただし、センター保管中でも表示されないことがあります。

次ページへ続く

はじめに

㉕ｉモードメール受信表示
（☞『アプリケーション編』P.139）
ｉモードメールの受信状態、センターのｉモードメールの保管状態を表示します。ただし、センター保管中でも表示されないことがあります。また、受信メールを保存するメモリの状態を表示します。

㉖FOMAカードエラー表示
FOMAカードのエラーを表示します。
：FOMAカードが挿入されていないとき、またはドコモ以外のFOMAカードを挿入したときに表示します。

㉗テレビ電話中明るさ表示
–2　–1　+1　+2
明るさが±0のときは表示されません。

㉘操作ガイダンス
、、などのボタン操作で利用できる機能を表示します。

㉙画面ナビゲーション
マルチガイドボタンで切り替えられる画面の方向などを表示します。
- サイトの作りかたによっては、この限りではありません。

その他のマークについて

次の機能をご利用時に表示されるマークについては、各機能のページを参照してください。

- 着信履歴（☞P.72）
- カメラモード（☞『アプリケーション編』P.213～P.216）
- ｉモード（☞『アプリケーション編』P.34）
- メール（☞『アプリケーション編』P.177～P.182）
- SMS（☞『アプリケーション編』P.177～P.182）
- 電話帳（☞P.107）
- メッセージR／F（☞『アプリケーション編』P.111～P.116）
- マルチメディアのイメージ（☞『アプリケーション編』P.256～P.257）

お知らせ

- 本書内ではminiSDメモリーカードのことを、「miniSDメモリーカード」または「miniSD」と記載していますが、FOMA端末では「miniSD」または「SD」と表示されます。
- 本書内で記載しているディスプレイの表示は、一部変形・省略しているものもあります。
- FOMA SH900iのディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られておりますが、ごくまれに点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。故障ではありませんのであらかじめご了承ください。

ディスプレイの表示について

- 本書では、表示をおもにお買い上げ時の状態をもとに説明していますので、お買い上げ後の設定変更等によっては、実際に表示される内容が本書と異なる場合があります。
- サイトによっては、Flash画像が表示されているとき、ディスプレイの表示が異なる場合があります。

メインディスプレイの表示を切り替える

カレンダー表示を設定しているときに待受画面でを押すと、待受画像表示とカレンダー表示が切り替わります。

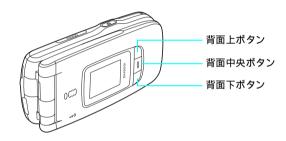
待受画像表示

PWR HLD

カレンダー表示
（2ヶ月表示）

● ２ヶ月表示に設定すると、今月と次月のカレンダーが表示されます。６ヶ月表示に設定すると、今月を含む２ヶ月単位で、奇数月を先頭に、６ヶ月分のカレンダーを表示します。を押すと、前後の月のカレンダーを表示します。６ヶ月表示の場合は、前後２ヶ月分のカレンダーを表示することができます。
● ｉアプリ待受画面にカレンダーを重ねて表示することはできません。
● 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像、ｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。
●「１ヶ月（大）」を設定しているときは、スケジュールが設定されている日付にアイコン表示されます。

サブディスプレイの表示を切り替える

FOMA端末を閉じた状態で（背面上ボタン）を押すと、カレンダー／時計／通常表示／マーク非表示を切り替えることができます。
● 時計やカレンダー表示が「OFF」に設定されているときは（☞P.169）、カレンダーや時計に切り替わりません。
● サブディスプレイに対応した待受ｉアプリの表示中は、表示を切り替えることができません。

お知らせ

前月のカレンダーを表示するとき
● 待受画面をカレンダー表示に切り替えたあと、（背面中央ボタン）を押し、カレンダーモードで、（背面上ボタン）を押します。

翌月のカレンダーを表示するとき
● 待受画面をカレンダー表示に切り替えたあと、（背面中央ボタン）を押し、カレンダーモードで、（背面下ボタン）を押します。

背面ボタンやシャッターの操作

サブディスプレイと背面ボタンやシャッターを使うと、FOMA端末を折りたたんだままで、基本的な操作を行うことができます。

● 待受画面で

（表示する画像は変更できます。）

ボタン		説　明	参照ページ
（背面上ボタン）	短く押す	カレンダー表示→時計表示→通常表示→マーク非表示を交互に切り替えます。 例：カレンダー表示 ● サブディスプレイのカレンダー表示設定、時計表示設定がそれぞれ「OFF」に設定されているときは、カレンダー表示、時計表示には切り替わりません。	P.35
	1秒以上押す	シャッターと背面ボタンの操作を無効にします。 設定中に、もう一度1秒以上押すと、解除されます。	P.198
（背面中央ボタン）	短く押す	クイックメニューを表示します。（背面上ボタン）と（背面下ボタン）でメニューを選び、（背面中央ボタン）で決定できます。 （背面中央ボタン）を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。 ● カレンダー表示のとき、クイックメニューは表示されません。	P.42
	1秒以上押す	待受画面に設定したｉアプリのソフトを操作できるようにします。	アP.84
（背面下ボタン）	すばやく2回押す	ｉモードメールやメッセージR／Fが届いているかどうかのｉモード問い合わせを行います。 （背面中央ボタン）を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。	アP.114 アP.144
	1秒以上押す	スポットライトを点灯します。もう一度1秒以上押すと、消灯します。点灯しているときにさらに、（背面下ボタン）を押すと、ライトの色が「白、赤、緑、青、黄色、紫、水色、白」の順に切り替わります。	－
シャッター	短く押す	不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話の有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、「バイブパターン1」で2回振動します。何もない場合は「バイブパターン2」で2回振動します。 シャッター半押し状態では動作しませんので、ご注意ください。	P.79 P.179 アP.141
	1秒以上押す	静止画撮影画面が表示され、カメラ撮影できる状態になります。 （背面中央ボタン）を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。	アP.221

● 電話がかかってきたとき

（相手表示設定（☞P.180）が「ON」に設定されているとき、電話帳に登録された相手の方からかかってくると、名前と電話番号が表示されます。
電話に出るときは、FOMA端末を開いて、［通話］を押します。）

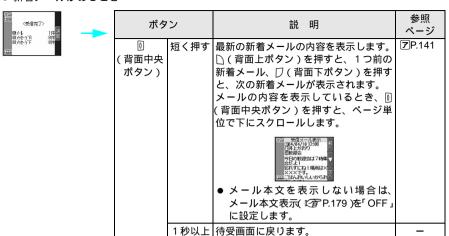
ボタン		説　明	参照ページ
［上］（背面上ボタン）	１秒以上押す	伝言メモで応答します。	P.83 P.93
［中］（背面中央ボタン）	１秒以上押す	着信音を止めます。 （クイックサイレント） バイブレータ設定中は、バイブレータも止まります。	P.70
［下］（背面下ボタン）	１秒以上押す	応答保留になります。	P.76 P.91

● 不在着信があるとき

ボタン		説　明	参照ページ
［中］（背面中央ボタン）	短く押す	最新の不在着信が表示されます。 ［上］（背面上ボタン）を押すと、１つ前の不在着信、［下］（背面下ボタン）を押すと、次の不在着信が表示されます。	P.79
	１秒以上押す	待受画面に戻ります。	P.79
シャッター	短く押す	不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話の有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、「バイブパターン１」で２回振動します。何もない場合は「バイブパターン２」で２回振動します。 シャッター半押し状態では動作しませんので、ご注意ください。	P.79 P.179 ［ア］P.141

次ページへ続く

● 新着メールがあるとき

ボタン		説　明	参照ページ
（背面中央ボタン）	短く押す	最新の新着メールの内容を表示します。（背面上ボタン）を押すと、1つ前の新着メール、（背面下ボタン）を押すと、次の新着メールが表示されます。 メールの内容を表示しているとき、（背面中央ボタン）を押すと、ページ単位で下にスクロールします。 ● メール本文を表示しない場合は、メール本文表示（☞P.179）を「OFF」に設定します。	アP.141
	1秒以上押す	待受画面に戻ります。	－

● アラーム時刻になったとき

ボタン		説　明	参照ページ
背面ボタンのいずれか	短く押す	アラーム音が止まります。メッセージが表示されているときは、（背面中央ボタン）を1秒以上押すと、待受画面に戻ります。	P.206

● カメラモード（静止画撮影画面）で

ボタン		説　明	参照ページ
（背面上ボタン）	短く押す	ズームアップ	アP.233
	1秒以上押す	瞬間連続ズームアップ	アP.233
（背面中央ボタン）	短く押す	カメラメニューを表示します。（背面上ボタン）と（背面下ボタン）でメニューを選び、（背面中央ボタン）で決定できます。	アP.229
	1秒以上押す	カメラファインダー状態の場合、待受画面に戻ります。 撮影直後の場合、終了確認画面が表示されます（自動保存モードがONのとき（☞『アプリケーション編』P.241）は表示されません。）ので「はい」を選び、（背面中央ボタン）を押すと、待受画面に戻ります。「いいえ」を選び、（背面中央ボタン）を押すと、前画面に戻ります。	－
（背面下ボタン）	短く押す	ズームダウン	アP.233
	1秒以上押す	瞬間連続ズームダウン	アP.233
シャッター半押し		フォーカスをロックします。	アP.238
シャッター全押し		撮影します。	アP.238

通常メニューから機能を選択する

メニューを使い、さまざまな機能の設定や登録を行うことができます。

アイコン	メニュー	機　能
	設定	1 音
		2 表示
		3 一般設定
		4 サービス
		5 通話・通信機能設定
		6 セキュリティ
		0 電話番号表示
		✱ 初期設定
		# 設定リセット

アイコン	メニュー	機　能
	マルチメディア	1 イメージ
		2 ｉモーション
		3 メロディ
		4 キャラ電
		5 プリント指定（DPOF）
	アクション	1 スケジュール
		2 ToDoリスト
		3 アラーム
		4 テキストメモ
	ツール	1 電卓
		2 マネーカルク
		3 赤外線受信
		4 ドキュメントビューア
		5 miniSD管理
		6 バーコードリーダー
		7 文字読み取り
		8 タイマー

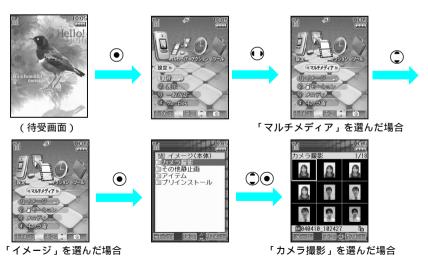
1 待受画面で●を押し、◀▶で目的のアイコン、▲▼で機能を選択し、●を押す。

（待受画面）

「マルチメディア」を選んだ場合

「イメージ」を選んだ場合

「カメラ撮影」を選んだ場合

- 機能を選び直すには、CLRを押すと1つ前の画面に戻ります。

機能番号を入力して機能を呼び出す

機能番号を入力すると、目的の機能をすばやく呼び出すことができます。(ダイレクト選択)
本書では、メニューを選択する操作は機能番号で入力する方法を基準に説明しています。
ここでは、機能番号「121」の着信音選択を例に説明します。
各機能の機能番号(ボタン操作)については、P.320〜P.326を参照してください。

1 待受画面で、●1 2 1を押す。

- 指定した機能(着信音選択)の画面が表示されます。

通話中に機能メニューを利用する

通話中に📷を押すと、通話中でも利用できる機能が表示されます。
- 通話中音声メモ録音(☞P.238)
- 日時設定(☞P.56)
- 電話番号表示(☞P.58)

操作終了後、CLRを数回押すと、通話画面に戻ります。

ズームメニューから機能を選択する<ズームメニュー>

待受画面で●を1秒以上押すと、「ズームメニュー」が表示され、大きい文字表示で電話機能、メール機能、カメラの起動の基本的な操作を行うことができます。

メニュー	機　能	表示される画面	参照ページ
電話機能	電話帳を見る	電話帳検索画面	P.119
	リダイヤル	1件表示画面	P.64
	着信履歴	1件表示画面	P.72
	自分の電話番号	電話番号確認画面	P.58
メール機能	メールを見る	全受信メールを見る(受信Box※1) 全送信メールを見る(送信Box※1) 未送信メールを見る(未送信Box※1)	㋐P.177〜P.183
	メールを書く	メール作成の画面※2	㋐P.127
カメラ機能	写真を撮る	静止画撮影画面	㋐P.219
	写真を見る	マルチメディアのイメージのフォルダ一覧(本体)	㋐P.255
	映像を撮る	動画撮影画面	㋐P.227
	映像を見る	マルチメディアの動画/iモーション画像一覧(本体)	㋐P.283

※1 各画面はズーム表示されません。
※2 メール作成の「宛先」、「題名」、「本文」の各入力画面は、ズーム表示されません。

メニューの選択方法

1 待受画面で、●を1秒以上押し、○で機能を選択し、●を押す。

（待受画面）　（ズームメニュー画面）　「メール機能」を選んだ場合

- 機能を選び直すには、CLRを押してください。
- 通常メニューに戻すには、いったんPWRを押して、待受画面に戻ってください。

お知らせ
- 電話帳は大きな文字のリストで表示されます。
- マルチメディアの画像一覧画面の表示を変更することはできますが、再び、ズームメニューより操作を行うと、画像は９分割の一覧で表示されます。
- カメラ撮影時の操作については、『アプリケーション編』P.219以降を参照してください。

サブメニュー

サブメニューから機能を選択する

操作ガイダンス「サブメニュー」が表示されているときは、カメラキーを押すと、その画面で使用できる機能（サブメニュー）が表示されます。
本書では、サブメニューを選択する操作は機能番号で入力する方法を基準に説明しています。
ただし、機能番号で入力できないサブメニューもあります。そのときは、○で機能を選び、●を押してください。

（サブメニュー画面）
選択できない項目はグレーになっています。

「表示切替」を選んだ場合

- 機能を選び直すには、CLRを押してください。

メニューの選択方法

クイックメニューから機能を選択する

サブディスプレイのクイックメニューを使うとFOMA端末を閉じたまま、カメラの起動、ｉアプリ機能の操作、ボタン操作一覧の各操作を行うことができます。

1 サブディスプレイの待受画面で、（背面中央ボタン）を押し、（背面上ボタン）／（背面下ボタン）で機能を選び、（背面中央ボタン）を押す。

「ボタン操作一覧」を選んだ場合

- カレンダー表示のとき、クイックメニューは表示されません。
- メニュー画面で（背面中央ボタン）を１秒以上押すと、待受画面に戻ります。
- 各機能起動後の操作は、以下のページを参照してください。

メニュー	機能		参照ページ
ｉアプリ	背面起動設定されているソフトの起動		P.74の「お知らせ」
カメラ	静止画撮影	最新画像表示、カメラモード切替、連続撮影、ピクチャーライト設定、オリジナルモード、自動保存モード、全画面表示切替、ボタン操作一覧、撮影終了	P.221
	動画撮影	カメラモード切替、ピクチャーライト設定、ボタン操作一覧、撮影終了	P.229
メール	受信メール、受信SMSの詳細表示		P.177の「お知らせ」
ボイスレコーダー	音声の録音		P.253

お知らせ **FOMA端末を閉じているときのボタン操作を知りたいとき**

- サブディスプレイの待受画面で（背面中央ボタン）を押し、「ボタン操作一覧」を選び、（背面中央ボタン）を押します。ボタン操作一覧画面が表示されます。（背面中央ボタン）を１秒以上押すと、待受画面に戻ります。

FOMAカードを取り付ける

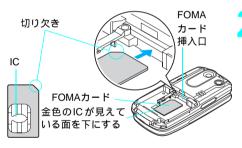
FOMAカードは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードです。FOMAカードには、電話帳のデータやSMSを保存することもできます。FOMAカードを差し替えることにより、用途に合わせて複数のFOMA端末を使い分けることができます。

- FOMAカードを取り付けないと、FOMA端末で音声電話やテレビ電話、ｉモード、ｉモードメールやSMSの送受信、メッセージＲ／Ｆ受信、データ通信などの通信機能を利用することができません。
- FOMAカードの詳しい取扱いについては、FOMAカードの取扱説明書を参照してください。
- FOMAカードの取り付け、取り外しをする際には、ICに不用意に触れたり、傷を付けたりしないようにご注意ください。

FOMAカードの取り付けかた／取り外しかた

※ P.47操作１～２を参照して電源を切ってから電池パックを外し、FOMAカードを取り付けてください。

取り付けかた

1 ロックレバーを矢印の方向に開く。

2 **FOMA**カードの**IC**面を下にして、左図の向きで、**FOMA**カードを挿入口にまっすぐ挿入する。

正しくセットされた状態

3 左図の位置で**FOMA**カードをゆっくり差し込み、ロックレバーがカチッと音がするまで閉じる。

- 奥まで差し込むと、カードが中で固定されます。

取り外しかた

1 ロックレバーを開き、**FOMA**カードを奥まで押し込む。

- FOMAカードが少し出てくるまで指を離さないでください。飛び出る場合があります。

2 **FOMA**カードが少し出てきたら、まっすぐ静かに引き抜く。

- 外す際はFOMAカードが落ちないようにご注意ください。

お知らせ
- FOMAカードの取り付け、取り外しは、電源を切ってから行ってください。
- 無理に取り付けようとするとFOMAカードが破損する恐れがあります。ご注意ください。
- FOMAカードを取り外すときは、強く押しつけないでください。変形や破損する場合があります。
- FOMAカードが取り外しにくいときは、奥まで差し込んでからもう一度押し込んでください。
- 取り外したFOMAカードは、なくさないようにご注意ください。

FOMAカードの暗証番号

- FOMAカードには、PIN 1コード、PIN 2コードという2つの暗証番号を設定することができます。PIN 1コード、PIN 2コードは、ご契約のときは「0000」に設定されていますが、変更することができます。
- PIN1コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMA端末の電源を入れるたびに入力させることができる4～8桁の暗証番号です。PIN1コードを入力することにより、発信や各種通信が可能となります。
- PIN2コードは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。FOMA端末では、ユーザ証明書操作時(FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行)や、FirstPass対応サイトに接続するときに入力します。(☞『アプリケーション編』P.64)

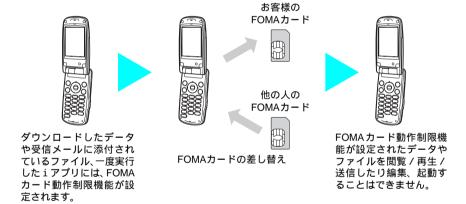
※ PIN1コード、PIN2コードについて詳しくは、P.185「PINコードを設定する」を参照してください。

お知らせ
- 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いなる場合は、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。なお、PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、「0000」となります。

FOMAカード動作制限機能について

FOMA端末には、お客様のデータやファイルを保護するためにセキュリティ機能として、FOMAカード動作制限機能が搭載されています。

- FOMA端末に、FOMAカードを挿入した状態で、次のいずれかの方法でデータやファイルを取得したり、ｉアプリを実行したりすると、取得したデータやファイルにはFOMAカード動作制限機能が自動的に設定されます。
  - ■ サイトやインターネットホームページから画像やメロディなどのファイルをダウンロードしたとき
  - ■ サイトやインターネットホームページを画面メモとして保存したとき（ただし、画像の含まれない画面メモは除く）
  - ■ ファイルが添付されているｉモードメールを受信したとき
  - ■ ｉアプリを実行したとき
- FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイル、ソフトは、取得時に挿入していたFOMAカードが挿入されているときのみ、表示／再生／ｉモードメールへの添付／ソフトの起動／赤外線通信機能によるデータの送信、miniSDメモリーカードへのコピーなどを実行することができます。
- データ、ファイルの取得時やｉアプリの実行時に挿入していたFOMAカードを、別のFOMAカードに差し替えると、これらの操作が実行できなくなります。

※ 以降、データやファイルの取得時に挿入していたFOMAカードを「お客様のFOMAカード」、それ以外のFOMAカードを「他の人のFOMAカード」として説明しています。

お知らせ

- 他の人のFOMAカードに差し替えたときに、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定することはできません。
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能がはたらき、サイトなどから取得したデータやファイルを待受画面や着信音選択などに設定してあった場合、お買い上げ時の設定で動作します。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。

<例：FOMAカード動作制限機能が設定された「メロディA」を着信音に設定したとき>

お客様のFOMAカードを抜いたり、他の人のFOMAカードに差し替えたときに着信音選択で表示される設定内容は「メロディ A」になりますが、実際に着信があったときにはお買い上げのときに設定されていた着信音が鳴ります。お客様のFOMAカードを挿入し直すと、「メロディA」の着信音に戻ります。

- 赤外線通信機能やデータの送受信機能を使って受信したデータ、FOMA端末で撮影した静止画／連続画像／動画には、FOMAカード動作制限機能が設定されません。
- 他の人のFOMAカードを挿入した状態でも、FOMAカード動作制限機能が設定されたデータやファイルを移動したり削除することはできます。
- ｉモードメールのメール詳細画面で反転表示されている文字などを選択して、ｉアプリを起動したりｉモーションを取り込む場合も、FOMAカード動作制限機能が設定されていると、起動や取り込みができません。
- ｉアプリを待受画面に設定後、FOMAカードを差し替えると、設定したｉアプリを待受で起動できないため、待受画面に戻ります。その際、待受画面には待受画面設定で設定した画像が表示されます。

FOMAカードのバージョンについて

FOMA端末で「FOMAカード（青色）」をご使用になる場合、「FOMAカード（緑色）」とは次のような違いがあります。ご注意ください。

機　能	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色）	参照ページ
FOMAカードの電話帳に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	P.117
FirstPassを利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	⑦P.64
World Wingの利用	利用不可	利用可	−

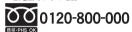
World Wingについて

- World Wingとは、FOMAカード（緑色）をサービス対応の海外携帯電話（GSM方式）に差し替えることにより、海外でのご利用時も、日本で契約している携帯電話番号のままで発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。World Wingのご利用にはお申し込みが必要です。詳しくは、下記にお問い合わせください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合　（局番なしの）151　無料

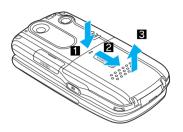
※一般電話からはご利用になれません。

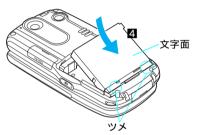
一般電話等からの場合

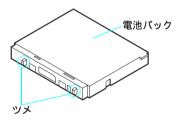
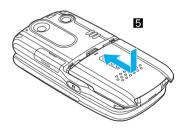
※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

充電する

電池パックの取り付けかた／取り外しかた

電池パックは、FOMA端末専用の電池パックSH02をご利用ください。
また、取り付け／取り外しは、必ず電源を切ってから行ってください。

電池パックの取り付けかた

1 リアカバーを矢印の方向（1）にかるく押しながらスライド（2）させる。

2 矢印の方向（3）にリアカバーを持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける。（4）

- 電池パックには取り付け用のツメがついています。電池パックの文字面を上にし、向きを確認してから取り付けてください。

4 リアカバーを取り付ける。（5）

- 本体とリアカバーを図の位置に合わせて、リアカバーを押しながらスライドさせます。

お知らせ

- 無理に取り付けたり、取り外したりすると、FOMA端末の電池パック接続端子が破損することがあります。
- 必ず、専用の電池パックをご利用ください。
- リアカバーはしっかりと閉めてください。不十分だと、リアカバーが外れ、振動で電池パックが外に飛び出す恐れがあります。

電池パックの取り外しかた

必ず電源を切ってから行ってください。

1 **P.47**の操作1～2の手順でリアカバーを取り外す。

2 電池パックを取り外す。

- 電池パックには取り外し用のツメがついています。ツメの部分に無理な力を加えないよう指などをかけて上方向に取り外してください。

お知らせ

- 電池パックを外すと、次の登録・設定内容が変化します。

取り外すと、すぐにお買い上げ時の状態に戻る、または消えるもの
■不在着信表示 ■編集中データ ■背面ボタン操作無効

取り外したままにしておくか、電池残量のない状態で放置すると、お買い上げ時の状態に戻る、または消えるもの
■日時設定 ■リダイヤル ■着信履歴 ■ユーザ辞書 ■マネーカルク ■アラーム設定 ■待受画面設定 ■音声メモ、伝言メモ件数表示 ■自動署名貼付設定※1 ■通話中音声メモ、待受中音声メモ、音声電話伝言メモ、TV電話伝言メモ、伝言メモの録音内容 ■Bilingual ■休日設定（☞P.211）■曜日色設定（☞P.212） ■マルチメディアの各種設定内容※2 ■文字入力学習項目※3 ■カメラ（静止画・動画）の各種設定内容 ■カメラ（静止画・動画・文字読み取りモード・バーコードリーダー）のボタン操作一覧の設定内容 ■キャラ電撮影の点灯時間設定、画面サイズ切替、本体保存先指定 ■i-modeキャッシュ ■接続先編集の内容 ■i-mode設定リセットでお買い上げ時の状態に戻る内容（☞『アプリケーション編P.69』） ■各種機能の設定リセットでお買い上げ時の状態に戻る内容※4（☞P.320～P.326） ※1 署名登録内容は残ります。 ※2 リスト表示のソート、再生中照明設定、miniSDメモリーカードまたはFOMA端末（本体）参照状態、スライドショー設定、表示サイズ（等倍・拡大）、リスト表示切替（リスト・9分割・16分割）、メロディ再生音量 ※3 絵文字・記号・音訓変換・かな変換結果の見出しおよび単語の学習内容 ※4 電話帳指定着信許可、電話帳指定着信拒否の各登録内容は削除され、通話時間の累積通話時間も0分00秒に戻ります。

- はじめてお使いになるときや電池パックを交換したときは、必ず約120分充電してください。お買い上げの際には、電池パックは完全に充電された状態ではありません。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

充電時のご注意

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタ、DCアダプタで充電してからご使用ください。

充電時間の目安とランプ表示について

FOMA端末の電源を切り、電池パックを電池残量のない状態から充電したときの充電時間の目安は次のとおりです。

充電器名	充電時間
ACアダプタ SH01	約120分
DCアダプタ SH01	約120分

- 充電中は、ピクチャーライト／充電ランプが赤色点灯し、充電が完了すると、消えます。
- ピクチャーライト／充電ランプが赤色点滅したときは、電池パックが正しく取り付けられているか確認してください。また、電池パックが寿命のときも赤色点滅します。
- FOMA端末の電源を入れておいても充電することができます。（充電中は、ディスプレイの「 」が点滅します。）充電が完了すると、ピクチャーライト／充電ランプが消灯し、ディスプレイの「 」が「 」に変わります。

十分に充電したときの利用可能時間（目安）

条　件	電池パック **SH02**
連続待受時間	約480時間（静止時）／約380時間（移動時）
連続通話（通信）時間	約140分（音声電話）／約90分（テレビ電話）

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態で使用できる時間の目安であり、連続待受時間は、FOMA端末を折りたたんで電波を正常に受信できる状態で移動した場合の目安です。なお、電池の充電状態、お買い上げ時の設定で待受画面省電力モードなどの機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないまたは弱い場所等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になる場合があります。ｉモード通信を行うと、通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通話やｉモード通信を行わなくても画像を撮影したり、編集したり、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリを作動・待受画面設定すると、通話（通信）・待受時間は、短くなります。ｉアプリのソフトによって、ダウンロードした後も通信を行う場合があります。あらかじめ設定することによって、接続を行わないようにすることもできます。
- 実際のご利用時間は、待受と通話の組み合わせとなり、通話時間が長くなると待受時間が短くなります。

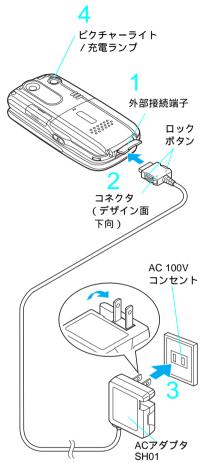
電池パックの寿命は

- １回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。
- 電池パックの寿命の目安は約１年です。ただし、使用頻度により寿命は短くなります。

充電時のご注意

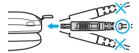
- 電源を入れたまま長時間充電しないでください。充電完了後、FOMA端末の電源が入っていると電池パックの充電量が減少します。
  このような場合、ACアダプタやDCアダプタは再び充電を行います。ただし、ACアダプタやDCアダプタからFOMA端末を取り外す時期により、電池パックの充電量が少ない、電池警告音が鳴る、短時間しか使えない、などの現象が起こることがあります。
- 電池が切れた状態で充電開始時に、ピクチャーライト／充電ランプがすぐに点灯しない場合がありますが、充電は始まっています。
- 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。
- 電池切れの表示がされ、警告音が鳴ってから60秒以内に充電を始めると、通常の状態に復帰します。
- 充電中にピクチャーライト／充電ランプが赤色点灯していても、電源を入れることができない場合があります。このときは、しばらく充電してから電源を入れてください。

ACアダプタを使って充電する

［必ず**ACアダプタ SH01**の取扱説明書を参照してください］

1 外部接続端子のカバーを開く。

- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

2 **AC**アダプタのコネクタのデザイン面を**FOMA**端末のサブディスプレイ側に向けて、外部接続端子に差し込む。

- コネクタの向きを確かめ、FOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

3 **AC**アダプタのプラグを起こし、**AC100V**コンセントに差し込む。

- 充電開始音が鳴り、ピクチャーライト／充電ランプが赤色点灯します。

4 充電完了音が鳴り、ピクチャーライト／充電ランプが消灯すると、充電が完了する。

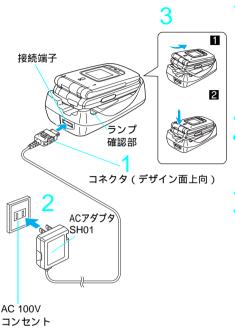
- コネクタを取り外すときは、コネクタの両側にあるロックボタンを押した状態（①）で、コネクタを水平に抜いてください（②）。外部接続端子のカバーを閉じてください。

- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- 電池パック単体での充電はできません。
- イヤホンマイク接続用端子または外部接続端子用のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。
- 充電を開始したときの音量や、完了したときの音量を変更したり、鳴らなくすることもできます。（☞P.160）
- 傷を付けるものがないところにFOMA端末を設置して充電してください。サブディスプレイなどに傷が付く場合があります。
- 電池残量なしで電池を充電する際、充電開始時に充電ランプはすぐに点灯しないことがありますが、充電自体は始まっています。

卓上ホルダを使用するとき

［必ず卓上ホルダ **SH01**の取扱説明書を参照してください］

1 **AC**アダプタのコネクタのデザイン面を上にして、卓上ホルダの接続端子に差し込む。

- コネクタが卓上ホルダに水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 **AC**アダプタのプラグを起こし、**AC100V**コンセントに差し込む。

3 **FOMA**端末を卓上ホルダに置く。

- 1のようにFOMA端末を置いたあと、2の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。
- 充電開始音が鳴り、ランプ確認部が赤色点灯します。充電中に着信した場合、設定した着信ランプの色で点滅します。
- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

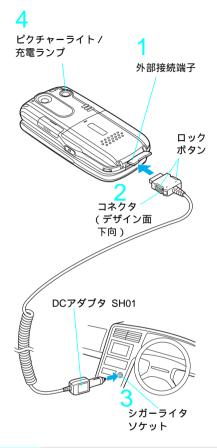
4 充電完了音が鳴り、ランプ確認部が消灯すると、充電が完了する。

- 卓上ホルダを押さえながら、FOMA端末を持ち上げます。
- 長時間使用しないときは、ACアダプタをコンセントから抜いてください。

お知らせ

- 電池パック単体での充電はできません。
- 充電を開始したときの音量や、完了したときの音量を変更したり、鳴らなくすることもできます。（☞P.160）
- 充電開始音が鳴らないとき（充電開始音量を「OFF」に設定、またはマナーモードに設定している場合や、電源を「OFF」にしている場合を除く）や、ピクチャーライト／充電ランプが赤色点灯しないときは、FOMA端末が卓上ホルダに正しく置かれていない場合がありますので、正しく置き直してください。
- 電池残量なしで電池を充電する際、充電開始時に充電ランプはすぐに点灯しないことがありますが、充電自体は始まっています。

DCアダプタを使って充電する

［必ず**DC**アダプタ **SH01**の取扱説明書を参照してください］

1 外部接続端子のカバーを開く。

- FOMA端末を開いた状態でも充電できます。

2 **DC**アダプタのコネクタのデザイン面を**FOMA**端末のサブディスプレイ側に向けて、外部接続端子に差し込む。

- コネクタがFOMA端末に水平になるようにして、「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

3 **DC**アダプタのプラグを車のシガーライタソケットに差し込む。

- 充電開始音が鳴り、ピクチャーライト／充電ランプが赤色点灯します。

4 充電完了音が鳴り、ピクチャーライト／充電ランプが消灯すると、充電が完了する。

- コネクタの両側にあるロックボタンを押しながら、コネクタを抜いて外部接続端子のカバーを閉じてください。
- 長時間使用しないときは、DCアダプタをシガーライタソケットから抜いてください。

お知らせ

- 電池パック単体での充電はできません。
- 車のエンジンを切ったままで使用しないでください。車のバッテリーを消耗させる場合があります。
- DCアダプタはマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）
- DCアダプタの電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- FOMA端末の電源を入れても、イグニッションをOFFにしたり、DCアダプタをシガーライタソケットから抜いたりすると、電源が切れますので注意してください。通話および待受状態を継続したい場合は、FOMA端末に差しているコネクタを先に抜いてください。
- イヤホンマイク接続用端子または外部接続端子用のゴムカバーは、無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。
- ガラス管ヒューズ（1A）は消耗品ですので、交換に際してはお近くのカー用品店等でお買い求めください。
- 充電を開始したときの音量や、完了したときの音量を変更したり、鳴らなくすることもできます。（☞P.160）
- 傷を付けるものがないところにFOMA端末を設置して充電してください。サブディスプレイなどに傷が付く場合があります。
- 電池残量なしで電池を充電する際、充電開始時に充電ランプはすぐに点灯しないことがありますが、充電自体は始まっています。

電源を入れる／切る

電源を入れる

電源を入れるとディスプレイのバックライトが点灯し、電話をかけたり、受けたりできる状態（待受状態）になります。

1 （電源）を２秒以上押す。

● 「起動中しばらくお待ちください」と表示されたあと、ウェイクアップ画面が表示され、ウェイクアップ音が鳴り、初期設定の画面が表示されます。続けて、P.55の初期設定の操作を行ってください。

初期設定が完了しているとき

● 電源を入れると、右のような画面が表示されます。この画面を「待受画面」といいます。

「PIN１コードを入力してください」と表示されたとき

● PIN１コード（☞P.186）を入力します。

お知らせ

● ウェイクアップ音は、マナーモード中は鳴りません。
● PIN １コード入力設定（☞P.186）を「ON」に設定しているときは、PIN １コードの入力画面が表示されます。

電源を切る

1 （電源）を２秒以上押す。

電源が切れます。

● 電源が切れるまで時間がかかることがあります。（電源が切れるまでディスプレイに終了画面が表示されます。）

お知らせ

● 外部機器との接続は、通信が終了していることを確認したうえで、FOMA端末の電源を切ってから行ってください。

内蔵アンテナについて

● 内蔵アンテナ部分は、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。
● 内蔵アンテナ部分にシールなど貼らないでください。通話品質が悪くなります。

市販のストラップを取り付けるとき

● FOMA端末を閉じた状態で、ストラップをストラップ取付口に通し、反対側を輪になっている所へ通します。

電池残量の確認のしかた

電池残量の目安は、ディスプレイで確認できます。

- ［電池3目盛］：電池残量が十分残っています
- ［電池2目盛］：電池残量が少なくなっています
- ［電池1目盛］：電池残量がほとんどありません
- ［電池0目盛］：電池残量がありません（しばらくすると電源が切れます）
- ［充電中］：電池パック充電中です

● サブディスプレイでも電池残量を確認できます。

電池残量を音と表示で確認する

1 待受画面で、●③②を押す。

● 電池残量のグラフィックが表示されます。（残量に応じた音も鳴ります。）
● 電池残量確認音は、ボタン確認音で設定した音量で鳴ります。
● 約３秒間経過するかCLRを押すと、一般設定メニュー画面に戻ります。

グラフィック	32 電池残量確認	32 電池残量確認	32 電池残量確認
音	ピーピーピー	ピーピー	ピー
状態	十分残っています	少なくなっています	ほとんどありません

電池が切れたら

ディスプレイに右の画面が表示され、警告音が「ピピピ…」と鳴り、約60秒後に電源が切れます。

● 音声電話やテレビ電話の通話中は、警告音が「ピピピッピピピッ…」と鳴り、約 20 秒後に通話が切れると同時に右の画面が表示され、約60秒後に電源が切れます。
● PWR/HLDを押すと、通話中の場合は電話が切れます。電源を切って充電してください。

お知らせ ● マナーモード（☞P.139）やドライブモード（☞P.76）を設定しているときは、警告音は鳴りません。

ご使用になる前に

初期設定を行う

はじめて電源を入れると自動的に初期設定画面が表示され、次の項目を設定することができます。（初期設定が完了しているときは、待受画面が表示されます。）

設定項目	内　容	参照ページ
日時設定	FOMA端末の日付と時刻を合わせます。	P.56
端末暗証番号変更	FOMA端末の各機能を利用するときに必要な端末暗証番号を登録します。	P.185

1 待受画面で、●(＊)を押す。

2 日付・時刻を設定する。（☞P.56）

- お買い上げ時は、「2004年01月01日00：00」に設定されています。

3 端末暗証番号（４～８桁の数字）を登録する。（☞P.185）

- お買い上げ時は、「0000」に設定されています。

お知らせ　初期設定を中止するとき

- 設定中に(PWR HLD)を押します。日時設定は中止しても必ず設定されます。端末暗証番号変更が設定されていないときは、FOMA端末の電源を入れるたびに、設定画面が表示されます。

日付・時刻を合わせる

FOMA端末の日付と時刻を設定します。通話中に設定することもできます。
● お買い上げ時は、「2004年01月01日00：00」に設定されています。

1 待受画面で、●38を押す。

通話中に設定するとき
● 通話中は、◎2を押します。

2 年月日・時刻を入力する。

● 24時間制で入力します。また、年月日・時刻が１桁（１～９）のときは、01～09のように前に「０」を付けます。
● 入力を間違えたときは、◎でカーソル「■」を移動して、入力し直してください。

3 ●を押す。

● 日付・時刻が設定されます。
● ☎を押すと待受画面に戻ります。

お知らせ
● 日時は、2000年１月１日 00:00から2099年12月31日 23:59まで設定できます。
● 時刻は24時間制で表示されます。
● 設定した日付時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約１ヶ月以上電池パックを外すか、電池残量のない状態で放置するとリセットされることがあります。そのときは、充電してから再び設定し直してください。
● 日付・時刻を正しく設定しないと、リダイヤル、着信履歴、音声電話伝言メモ、テレビ電話伝言メモ、カメラ画像のタイトル・撮影日時などで日時が正しく記録されません。また、自動電源ON/OFF、アラーム、スケジュール、SSL通信（認証）やｉアプリ自動起動など、時計を利用する機能が正しくご利用になれません。

相手に自分の電話番号を通知する

FOMA端末は、音声電話やテレビ電話をかけるときに、相手の方の電話機（ディスプレイ）に自分の電話番号（発信者番号）を表示させることができます。
- お買い上げ時は、発信者番号が「通知しない」に設定されています。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。通知するかしないかの設定については、十分にご注意ください。

お客様の電話番号を通知するかどうかを設定する方法は、次のとおりです。

	設定方法	番号を通知する	番号を通知しない
あらかじめ設定しておく方法	発信者番号通知（☞P.278）	「はい」に設定する	「いいえ」に設定する
電話をかけるときに指定する方法	電話番号の前に「186」／「184」を付ける	「186」を付ける	「184」を付ける
	電話番号を入力して、サブメニューから選ぶ	📷3（番号通知）を押す	📷2（番号非通知）を押す

- 発信者番号通知の設定内容より、電話をかけるときの指定が優先されます。電話をかけるときに何も指定しないと、発信者番号通知の設定内容に従います。

お知らせ
- 発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号通知を設定してから、おかけ直しください。
- 発信者番号通知機能は、相手の方の電話機が発信者番号表示が可能な場合のみ、利用できます。

「186（¥31#）」／「184（#31#）」を付けてダイヤルする

相手先電話番号の前に「186」または「184」を付けてダイヤルすることにより、自分の電話番号を相手の方に「通知する」または「通知しない」をそのつど選択できます。

発信者番号を通知するとき

ネットワークサービスの発信者番号通知を「いいえ」（通知しない）に設定しているときに有効です。

1 8 6＋ ×××-××××-×××× ＋📞（音声電話）／ⓘ（TV電話）

相手先電話番号

発信者番号を通知しないとき

ネットワークサービスの発信者番号通知を「はい」（通知する）に設定しているときに有効です。

1 8 4＋ ×××-××××-×××× ＋📞（音声電話）／ⓘ（TV電話）

相手先電話番号

お知らせ
- 「186」の代わりに「¥31#」、「184」の代わりに「#31#」を付けても同様にダイヤルすることができます。
- 国際電話では、「186」（¥31#）／「184」（#31#）をダイヤルすることはできません。

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

「186」または「184」を付けてダイヤルする代わりに、サブメニューを使用できます。

発信者番号を通知しないとき

相手先電話番号を入力し、Ⓜ2を押し、（音声電話）またはⓘ（TV電話）を押す。

● 「186」をダイヤル入力してから相手先番号を入力し、Ⓜ2を押した場合、発番号は通知されません。
● 相手番号を入力し、プレフィックス選択から「186」を付けた場合は発番号は通知されます。

発信者番号を通知するとき

相手先電話番号を入力し、Ⓜ3を押す。（音声電話）またはⓘ（TV電話）を押す。

● 「184」をダイヤル入力してから相手先番号を入力し、Ⓜ3を押した場合、発番号は通知されます。
● 相手番号を入力し、プレフィックス選択から「184」を付けた場合は発番号は通知されません。

お知らせ

● 電話帳やリダイヤルの詳細画面で、サブメニューを表示して、番号非通知／番号通知を選び電話をかけることもできます。

電話がかかってきたときは

● 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合は、相手の電話番号が表示されます。相手の方の名前と電話番号や画像が電話帳に登録されているときは、名前や画像も併せて表示されます。
発信者番号が通知されないときは、その理由が表示されます。
「非通知設定」：発信者の意志による発信者番号の非通知です。
「公衆電話」　：NTTの公衆電話、ドコモの自動車公衆電話などからの通話です。
「通知不可能」：発信者番号を通知できないネットワークからの発信です。海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由して着信があった場合などです。ただし、経由する電話会社などによっては、発信者番号が通知される場合があります。

電話番号表示

自分の電話番号を確認する

ご自分の電話番号（自局番号）を確認することができます。

1 待受画面で、◉0を押す。

● お客様の電話番号が表示されます。
● 通話中は、Ⓜ0を押します。
● 電話帳のPIMロック中は、「端末暗証番号は？」と表示されます。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、◉を押します。
● 電話番号以外の所有者情報を確認するには、◉（詳細）を押して、現在の端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、◉を押します。

所有者情報を登録する＜所有者情報登録＞

お客様の所有者情報として、名前とフリガナ、自宅などの電話番号やメールアドレス、メモ、所有者画像を登録・変更することができます。
電話番号は自局番号の他に2件、メールアドレスは3件まで登録することができます。

● お買い上げ時は、自局電話番号のみが登録され、メールアドレスは未登録です。取得したｉモードメールアドレスを追加登録してください。

登録できる項目

アイコン	登録項目
👤	名前（最大全角16／半角32文字）
ｶﾅ	フリガナ（最大半角32文字）
📱	自局番号（編集不可）
☎	電話番号（２件、１件あたり最大26桁）
✉	メールアドレス（３件、１件あたり最大半角50文字）
📝	メモ（最大全角30／半角60文字）
🖼	所有者画像

1 待受画面で、●０を押し、●（詳細）を押す。

- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 現在の端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。
- 所有者情報が表示されます。

3 📷１（編集）を押す。

4 ◯で項目を選び、それぞれの内容を登録する。

- 登録方法は、電話帳と同様です。詳しくは、P.108～P.111を参照してください。
- １つの項目の登録が終わると、操作３の画面に戻ります。続けて他の項目を登録することができます。

各項目の内容を削除するとき

- 名前、フリガナ、電話番号、メールアドレス、メモは、各入力画面でCLRを押して削除します。所有者画像は「設定なし」を選びます。

5 必要な項目の登録が終わったら、ⓘ（完了）を押す。

- ◯で各項目のアイコンを選ぶと、登録した内容が表示されます。

ご使用になる前に

次ページへ続く ▶▶

お知らせ
- ｉモードメールアドレスは、お好みで変更することもできます。（☞『アプリケーション編』P.151）
- ｉモードメールアドレスを変更しても、電話番号表示に表示されるメールアドレスは、自動的には変更されません。メールアドレスは登録し直してください。

自分のｉモードメールアドレスを確認するとき（ｉモードご契約者のみ）
- 待受画面で(i)(●)を押し、Menuで(8)（オプション設定）、(1)（メール設定）、アドレス確認を選び、(●)を押します。

所有者情報の詳細を表示する

所有者情報の詳細を表示することができます。
- 所有者情報の各項目の文字情報をコピーして、他の画面に貼り付けることができます。

1 待受画面で、(●)(0)を押し、(●)（詳細）を押す。
- 端末暗証番号入力画面が表示されます。

2 現在の端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押す。
- 入力した端末暗証番号は、「*」で表示されます。
- 所有者情報が表示されます。

所有者情報の項目をコピーするとき
- (◀▶)で、コピーする項目を選び、(📷)(2)を押します。（項目コピー）
- コピーできる項目は、名前、自局番号、電話番号、メールアドレスです。

お知らせ
ｉモードメールや**SMS**作成中にコピー操作を行うとき
- 本文入力画面で(📷)(#)（所有者情報引用）を押し、(●)（詳細）を押します。端末暗証番号（4～８桁の数字）を入力し、(●)を押したあと、コピーする項目を選び、(●)を押します。
- 赤外線通信機能を利用して、所有者情報を他のFOMA端末などに送信することもできます。（☞『アプリケーション編』P.328）

基本操作編

電話をかける

電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。

1 電話番号を市外局番からダイヤルする。

- 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると２行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁が２行表示されます。
- ダイヤル入力画面で、◯を押すと「＋」を入力することができます。国際電話をかけるときに電話番号の先頭に入力します。

携帯電話やPHSにかけるとき

携帯電話　090-XXXX-XXXX　または　080-XXXX-XXXX
PHS　070-XXXX-XXXX

ダイヤルを間違えたとき

- CLRを押すと、最後の１桁が消えます。
- すべての桁を消すときは、CLRを１秒以上押します。（待受画面に戻ります。）
- 発信キーを押してからダイヤルしたときは、CLRを押しても消えません。PWR/HLDを押してください。（待受画面に戻ります。）

2 発信キーを押す。

電話帳に名前と静止画を登録している場合

- 携帯電話は、一般の電話と違って「ルルル……」という呼出し音の前に「プップップッ」という発信音が入ります。相手の方が出たら、お話しください。
- 音声電話中は「アイコン」が表示されます。

電話帳に登録しているとき

- 電話番号と名前が表示されます。また、設定されている静止画があるときは、画像も併せて表示されます。

相手の方が話し中のとき

- 「ツーツー」という話中音が聞こえます。PWR/HLDを押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

通話中に「ピピピ…」と聞こえたとき

- 電池残量がなくなりかけています。約20秒後に電話が切れます。お話しを終えて電話を切り、充電してください。

通話中に「ピポ…ピポ…」と聞こえたとき

- 電波が弱くなっています。警報の鳴らない、電波の強いところへ移動してください。

発信者番号通知をお願いする旨のガイダンスが聞こえたとき

- 番号通知をお願いする旨のサービスを「開始」に設定しています。発信者番号を通知してかけ直してください。（☞P.57）

3 お話しが終わったら、PWR/HLDを押す。

- 通話中にviewを押してアシスタントビューを起動（☞P.258）した場合、PWR/HLDを押すとアシスタントビューが終了し、通話は継続します。もう一度、PWR/HLDを押すと電話が切れます。

受信レベルの確認のしかた

- 「圏外」が表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所にいます。表示が消えるところまで移動してください。
- 電波が強く「Yll」が表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れることがあります。
- 「self」が表示されているときは、セルフモード（☞P.197）中です。セルフモード中は、電話の発着信、iモードメールやSMSの送受信、メッセージR／Fの受信、iモードの機能を利用できません。また、赤外線通信や赤外線リモコンを行うこともできません。

お知らせ

- 操作1と2が逆でも電話をかけることができます。この場合、ダイヤルしてから約5秒間何も操作しないと発信されます。電話番号を間違えたときは、PWR/HLDを押したあとにおかけ直しください。
- クローズ動作設定（☞P.156）が「終話」に設定されているときは、通話中にFOMA端末を閉じても、電話を切ることができます。
- 通話中は通話時間が表示されますが、通話時間の表示は目安です。
  通話時間は最大9時間59分59秒まで表示し、これを超えると0分00秒に戻って表示されます。
- 連続通話によりFOMA端末が温かくなることがありますが、異常ではありません。
- FOMAカードを挿入していないときは電話をかけることができません。

文字情報の削除について

- 電話をかけるときなどに「しばらくお待ちください。」などの通知メッセージが表示されることがあります。このときは、回線が非常に混み合っていますので、しばらく待ってからおかけ直しください。ダイヤルボタンを押すと、通知メッセージを消すことができます。

通話中保留

通話中に保留する

通話を保留にして、相手の方に待っていただくことができます。

1 音声電話の通話中に、◉（保留）を押す。

- 保留状態になり、設定した通話中保留音（☞P.154）がスピーカから流れます。
- マナーモード設定中は、通話中保留音は流れません。

相手の方には

- 設定した通話中保留音（☞P.154）が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。

2 電話に出られるようになったら◉（解除）を押す。

- 相手の方とお話しできます。

お知らせ

- クローズ動作設定（☞P.156）が「保留」に設定されているときは、通話中にFOMA端末を閉じても、保留できます。
- 保留中にFOMA端末を閉じても、保留状態は続きます。このときはサブディスプレイに、保留中を示すアニメーションが表示されます。

三者切替通話

音声電話通話中に別の音声電話をかける

音声電話通話中に、別の方に音声電話をかけることができます。

1 Aさんと音声電話通話中に、Bさんの電話番号を入力し、[発信]を押す。

- [電話帳]を押して電話帳を呼び出して電話をかけることもできます。
- Bさんが電話に出ると、自動的にAさんは保留の状態になり、Bさんとの通話になります。

2 [カメラ][1]を押す。（切替）

- Aさんとの通話になり、Bさんは保留の状態になります。
- 以降、[カメラ][1]を押すたびに、通話相手が切り替わります。

通話中の相手の方との通話を終了するとき

- [終話]を押すと、通話が終了します。このとき、保留中の電話があることを着信音でお知らせします。
- [発信]を押すと、保留中の方と通話できます。

お知らせ

- キャッチホンをご契約いただきサービスを開始している場合、音声電話通話中に別の方からかかってきた音声電話にでることができます。詳しくは、P.268を参照してください。

リダイヤル

前にかけた相手にかけ直す

FOMA端末は、以前にかけた電話番号（リダイヤル）を、最後にかけたものから最大30件まで記憶しています。これらの電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

- 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。
- 同じ電話番号に複数回かけたときは、最新の１件が記憶されます。

1 待受画面で、[右]（[リダイヤル]）を押す。

リダイヤル一覧画面

- 電話番号と日時が、新しい順に一覧表示されます。
  電話帳に同じ電話番号が登録されているときは、メモリ番号の若い電話帳の名前が表示されます。

リダイヤルの種類

[テレビ電話アイコン]：テレビ電話

- 音声電話をかけたものには、何も表示されません。

2 かけたい電話番号を選ぶ。

- 電話番号を選び、[決定]を押すと、リダイヤル詳細画面が表示されます。
- 「184」や「186」を付けて電話をかけたときは、別のリダイヤルとして記憶されます。

3 [発信]を押す。

- 発信されます。
- [決定]を２回押しても発信できます。

お知らせ

- 発着信履歴表示（☞P.196）のリダイヤル表示が「OFF」に設定されているときは「リダイヤル表示OFF設定中」と表示されます。その場合にも、履歴は保存されます。
- リダイヤル一覧画面で、[i]を押すと、送信アドレス履歴一覧画面が表示されます。
  画面の見かたについては『アプリケーション編』P.192、送信アドレス履歴の利用のしかたについては、『アプリケーション編』P.194を参照してください。

お知らせ
- FOMA端末の日時を正しく設定していないときは、リダイヤルの日時が正しく記憶されません。

サブメニューでできること
- リダイヤル一覧画面や詳細画面で◎を押すと、サブメニュー画面が表示されます。サブメニュー内の各項目を選ぶと、次の操作を行うことができます。
- 右の画面は一覧画面から操作したときのものです。詳細画面から操作したときは、一部メニュー表示が異なります。
- 操作できない項目は、FOMA端末ではグレーで表示されます。

リダイヤルのサブメニュー

リダイヤル一覧画面でのメニュー項目	リダイヤル詳細画面でのメニュー項目	はたらき
1 電話帳登録	1 電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する 。
2 削除	2 １件削除	記憶している電話番号を削除する。（☞P.65）
—	3 番号非通知	発信する際の番号を非通知に設定する。
—	4 番号通知	発信する際の番号を通知に設定する。
—	5 プレフィックス選択	電話番号の先頭に国際電話の番号を付加する。（☞P.68）
—	6 付加番号削除	プレフィックス選択で付加した国際電話の番号など（☞P.68）を削除する。
—	7 送信画像設定	テレビ電話発信時、相手の方に送信する画像を選択する。（☞P.87）
8 スケジュール作成	8 スケジュール作成	電話番号とリダイヤル日時をスケジュールに登録する。
—	9 通信速度設定	テレビ電話発信時、64Kと32Kの通信速度を選択する。（☞P.88）

リダイヤルを削除する<削除>

電源を切ってもリダイヤルは削除されません。他の人に見られたくないときは、リダイヤルを削除してください。
- リダイヤルは１件ずつ、またはすべてまとめて削除することができます。

1 待受画面で、◐（□）を押し、削除したい電話番号を選ぶ。
- 全件削除の場合、電話番号を選ぶ必要はありません。

2 ◎2を押す。（削除）
- 削除画面が表示されます。
- リダイヤル詳細画面で選択した場合は、操作４へ進みます。

3 1を押す。（１件削除）

すべてのリダイヤルを削除するとき
- 2を押します。

4 「はい」を選び、◉を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ
- 次の機能を設定すると、リダイヤルはすべて削除されます。
  - ■ ダイヤル発信制限（☞P.195）　■電話帳のPIMロック（☞P.194）
- FOMA端末の電池パックを取り外したままにしておいたり、電池残量のない状態で放置するとリダイヤルは削除されます。

プッシュホン信号を手早く送り出す

電話帳にポケットベルの電話番号と、よく送信するメッセージ（番号）などを登録しておくと、簡単な操作で送信することができます。

- チケットの予約や銀行の残高照会など、プッシュホン信号で操作するサービスを利用するときにも使えます。

電話帳にプッシュホン信号を登録する

1 電話帳の電話番号入力画面を表示する。（☞**P.108～P.109**の操作１～６）

2 ⌒を押す。

- ポーズが入力されます。（「P」表示）

3 送信する番号を入力し、◉を押す。

- 送信する番号を入力してから、もう一度⌒を押して、送信する番号を追加することができます。

4 電話帳の他の項目を入力し、電話帳の登録を完了する。

- 詳しくは、P.109～P.110を参照してください。

プッシュホン信号を利用してメッセージを送る

1 プッシュホン信号を登録した電話帳から電話をかける。

- 詳しくは、P.119～P.123を参照してください。
- 電話がつながると、プッシュホン信号に登録した「P」以降の番号が表示されます。

2 プッシュホン信号を送信するタイミングに合わせて、ⓘ（**PB**送信）を押す。

- 「P」以降の番号がプッシュホン信号で送信されます。
- 続けて送信する番号を登録しているときは、ⓘ（PB送信）を押すたびに送信されます。
- 受信側の機器によっては、信号を受信できない場合があります。

通話中にダイヤルボタンで送信する

通話中にダイヤルボタンを押すと、プッシュホン信号を１つずつ送信することができます。

1 電話をかける。

2 電話がつながったら、送信する番号のダイヤルボタンを押す。

- 押したボタンの番号が、プッシュホン信号として送信されます。

※2001年１月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

国際電話を利用する

ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」

WORLD CALLは、ドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時に併せて「WORLD CALL」もご契約いただいています。（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます。）

［通話方法］

009130 ➡010 ➡国番号➡市外局番➡相手先電話番号➡

※ 上記の操作方法を、FOMA端末の電話帳に登録することができます。
※ 市外局番が「０」で始まる場合には、「０」を除いてダイヤルしてください。
（ただし、イタリアの一般電話等におかけになる場合は、「０」が必要です。）

- 通話先は世界約220の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月の携帯電話の通話料金と合わせてご請求いたします。
- WORLD CALLをご利用された場合は、直前の通話時間の概算がFOMA端末の画面で確認できます。（☞P.157）
- 電話帳、着信履歴を利用するときは、「009130010」を自動的に付加して電話をかけることができます。（☞P.68）

海外の特定３Ｇ携帯端末をご利用のお客様※１に対し、上記ダイヤル方法のあとにテレビ電話モードで発信すれば「国際テレビ電話」がご利用いただけます。※２
※１ 2004年2月6日現在、Hutchison3GUK（イギリス）及びHutchison3GHK（香港）のユーザと通信可能。
※２ 国際テレビ電話の接続先の端末により、FOMA端末に表示される相手側の画像が乱れたり、接続できない場合がございます。
※１・２　詳しくはドコモのホームページを参照下さい。

［国際電話ダイヤル手順の変更について］
携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービスの対象外であるため、WORLD CALLについても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合の新しいダイヤル手順が変更となります。
2003年５月１日からは、従来のダイヤル手順（上記ダイヤル手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんのでご注意ください。

［お問い合わせ先］

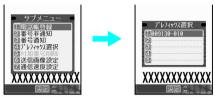
	お問い合わせ先〈DoCoMo インフォメーションセンター〉	
WORLD CALL	ドコモの携帯電話、PHSからの場合 （局番なしの）151 無料 ※一般電話からはご利用になれません。	一般電話等からの場合 0120-800-000 携帯・PHS OK ※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。 ※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

※番号をよくお確かめのうえ、おかけください。
※ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、各国際電話サービス会社に直接、お問い合わせください。

簡単な方法で国際電話をかける<プレフィックス選択>

国番号、市外局番、相手先電話番号のみを入力して、国際電話をかけることができます。

1 待受画面で、国番号、市外局番、相手先電話番号を入力する。

2 [カメラ][4]を押す。（プレフィックス選択）

3 [1]（**009130-010**）を押し、[発信]を押す。

- ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用になる場合は、その他の項目を選びます。この場合、あらかじめ下記のプレフィックス設定（国際電話設定）が必要です。

WORLD CALL以外の番号を設定する<プレフィックス設定>

電話帳、着信履歴利用時に自動的に付加できる、国際電話の番号を最大５件まで登録することができます。

- 国際電話の番号は、プレフィックス設定に登録されます。電話帳には登録されません。
- お買上げ時は、ドコモのWORLD CALLの電話「009130010」が登録されています。

1 待受画面で、[●][5][9]を押し、登録する番号を選び、[●]を押す。

- 新規に登録するときは、「-------------------」が表示されている番号を選びます。

すでに登録されている番号を変更または削除するとき

- 変更または削除する番号を選び、[●]を押します。[1]（変更）または[2]（削除）を押します。削除する場合は確認画面が表示されますので、「はい」を選び、[●]を押します。

2 付加する番号を入力し、[●]を押す。

- 番号入力時に、[下]を押すと「＋」を入力することができます。
- 最大16桁まで登録できます。
- 続けて、他の番号を登録することもできます。
- ダイヤル発信制限（☞P.195）中は、番号の登録、変更、削除を行うことはできません。

お知らせ

登録した国際電話の番号を利用するには

1. 電話帳、着信履歴の詳細画面で、[カメラ]を押す。
2. 「プレフィックス選択」を選び、[●]を押す。
3. 付加する国際電話の番号を選び、[●]を押す。
   - このあと[発信]を押すと、国際電話の番号を付けて発信されます。

着信履歴の場合

電話のかけかた／受けかた

ハンズフリーで話す

ハンズフリーに設定すると、相手の方の声をスピーカまたはイヤホンで聞くことができます。

1 音声電話の通話中に、(スピーカ)を１秒以上押す。

- 「(ハンズフリーアイコン)」が表示されます。
- 相手の方の声がスピーカから聞こえます。
- (上)(下)を押して、受話音量を調節することができます。
- FOMA端末の手前から20〜40cm以内の距離でお話しください。

解除するとき

- もう一度、(スピーカ)を１秒以上押します。
- 待受画面に戻ると解除されます。

お知らせ

- 着信中に操作することはできません。
- マナーモード設定中は確認画面が表示されます。ハンズフリーに設定するときは、「はい」を選び、(決定)を押します。
- ハンズフリー通話をご使用の場合､受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。その場合には、音量を下げて通話してください。

電話を受ける

音声電話の着信は、着信音、ピクチャーライト／着信ランプ、バイブレータなどで確認することができます。
● FOMA端末を閉じているときは、サブディスプレイの表示でも確認することができます。

1 音声電話がかかってくると、着信音が鳴り、ピクチャーライト／着信ランプが点滅する。

着信中
上田ミキオ
090XXXXXXXX
サブメニュー

電話帳に名前と静止画を登録している場合

着信中
上田ミキオ

発信者番号を通知してきたとき
● 電話番号が表示されます。電話帳に相手の方の名前と電話番号が登録されているときは、名前も併せて表示されます。

ピクチャーコールが設定されているとき
● ピクチャーコールを設定し、電話帳にピクチャーコールとして静止画または動画／ｉモーションが登録されていると（☞P.115）、名前や電話番号に加えて、登録された画像を表示して相手をお知らせします。ただし、相手の方から発信者番号が通知されないときは、表示されません。

発信者番号が通知されないとき
● 非通知の理由により、次のメッセージが表示されます。
「非通知設定」：発信者の意志による発信者番号の非通知です。
「公衆電話」：NTTの公衆電話、ドコモの自動車公衆電話などからの通話です。
「通知不可能」：発信者番号を通知できないネットワークからの発信です。海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由して着信があった場合などです。ただし、経由する電話会社などによっては、発信者番号が通知される場合があります。

着信音を止めたいときは（クイックサイレント）
● 音声電話の着信中に[#]を押します。その着信に限り、着信音を止めることができます。
● 着信中に[◎]を押すと着信音が止まり、サブメニューが表示されます。着信拒否、伝言メモ録音、着信転送、留守番転送を選ぶことができます。
● FOMA端末を閉じているときは、[0]（背面中央ボタン）を１秒以上押します。

2 [通話]を押す。

● 相手の方とお話しできます。

[通話]以外のボタンでも受けられます
● エニーキーアンサーが「ON」に設定されている場合、[0]、[1]～[9]、[*]のダイヤルボタンでも、電話を受けることができます。（☞P.155）

3 お話しが終わったら、[終話]を押す。

電話のかけかた／受けかた

お知らせ

- ビル電話など、ダイヤル市外通話のできない電話機からは、FOMA端末へもかけられません。
- 電話がかかってきても、すぐに着信音が鳴らないように設定することもできます。(☞P.144)

通話中に「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえたとき

- 留守番電話サービス、転送でんわサービス、キャッチホンのいずれかをご契約いただき、サービスを「開始」に設定すると、通話中に別の電話がかかってきたときに「ププ…ププ…」という通話中着信音が聞こえ、以下の動作が可能です。
  - ■ 留守番電話サービス..... 着信中に◎4を押して留守番電話サービスセンターへ転送できます。(☞P.263)
  - ■ 転送でんわサービス.......着信中に◎3を押して登録転送先へ転送できます。(☞P.271)
  - ■ キャッチホン........... 通話中の電話を保留にし、かかってきた電話に応答できます。(☞P.268)

通話中の操作は、以下の着信中の操作と同様です。

着信中のボタン操作

PWR HLD	#(マナー)	◯(1秒以上)	◎
応答保留がはたらきます。(☞P.76)※1	クイックサイレントがはたらきます。※2	伝言メモが応答します。(☞P.79)※3	着信拒否、伝言メモ録音、着信転送、留守番転送が選べます。

※1 FOMA端末を閉じているとき、▢(背面上ボタン)を1秒以上押すと、伝言メモが応答します。

※2 FOMA端末を閉じているとき、▢(背面中央ボタン)を1秒以上押すと、クイックサイレントがはたらきます。

※3 FOMA端末を閉じているとき、▢(背面下ボタン)を1秒以上押すと、応答保留がはたらきます。

- 音声電話の通話中にテレビ電話がかかってきた場合、着信中に「TV電話着信を受けますか?(既存の音声通話は切断されます)」と表示されます。「はい」を選び、◉を押してテレビ電話に出ることができます。また、着信中に音声電話を終了し、◎1を押すとテレビ電話を着信拒否できます。着信中に◎3を押すと着信転送できます。

編集中に電話がかかってきたりメールを受信すると

- 電話帳や送信メッセージなどの編集中に、電話の着信があると、編集はいったん中断されます。このとき、編集中のデータは自動保存され、通話が終わったあと、着信前の画面に戻りますので、編集を続けることができます。
- ただし、変換途中で採用前の文字については、正しく保存されていない場合がありますので、ご注意ください。

着信履歴を利用する

FOMA端末は、かかってきた電話の履歴を、最後にかかってきたものから最大30件まで記憶しています。これらの電話番号（着信履歴）を呼び出して、電話をかけることができます。
● 記憶できる件数を超えたときは、古い電話番号から順に削除されます。

着信履歴で電話をかける

1 待受画面で、◐（➜□）を押す。

着信履歴一覧画面

● 電話番号と日時が、新しい順に一覧表示されます。
電話帳に同じ電話番号が登録されているときは、メモリ番号の若い電話帳の名前が表示されます。

履歴の種類

- ：かかってきた電話に出たものや、応答保留中に切断されたり切断したもの
- ：伝言メモで用件録音されたもの
- ☎：かかってきた電話に応答しなかったもの、転送先や留守番電話サービスセンターに転送したもの、電話帳指定着信拒否、電話帳指定着信許可、電話帳登録外着信拒否、非通知理由別着信拒否、ドライブモードの設定により着信が拒否されたもの

電話の種類

- ：テレビ電話
- ：64kデータ通信
- ● 音声電話を受けたものには、何も表示されません。

待受画面に「着信あり」と表示されているとき

● かかってきた電話に出なかったこと（不在着信）を示しています。
◉を押すと、最新の着信履歴が表示されます。（☞P.78）

2 かけたい電話番号を選ぶ。

● 電話番号を選び、◉を押すと、着信履歴詳細画面が表示されます。

3 を押す。

● 発信されます。
● ◉を２回押しても発信できます。
● テレビ電話として発信する場合には、（TV電話）を押します。

お知らせ

● 無音時間設定（☞P.144）が「０秒」以外に設定されていて、不在着信履歴表示が「OFF」に設定されているとき、無音時間内に電話が切断されたり、電波の状況により電話が切断された着信は、着信履歴一覧画面で◎9を押して全表示を行った場合のみ、着信履歴の電話番号が表示され、その横に「!」が表示されます。
● 電話に出なかった場合は、着信履歴詳細画面で◎0（呼出時間表示）を押すと、かかってきた電話の呼出時間を表示することができます。呼出時間は電話帳指定着信拒否、電話帳指定着信許可、電話帳登録外着信拒否、非通知理由別着信拒否、ドライブモードの設定により着信が拒否された場合は「0:00」と表示されます。
呼出時間は、「」が表示されているとき（かかってきた電話に出たものや、応答保留中に切断されたり切断したもの）については表示されません。
● ダイヤルインをご利用の相手の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号とは異なった番号が表示される場合があります。
● 電話帳のPIMロック中は電話番号が表示されます。PIMロックを解除すると電話帳に登録されている名前に変わります。

お知らせ

- 発着信履歴表示（☞P.196）の着信履歴表示が「OFF」に設定されているときは「着信履歴表示OFF設定中」と表示されます。
- 着信履歴一覧画面で、Ⓘを押すと、受信アドレス履歴一覧画面が表示されます。
  画面の見かたについては『アプリケーション編』P.192、受信アドレス履歴の利用のしかたについては『アプリケーション編』P.193を参照してください。
- FOMA端末の日時を正しく設定していないときは、着信履歴の日時が正しく記憶されません。

サブメニューでできること

- 着信履歴の一覧画面や詳細画面で◎を押すと、サブメニュー画面が表示されます。サブメニュー内の各項目を選ぶと、次の操作を行うことができます。
- 右の画面は一覧画面から操作したときのものです。詳細画面から操作したときは、以下の表のように表示される項目が異なります。
- 操作できない項目は、FOMA端末ではグレーで表示されます。

着信履歴のサブメニュー

着信履歴一覧画面でのメニュー項目	着信履歴詳細画面でのメニュー項目	はたらき
1 電話帳登録	1 電話帳登録	電話番号を電話帳に登録する 。
2 削除	2 1件削除	記憶している電話番号を削除する。（☞P.73）
—	3 番号非通知	発信する際の番号を非通知に設定する。
—	4 番号通知	発信する際の番号を通知に設定する。
—	5 プレフィックス選択	電話番号の先頭に国際電話の番号など（☞P.68）を付加する。
—	6 付加番号削除	プレフィックス選択で付加した国際電話の番号など（☞P.68）を削除する。
—	7 送信画像設定	テレビ電話の発信時、相手の方に送信する画像を選択する。（☞P.103）
8 スケジュール作成	8 スケジュール作成	電話番号と着信日時をスケジュールに登録する。
9 全表示（限定表示）	9 全表示（限定表示）	全表示と限定表示を選択する。
—	0 呼出時間表示	不在のときの呼出時間を表示する。
—	✱ 通信速度設定	テレビ電話発信時、64Kと32Kの通信速度を選択する。（☞P.88）

着信履歴を削除する<削除>

電源を切っても着信履歴は削除されません。他の人に見られたくないときは、着信履歴を削除してください。

- 着信履歴は1件ずつ、またはすべてまとめて削除することができます。

1 待受画面で、◐（➜□）を押し、削除したい電話番号を選ぶ。

- 全件削除する場合、電話番号を選ぶ必要はありません。

2 ◎2を押す。（削除）

- 削除画面が表示されます。
- 着信履歴詳細画面で選択した場合は、操作4へ進みます。

3 1を押す。（1件削除）

すべての着信履歴を削除するとき

- 2を押します。

次ページへ続く

電話のかけかた／受けかた

4 「はい」を選び、●を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ
- 次の機能を設定すると、着信履歴はすべて削除されます。
  - ■ ダイヤル発信制限（☞P.195）
  - ■ 電話帳のPIMロック（☞P.194）
- FOMA端末の電池パックを取り外したままにしておいたり、電池残量のない状態で放置すると着信履歴は削除されます。

受話音量

相手の声の音量を調節する

通話中に調節する

通話中に相手の方の声の大きさを５段階で調節することができます。
- 着信中は調節できません。
- お買い上げ時は、「LEVEL３」に調節されています。

1 通話中に、◯または◯を押す。

- テレビ電話通話中は、◎②（受話音量変更）を押します。（☞P.92）

2 ◯または◯を押して音量を調節する。

- 音量を上げるときは◯、音量を下げるときは◯を押します。
- 約２秒間そのままにしておくか、●を押すと設定されます。

お知らせ
- 一度調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。

待受中に調節する

待受画面で受話音量を５段階で調節することができます。

1 待受画面で、◯または◯を１秒以上押す。

- ディスプレイにカレンダーが表示されているときは、PWR/HLD を押しカレンダー表示を解除してから操作してください。

2 ◯または◯を押して音量を調節する。

- 音量を上げるときは◯、音量を下げるときは◯を押します。
- 約２秒間そのままにしておくか、◉を押すと設定されます。

着信音量

着信音の音量を調節する

お使いの場所や状況に合わせて、着信音の音量を調節することができます。
- 音を消したり（サイレント）、だんだん大きな音になるよう（ステップトーン）にすることもできます。
- お買い上げ時は、「LEVEL３」に調節されています。

1 待受画面で、◉1 1 1を押す。（着信音量選択）

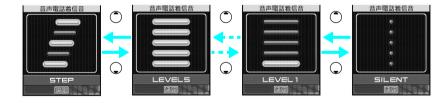
- 着信音量選択画面が表示されます。

2 1を押す。（音声電話着信音）

テレビ電話の着信音量を調節するとき
- 2を押します。

非通知理由ごとの着信音量を調節するとき
- 3（公衆電話）、4（非通知）または、5（通知不可能）を押します。

3 ◯または◯を押して音量を調節する。

- LEVEL1（音量1）が最小で、LEVEL5（音量5）が最大の音量です。
- STEP（ステップ）は、LEVEL1～LEVEL4の順で3秒ごとに音量が上がり、以降はLEVEL5で鳴ります。
- SILENT（サイレント）にすると、着信音が鳴らなくなります。（音声電話着信音をサイレントにしたときは、待受画面に「」が点灯します。）

4 ◉を押す。

- 着信音量が設定されます。

お知らせ
- 着信音量を「サイレント」に調節したときは、ピクチャーライト／着信ランプの点滅と、ディスプレイの着信表示で、着信をご確認ください。
- 一度調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。
- 着信音量とバイブレータ（☞P.141）の設定は連動していません。バイブレータを設定中に着信音を鳴らしたくないときは、音量を「サイレント」に設定する必要があります。
- GIFアニメーション（内蔵の場合は、待受画面メイン９）、Flash画像（内蔵の場合は、待受画面７、８）を待受画面に設定した場合、「」はアニメーションが終了するまで表示されません。

応答保留

すぐに電話に出られないときに保留にする

かかってきた電話にすぐに出られないときは、その電話を保留にして、相手の方にお待ちいただくことができます。
- 応答保留中も、相手の方に通話料金がかかります。

1 着信音が鳴っている間に、(☎PWR HLD)を押す。

- 「ピーピッ」と鳴って、応答保留状態になります。

かけてきた相手の方には
- 設定した応答保留音（☞P.155）が流れ、電話はつながった状態のまま保留されます。

応答保留中に電話を切るとき
- (☎PWR HLD)を押します。（着信履歴に記憶されます。）

応答保留中に相手の方が電話を切ったとき
- 電話が切れます。（着信履歴に記憶されます。）

2 電話に出られるようになったら、(☎)を押す。

- 相手の方とお話しできます。

お知らせ
- 応答保留中にFOMA端末を閉じても、応答保留状態は続きます。このときはサブディスプレイに、応答保留中を示すアニメーションが表示されます。
- FOMA端末を閉じているときは、▢（背面下ボタン）を１秒以上押すと、応答保留の状態になります。
- 「ピーピッ」という音は、マナーモード設定中は鳴りません。

ドライブモード

運転中に電話を受けないようにする

「ドライブモード」（運転中ガイダンス機能）は、運転中の安全性を重視した自動応答サービスです。「ドライブモード」に設定すると、音声電話がかかってきたときは、相手の方に運転中のため電話に出られない旨のガイダンスを流し、通話を終了します。テレビ電話がかかってきたときは、相手の方に「ドライブモード中です」と表示し通話を終了します。
- ドライブモードの設定／解除を行うことができるのは、待受中のみです。
  圏外のときも、設定／解除を行うことができます。
- ドライブモード設定中も、通常どおり電話をかけることができます。
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

1 待受画面で、(＊)を１秒以上押す。

- 「設定しました」と表示され、ドライブモードが設定されます。
  （「🚗」点灯）

ドライブモードを解除する

1 ドライブモードが設定されている待受画面で、(＊)を１秒以上押す。

● 「解除しました」と表示され、ドライブモードが解除されます。（「🚗」消灯）

■ ドライブモードを設定すると

お客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても、着信音は鳴りません。ディスプレイには「着信あり」と表示され、着信履歴に記憶されます。（☞P.72）

● 音声電話をかけてきた相手の方には、運転中の旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。テレビ電話をかけてきた相手の方には、「ドライブモード中です」と表示され、通話を終了します。ただし、電源が入っていない場合や電波が届かないところにいる場合は、運転中の旨のガイダンスは流れず、圏外時と同じガイダンスが流れます。
● ｉモードメール、SMSやメッセージR／Fは、自動的に受信し着信のマークが表示されます。

■ ドライブモードを設定時に、留守番電話サービスを「開始」に設定した場合

音声電話がかかってくると、着信音は鳴らずに留守番電話サービスセンターに接続されます。このときは、着信履歴に記憶されます。（☞P.72）

● 音声電話をかけてきた相手の方には、運転中のため留守番電話サービスセンターに接続する旨のガイダンスが流れ、自動的に留守番電話サービスセンターに接続されます。（留守番電話サービスの呼出時間を０秒に設定している場合は、運転中のガイダンスは流れず、すぐに留守番電話サービスセンターに接続されます。）
● テレビ電話をかけてきた相手の方には、「ドライブモード中です」と表示され、通話を終了します。留守番電話サービスセンターには接続されません。

■ ドライブモードを設定時に、転送でんわサービスを「開始」に設定した場合

お客様のFOMA端末には接続されず、指定した転送先に転送されます。このときは、着信履歴に記憶されます。（☞P.72）

● 音声電話をかけてきた相手の方には、運転中のため転送する旨のガイダンスが流れ、指定した転送先に転送されます。（転送でんわサービスの呼出時間を０秒に設定している場合は、運転中のガイダンスは流れず、すぐに転送されます。）
● テレビ電話がかかってきたときは、すぐに転送されます。ただし、転送先が3G-324Mに準拠したテレビ電話（☞P.86）でないと、転送されずに、通話を終了します。

■ ドライブモードを設定時に、キャッチホンを「開始」に設定した場合

通話中にお客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴には記憶されます。

● 音声電話をかけてきた相手の方には、運転中の旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
● テレビ電話をかけてきた相手の方には、「ドライブモード中です」と表示され、通話を終了します。

ドライブモードを設定時に、番号通知お願いサービスを「開始」に設定した場合

「非通知設定」の音声着信をした場合は接続されず、着信履歴にも記憶されません。「非通知設定」以外の音声電話着信をした場合や、テレビ電話着信をした場合、着信音は鳴りませんが、着信履歴には記憶されます。

- 「非通知設定」の音声電話をかけてきた相手の方には、番号通知のお願いのガイダンスが流れ、通話を終了します。「非通知設定」以外の音声電話をかけてきた相手の方には、運転中の旨のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手の方には、「ドライブモード中です」と表示され、通話を終了します。

ドライブモードを設定時に、迷惑電話ストップサービスで拒否登録した電話番号から着信した場合

ドライブモード中にお客様のFOMA端末に音声電話やテレビ電話がかかってきても、接続されず、着信履歴にも記憶されません。

- 音声電話をかけてきた相手の方には、着信拒否のガイダンスが流れ、通話を終了します。
- テレビ電話をかけてきた相手の方には、「接続できませんでした」と表示され、通話を終了します。

お知らせ

- 留守番電話サービスについてはP.263、転送でんわサービスについてはP.271、キャッチホンサービスについてはP.268、番号通知お願いサービスについてはP.280、迷惑電話ストップサービスについてはP.276を参照してください。
- ドライブモード設定中は、「メールあり」というメッセージは表示されません。
- GIFアニメーション（内蔵の場合は、待受画面メイン９）、Flash画像（内蔵の場合は、待受画面メイン７、８）を待受画面に設定した場合、「🚗」はアニメーションが終了するまで表示されません。

不在着信

不在着信を確認する

FOMA端末は、かかってきた電話に出なかったとき、電話のあったことを記憶しています。電話に出なかったときは、待受画面に「着信あり」と着信件数が表示されます。（不在着信表示）

- 不在着信を確認すると、「着信あり」の表示が消えます。

1 「着信あり」と表示されているときに、◉を押す。

- 不在着信には「☎」が表示されています。
- ◐（⇒）を押しても、着信履歴を確認できます。（☞P.72）

2 確認したい電話番号を選び、●を押す。

- 不在着信の内容が表示されます。
- 着信履歴と同様の操作で、電話をかけたり、他の着信履歴を確認することができます。

お知らせ

- ダイヤルインをご利用の相手の方からの着信の場合、相手の方のダイヤルイン番号とは異なった番号が表示される場合があります。
- オールロック（☞P.191）中は、確認できません。

FOMA端末を閉じているときは

- 不在着信があると、サブディスプレイに「着信あり」と件数が表示されます。
- サブディスプレイに「着信あり」が表示されているとき、▯（背面中央ボタン）を押すと最新の不在着信が表示されます。
- ２件以上の不在着信があり、サブディスプレイに不在着信履歴が表示されているとき、◸（背面上ボタン）を押すと１つ前の不在着信履歴が、◿（背面下ボタン）を押すと１つ後の不在着信履歴が表示されます。
- サブディスプレイを待受画面に戻すには、▯（背面中央ボタン）を１秒以上押します。
- 相手表示設定（☞P.180）や着信履歴表示（☞P.196）が「OFF」に設定されているときは、サブディスプレイに不在着信を表示することができません。

バイブレータで不在着信を確認するとき

- FOMA端末を閉じた状態で、待受画面でシャッターを押すと、不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話の有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、「バイブパターン１」で２回振動します。何もない場合は、「バイブパターン２」で２回振動します。（バイブレータの振動内容については、P.141を参照してください。）

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを設定しておくと、電話に出られないときに応答し、伝言を預ることができます。音声電話がかかってきた場合は、応答文を流し、相手の方の用件を録音します。テレビ電話がかかってきた場合は、応答画像で応対し、相手の方の画像と音声を録画します。

- 伝言メモはFOMA端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときは使用できません。ネットワークサービスの留守番電話サービスを併せてご利用になると便利です。
- 音声伝言メモは３件（１件あたり約 15 秒）まで録音できます。通話中音声メモや待受中音声メモを録音したときは、それらの件数も含めて３件となります。
- TV電話伝言メモは2件（１件あたり約15秒）まで録画できます。
- 待受画面に表示される伝言メモの件数は、音声伝言メモとTV電話伝言メモの合計です。

伝言メモを設定する＜伝言メモ設定＞

1 待受画面で、●５４を押す。

電話に出られないときの応対方法を設定する

次ページへ続く

2 1を押す。（伝言メモ設定）

- 伝言メモ設定画面が表示されます。

3 1を押す。（**ON**：設定する）

伝言メモ表示

- 伝言メモが設定されます。
  PWRを押すと待受画面に戻り、「」が点灯します。
- 伝言があると、「」（１件の場合）「」（２件の場合）…のように件数を表すマークが表示されます。５件目が録音されると、「」は自動的に消えます。

「音声伝言メモがすでに３件録音されています」と表示されたとき

- 音声伝言メモ３件、TV電話伝言メモ２件未満、録音済みです。

「**TV**電話伝言メモがすでに２件録音されています」と表示されたとき

- 音声伝言メモ３件未満、TV電話伝言メモ２件録音済みです。

「これ以上録音できません」または「これ以上録画できません」と表示されたとき

- 音声伝言メモ３件、TV電話伝言メモ２件録音済みです。不要な伝言メモを削除してからやり直してください。（☞P.84）

お知らせ

- 留守番電話サービスについてはP.263、音声メモについてはP.238を参照してください。
- GIFアニメーション（内蔵の場合は、待受画面メイン９）、Flash画像（内蔵の場合は、待受画面メイン７、８）を待受画面に設定した場合、「」はアニメーションが終了するまで表示されません。
- 伝言メモを設定していない場合でも、音声電話がかかってきたときにを１秒以上押すと、その着信に限り用件を録音することができます。（クイック伝言メモ）（☞P.83）

伝言メモを解除する

1 待受画面で、●54を押す。

2 1を押す。（伝言メモ設定）

3 2を押す。（**OFF**：解除する）

- 伝言メモが解除されます。PWRを押すと待受画面に戻り「」が消えます。
- マナーモード設定時の伝言メモの設定／解除は、マナーモード設定（☞P.139）で行ってください。

伝言メモを設定中に音声電話やテレビ電話がかかってくると

1 電話がかかってくると、設定した伝言応答時間後（☞P.82）に伝言メモが応答する。

音声電話
伝言メモ応答中

テレビ電話
伝言メモ応答中

- 音声電話をかけてきた相手の方には、応答文が流れます。

テレビ電話がかかってきたとき

- 「伝言メモ準備中　お待ち下さい」と表示されたあと、TV電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。

テレビ電話をかけてきた相手の方には

- 相手の方には、伝言メモメッセージが流れ、応答画像が送信されます。

音声伝言メモ応答中に電話に出るとき

- 応答文が流れている間に[通話]を押します。

TV電話伝言メモ応答中にテレビ電話に出るとき

- 応答画像が表示されている間に、自分側のカメラ映像を送信してお話しするときは[TV]（TV電話）、代替画像設定（☞P.103）で設定した代替画像でお話しするときは[通話]を押します。

2 相手の方の用件を自動的に録音または録画する。

- インジケータおよび目盛は目安です。

音声伝言メモのとき

- 録音中は相手の方の声が受話口から聞こえます。
- 録音を開始するときに、相手の方に「ピー」と発信音が流れます。

音声伝言メモ録音中に電話に出るとき

- 録音中に[通話]を押します。このとき、[通話]を押すまでの録音内容は記憶されます。

TV電話伝言メモ録画中に電話に出るとき

- 自分側のカメラ映像を送信してお話しするときは[TV]（TV電話）、代替画像設定（☞P.103）で設定した代替画像でお話しするときは[通話]を、押します。このとき[TV]または[通話]を押すまでの録画内容は記憶されます。

3 用件の録音が終わると、待受状態になる。

- 音声伝言メモが３件、TV 電話伝言メモが２件になると、「[伝言メモアイコン]」が消え、それ以降、音声電話やテレビ電話がかかってきても伝言メモで応答しません。
  伝言メモが設定されている場合は、不要な用件を削除すると、伝言メモが自動的に有効になります。

電話に出られないときの応対方法を設定する

次ページへ続く

お知らせ

- 伝言メモ・TV電話伝言メモが３秒以下の場合、録音されないことがあります。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって録音内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、音声伝言メモ、TV電話伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
- 電波の状態により、録音内容が途切れたりすることがあります。
- TV電話伝言メモの応答画像を設定することができます。（☞P.94）
- TV電話伝言メモの応答中、相手の方には、本FOMA端末で設定した応答画像に「伝言メモ」という文字が重ねられて表示されます。
- 伝言メモの用件は、電源を切っても消えません。
- 伝言メモ録音・録画中は第三者から電話がかかってきても受けることができません。第三者には話中音が流れます。
- 留守番電話サービス（☞P.263）を設定しているときは、音声伝言メモが３件録音されても留守番電話サービスセンターで用件をお預かりします。
- 伝言メモを設定していなくても、着信中のボタン操作で伝言メモを設定し、用件を録音・録画することができます。（☞P.83、P.93）
- 圏外通知や番号変更案内、留守番電話開始などのガイダンスは録音できません。

伝言応答時間

録音が始まるまでの時間を設定する

電話がかかってきてから、伝言メモが応答するまでの時間を設定することができます。（０秒～120秒まで）

- 伝言応答時間は、音声伝言メモとテレビ電話伝言メモに共通の設定です。
- お買い上げ時は、「８秒」に設定されています。
- オート着信の設定と同じ時間に設定することはできません。（☞P.251）

1 待受画面で、●５４を押す。

- 伝言メモ設定画面が表示されます。

2 ２を押す。（伝言応答時間）

3 応答時間（３桁：**000～120**秒）を入力し、●を押す。

着信音を鳴らさずに、伝言メモが応答するようにするとき

- 応答時間を「000秒」に設定します。

お知らせ

- 留守番電話サービス（☞P.263）や転送でんわサービス（☞P.271）を伝言メモと同時に設定しているときは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間の設定により、優先順位が異なります。
伝言メモを優先させるためには、留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間よりも伝言メモの呼出時間を短く設定してください。

クイック伝言メモ

着信中の電話に出られないときに用件を録音する

音声電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録音することができます。

1 音声電話着信中に、◯を１秒以上押す。（伝言メモ録音）

- 音声電話着信中に、◎②を押しても伝言メモ録音をすることができます。
- 応答文が流れたあと、録音が始まります。
- 「音声メモがすでに３件録音されています」または「これ以上録音できません」（TV電話伝言メモも２件登録されているとき）と表示され、動作しません。
- テレビ電話着信中に伝言メモ録画をする場合について詳しくは、P.93を参照してください。

お知らせ
- FOMA端末を閉じているときは、◻（背面上ボタン）を１秒以上押すと伝言メモが応答します。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって録音内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

応答メッセージ

伝言メモガイダンスを設定する

伝言メモの応答メッセージをお好みのメッセージに設定することができます。
- お買い上げ時は、「応答メッセージ１」に設定されています。

1 待受画面で、◉⑤④を押す。

- 伝言メモ設定画面が表示されます。

2 ③を押す。（応答メッセージ）

3 メッセージの種類を選び、◉を押す。

応答メッセージを再生するとき
- ⓘ（再生）を押します。停止するときは、もう一度ⓘ（停止）を押します。

伝言メモを再生／削除する

伝言メモの用件と通話中音声メモや待受中音声メモの内容を再生したり、削除することができます。

再生する

再生中の音量は受話音量調節で設定されている音量で聞こえます。

1 待受画面で、◯（[伝言メモ]）を押す。

- メインディスプレイにカレンダーが表示されているときは、[PWR/HLD]を押したあと、◯を押してください。

「伝言メモ○件」と表示されているとき

- ◉を押します。

2 [2カABC]を押す。（再生）

- メモリスト画面が表示されます。

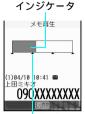
着信種別

[通話中音声メモ]：通話中音声メモ
[伝言メモ]：伝言メモ
[待受中音声メモ]：待受中音声メモ

電話種別

[テレビ電話]：テレビ電話

- 音声電話のときは、何も表示されません。
- 未再生のメモには、「[未再生]」が表示されます。
- 通話中音声メモや待受中音声メモ（☞P.238）も合わせて、録音の新しいものから順に一覧表示されます。
- メモが録音されていないときは、「メモがありません」と表示され、待受画面に戻ります。

3 再生したいメモを選択し、◉（再生）を押す。

音声電話
伝言メモの場合

テレビ電話
伝言メモの場合

- メモが再生されます。
- インジケータおよび目盛は目安です。
- 非通知着信および待受中音声メモの場合は、電話番号や名前は表示されません。

再生を途中で止めるには

- 再生中に◉（停止）を押します。

お知らせ

- 再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に止まります。
- 再生中にアラームの指定時刻になると、再生は自動的に止まり、アラームが動作します。
- FOMA端末の日時を正しく設定していないときは、録音日時が正しく表示されません。
- 音声メモについては、P.238を参照してください。
- 着信履歴表示（☞P.196）を「OFF」に設定しているときは、伝言メモを再生できません。
- 着信履歴表示が「OFF」に設定されているときは、メモリスト画面を表示することはできません。
- テレビ電話伝言メモの再生時にマナーモード設定されている場合は、確認画面が表示されます。再生するときは、「はい」を選び、◉を押します。

伝言メモ・音声メモのPIMロック中の場合（☞**P.194**）

- 端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、◉を押すとPIMロックは一時解除され、操作２に進みます。
- 操作を終了して待受画面に戻ると再びロックされます。

バイブレータで伝言メモを確認するとき

- FOMA端末を閉じた状態で、待受画面でシャッターを押すと、不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話の有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、「バイブパターン１」で２回振動します。何もない場合は、「バイブパターン２」で２回振動します。（バイブレータの振動内容については、P.141を参照してください。）

削除する

1 メモリスト画面を表示する。（☞**P.84**の操作１～２）

2 削除したいメモを選択し、📷1を押す。（１件削除）

すべてのメモを削除するとき

- 📷2を押します。

3 「はい」を選び、◉を押す。

削除しないとき

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

テレビ電話について

画面に映ったお互いの映像を見ながら通話することができます。

- テレビ電話の通信速度には次の２とおりがあります。
  - ■ 64K通信速度：64kbpsで通信をします。
  - ■ 32K通信速度：32kbpsで通信をします。
- テレビ電話通信機能は、ドコモのテレビ電話に対応した端末同士で利用できます。
- 64Kまたは32Kのどちらの通信速度でも、接続したときのデジタル通信料は同じです。
- 自画像の代わりに代替画像やキャラ電を送受信して通話する場合も、デジタル通信料がかかりますのでご注意ください。
- ドコモの国際電話サービス「WORLD CALL」を利用して国際テレビ電話を利用することができます。（☞P.67）
- ドコモのテレビ電話は、「国際基準の3GPP※1で標準化された、3G-324M※2」に準拠しています。異なる方式を利用しているテレビ電話とは接続できません。

※１ 3GPP（3rd Generation Partnership Project）：第3世代移動通信システム（IMT-2000）に関する共通技術使用開発のために設置された地域標準化団体です。

※２ 3G-324M：第３世代携帯テレビ電話の国際規格です。

テレビ電話中の画面の見かた

1 子画面：お買い上げ時は、自分側のカメラ映像が表示されます。
2 親画面：お買い上げ時は、相手側のカメラ映像が表示されます。
3 カメラの明るさ：-2　-1　+1　+2
（明るさが０の時は点灯しません。）
4 送信画像マーク
- ：カメラ映像送信中に表示されます。
- ：代替画像送信中に表示されます。
- ：マルチメディアのイメージの画像を送信中に表示されます。
- ：カメラ映像の一時停止中に表示されます。
- ：キャラ電（全体アクションモード）を送信中に表示されます。
- ：キャラ電（パーツアクションモード）を送信中に表示されます。

5 テレビ電話中表示
- ：テレビ電話の通信速度が64Kのときに表示されます。
- ：テレビ電話の通信速度が32Kのときに表示されます。
- ：ハンズフリー中（64K）に表示されます。
- ：ハンズフリー中（32K）に表示されます。

6 受信画像マーク
- ：相手側の画像を撮影、保存するときに表示されます。

7 通信時間：通信時間が最大9時間59分59秒まで表示されます。

※ 画面はイメージで、実際に同じ画面は表示されません。

キャラ電

テレビ電話中、自分の映像の代わりにキャラクタを表示して相手に送信することができます。キャラクタは音に反応して口を動かしたり、ボタン操作で手足などを動かすことができます。（☞『アプリケーション編』P.90）

©BVIG

テレビ電話をかける

- 電池残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 自分側のカメラ映像の代わりに代替画像やキャラ電を相手の方に送信することもできます。
- テレビ電話をかけるときは、お互いの映像を見ながらお話しできるように、スイッチ付イヤホンマイク（☞P.252）を利用するか、ハンズフリー（☞P.91）を利用してください。

1 電話番号を市外局番からダイヤルする。

- 同一市内でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 電話番号は80桁まで入力できます。13桁を超えると２行で表示されます。26桁を超えた場合、最後から26桁だけが２行表示され、最初の番号は表示されません。
- ダイヤル入力画面で、◯を押すと「＋」を入力することができます。国際電話をかけるときに電話番号の先頭に入力します。先頭に「＋」が入力された場合、「＋」以降の電話番号への発信・通話動作を行います。ただし現在（2004年３月）は、「＋」付加による海外への発信サービスは未対応のため、日本以外の国番号が設定されていた場合は発信できません。また、番号の途中に「＋」が入力された場合、発信はできません。

携帯電話やPHSにかけるとき

携帯電話　090-XXXX-XXXX　または　080-XXXX-XXXX
PHS　070-XXXX-XXXX

ダイヤルを間違えたとき

- CLRを押すと、最後の１桁が消えます。
- すべての桁を消すときは、CLRを１秒以上押します。（待受画面に戻ります。）
- ハンズフリーを押してからダイヤルしたときは、CLRを押しても消えません。PWR/HLDを押してください。（待受画面に戻ります。）

相手の方に送信する画像を発信時に変更するとき

- お買い上げ時の設定では、自分側のカメラ映像が相手の方に送信されます。変更した設定は、その発信に限り有効です。
  1. 電話番号をダイヤルし、📷6（送信画像設定）を押す。
  2. 2（代替画像）を押す。
  3. 1（イメージ）または2（キャラ電）を押す。
  4. 画像を選び、●を押す。
- 発信時に自分側のカメラ映像を送信するかどうかは、発信時自画像送信（☞P.103）であらかじめ設定しておくことができます。
- リダイヤル詳細画面や着信履歴詳細画面で送信画像を選ぶときは、📷7を押します。電話帳内容表示画面で送信画像を選ぶときは、📷8を押します。

次ページへ続く

通信速度を32Kに切り替えるとき

- 電話番号をダイヤルしてからを２回押します。もう一度押すと、64Kに戻ります。を押すごとに64Kと32Kが切り替わります。
- 「」が表示されます。
- 電話番号をダイヤルしてからを押し、7（通信速度設定）2（32K）を押して替えることもできます。
- 電話帳内容表示画面やリダイヤル詳細画面、着信履歴詳細画面で、を押し、「通信速度設定」を選び、を押して、通信速度を選ぶこともできます。
- 64K／32Kの通信速度変更は、その発信に限り有効です。

2 （TV電話）を押す。

バニティミラー機能

- 自分側のカメラ映像が画面に表示され、電話に出る前にご自分の映像を確認することができます。身だしなみを整えるのに利用できます。
- 操作１で、送信する画像を代替画像にして発信した場合、代替画像設定（☞P.103）で設定した画像やキャラ電が表示されます。また、キャラ電発信（『アプリケーション編』☞P.95）のときは、キャラ電が表示されます。

電話帳に名前を登録しているとき

- 名前が表示されます。

3 相手の方が電話に出たら、お話しする。

- 相手の方が電話に出ると、「画像準備中 お待ち下さい」が表示されます。この時点からデジタル通信料がかかります。
- 相手側の映像が親画面に表示され、自分側のカメラ映像は子画面に表示されます。

プッシュ信号を送信するとき

- 7（DTMF送信モード）を押し、1（ON）を押してから、送信する番号のダイヤルボタンを押します。
- お買い上げ時は「ON」に設定されていますが、キャラ電を代替画像にして送信したときは「OFF」になります。

ご自分の電話番号を表示するとき

- 0（自局番号表示）を押します。

テレビ電話の通話中に代替画像を送信するとき

- （代替画像）を押すと、自分側のカメラ映像の代わりに、設定した代替画像（☞P.101）を送信できます。また、（代替画像）を１秒以上押すと、キャラ電を選択し、利用することもできます。（☞『アプリケーション編』P.90）

ハンズフリーで話すときとき

- を押します。（☞P.91）

4 お話しが終わったら、を押す。

テレビ電話のかけかた／受けかた

お知らせ

- FOMA端末から緊急通報番号（110番、119番、118番）へテレビ電話をかけることはできません。
- テレビ電話をかけたときに、相手の方がテレビ電話に対応していない端末の場合は接続できません。音声自動再発信が「ON」に設定されている場合は、テレビ電話に対応していない端末へ自動的に音声電話で発信し直します（☞P.102）。その場合、通信料金は音声通話料となります。なお、ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント、3G-324M（☞P.86）に対応していないISDNのテレビ電話等（2004年３月現在）や間違い電話をかけたときなどは、このような動作にならないことがあります。また、通信料金が発生する場合もありますのでご注意ください。
- テレビ電話に対応したFOMA端末にテレビ電話をかける場合、通信速度は64Kでかけることをおすすめします。32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHS等の機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも、相手の方が32Kエリア等の通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。

ダイヤル入力時の設定速度	音声自動再発信	発信順序
64K	ON	64K発信→32K発信→音声発信
	OFF	64K発信→32K発信
32K	ON	32K発信→音声発信
	OFF	32K発信

- 自分側のカメラ映像を送信する場合、光量が少ない場所での映像は白い線などのノイズが増えます。また、太陽やランプなどの強い光源が映像にじかに入る場所では、映像が暗くなったり、乱れることがあります。適切な場所でテレビ電話をご利用ください。
- テレビ電話中に音声電話やテレビ電話がかかってくると、着信履歴に記憶され、待受画面に「着信あり」と表示されます。
- テレビ電話中にｉモードメールやメッセージR／Fは受信されず、ｉモードセンターに保管されます。ｉモードセンターに保管されたｉモードメールやメッセージR／Fは、テレビ電話終了後、ｉモード問い合わせを行うと受信することができます。
- テレビ電話中にショートメッセージ（SMS）は自動的に受信されます。
- 音声や映像の送受信に失敗した場合、自動的に復旧しません。もう一度テレビ電話をかけ直してください。
- テレビ電話の通信が開始された場合、音声通話への再発信動作は行いません。
- テレビ電話はデジタル通信のため、「デジタル通信通話時間」としてカウントされます。（☞P.157）
- テレビ電話中に音声電話をかけたり、ｉモードを利用することはできません。
- テレビ電話中に電池が切れると、警告音が鳴り、約20秒後に通話が切れ、約60秒後に電源が切れます。
- 代替画像、キャラ電を表示してテレビ電話で通話しているときも、デジタル通話料がかかります。
- メインディスプレイの明るさを「明るさ８」より明るく設定している場合、テレビ電話中のメインディスプレイの明るさは常に「明るさ８」になります。（☞P.177）

テレビ電話がつながらなかったとき

- テレビ電話がつながらなかったときは、接続できなかった理由をメッセージで表示します。なお、相手の方の電話機の種類やネットワークサービスのご契約の有無により、実際の相手の方の状況とは異なることがあります。

メッセージ	理　由
番号をご確認の上、おかけ直しください。	電話番号を間違えています。
お話中です。	相手の方がお話し中もしくはパケット通信中です。
電波の届かない所にいるか電源が切れています。	相手の方が圏外にいるか、または電源を入れていません。
ドライブモード中です。	相手の方がドライブモードに設定しています。
接続できませんでした。	上記いずれにも該当しない場合。

テレビ電話を受ける

- テレビ電話に出ると、メインディスプレイに相手側のカメラ映像と自分側のカメラ映像が表示されます。
- 自分側のカメラ映像の代わりに代替画像やキャラ電を相手の方に送信するようにして、電話に出ることもできます。
- テレビ電話を受けるときは、お互いの映像を見ながらお話しできるように、スイッチ付イヤホンマイク（☞P.252）を利用するか、ハンズフリー（☞P.91）を利用してください。

1 テレビ電話がかかってくると、着信音が鳴り、ピクチャーライト／着信ランプが点滅する。

バニティミラー機能

- 自分側のカメラ映像が画面に表示され、電話に出る前にご自分の映像を確認することができます。身だしなみを整えるのに利用できます。

電話帳に名前を登録しているとき

- 名前が表示されます。ただし、相手の方から発信者番号が通知されないときは表示されません。

2 ⓘ（TV電話）を押す。

- 相手側のカメラ映像が親画面に表示され、自分側のカメラ映像は子画面に表示されます。

代替画像を送信して電話を受けるときは

- 電話に出たときに相手側に代替画像が送信されるようにするには、[スピーカー]を押して電話を受けます。

ハンズフリーで話すとき

- 通話中に[スピーカー]を押します。（☞P.91）

3 お話しが終わったら、[PWR/HLD]を押す。

お知らせ

- 送信する代替画像の種類は、代替画像設定（☞P.103）で設定することができます。
- テレビ電話がかかってきたときの各ボタンの動作は次のようになります。
  ⓘ（TV電話）..........自分のカメラ映像を送信してテレビ電話を受けます。
  [スピーカー]....................代替画像を送信してテレビ電話を受けます。
  [カメラ]....................サブメニューを表示します。
  [メモ]（1秒以上押す）....伝言メモが応答します。
  [#マナー]....................クイックサイレントがはたらきます。
  [PWR/HLD]....................応答保留がはたらきます。
  エニーキーアンサー（☞P.155）を「ON」に設定していても上記以外のボタンは操作無効です。
- 音声電話の通話中は、音声電話を継続するか音声電話を切断してテレビ電話を受けるか選択できます。
- 留守番電話サービスを開始していても、留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。
- 着信側で転送でんわサービスを「開始」に設定していても、転送先を3G-324M（☞P.86）に準拠したテレビ電話対応機に設定していないときは、かかってきたテレビ電話は接続されません。転送先をあらかじめご確認のうえ、転送設定を行ってください。
- ドライブモード設定中にテレビ電話がかかってきたときは、着信音は鳴らず、ピクチャーライト／着信ランプも点滅しません。着信履歴に不在として記憶されます。
- 相手側から映像が送信されてこないときには、黒い画面が表示されます。
- 迷惑電話ストップサービスで拒否登録した電話番号からテレビ電話着信があった場合、着信拒否ガイダンスは流れず、切断されます。
- テレビ電話では、番号通知お願いサービスをご利用になれません。
- ピクチャーコール設定、ｉモーション着信音が設定されている場合は、バニティミラー表示より優先されます。
- メインディスプレイの明るさを「明るさ８」より明るく設定している場合、テレビ電話中のメインディスプレイの明るさは常に「明るさ８」になります。（☞P.177）
- ｉアプリ実行中、かかってくるテレビ電話を受けるとｉアプリは終了します。

お知らせ イヤホンマイクを利用するとき

- オート着信設定（☞P.251）を「ON」に設定し、スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、設定した着信時間が経過したあとで、自動的に代替画像設定（☞P.103）で設定した代替画像を送信して応答することができます。その後、自分側の映像をカメラ映像に切り替えることもできます。（☞P.101）
- スイッチ付イヤホンマイクを接続中にテレビ電話がかかってきた場合、イヤホンのスイッチを２秒以上押すと代替画像設定（☞P.103）で設定した代替画像でテレビ電話を受けることができます。テレビ電話中に代替画像とカメラ映像を切り替えることもできます。（☞P.101）

ハンズフリーで話す＜ハンズフリー＞

テレビ電話の通話中に相手の方の声をスピーカーから流して、映像を見ながら通話することができます。

- 他の人の迷惑にならないような場所でご利用ください。

1 テレビ電話の通話中に、(🔈☎)を押す。

- ハンズフリーのマークが表示されます。
  [64K]：ハンズフリー中（64K）に表示されます。
  [32K]：ハンズフリー中（32K）に表示されます。
- もう一度(🔈☎)を押すと、ハンズフリーが解除されます。

マナーモードを設定しているとき

- 「マナーモード中です　ハンズフリーにしますか？」と表示されます。
  「はい」を選び、◉を押します。

お知らせ

- 周囲の騒音が大きい場所では、音声が途切れたり、良好な通話ができないことがあります。この場合には、スイッチ付イヤホンマイク（☞P.252）のご利用をおすすめします。
- ハンズフリー通話をご使用の場合、受話音量を大きくすると会話しづらくなることがあります。その場合には、音量を下げて通話してください。

すぐに電話に出られないときに保留にする＜応答保留＞

テレビ電話がかかってきたときにすぐに出られないときは、その電話を保留にして、相手の方にお待ちいただくことができます。

- 応答保留中でも、相手の方にデジタル通信料がかかります。

1 着信音が鳴っているときに、(☎PWR HLD)を押す。

- 「ピーッピッ」と鳴って、応答保留状態になります。
- 「画像準備中　お待ち下さい」と表示されたあと、応答保留用の代替画像が表示されます。（☞P.104）

かけてきた相手の方には

- 電話はつながった状態のまま、相手の方には応答保留音（☞P.155）が流れ、代替画像が送信されます。

応答保留中に電話を切るとき

- (☎PWR HLD)を押します。（着信履歴に記憶されます。）

応答保留中に相手の方が電話を切ったとき

- 電話が切れます。（着信履歴に記憶されます。）

次ページへ続く

2 電話に出られるようになったら、Ⓘ（TV電話）を押す。

● 相手の方とお話しできます。相手の方に、自分側のカメラ映像が送信されます。

代替画像を送信してお話しするとき

● ⓒを押します。

お知らせ
● FOMA端末を閉じているときは、▢（背面下ボタン）を１秒以上押すと、応答保留の状態になります。
● 送信する代替画像は、応答保留画像設定（☞P.104）で設定することができます。
● 応答保留中、相手の方には、本FOMA端末で設定した応答保留画像に「応答保留」という文字が重ねられて表示されます。
● 応答保留音の設定については、P.155を参照してください。

テレビ電話の通話中に保留にする<通話中保留>

テレビ電話の通話中に、通話を保留にします。

1 テレビ電話の通話中に、◉（保留）を押す。

● 保留状態になり、保留用の代替画像が表示されます。（☞P.104）

かけてきた相手の方には

● 相手の方には保留音（☞P.154）が流れ、保留中の代替画像が送信されます。

2 電話に出られるようになったら、Ⓘ（TV電話）を押す。

● 相手の方とお話しできます。相手の方には、自分側のカメラ映像が送信されます。

代替画像を送信してお話しするとき

● ⓒを押します。

お知らせ
● 送信する代替画像は、保留画像設定（☞P.104）で設定することができます。
● 保留中、相手の方には、本FOMA端末で設定した代替画像に「保留」という文字が重ねられて表示されます。
● 保留音の設定については、P.154を参照してください。

テレビ電話の通話中に相手の声の音量を調節する<受話音量変更>

テレビ電話の通話中に相手の方の声の大きさを5段階で調節することができます。
● 着信中は調節できません。
● お買い上げ時は、「LEVEL3」に調節されています。

1 テレビ電話の通話中に、Ⓞ②を押す。（受話音量変更）

テレビ電話のかけかた／受けかた

2 （大きくする）または（小さくする）を押す。

● 約２秒間そのままにしておくか、を押すと設定されます。

お知らせ
● 一度調節した音量は、電源を切ったり、電池パックを取り外しても保持されます。
● 受話音量を大きくして通話する場合、周囲の状況により雑音が発生することがあります。適切な音量でご使用ください。

着信中のテレビ電話に出られないときに用件を録画する<TV電話伝言メモ>

テレビ電話がかかってきたときに、伝言メモを設定していない場合も、その着信に限り用件を録画することができます。

● TV 電話伝言メモはFOMA 端末の電源が切れていたり、電波の届かない場所にいるときは使用できません。
● ２件（1件あたり約15 秒）まで録画できます。
● 伝言メモの設定については、P.79を参照してください。

1 テレビ電話の着信中に、を押す。

● テレビ電話着信中に、を１秒以上押してもTV電話伝言メモを録画することができます。
● 「伝言メモ準備中　お待ち下さい」と表示されたあと、TV電話伝言メモ用の応答画像が表示されます。
● 送信する代替画像は、TV電話時応答画像（☞P.94）で設定することができます。

TV電話伝言メモがすでに２件録画されているとき

● 「TV電話伝言メモがすでに２件録画されています」または「これ以上録画できません」（音声伝言メモも３件登録されているとき）と表示され、動作しません。

かけてきた相手の方には

● 相手の方には伝言メモメッセージ（☞P.83）が流れ、TV電話伝言メモ用の応答画像が送信されます。

2 相手の方の用件を自動的に録画する。

TV電話伝言メモ録画中に電話に出るとき

● 自分側のカメラ映像を送信してお話しするときは（TV電話）、代替画像を送信してお話しするときはを押します。

3 用件の録画が終わると、待受状態になる。

お知らせ
● TV電話伝言メモの再生と削除については、P.84を参照してください。
● 伝言メモ設定（☞P.79）またはマナーモード設定（☞P.139）により伝言メモを設定しているときは、伝言メモが自動的に応答します。
● FOMA端末を閉じているときは、（背面上ボタン）を１秒以上押すと伝言メモが応答します。
● FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって録画内容が消失する場合があります。当社としては、責任を負いかねますので、万が一に備え、伝言メモの内容は、メモなどに控えをお取りくださるようお願いします。
● TV電話伝言メモ用の応答画像は、TV電話時応答画像（☞P.94）で設定することができます。
● TV電話伝言メモの応答中、相手の方には、本FOMA端末で設定した応答画像に「伝言メモ」という文字が重ねられて表示されます。

TV電話伝言メモの静止画を設定する<TV電話時応答画像>

テレビ電話伝言メモで応対するときに、相手の方に送信する静止画を設定することができます。

- マルチメディアのイメージに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「TV電話：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は設定できません。
- お買い上げ時は、「TV電話伝言メモ」に設定されています。

1 待受画面で、●5 4 4を押す。

2 フォルダを選び、●を押す。

- 画像データ一覧画面が表示されます。

静止画を確認するとき

- 静止画を選び、●（確認）を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

3 静止画を選び、iを押す。

TV電話設定

テレビ電話の通話中に画面設定を変更する

テレビ電話の通話中にメインディスプレイの画像表示を変更したり、相手の方に送信する画像を変えることができます。

項　目	設定内容	お買い上げ時の設定	参　照
画面サイズ設定	親画面のサイズを拡大することができます。	拡大表示	P.95
画像表示設定	相手側の映像と自分側の映像の表示方法を変更することができます。	相手大・自分小	P.96
子画面表示設定	子画面の表示位置を設定することができます。	左上	P.96
送信画質設定	送信する画質を設定することができます。	標準	P.97
TV電話中照明設定	テレビ電話中のメインディスプレイの照明時間を設定することができます。	常にON	P.98
自画像設定	自分側の映像を、正像、鏡像、または一時停止に設定することができます。	鏡像	P.98
ズームアップ／ズームダウン	自分側のカメラ映像のズームアップ／ズームダウンを行うことができます。	－	P.99
カメラ切替	自分側の映像の撮影カメラをメインカメラに切り替えることができます。	－	P.100
明るさ調整	カメラ映像の明るさを調整することができます。	－	P.100

画面サイズを設定する<画面サイズ設定>

親画面のサイズを変えることができます。子画面のサイズは変わりません。
- 親画面と子画面については、P.86を参照してください。
- お買い上げ時は、「拡大表示」に設定されています。

1 テレビ電話の通話中に、(カメラ)(5)を押す。
- TV電話設定画面が表示されます。

2 (1)を押す。（画面サイズ設定）

- テレビ電話の通話中に(view)を押しても、拡大表示と等倍表示を交互に切り替えることができます。

3 (2)を押す。（等倍表示）
- 親画面が等倍表示されます。

等倍

拡大表示に戻すとき
- (1)を押します。親画面が拡大表示されます。

拡大

お知らせ
- 「拡大表示」では「等倍表示」に比べ、縦・横とも約1.3倍に拡大されます。
- 画像サイズ設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。
- 待受画面で、(●)(5)(3)(3)を押しても設定できます。

相手画像と自画像の表示方法を設定する＜画像表示設定＞

ご自分のFOMA端末での自分側の映像と相手側の映像の表示方法を設定することができます。

項　目	設定内容
相手大・自分小	相手側の映像を大きく、自分側の映像を小さく表示します。
相手のみ	相手側の映像のみを表示します。
自分大・相手小	自分側の映像を大きく、相手側の映像を小さく表示します。
自分のみ	自分側の映像のみを表示します。

- お買い上げ時は、「相手大・自分小」に設定されています。

1 テレビ電話中に、◎5を押す。

- TV電話設定画面が表示されます。

2 2を押す。（画像表示設定）

3 表示方法を選び、●を押す。

- 表示方法が切り替わります。

相手大・自分小

相手のみ

自分大・相手小

自分のみ

お知らせ
- 画像表示設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。
- 待受画面で、●5 3 4を押しても設定できます。

子画面の表示位置を設定する＜子画面表示設定＞

子画面の表示位置を、「左上」または「右下」に設定することができます。

- 親画面と子画面については、P.86を参照してください。
- お買い上げ時は、「左上」に設定されています。

1 テレビ電話中に、◎5を押す。

- TV電話設定画面が表示されます。

テレビ電話のかけかた／受けかた

2 ③を押す。（子画面表示設定）

3 位置を選び、●を押す。

左上

右下

お知らせ
- 子画面を「右下」に設定すると、通話時間や送信、受信画像アイコンは左下に表示されます。
- 子画面表示設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。
- 待受画面で、●⑤③⑤を押しても設定できます。

テレビ電話中に送信画質を設定する<送信画質設定>

テレビ電話中に相手の方へ送信する画質を設定することができます。

画質の種類

画質優先	撮影対象の形や色などを中心に伝えたいとき
標準	画質の美しさと動きのバランスをとるとき
動き優先	撮影対象の動きを中心に伝えたいとき

- お買い上げ時は、「標準」に設定されています。

1 テレビ電話中に、📷⑤を押す。
- TV電話設定画面が表示されます。

2 ④を押す。（送信画質設定）

3 画質を選び、●を押す。

お知らせ
- テレビ電話を終了すると、送信画質設定（☞P.105）で設定した画質に戻ります。

テレビ電話のかけかた／受けかた

照明を設定する<TV電話中照明設定>

テレビ電話中のメインディスプレイの照明時間を設定することができます。「通常時と同じ」に設定すると、照明時間設定（☞P.176）で設定された点灯時間になります。

- お買い上げ時は、「常にON」に設定されています。

1 テレビ電話中に、（カメラ）（5）を押す。

- TV電話設定画面が表示されます。

2 （5）を押す。（**TV**電話中照明設定）

3 （2）を押す。（常に**ON**）

通常時と同じようにするとき

- （1）を押します。

お知らせ

- 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなります。ご注意ください。
- TV電話中照明設定は、テレビ電話を終了しても保持されます。

自分側の画像の表示方法を設定する<自画像設定>

ご自分のFOMA端末での自分側のカメラ映像を、「正像」または「鏡像」に切り替えることができます。ただし、相手側には常に正像が表示されます。
カメラ映像が停止した状態で静止画として送信することもできます。

- 正像は相手の方に見られているように、鏡像は鏡に映したように左右逆に表示されます。
- キャラ電や代替画像を送信しているときは、自画像設定をすることができません。
- お買い上げ時は、「鏡像」に設定されています。

■ 正像／鏡像を切り替える<正像・鏡像切替>

1 テレビ電話中に、（カメラ）（6）を押す。（自画像設定）

2 （2）を押す。（正像・鏡像切替）

テレビ電話のかけかた／受けかた

3 1を押す。（正像）

● 正像になります。

鏡像にするとき

● 2を押します。

カメラ映像の静止画像を送信する

1 テレビ電話中に、カメラ6を押す。（自画像設定）

2 1を押す。（一時停止）

● カメラ映像が一時停止し、「▮▮」が表示されます。相手の方には1（一時停止）を押したときの映像が送信されます。

カメラ映像に戻すとき

● ●またはCLRを押します。

お知らせ

● 一時停止中、相手の方には、本FOMA端末の映像に「停止中」という文字が重ねられて表示されます。
● テレビ電話を終了すると、自画像設定は元に戻ります。

自画像のズームアップ／ズームダウンを行う<ズームアップ／ズームダウン>

自分側のカメラ映像の拡大（ズームアップ）／縮小（ズームダウン）表示を行います。
● 最大13段階（メインカメラ）、２段階（サブカメラ）のズームが設定できます。

1 テレビ電話中に、▶または◀を押す。

● ズームバーが表示されます。
● ▲または▼を押しても、ズームバーが表示されます。

2 ▶（ズームアップ）または◀（ズームダウン）を押す。

● メインカメラの場合は、▶を押すたびに１段階ずつズームアップし、◀を押すたびに１段階ずつズームダウンします。
● ▼を押すと最大ズーム、▲を押すと最小ズームで表示されます。

お知らせ

● キャラ電や代替画像を送信しているときは、画像をズームすることはできません。
● 相手の方の映像をズームすることはできません。
● カメラを切り替えると、ズームは解除されます。
● テレビ電話を終了すると、ズームは解除されます。
● テレビ電話通話中にメインカメラとサブカメラを切り替えた場合、メインカメラとサブカメラのズーム設定は、それぞれ保持されません。

メインカメラとサブカメラを切り替える<カメラ切替>

自分側の撮影用カメラを、メインカメラに切り替えることができます。FOMA端末の周りの風景などを相手の方に伝えるときなどに利用します。

1 テレビ電話中に、(カメラ)(#)を押す。

- 自画像がメインカメラでの映像に切り替わります。

サブカメラに切り替えるとき

- もう一度(カメラ)(#)を押します。

お知らせ
- テレビ電話を終了すると、サブカメラに戻ります。
- メインカメラを使用中にメインカメラの周辺の温度が高くなる、または電池残量が少なくなった場合、「ただいまメインカメラを利用できません」と表示され、代替画像に切り替わります。メインカメラに切り替えることはできません。
- DTMF送信モード（☞P.88）を「OFF」に設定しているときは、(#)を押して切り替えを行います。
- テレビ電話中は、メインカメラを使用中でもオートフォーカスは動作しません。
- 電池残量が「(電池アイコン)」以下になった場合は、メインカメラに切り替えが行えません。

明るさを調整する<明るさ調整>

テレビ電話中のカメラ映像の明るさを「- 2」～「+ 2」の５段階で調整することができます。

- お買い上げ時は、「±０」に調整されています。

1 テレビ電話中に、(上)（明るくする）または(下)（暗くする）を押す。

- (上)を押すたびに1段階ずつ明るくなり、(下)を押すたびに1段階ずつ暗くなります。
- ディスプレイ上部に「(-2)」、「(-1)」、「(+1)」、「(+2)」が表示されます。明るさが「±０」のときは表示されません。

お知らせ
- テレビ電話を終了すると、明るさは元に戻ります。

代替画像送信

代替画像を送信する

自分側のカメラ映像の代わりに、代替画像を送信することができます。

1 テレビ電話中に、(i)（代替画像）を押す。

©BVIG

- 設定されている代替画像が送信されます。

自分側のカメラ映像に戻すとき

- 代替画像が表示されているときに、(i)（自画像）を押します。

キャラ電を選択して送信するとき

- テレビ電話中に(i)を1秒以上押すと、キャラ電一覧が表示されます。キャラ電を選び、(●)を押すと、選択したキャラ電が代替画像として送信されます。
- ここで選択したキャラ電は、テレビ電話を終了すると解除されます。

お知らせ
- 送信する代替画像は、代替画像設定（☞P.103）であらかじめ設定しておきます。
- お買い上げ時は、代替画像設定にキャラ電の「ブンブン（Dimo）」が設定されています。

ファイル再生

マルチメディアの画像を送信する

自分側のカメラ映像の代わりに、マルチメディアのイメージの静止画を相手の方に送信することができます。

- FOMA端末に保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「TV電話：176×144」（横×縦）のサイズを利用できます。（ただし、GIFアニメーション画像は利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。
- miniSD メモリーカード内の静止画は直接利用することはできません。使用する場合は、あらかじめFOMA端末（本体）イメージのカメラ撮影、またはその他の静止画フォルダにコピーしてご利用ください。
- キャラ電や代替画像を送信しているときは、この機能は利用できません。

1 テレビ電話中に、(カメラ)(3)を押す。

2 フォルダを選び、(●)を押す。

- 画像データ一覧画面が表示されます。

3 静止画を選び、(i)を押す。

- 選択した静止画が表示されます。

自分側のカメラ映像に戻すとき

- 静止画が表示されているときに、(●)（終了）または(CLR)を押します。

お知らせ
- マルチメディアのPIMロック中は端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、(●)を押すと、PIMロックは一時解除され、ファイルが表示されます。

静止画メモ

相手の画像を静止画として保存する

テレビ電話中に、相手の方の画像を静止画撮影することができます。
● 撮影できるサイズは「TV電話：176×144」（横×縦）です。
● キャラ電や代替画像を送信しているときは、この機能は利用できません。

1 テレビ電話中に、(📷)(4)を押す。

2 ●（📷）を押す。

● 静止画撮影中、相手の方には、本FOMA端末の映像に「撮影中」という文字が重ねられて表示されます。
● 静止画が撮影され、「保存中」が表示されます。
● 撮影した静止画はマルチメディアのイメージの「その他静止画」フォルダに保存されます。
● 撮影した静止画はFOMA端末以外への出力はできません。

音声自動再発信

音声電話で自動的にかけ直す

テレビ電話をかけたときに、相手の方がテレビ電話に対応していない端末の場合は接続できません。このとき、音声自動再発信が「ON」に設定されていると、音声電話で発信し直します。
● お買い上げ時は、「OFF」（再発信しない）に設定されています。

1 待受画面で、●(5)(3)を押す。

● TV電話設定画面が表示されます。

2 (1)を押す。（音声自動再発信）

3 (1)を押す。（**ON**：再発信する）

再発信しないとき
● (2)を押します。

お知らせ
- 音声電話で再発信した場合の通話料金は､デジタル通信料ではなく､音声通話料になります。
- テレビ電話通信が開始された場合、音声自動再発信は行いません。
- ISDNの同期64KやPIAFSのアクセスポイント､3G-324M（☞P.86）に対応していないISDNのテレビ電話等（2004年3月現在）や間違い電話をかけたときなどは、音声自動再発信を行わないことがあります。また、通信料金が発生することもありますのでご注意ください。

テレビ電話で送信する画像や画質を設定する

相手の方に送信する代替画像などを設定することができます。

発信時の画像を設定する＜発信時自画像送信＞

相手の方に自分側のカメラ映像を送信するかどうかを設定します。
- お買い上げ時は､「ON」に設定されています。

1 待受画面で、●⑤③②を押す。
- 送信画像設定画面が表示されます。

2 ②を押す。（発信時自画像送信）

3 ②を押す。（**OFF**：自画像を送信しない）

自分側のカメラ映像を送信するとき
- ①を押します。

代替画像を設定する＜代替画像設定＞

テレビ電話中に自分側のカメラ映像の代わりに、相手の方に送信する画像に、静止画やキャラ電（☞『アプリケーション編』P.94）を設定することができます。
- マルチメディアのイメージに保存されているJPEG画像またはGIF画像で､「TV電話：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。
- お買い上げ時は、キャラ電の「ブンブン（Dimo）」が設定されています。
- 「ブンブン（Dimo）」をキャラ電から削除し、設定リセットをした場合､「TV電話通話中１」が代替画像に設定されます。

1 待受画面で、●⑤③②を押す。
- 送信画像設定画面が表示されます。

テレビ電話のかけかた／受けかた

次ページへ続く

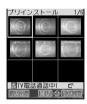
2 1を押す。（代替画像設定）

3 1を押す。（代替画像）

- イメージ画面が表示されます。

キャラ電を送信するとき

- 2を押し、キャラ電を選び、●を押します。

4 フォルダを選び、●を押す。

- フォルダ内の画像が表示されます。

5 画像を選び、i（決定）を押す。

お知らせ

- テレビ電話中に、i（代替画像）を押すと、設定した代替画像が送信されます。
- 代替画像を送信中、相手の方には、本FOMA端末で設定した静止画に「カメラオフ」という文字が重ねられて表示されます。キャラ電を設定している場合は、「カメラオフ」という文字は重ねられません。

応答保留や通話保留の画像を変更する<応答保留画像設定／保留画像設定>

テレビ電話にすぐに出ないときや、通話を保留するときに相手の方に送信する代替画像を設定します。

- マルチメディアのイメージに保存されているJPEG画像またはGIF画像で、「TV電話：176×144」（横×縦）サイズの静止画を利用できます。（GIFアニメーションは利用できません。）
- FOMA端末以外への出力が禁止されている静止画は利用できません。
- お買い上げ時は、それぞれ「TV電話応答保留」、「TV電話保留」が設定されています。

1 待受画面で、●532を押す。

- 送信画像設定画面が表示されます。

2 3を押す。（応答保留画像設定）

- イメージ画面が表示されます。

保留時の代替画像を設定するとき

- 4を押します。

3 フォルダを選び、◉（決定）を押す。

- フォルダ内の画像が表示されます。

4 画像を選び、ⓘを押す。

送信画像の画質を設定する<送信画質設定>

テレビ電話中に送信する画像の画質を設定することができます。

画質の種類

画質優先	撮影対象の形や色などを中心に伝えたいとき
標準	画質の美しさと動きのバランスをとるとき
動き優先	撮影対象の動きを中心に伝えたいとき

- お買い上げ時は、「標準」に設定されています。

1 待受画面で、◉⑤③⑥を押す。

2 画質を選び、◉を押す。

お知らせ
- 送信画質設定を行っても、受信側の設定が優先されることがあります。

FOMA端末で使用できる電話帳について

FOMA端末では、FOMA端末（本体）の電話帳と、FOMAカード電話帳の両方を使用することができます。FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳では登録できる項目や件数などが異なります。

- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の間や、FOMA端末（本体）電話帳とminiSDメモリーカードの間で電話帳データをコピーすることができます。（☞P.136、『アプリケーション編』P.338）

FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳の違い

FOMA端末（本体）の電話帳とFOMAカードの電話帳のそれぞれに、名前、電話番号、メールアドレスなどを登録することができます。

- FOMAカードは、複数のFOMA端末でお使いいただくことができますので、複数のFOMA端末で電話帳を共用したい場合は、FOMAカード電話帳に登録しておくと便利です。

	FOMA端末（本体）の電話帳	FOMAカードの電話帳
件数	750件	50件
名前の登録方法	姓と名に分けて登録	姓と名を合わせて登録
名前の登録文字数	姓と名を合わせて最大全角16文字（半角32文字）	姓と名を合わせて最大全角10文字（半角21文字）
フリガナ	半角カナ（最大32文字）	全角カナ（最大12文字）
グループの設定	20グループ	11グループ
アイコン	電話番号：６種類 メールアドレス：４種類	―
メモリ番号の設定	000～749	―
電話番号	１つの電話帳に最大３件	１つの電話帳に１件
メールアドレス	１つの電話帳に最大３件	１つの電話帳に１件
指定着信音選択	１つの電話帳に１件	―
指定メール着信音選択	１つの電話帳に１件	―
指定着信ランプ設定	１つの電話帳に１件	―
指定メール着信ランプ設定	１つの電話帳に１件	―
画像（ピクチャーコール設定）	１つの電話帳に１件	―

―：登録不可

FOMA端末（本体）電話帳に登録する

よくおかけになる電話番号を名前やメールアドレスなどといっしょに電話帳に登録しておくと、簡単な操作で電話をかけたり、ｉモードメールやSMSを送ったりできます。

- FOMA端末（本体）電話帳には、000〜749番の750件まで登録することができます。
- １件のFOMA端末（本体）電話帳に３件の電話番号と、３件のメールアドレスを登録することができます。
- カメラで撮影した静止画や動画、ｉモーションなどを、電話帳に登録することができます。画像を登録した相手の方から電話がかかってきたときは、相手の方の名前や電話番号と登録した画像がFOMA端末に表示されます。（電話帳１件につき、１つの画像を登録できます。）
- 文字の入力方法については、P.296〜P.318を参照してください。

登録できる内容

FOMA端末（本体）電話帳の入力画面

アイコン	項　目	内　容
	名前	相手の方の「姓」と「名」を入力します。「姓」「名」合わせて最大全角16文字（半角32文字）まで入力できます。
	フリガナ	フリガナが自動的に入力されます。修正することもできます。「姓」のフリガナ、「名」のフリガナ合わせて最大半角カナ32文字まで入力できます。
	グループ	電話帳をグループに分けて登録することができます。０〜19のグループに分けられ、１〜19は、グループ名を変更することもできます。
	電話番号	３件の電話番号を登録することができます。それぞれの電話番号を６つのアイコンで分類することもできます。
	メールアドレス	３件のメールアドレスを登録することができます。それぞれのメールアドレスを４つのアイコンで分類することもできます。
	メモ	相手の方の住所や誕生日などを自由に登録することができます。最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。
	シークレット登録	電話帳を表示しないようにすることができます。電話帳を他人に見られたくない場合に設定します。
	シークレットコード	相手の方がシークレットコードを登録している場合、相手の方から指定されたシークレットコードを入力します。メールを送信するときに使います。シークレットコードについては、P.112を参照してください。
	指定着信音選択	電話がかかってきたときに、設定した着信音や着モーションでお知らせします。
	指定メール着信音選択	メールを受信したときに、設定したメール着信音でお知らせします。
	指定着信ランプ設定	電話がかかってきたときに、設定したランプの色でお知らせします。
	指定メール着信ランプ設定	メールを受信したときに、設定したランプの色でお知らせします。
	ピクチャーコール設定	カメラで撮影した静止画や動画／ｉモーションを登録することができます。画像を登録した相手の方に電話をかけたり、相手の方から電話がかかってくると、相手の方の名前や電話番号と画像が表示されたり、電話帳リストに画像を表示させることができます。

次ページへ続く

お知らせ

- 電池パックを取り外したときに変化する登録・設定内容については、P.48を参照してください。
- 当社窓口にて機種変更時などに新機種へコピーできるのは、「名前」、「カナ」、「電話番号」、「メールアドレス」、「グループ設定」、「メモ」、「シークレット設定」です。なお、新機種の仕様によっては、FOMA端末に登録したデータをコピーできない場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- ピクチャーコール設定でｉモーションが設定されている場合の発信時の表示は、発着信画面設定（☞P.171）で設定された画像が表示されます。
- ピクチャーコールが設定されている場合でも、テレビ電話発信のときはバニティミラー機能（☞P.88）が優先されます。

電話帳に登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞『アプリケーション編』P.332）やデータリンクソフト（☞『アプリケーション編』P.404）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、電話帳に登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

基本的な登録のしかた

ここでは、電話帳に相手の方の名前（姓名）、電話番号、メールアドレスを登録する手順を例に、基本的な電話帳の登録方法を説明します。

1 待受画面で、㊞を１秒以上押す。

- 待受画面で、㊞ⓘを押しても表示できます。

2 1を押す。（本体新規）

3 相手の方の「姓」を入力する。

- 「名」と合わせて、最大全角16文字（半角32文字）で入力できます。
- 記号や絵文字も入力できます。

4 ●を押し、相手の方の「名」を入力する。

- 「姓」と合わせて、最大全角16文字（半角32文字）で入力できます。
- 記号や絵文字も入力できます。

5 ●を押す。

FOMA端末（本体）電話帳の入力画面

- 「ｶﾅ」の行に「姓」と「名」のフリガナが自動的に入力されます。「姓」と「名」をいったん入力したあとで、修正した場合、「フリガナ」には自動で反映されませんのでご注意ください。
- 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したときは、フリガナは自動的に入力されません。

フリガナが違っているとき

- 「ｶﾅ」の行を選び、●を押します。正しいフリガナに修正し、●を押します。
- 最大半角カナ32文字まで入力できます。

6 「☎」の行を選び、●を押す。

7 電話番号を入力する。

- 登録先が一般電話の場合でも、必ず市外局番から入力してください。
- 電話番号は26桁まで入力できます。13桁を超えると2行で表示されます。
- 電話番号には、「⁎」や「#」も入力できます。発信することもできます。
- 電話番号をメールアドレスにしている方の場合、「184」、「186」や「#31#」や「⁎31#」を付けて電話帳に登録すると、電話番号をｉモードメールやSMS送信時の宛先に選択した場合、正しく送信できません。
- ○を押すと「+」を入力することができます。国際電話をかけるときに電話番号の先頭に入力します。

電話番号を間違えたとき

- CLRを押すと、最後の1桁が消えます。また、CLRを1秒以上押すと、電話番号がすべて消えます。正しい番号を入力してください。

ポーズを入れるとき

- ポーズを入れたい位置で○を押します。「P」が表示されます。（「P」も1桁と数えます。）

8 ●を押し、表示するアイコンを選ぶ。

設定できるアイコンについて

アイコン	種類	アイコン	種類
☎	一般の電話		自宅の電話
	携帯電話		会社の電話
	テレビ電話		FAX

9 ●を押す。

電話番号を複数登録するとき

- 操作6～9をくり返します。

電話帳を利用する

次ページへ続く ▶▶

10 「✉」の行を選び、●を押し、相手の方のメールアドレスを入力する。

- 半角の英字、数字、一部の記号を最大で半角50文字まで入力できます。
- メールアドレスには、絵文字は入力できません。

「@」や「.」（ピリオド）を入力するとき

- 1をくり返し押します。
  また、⊞を１秒以上押すと、メールアドレスの一部を簡単に入力することができます。（☞P.307）

11 ●を押し、表示するアイコンを選ぶ。

設定できるアイコンについて

アイコン	内容	アイコン	内容
✉	メールアドレス	🏠✉	自宅のメールアドレス
📱✉	携帯電話のメールアドレス	🏢✉	会社のメールアドレス

12 ●を押す。

メールアドレスを複数登録するとき

- 操作10～12をくり返します。

続けて他の項目を設定登録するとき

- 続けて、グループ設定、メモ登録、シークレット登録、ｉモードメールのシークレットコード設定、ピクチャーコール設定、指定着信音または指定メール着信音設定、指定着信ランプまたは指定メール着信ランプ設定を行うことができます。（☞P.111～P.115、P.133）

13 ⓘ（完了）を押し、指定したいメモリ番号（３桁：**000～749**）を入力する。

操作ガイダンスに「完了」が表示されないとき

- 「姓」または「名」を入力してください。

メモリ番号を指定しないとき

- メモリ番号を入力せずに、●を押します。このときは、「010」～「749」の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号へ登録されます。「010」～「749」がすべて登録されているときは、「000」～「009」の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号へ登録されます。

お知らせ

- シークレットデータが登録してあるメモリ番号の電話帳は、シークレットモードをONに設定していない場合上書き登録することはできません。
- すでに電話帳を750件登録し、新規の電話帳を登録する場合は、メモリ番号を指定することにより、すでに登録されている電話帳に上書き登録されます。（FOMAカード電話帳の場合には上書き登録されません。）

メモリ番号について

- メモリ番号とは、電話帳１件ごとに付与される固有の番号です。FOMA端末では、000～749までのメモリ番号が指定できます。

こんな指定方法もあります

- 百の位の数字を１桁入力後、●を押します。
  入力した位（1の場合、100～199）の空いているメモリ番号の中で最も小さい番号へ登録されます。
- 百の位と十の位の数字を２桁入力後、●を押します。
  入力した位（1 2の場合、120～129）の空いているメモリ番号の中で、最も小さい番号へ登録されます。

編集中にｉモードメールやSMS、メッセージR／Fを受信すると

- 受信結果は表示されず、編集を続けることができます。

お知らせ

FOMAカードへのコピーについて

- FOMA端末（本体）に登録した電話帳をFOMAカードにコピーしたり（☞P.136）、FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末（本体）にコピーする（☞P.137）ことができます。

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）に登録した電話帳をminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞『アプリケーション編』P.338）、miniSDメモリーカード内の電話帳を表示する（☞『アプリケーション編』P.342）ことができます。
- miniSDメモリーカード内の電話帳をFOMA端末（本体）にコピーすることができます。（☞『アプリケーション編』P.343）
- 電話帳をminiSDメモリーカードに全件コピーした場合は、50音順になります。1件コピーした場合は、コピーした日付の古い順になります。

赤外線通信について

- FOMA端末に登録した電話帳を赤外線通信で送信したり（☞『アプリケーション編』P.328）、赤外線通信で電話帳を受信することができます。（☞『アプリケーション編』P.327）

記号や絵文字の使用について

- FOMA端末（本体）電話帳の「姓」、「名」やメモには、記号や絵文字も入力できますが、赤外線通信などでｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

グループを設定する

1 電話帳の入力画面（☞**P.107～P.110**）で、「👥」の行を選び、◉を押す。

- グループ選択画面が表示されます。

2 設定するグループを選び、◉を押す。

- グループが設定されます。
- 電話帳の登録を終了するときは、ⓘ（完了）を押すと、メモリ番号指定画面が表示されます。メモリ番号を入力してください。（☞P.110の操作13）

お知らせ

- グループ名を変更したり、グループごとに着信音や着信ランプを設定することもできます。また、グループごとに画像を登録することもできます。（☞P.131～P.132）

メモを登録する

1 電話帳の入力画面（☞**P.107～P.110**）で、「📝」の行を選び、◉を押す。

- メモ入力画面が表示されます。

2 相手の方の住所や誕生日などを入力し、◉を押す。

- 最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。
- 記号や絵文字も入力できます。
- メモが登録されます。
- 電話帳の登録を終了するときは、ⓘ（完了）を押すと、メモリ番号指定画面が表示されます。メモリ番号を入力してください。（☞P.110の操作13）

メールアドレスにシークレットコードを設定する

相手の方がシークレットコードを登録している場合、メールアドレスに相手の方から指定されたシークレットコードを設定しておくと、ｉモードメールを送るときにそのシークレットコードが付加されます。シークレットコードは、メールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」の場合のみ有効です。シークレットコードについて詳しくは、『アプリケーション編』P.121を参照してください。

1 電話帳の入力画面（☞P.107～P.110）で、「」の行を選び、●を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

メールアドレスが登録されていないとき
- 「メールアドレスが登録されていません」と表示されます。

2 1を押す。（コード設定）

- メールアドレスの選択画面が表示されます。

3 シークレットコードを登録するｉモードメールアドレスを選び、●を押す。

- コード設定画面が表示されます。

4 相手の方のシークレットコード（４桁）を入力する。

- 入力したシークレットコードは「＊」で表示されます。

5 「はい」を選び、●を押す。

- シークレットコードが設定され、メールアドレスが表示されます。
- 電話帳の登録を終了するときは、ⓘ（完了）を押すと、メモリ番号指定画面が表示されます。メモリ番号を入力してください。（☞P.110の操作13）

シークレットコードを設定しないとき
- 「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ
- シークレットコードには「0000」を設定することはできません。
- シークレットコードは、１件のメールアドレスに対してのみ設定できます。
- ご自分のシークレットコードの登録については、『アプリケーション編』P.153を参照してください。
- メールアドレスを「携帯電話番号＋シークレットコード@docomo.ne.jp」として電話帳に登録している場合は、その相手の方にメール送信や返信ができない場合があります。「携帯電話番号@docomo.ne.jp」に変更してから、シークレットコードの登録を行ってください。

設定されているシークレットコードを確認するとき
- 操作２で2を押します。設定されているシークレットコードが表示されます。

シークレットコードの設定を解除するとき
- 操作２で3を押します。

着信音や着モーションを設定する<指定着信音／指定メール着信音設定>

電話帳指定着信音を設定すると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきたときに、設定した着信音や着モーションでお知らせします。また、指定メール着信音を設定すると、電話帳に登録したメールアドレスからのメールを受信したときに、設定した着信音が鳴ります。

- メロディのほかに、ｉモードでダウンロードしたｉモーション、FOMA端末で記録した映像や音声を、音声電話やテレビ電話がかかってきたときに再生することもできます。
- マルチメディアのメロディから着信音、ｉモーションから着モーションを選ぶことができます。
- 複数の着信音が設定されているとき、着信音やメール着信音は次の優先順位で鳴ります。

	優先順位（高→低）
着信音	電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音
メール着信音	電話帳指定メール着信音→グループ指定メール着信音→通常のメール着信音

- 指定着信音、指定メール着信音を設定していても、通常の着信音、通常のメール着信音選択を「着信音なし」に設定すると着信音は鳴りません。

1 電話帳の入力画面（☞P.107～P.110）で、「♪」（指定着信音選択）の行を選び、⦿を押す。

指定メール着信音を設定するとき
- 「」（指定メール着信音選択）の行を選び、⦿を押します。

2 1（通常着信音）を押し、フォルダを選び、⦿を押す。

指定着信音に着モーションを設定するとき
- 2を押し、フォルダを選び、⦿を押します。
- 映像のみ、またはテロップをつけた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着信音に設定することはできません。
- 着信音設定が「不可」のｉモーションは着信音に設定できません。（☞『アプリケーション編』P.288）
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたｉモーションは着信音に設定できません。撮影した動画を着モーションに使用する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。

指定着信音設定／指定メール着信音設定を解除するとき
- 3を押します。

3 利用したい着信音を選ぶ。

- ⦿（確認）を押すと、着信音が再生されます。ⓘ（停止）を押すと再生が停止され、着信音選択画面に戻ります。

4 ⓘ（決定）を押す。

- 着信音が設定されます。
- 電話帳の登録を終了するときは、ⓘ（完了）を押すと、メモリ番号指定画面が表示されます。メモリ番号を入力してください。（☞P.110の操作13）

電話帳を利用する

次ページへ続く

お知らせ

- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。
- シークレット登録された相手の方から電話がかかってきたり、メールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。指定着信音選択／指定メール着信音選択の設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.133）を「ON」に設定してください。
- 電話帳のPIMロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。
- 指定メール着信音を利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで電話帳に登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- メール着信音にｉモーションを設定することはできません。
- 映像と音を含んだ動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合、着信画面設定やピクチャーコール設定に関係なく、動画／ｉモーションの映像が表示されます。
- 音のみの動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合、着信画面には「電話着信メイン１」の画像が表示されます。

着信ランプの色を設定する＜指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定＞

電話帳指定着信ランプを設定すると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきたときに、設定した着信ランプの色で点滅します。また、指定メール着信ランプを設定すると、電話帳に登録したメールアドレスからのメールを受信したときに、設定した着信ランプの色で点滅します。

- 複数の着信ランプが設定されているとき、着信ランプやメール着信ランプの色は次の優先順で決まります。

	優先順位（高→低）
着信ランプ	電話帳指定着信ランプ→グループ指定着信ランプ→通常の着信ランプ
メール着信ランプ	電話帳指定メール着信ランプ→グループ指定メール着信ランプ→通常のメール着信ランプ

1 電話帳の入力画面（☞P.107～P.110）で、「」（指定着信ランプ設定）の行を選び、◉を押す。

指定メール着信ランプを設定するとき

- 「」（指定メール着信ランプ設定）の行を選び、◉を押します。

2 着信ランプの色を選ぶ。

- 色を選ぶたびに、ピクチャーライト／着信ランプの色が変わります。

指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定を解除するとき

- 0を押します。

3 ◉を押す。

- 着信ランプの色が設定されます。
- 電話帳の登録を終了するときは、i（完了）を押すと、メモリ番号指定画面が表示されます。メモリ番号を入力してください。（☞P.110の操作13）

お知らせ

- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、通常の着信ランプの色で点滅します。
- 「ランダム」は、相手の方の発信者番号と日付によって、ランプがランダムに点灯します。
- 「レインボー」は、各色がグラデーション状に発光します。「ミックス」は、各色が連続発光します。「サイクロン」は各色が波打ちながら発光します。
- メール着信ランプを選択したときは、「4ランダム」は表示されません。
- シークレット登録された相手の方から電話がかかってきたり、メールを受信すると、通常の着信ランプの色で点滅します。指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定を有効にする場合は、シークレットモード（☞P.133）を「ON」に設定してください。
- 電話帳のPIMロック中に、電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信ランプの色で点滅します。
- 指定メール着信ランプを利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで電話帳に登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。

画像を設定する＜ピクチャーコール設定＞

- 相手表示設定が「OFF」の場合は、サブディスプレイに相手の方の電話番号や名前は表示されません。（☞P.180）
- 静止画は次の優先順位で表示されます。

	優先順位（高→低）
画像	電話帳のピクチャーコール設定→グループのピクチャーコール設定（☞P.132）

1 電話帳の入力画面（☞**P.107〜P.110**）で、「[画像]」の行を選び、●を押す。

2 1（イメージ）を押し、フォルダを選び、●を押す。

動画／iモーションを設定するとき

- 2を押し、フォルダを選び、●を押します。
- 音声のみ、またはテロップをつけた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、ピクチャーコールに設定することはできません。
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたｉモーションは着信音に設定できません。撮影した動画を着モーションに使用する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。

カメラで撮影するとき

- 3を押し、カメラで撮影します。
- カメラの撮影方法について詳しくは、『アプリケーション編』P.219〜P.226、P.231〜P.238を参照してください。

画像の設定を解除するとき

- 4を押します。

3 設定する画像を選び、i（決定）を押す。

- 画像が登録されます。
- 電話帳の登録を終了するときは、i（完了）を押すと、メモリ番号指定画面が表示されます。メモリ番号を入力してください。（☞P.110の操作13）

次ページへ続く

電話帳を利用する

お知らせ

- ピクチャーコールに設定できない静止画や動画／ｉモーションには、斜線が表示されて選択できません。リスト表示のときはグレーで表示されます。
- ピクチャーコールに設定した画像をマルチメディアから削除するときは、1件削除以外では削除できません。削除の確認画面が表示され、「はい」を選ぶと削除されます。
- カメラ撮影後のプレビュー画面で、(画面設定) を押し、(電話帳登録) を押すと、撮影した画像をピクチャーコールに設定することができます。
- 着信音にｉモーションが設定されている場合は、ピクチャーコール設定した画像は表示されません。ｉモーションに画像がある場合はその画像、ｉモーションに画像がない場合は、お買い上げ時の画像が表示されます。
- ピクチャーコールにｉモーションが設定されている場合は、相手表示設定（☞P.180）が「OFF」の場合でも、着信時サブディスプレイに設定されたｉモーションが表示されます。

リダイヤルや着信履歴などから登録する

リダイヤルや着信履歴、カメラのバーコードリーダー（☞『アプリケーション編』P.246）や文字読み取り（☞『アプリケーション編』P.249）、メール（☞『アプリケーション編』P.192）などからもFOMA端末（本体）電話帳に登録することができます。ここでは着信履歴からの登録方法を説明します。

1 待受画面で、（）を押す。

リダイヤルを表示するとき

- （）を押します。

2 電話番号を選び、を押す。（電話帳登録）

3 を押す。（本体新規）

- 電話帳内容確認画面が表示されます。選択した電話番号が入力されています。
- このあと、電話帳登録の操作を行ってください。（☞P.108～P.110）

追加するとき

- を押します。

電話帳を利用する

FOMAカード電話帳に登録する

FOMAカードの電話帳に登録することができます。FOMA端末（本体）と登録できる内容が一部異なります。
- FOMAカード電話帳には、最大50件まで登録できます。
- １件の電話帳に１件の電話番号と１件のメールアドレスを登録することができます。

登録できる内容

アイコン	項　目	内　容
（名前アイコン）	名前	相手の方の名前を入力します。最大全角10文字（半角21文字）まで入力できます。ただし、全角／半角が混在している場合は最大10文字となります。
ｶﾅ	フリガナ	名前のフリガナが自動的に入力されます。修正することもできます。最大全角カナ12文字まで入力できます。
（グループアイコン）	グループ	電話帳をグループに分けて登録することができます。00～10のグループに分けられ、01～10はグループ名を変更することもできます。
（電話番号アイコン）	電話番号	電話番号を１件登録できます。
（メールアドレスアイコン）	メールアドレス	メールアドレスを１件登録できます。

基本的な登録のしかた

FOMAカード電話帳の登録方法を説明します。

1 待受画面で、（電話帳ボタン）を１秒以上押す。

2 （2）を押す。（**FOMA**カード新規）

3 相手の方の「名前」を入力する。

- 最大全角10文字（半角21文字）で入力できます。
- 記号や絵文字も入力できます。

次ページへ続く

4 ◉を押す。

- 「ｶﾅ」の行に「名前」のフリガナが自動的に入力されます。「名前」をいったん入力したあとで、修正した場合、「フリガナ」には自動で反映されませんのでご注意ください。
- 名前に記号や絵文字を入力したときや、ワンタッチ変換で入力したときは、フリガナは自動的に入力されません。

フリガナが違っているとき

- 「ｶﾅ」の行を選び、◉を押します。正しいフリガナに修正し、◉を押します。
- 最大全角カナ12文字で入力できます。

5 「👥」の行を選び、◉を押す。

6 設定するグループを選び、◉を押す。

7 「☎」の行を選び、◉を押し、電話番号を入力する。

- 「FOMAカード（緑色）」をご使用のときは26桁まで入力できます。「FOMAカード（青色）」をご使用のときは20桁まで入力できます。
- 電話番号には、P、＋は入力できません。

電話番号を間違えたとき

- CLRを押すと、最後の１桁が消えます。また、CLRを１秒以上押すと、電話番号がすべて消えます。正しい番号を入力してください。

8 ◉を押す。

9 「✉」の行を選び、◉を押し、相手の方のメールアドレスを入力する。

- 半角の英字、数字、一部の記号を最大で半角50文字まで入力できます。
- メールアドレスには、絵文字は入力できません。

「@」や「.」（ピリオド）を入力するとき

- 1を繰り返し押します。また、iを１秒以上押すと、メールアドレスの一部を簡単に入力することができます。（☞P.307）

10 ◉を押す。

電話帳を利用する

11 ⓘ（完了）を押す。

お知らせ

- FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、電話帳検索で、FOMAカード電話帳をメモリ番号検索することはできません。

FOMA端末（本体）へのコピーについて

- FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末（本体）にコピーする（☞P.137）ことができます。
- FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末（本体）にコピーすると、フリガナは半角カナで登録されます。
- FOMAカード電話帳の名前には、文字や絵文字を入力できますが、赤外線通信などでｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

電話帳検索

電話帳から電話をかける

登録した電話帳を呼び出して電話をかけることができます。

電話帳の種類を選択する＜電話帳種別選択＞

検索する電話帳の種別（FOMA端末（本体）電話帳またはFOMAカード電話帳）をあらかじめ設定しておきます。

- お買い上げ時は、FOMA端末（本体）電話帳が設定されています。

1 待受画面で、◎を押す。

電話帳リスト画面

2 📷5を押す。（電話帳種別選択）

3 1を押す。（本体）

FOMAカード電話帳を選ぶとき

- 2を押します。

電話帳を利用する

電話帳の呼び出し方法（検索方法）を変更する<検索方法選択>

電話帳の検索のしかたには、フリガナ検索、グループ検索、メモリ番号検索があります。
- FOMAカード電話帳にはメモリ番号がないため、メモリ番号検索はできません。
- お買い上げ時は、「フリガナ検索」に設定されています。
- 待受画面でを押すと、前回選択した呼び出し方法で表示されます。

1 待受画面で、を押す。

- 電話帳種別選択で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、を押して電話帳の種別を選択します。

2 を押す。（検索方法選択）

3 利用する検索方法を選び、を押す。

- 選んだ検索方法で、電話帳が呼び出されます。

お知らせ
- 音声電話の通話中に（☞P.258）またはを押すと、電話帳を呼び出して表示することができます。

miniSDメモリーカード内の電話帳を表示するとき
- 電話帳リスト画面で、を押します。
- miniSDメモリーカード内の電話帳データの検索方法は、選択することができません。

名前で検索する<フリガナ検索>

1 待受画面で、Ⓒを押す。

電話帳リスト画面
（ア～オ行）

- 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、ⓘ5を押して電話帳の種別を選択します。

2 相手の方を選ぶ。

- ◐を押すと、前または次の行の画面が表示されます。
- ◐を押すと、１件ずつ選択できます。

フリガナを入力して選ぶとき（スピーディーサーチ）
- 相手の方のフリガナを１文字ずつ入力するたびに、入力した文字以降で最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

3 ●を押す。

電話帳内容
表示画面

- ◐で各アイコンを選び、●を押すと、次のような動作を行います。

アイコン	動作
☎	登録されている電話番号がダイヤルされます。
✉	登録されているメールアドレス宛のメール作成画面が表示されます。
♪	設定されている着信音または着モーションが再生されます。
	設定されている着信ランプが点滅します。
	設定されている静止画、動画／iモーションが表示されます。

4 または●を押す。

- 表示されている電話番号に発信されます。

テレビ電話をかけるとき
- ⓘ（TV電話）を押します。

お知らせ
- 電話帳リスト画面で、Ⓒを押すとページ単位で上にスクロールし、Ⓒを押すとページ単位で下にスクロールします。ただし、グループ検索画面ではグループ内のスクロールになります。
- 「フリガナ」の検索では次の順番で表示されます。
  カタカナ（50音→濁点•半濁点）→英字→数字→スペース→記号→「フリガナ」なし
  （フリガナの１文字目にスペースが入力されている場合は、数字の後、記号より前に表示されます。）
- フリガナ内にスペースがある場合は、上記の優先順位で表示されます。

グループで検索する<グループ検索>

1 待受画面で、Ⓜを押す。

- 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のグループ選択画面が表示されます。

2 グループを選び、●を押す。

電話帳リスト画面
（グループ1）

- 指定したグループ内の電話帳リスト画面が表示されます。
- 「フリガナ」の順（カタカナ→英字→数字→記号→「フリガナ」なし）に表示されます。

3 相手の方を選ぶ。

- ◀▶を押すと、電話帳が登録されている前または次のグループの画面が表示されます。
- ▲▼を押すと、１件ずつ選択できます。

フリガナを入力して選ぶとき（スピーディーサーチ）
- 相手の方のフリガナを１文字ずつ入力するたびに、現在のグループ内で最も近いフリガナの電話帳が順次表示されます。

4 ●を押す。

電話帳内容
表示画面

- 各アイコンを選び、●を押したときの動作については、P.121「名前で検索する」の操作３を参照してください。

5 ☎または●を押す。

- 表示されている電話番号で発信されます。

テレビ電話をかけるとき
- Ⓘ（TV電話）を押します。

お知らせ　グループ検索でFOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるとき
- 一度フリガナ検索にし（☞P.120）、電話帳種別選択（☞P.119）で電話帳を切り替えた後、再度グループ検索を選択してください。

メモリ番号で検索する<メモリ番号検索>

1 待受画面で、Ⓜを押す。

FOMA端末（本体）電話帳リスト画面（メモリ番号010～019）

- 検索方法選択（☞P.120）で設定したFOMA端末（本体）電話帳のリスト画面が表示されます。
- 電話帳の種別をFOMAカードに切り替えることはできません。

2 メモリ番号を入力する。

- ◐を押すと、表示されている電話帳の前後10番台のトップから表示されます。
- ◐を押すと、１件ずつ選択できます。

メモリ番号を入力して選ぶとき（スピーディーサーチ）

- 相手の方のメモリ番号を１桁ずつ入力するたびに、該当する電話帳が順次表示されます。たとえば、「185」を入力すると次のようになります。
  - ■ １桁目（「1」）を入力
    メモリ番号「100」～「109」の電話帳が表示
  - ■ ２桁目（「8」）を入力
    メモリ番号「180」～「189」の電話帳が表示
  - ■ ３桁目（「5」）を入力
    メモリ番号「185」の電話帳が選択

3 ◉を押す。

電話帳内容表示画面

- 各アイコンを選び、◉を押したときの動作については、P.121「名前で検索する」の操作３を参照してください。

4 ☎または◉を押す。

- 表示されている電話番号で発信されます。

テレビ電話をかけるとき

- ⓘ（TV電話）を押します。

電話帳を利用する

電話帳リスト画面の表示を変更する＜画像表示切替＞

電話帳のピクチャーコールに設定した画像を、電話帳リスト画面に表示することができます。

1 待受画面で、[電話帳]を押す。

- 電話帳リスト画面が表示されます。

2 [カメラ][4]を押す。

- miniSDメモリーカード内のデータを表示している場合、表示切替を行うことはできません。

お知らせ

- 電話帳の検索方法が「グループ検索」に設定されているときは、待受画面で[電話帳]を押し、グループを選択し、[決定]を押したあと、[カメラ][4]を押します。
- 電話帳リスト画面に静止画を表示しているときは、一番先頭の電話番号やメールアドレスのみが表示、選択できます。登録されている他の電話番号やメールアドレスを選択するときは、電話帳内容表示画面を表示して選択してください。
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能（☞『アプリケーション編』P.22）がはたらき、サイトなどからダウンロードした画像をピクチャーコール（☞P.115）に設定してあった場合、画像は表示されません。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。

電話帳内容表示画面で画像表示を切り替えるとき

- 電話帳内容表示画面で、[カメラ][9]を押します。
- miniSDメモリーカード内のデータを表示している場合、表示切替を行うことはできません。

電話帳を利用する

電話帳を使いこなす

発信方法を選択して電話をかける

音声電話やテレビ電話、国際電話、発信者番号を通知する／しないなど、電話帳を利用する場合もさまざまな発信方法を選択できます。

1 待受画面で、◎を押す。

- 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、◎5を押して電話帳の種別を選択します。

2 相手の方を選び、●を押す。

3 テレビ電話をかけるときは、◎（**TV電話**）を押す。

音声電話をかけるとき

- ●（音声電話）または☎を押します。

国際電話をかけるとき

- ◎6を押し、プレフィックス番号を選び、●を押し、☎を押します。

発信者番号非通知でかけるとき

- ◎4を押し、☎を押します。

発信者番号通知でかけるとき

- ◎5を押し、☎を押します。

送信する画像を設定してテレビ電話をかける<送信画像設定>

送信する画像を選択してからテレビ電話をかけることができます。

1 待受画面で、◎を押す。

- 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、◎5を押して電話帳の種別を選択します。

2 相手の方を選び、●を押す。

- 電話帳内容表示画面が表示されます。

次ページへ続く

3 (カメラ)(8)を押す。（送信画像設定）

4 (2)を押す。（代替画像）

自分側のカメラ映像を送信するとき
- (1)を押します。

5 (1)を押す。（イメージ）

キャラ電を送信するとき
- (2)を押し、キャラ電を選びます。そのあと、操作７へ進みます。

6 フォルダを選び、(●)を押し、画像を選び、(●)（確認）を押す。

- 選んだ画像が表示されます。

7 (●)（決定）を押し、(TV)（**TV**電話）を押す。

- 発信されます。
- テレビ電話を終了すると、送信画像設定は元に戻ります。

テレビ電話をかけるときの通信速度を設定する<通信速度設定>

テレビ電話をかけるとき、通信速度を変更することができます。
- お買い上げ時は、「64K」に設定されています。
- テレビ電話に対応したFOMA端末にテレビ電話をかける場合、通信速度は64Kでかけることをおすすめします。32Kによるテレビ電話は、ネットワーク状況によって64Kでのテレビ電話が利用できないPHS等の機器と接続するためのものです。64Kでテレビ電話をかけたときでも、相手の方が32Kエリア等の通信環境の場合、自動的に32Kに切り替えて再発信します。

1 待受画面で、(電話帳)を押す。

- 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
- FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、(カメラ)(5)を押して電話帳の種別を選択します。

2 相手の方を選び、(●)を押す。

- 電話帳内容表示画面が表示されます。

電話帳を利用する

3 を押し、「通信速度設定」を選び、を押す。

4 を押す。(32K)

● ディスプレイ上部に「」と表示されます。

通信速度を64Kにするとき

● を押します。

5 (TV電話)を押す。

● 発信されます。
● テレビ電話を終了すると、通信速度設定は元に戻ります。

iモードメールを作成する

電話帳を呼び出して登録されているメールアドレス宛にｉモードメールを作成することができます。

1 待受画面で、を押す。

● 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
● FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、を押して電話帳の種別を選択します。

2 相手の方を選び、を押す。

● 電話帳内容表示画面が表示されます。

3 メールアドレスを選び、(メール)を押す。

● メール作成画面が表示されます。選択したメールアドレスが入力されています。

4 ｉモードメールを作成し、送信する。

● 詳しくは，『アプリケーション編』P.128の操作５～６を参照してください。

登録内容をコピーする

登録されている電話帳内の電話番号やメールアドレスなどをコピーし、他の画面に貼り付けて使用することができます。

● コピーできる項目は、FOMA端末（本体）電話帳では、名前、電話番号１～３、メールアドレス１～３です。FOMAカード電話帳では、名前、電話番号、メールアドレスです。

1 待受画面で、を押す。

● 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
● FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、を押して電話帳の種別を選択します。

次ページへ続く

2 コピーしたい電話帳を選び、●を押す。

● 電話帳内容表示画面が表示されます。

3 ◐でコピーする項目を選び、📷3を押す。

● 選ばれた項目がコピーされます。
● 貼り付け方法については、P.311の「文字を貼り付ける」を参照してください。

電話帳編集

電話帳を修正する

登録内容を修正する

電話帳に登録・設定されている内容を、項目ごとに編集することができます。
● 登録・設定していない項目を新たに登録・設定することもできます。

1 待受画面で、📖を押す。

● 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
● FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、📷5を押して電話帳の種別を選択します。

2 電話帳を選び、📷2を押す。

FOMA端末（本体）電話帳の入力画面

3 編集する項目を選び、●を押し、編集する。

● 編集方法は、P.107「FOMA端末（本体）電話帳に登録する」、P.117「FOMAカード電話帳に登録する」を参照してください。

FOMA端末（本体）電話帳のとき
● 編集が終了したら、ⓘ（完了）を押します。同じメモリ番号に登録するときは、●を押し、「はい」を選び、●を押します。別のメモリ番号に登録するときは、登録するメモリ番号を入力してください。
● 電話帳が750件登録されているときは、新しいメモリ番号では登録できません。
● メモリ番号入力画面でCLRを１秒以上押し、メモリ番号を消去し●を押すと、空いているメモリ番号に登録することができます。（☞P.110）

FOMAカード電話帳のとき
● 編集が終了したら、ⓘ（完了）を押します。上書きするときは「はい」を選び、●を押します。

お知らせ ● 編集したい電話帳の内容表示画面で、📷1を押しても、編集できます。

電話帳データを削除する

1 待受画面で、Ⓜを押す。

● 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
● FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、Ⓜ5を押して電話帳の種別を選択します。

2 電話帳を選び、Ⓜ3を押す。（削除）

3 1を押す。（1件削除）

選んだグループ内のすべての電話帳を削除するとき
● 2を押し、削除するグループを選び、●を押します。端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押します。

すべての電話帳を削除するとき
● 3を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押します。

複数の電話帳をまとめて削除するとき
● 4を押し、削除したい電話帳を選び、●を押します。（メモリ番号、または画像（画像表示中の場合）が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されている電話帳を選び、●を押します。）
削除したい電話帳をすべて選び、ⓘ（完了）を押します。
● 最大50件まで選択できます。

4 「はい」を選び、●を押す。

削除しないとき
●「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ **電話帳の内容表示画面で操作するとき**
1 削除したい電話帳を選び、Ⓜ2を押す。
2 「はい」を選び、●を押す。

グループ名・着信音・着信ランプ・静止画を設定する

● FOMAカード電話帳の場合、グループ名編集のみ設定できます。

グループ名を登録／変更する<グループ名編集>

電話帳で使用するグループ名を、変更することができます。

● お買い上げ時に登録されているグループ名は次のとおりです。
FOMA端末（本体）電話帳：「00（指定なし）」、「01グループ１」～「19グループ19」
FOMAカード電話帳：「00（指定なし）」、「01グループ１」～「10グループ10」

●「00（指定なし）」は変更できません。

1 待受画面で、◎を押す。

● 検索方法選択（☞P.120）で設定した電話帳のリスト画面が表示されます。
● FOMA端末（本体）電話帳とFOMAカード電話帳を切り替えるときは、◎5を押して電話帳の種別を選択します。

電話帳の検索方法が「グループ検索」に設定されているとき
● グループを選択します。◎2を押し、操作４に進んでください。

2 ◎7を押す。（グループ設定）

● 現在のグループ名が表示されます。

FOMAカード電話帳が選択されているとき
● ◎6を押します。

3 登録／変更するグループ名を選び、●を押す。

グループ設定画面

4 1（グループ名編集）を押し、グループ名を入力／修正する。

● グループ名の入力文字数は次のとおりです。
FOMA端末（本体）電話帳：最大全角10文字（半角20文字）
FOMAカード電話帳：最大全角10文字（半角21文字）
ただし、全角／半角が混在している場合や、半角カナが含まれている場合は、最大10文字となります。
● FOMAカード電話帳のグループ名に半角記号を入力した場合は、自動的に全角記号として登録されます。

5 ●を押す。

● グループ名が変更されます。
● 変更が終わったら、ⓘ（完了）を押します。

お知らせ グループ名を元に戻すとき
- 操作４でCLRを１秒以上押してグループ名をすべて削除したあと、●を押し、i（完了）を押します。お買い上げ時のグループ名に戻ります。

グループごとの着信音や着モーションを設定する<グループ指定着信音／グループ指定メール着信音>

グループ内の相手の方から電話がかかってきたときの着信音や着モーション、メールが送られてきたときの着信音を設定することができます。
- 着信音、メール着信音の優先順位については、P.113を参照してください。
- FOMAカード電話帳には設定できません。

1 グループ設定画面を表示する。（☞**P.130**の操作１～３）

2 2を押す。（指定着信音選択）

グループ指定メール着信音を選ぶとき
- 3を押します。
- メール着信音に動画／ｉモーションを設定することはできません。

3 1を押し、フォルダを選び、●を押す。（通常着信音）

グループ指定着信音に着モーションを設定するとき
- 2を押し、フォルダを選び、●を押します。
- 映像のみ、またはテロップをつけた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着信音に設定することはできません。
- 着信音設定が「不可」のｉモーションは着信音に設定できません。（☞『アプリケーション編』P.288）
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたｉモーションは着信音に設定できません。撮影した動画を着モーションに使用する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。

4 利用したい着信音を選ぶ。

- ●（確認）を押すと、着信音が再生されます。i（停止）を押すと再生が停止され、着信音選択画面に戻ります。

5 i（決定）を押す。

- 着信音が設定されます。
- 設定が終わったらi（完了）を押します。

お知らせ
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、通常の着信音が鳴ります。
- グループ内のシークレット登録された相手の方から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。グループ指定着信音／グループ指定メール着信音の設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.134）を「ON」に設定してください。
- グループメール着信音を設定するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで電話帳に登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 映像と音を含んだ動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合、着信画面設定やピクチャーコール設定に関係なく、動画／ｉモーションの映像が表示されます。
- 音のみの動画／ｉモーションを着モーションとして設定した場合、着信画面には「電話着信メイン１」の画像が表示されます。

グループごとの着信ランプの色を設定する<グループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプ>

グループ内の相手の方から電話がかかってきたり、メールが送られてきたとき、設定した色で着信ランプを点滅させてお知らせすることができます。
- 着信ランプ、メール着信ランプの優先順位については、P.114を参照してください。
- FOMAカード電話帳には設定できません。

次ページへ続く

1 グループ設定画面を表示する。（☞P.130の操作１～３）

2 4を押す。（指定着信ランプ設定）

グループ指定メール着信ランプの色を選ぶとき
- 5を押します。

3 着信ランプの色を選び、●を押す。

- 色を選ぶたびに、ピクチャーライト／着信ランプの色が変わります。
- 着信ランプの色が設定されます。
- 設定が終わったら、i（完了）を押します。

お知らせ
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、通常の着信ランプの色で点滅します。
- グループ内のシークレット登録された相手の方から電話がかかってきたり、メールを受信すると、通常の着信ランプの色で点滅します。グループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプの設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.134）を「ON」に設定してください。
- グループメール着信ランプを利用するときは、相手のメールアドレスをドメイン名まで電話帳に登録する必要があります。ただし、相手のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話番号のみをメールアドレスとして登録してください。
- 指定メール着信ランプを選択したときは、「4ランダム」は表示されません。

グループごとの画像を設定する<グループ指定ピクチャーコール設定>

グループ内の相手の方から電話がかかってきたとき、設定した画像を表示させてお知らせすることができます。
- 画像の優先順位については、P.115を参照してください。
- FOMAカード電話帳には設定できません。

1 グループ設定画面を表示する。（☞P.130の操作１～３）

2 6を押す。（ピクチャーコール設定）

- ピクチャーコール設定画面が表示されます。

3 1（イメージ）を押し、フォルダを選び、●を押す。

動画／iモーションを設定するとき
- 2を押し、フォルダを選び、●を押します。
- 音声のみ、またはテロップをつけた動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは、着信音に設定することはできません。
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたｉモーションは着信音に設定できません。撮影した動画を着モーションに使用する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。

カメラで撮影するとき
- 3を押し、カメラで撮影します。
- カメラの撮影方法について詳しくは、『アプリケーション編』P.219～P.230を参照してください。

画像の設定を解除するとき
- 4を押します。

4 設定する画像を選び、i（決定）を押す。

- 画像が登録されます。
- 設定が終わったら、i（完了）を押します。

お知らせ
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、通常の電話着信画面が表示されます。
- グループ内のシークレット登録された相手の方から電話がかかってくると、通常の電話着信画面が表示されます。グループピクチャーコールの設定を有効にするには、シークレットモード（☞P.134）を「ON」に設定してください。
- 設定できない画像には、斜線が表示されて選択できません。リスト表示のときはグレーで表示されます。

シークレットモード

他人に見られたくない電話帳を守る

シークレットデータに設定した電話帳は、端末暗証番号（☞P.183）を入力してFOMA端末をシークレットモードにしない限り、呼び出しができなくなりますので、他の人に見られたくない電話帳を守ることができます。
- FOMAカード電話帳には、シークレットデータとして登録することができません。

シークレットデータとして登録する＜シークレット登録＞

1 電話帳の入力画面（☞**P.107〜P.110**）で、「🔑」の行を選び、◉を押す。

2 1を押す。（**ON**：シークレット登録する）

通常の電話帳に戻すとき
- 2を押します。

3 ⓘ（完了）を押す。

- このあと、同じメモリ番号に登録するときは、◉を押し、「はい」を選び◉を押します。別のメモリ番号に登録するときは、登録するメモリ番号を入力して、電話帳の登録を完了してください。（☞P.110）

お知らせ
- メモリ番号「000」〜「099」に登録した電話帳をシークレットデータに設定すると、シークレットモード（☞P.134）にしないとツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。
- シークレットデータに設定されている電話帳のメールアドレスも、シークレットモードにしないと呼び出すことはできません。

シークレットデータを呼び出すとき
- シークレットモード（☞P.134）を設定した状態で、通常の電話帳と同様の操作で呼び出します。（電話帳リスト画面でシークレットデータを選ぶと、「🔑」が点滅します。）
- 呼び出したあとは、発信や編集など、通常の電話帳と同様の操作を行うことができます。

リダイヤル、着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴、スケジュールでの表示について
- シークレットデータに設定した電話帳の電話番号やメールアドレスの場合、名前は表示されず、電話番号やメールアドレスが表示されます。名前を表示させるには、シークレットモードを「ON」に設定してください。

シークレットモードを設定／解除する

シークレットモードを設定すると、「🔑」が点灯し、シークレットデータと通常の電話帳が呼び出せるようになります。

- シークレットモードを解除すると、通常の電話帳のみを呼び出すことができます。
- 電源を切ると、シークレットモードは解除されます。
- お買い上げ時は、「OFF」（解除）に設定されています。

1 待受画面で、●⑥①を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

2 ①を押す。（**ON**：設定する）

解除するとき

- ②を押します。「🔑」が消灯します。

お知らせ

- グループ内のシークレット登録された相手の方から電話がかかってきたりメールを受信すると、通常の着信音が鳴ります。指定着信音／指定メール着信音設定やグループ指定着信音／グループ指定メール着信音の設定を有効にするには、シークレットモードを「ON」にしてください。
- グループ内のシークレット登録された相手の方から電話がかかってきたり、メールを受信すると、通常の着信ランプの色で点滅します。指定着信ランプ設定／指定メール着信ランプ設定やグループ指定着信ランプ／グループ指定メール着信ランプの設定を有効にするには、シークレットモードを「ON」にしてください。

少ないボタン操作で電話をかける

メモリ番号000～099に登録した電話帳は、簡単な操作で電話をかけることができます。

- 電話帳に電話番号が複数登録されている場合は、1件目に登録されている番号がダイヤルされます。
- 番号非通知や番号通知、プレフィックス選択など、電話帳の内容表示画面から行う操作はできません。
- FOMAカード電話帳の登録先に、ツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。

1 待受画面で、メモリ番号の下1桁または下2桁の数字を押す。

- メモリ番号000～009に登録した場合は、下1桁の数字に対応する0～9を押します。
- メモリ番号010～099に登録した場合は、下2桁の数字に対応する10～99を押します。

2 ☎を押す。

- 指定したメモリ番号の電話帳に登録されている電話番号がダイヤルされます。
- テレビ電話のときは、iを押します。

お知らせ

- 電話帳のPIMロック中は、ツータッチダイヤルを使用できません。（☞P.194）
- メモリ番号 000 ～ 099 に電話帳をシークレットデータとして登録した場合は、あらかじめシークレットモードに設定しておかないと、ツータッチダイヤルで電話をかけることはできません。（☞P.133、P.134）

電話帳をFOMAカードに保存する

FOMA端末（本体）とFOMAカードの間で、電話帳のデータをコピーすることができます。

● データのコピー中は、音声電話やテレビ電話の発信、メールの送信やｉモード接続はできません。また、アシスタントビュー機能を使って他の機能を起動することもできません。音声電話やテレビ電話の着信、メールの受信をすることはできます。
● 電話帳種別選択（☞P.119）を、あらかじめ「本体電話帳」に設定しておいてください。

FOMA端末（本体）電話帳をFOMAカード内の電話帳にコピーする

1 待受画面で、Ⓜを押し、電話帳を選ぶ。

● コピーしたいデータを選びます。

電話帳の内容を確認してからコピーするとき

● ⦿を押して電話帳の内容表示画面を表示し、Ⓜ✱を押します。そのあと、操作４へ進みます。

2 Ⓜ8を押す。（FOMAカードへコピー）

3 1を押す。（１件コピー）

選択コピーするとき

● 2を押し、コピーしたい電話帳を選び、⦿を押します。（メモリ番号、または画像（画像表示中の場合）が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されている電話帳を選び、⦿を押します。）
コピーしたい電話帳をすべて選び、ⓘ（完了）を押します。
● 最大50件まで選択できます。

4 「はい」を選び、⦿を押す。

● コピーが開始されます。

コピーしないとき

●「いいえ」を選び、⦿を押します。

お知らせ

- FOMAカードが挿入されていない場合、この機能を利用することはできません。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、１つの電話帳に登録できる電話番号／メールアドレスの件数が異なるため、FOMA端末（本体）に登録された２番目以降の電話番号／メールアドレスはFOMAカードへコピーできません。また、使える文字や文字数も異なるため、コピーできないことがあります。コピーできないデータがあるときは、「一部コピーできないデータがあります　コピーしますか？」というメッセージが表示されます。「はい」を選び、◉を押すと、１番目の電話番号／メールアドレスがコピーされます。
- シークレットデータとして登録された電話帳は、シークレットモードにしないとFOMAカードへコピーできません。
- FOMA端末（本体）に登録した電話帳をFOMAカードにコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - ■ FOMA端末（本体）の「姓」と「名」が合わせてFOMAカードの「名前」に登録されます。全角10文字（半角21文字）を超えた分は破棄されます。
  - ■ FOMA端末（本体）の「姓」のフリガナと「名」のフリガナが合わせてFOMAカードのフリガナに全角カナ文字で登録されます。さらに、FOMAカードにコピーした電話帳をFOMA端末（本体）にコピーすると、フリガナは半角カナで登録されます。
  - ■ 電話番号に「p」および「+」が含まれている場合、FOMAカードにコピーすると「p」および「+」は除いて登録されます。
  - ■ FOMA端末（本体）電話帳のグループ名と同じグループ名がFOMAカード電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは「（指定なし）」となります。なお、全角記号と半角記号は別文字として扱われます。
- FOMA端末（本体）とFOMAカードでは、利用できる文字の種類が異なるため、一部の利用できない文字がスペースに変換される場合があります。
- 電話帳データをコピーしても転送元のデータは残ります。
- データのコピー中に転送先の最大登録（保存）件数を超えたときは、「メモリがいっぱいです　これ以上登録できません」というメッセージが表示されます。すでに登録（保存）されているデータの中で、不要なものを削除した後、コピーされなかったデータのコピーをやり直してください。

FOMAカード内の電話帳をFOMA端末（本体）電話帳にコピーする

電話帳種別選択（☞P.119）をあらかじめ「FOMAカード電話帳」に設定しておいてください。

1 待受画面で、📖を押し、コピーしたいデータを選ぶ。

電話帳の内容を確認してからコピーするとき

- ◉を押して電話帳の内容表示画面を表示し、📷0を押します。そのあと、操作４へ進みます。

2 📷7を押す。（本体へコピー）

電話帳を利用する

次ページへ続く

3 1を押す。（1件コピー）

選択コピーするとき

- 2を押し、コピーしたい電話帳を選び、●を押します。（メモリ番号、または画像（画像表示中の場合）が「☑」に変わります。選択を解除するときは、「☑」が表示されている電話帳を選び、●を押します。）
  コピーしたい電話帳をすべて選び、i（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

4 「はい」を選び、●を押す。

- コピーが開始されます。

コピーしないとき

- 「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ

- FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末（本体）にコピーすると、各項目は次のように登録されます。
  - ■ FOMAカード電話帳の名前、フリガナは「姓」と「名」の区別がないため、FOMA端末（本体）電話帳の「姓」、「姓」のフリガナとして登録されます。
  - ■ FOMAカードに登録した電話帳をFOMA端末（本体）にコピーすると、フリガナは半角カナで登録されます。
  - ■ FOMAカード電話帳の電話番号、メールアドレスは、FOMA端末（本体）電話帳のそれぞれ1件目に保存されます。
  - ■ FOMAカード電話帳のグループ名と同じグループ名がFOMA端末（本体）電話帳にあるときは、そのまま登録されます。同じグループ名がないときは、「（指定なし）」となります。
  - ■ メモリ番号は010～749→000～009の順で、使用していないメモリ番号が割り当てられます。
- 他のFOMA端末で登録したFOMAカードのデータを本FOMA端末にコピーする場合、半角英数記号（。「」、・゛゜を除く）以外のラテン文字、ギリシャ文字、一部の記号または区点コード一覧にない全角文字はスペースで表示されます。

メモリ確認

電話帳の登録状況を確認する

電話帳の登録件数、シークレットデータの件数などを確認することができます。

1 待受画面で、●31を押す。

- 本体メモリ確認画面が表示されます。
- ○を押すと、他の機能のメモリ使用状況を確認することもできます。
- i（miniSD）を押すとminiSDメモリーカードメモリ確認画面が表示されます。
- もう一度i（FOMAカード）を押すと、FOMAカードメモリ確認画面が表示されます。
- インジケータおよび目盛りは目安です。

お知らせ

- シークレットデータの件数を確認するには、あらかじめシークレットモードを「ON」に設定してください。

電話から鳴る音を消す

公共の場所などで電話の音を周囲に出したくないときは、マナーモードを利用しましょう。ボタン１つでFOMA端末から音が鳴らないようにすることができます。

- マナーモード設定中も、カメラのシャッター音、動画の録画開始音／停止音は鳴ります。ただし、キャラ電撮影（☞『アプリケーション編』P.98）のときは鳴りません。
- マナーモードを設定すると、以下の機能のON/OFFが次のように設定されます。この設定は、オリジナルマナーモードで変更できます。（☞P.140）

機能	設定
伝言メモ	ON
着信バイブレータ	ON
マナートーク	ON

マナーモードを設定する

1 待受画面、通話中、着信中のいずれかで、#を１秒以上押す。

- 「設定しました」と表示され、マナーモードになります。（「」点灯）
- 着信中に操作したときは、着信音が止まり、マナーモードが設定されます。この設定は以降も有効となります。電話に出ないと、相手の方の用件が録音されます。ただし、すでに３件の伝言メモ／音声メモが録音されている場合は、伝言メモは設定されません。
なお、を押すと電話に出ることができます。

マナーモード設定時の待受中、着信中は（お買い上げ時の状態）

- 次の音は鳴らなくなります。
ボタン確認音、エラー音（ピッピッピッ）、警告音、ウェイクアップ音、メロディ再生音（確認画面を表示）、ｉアプリのメロディ／効果音、オープン音、クローズ音、充電開始／完了音、電池残量確認音、応答保留音、オートフォーカス音、通話中保留音、バーコード認識音など
- 次の音はバイブレータによるお知らせに変わります。
各種着信音、アラーム音、タイマー音など
- 伝言メモが自動的に設定されます。また、メニュー操作による伝言メモの設定／解除（☞P.79）はできません。

マナーモードを解除する

1 待受画面、通話中、着信中のいずれかで、#を１秒以上押す。

- 「解除しました」と表示され、マナーモードが解除されます。（「」消灯）

お知らせ

マナーモードを設定していないときに着信音を止めたいときは（クイックサイレント）

- 着信中に#を押します。その着信に限り、着信音を止めることができます。
- 着信中にを押すと着信音が止まり、サブメニューが表示されます。着信拒否、伝言メモ録音、着信転送、留守転送を選ぶことができます。
- FOMA端末を閉じているときは、（背面中央ボタン）を１秒以上押します。

マナートークについて

- 通話中にマナーモードを設定すると、マイクの感度が高くなり、小さな声でお話しできます。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マナートークを設定していてもマイク感度は変わりません。

マナーモードを変更する

マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（伝言メモ、着信バイブレータ、マナートークモード）の「ON」／「OFF」を設定することができます。
● お買い上げ時は、いずれも「ON」（設定）に設定されています。

1 待受画面で、(●)(1)(4)を押す。

2 伝言メモを解除するときは、(2)を押す。（**OFF**：解除する）

● 着信バイブレータ画面が表示されます。

伝言メモを設定するとき
● (1)を押します。

3 着信バイブレータを解除するときは、(2)を押す。（**OFF**：解除する）

● マナートーク画面が表示されます。

着信バイブレータを設定するとき
● (1)を押します。

4 マナートークを解除するときは、(2)を押す。（**OFF**：解除する）

マナートークを設定するとき
● (1)を押します。

お知らせ
● オリジナルマナーモードの伝言メモを「OFF」に設定していても、伝言メモ（☞P.79）を「ON」に設定していると、伝言メモが動作します。
● マナーモード設定中でも、オリジナルマナーモードを変更することができます。
マナートークを設定すると
● マナーモード設定時の通話中はマイクの感度が高くなり、小さな声でお話しできるようになります。ただし、ハンズフリーでの通話中は、マナートークを設定していてもマイク感度は変わりません。

着信やアラームを振動で知らせる

着信音やアラーム音を鳴らしたくないときは、バイブレータを設定しましょう。３種類の中から選んだ振動またはメロディとの連動で着信やアラームをお知らせすることができます。

- 電話の着信とメールの着信で、それぞれ別々に設定することができます。
- バイブレータを設定すると、アラーム動作時も振動でお知らせします。
- アラーム動作時のバイブレータは着信バイブレータの設定に従います。
- バイブレータと音量の設定は連動していません。着信音やアラーム音を鳴らしたくないときは、音量を「SILENT」に設定する必要があります。バイブレータ設定中でも音量は別途設定できます。（☞P.75、P.204）
- メロディに設定されているバイブレータを利用することもできます。（メロディ連動）
- お買い上げ時は、電話、メール共に「OFF」に設定されています。

1 待受画面で、●(1)(3)を押す。

2 (1)を押す。（着信バイブレータ）

- 着信バイブレータ画面が表示されます。

メールの着信バイブレータを設定するとき

- (2)を押します。

3 バイブレータの種類を選び、●を押す。

- バイブレータを設定すると、待受画面に「」が表示されます。
- ()でパターン１～３を選ぶと、動作を確認することができます。（動作確認中はピクチャーライト／着信ランプが点滅します。）
- 設定できるパターンは次のとおりです。

OFF	バイブレータは動作しません。
パターン１	約0.8秒振動→約0.8秒停止のくり返し
パターン２	約0.3秒振動→約0.3秒停止→約0.3秒振動→約１秒停止のくり返し
パターン３	連続振動
メロディ連動	● バイブレータが動作するように作成されているメロディを着信音にしているとき、メロディからの指示でバイブレータを動作させる機能です。 ● バイブレータが動作するように作成されていないメロディを着信音にすると、「パターン１」で振動します。

次ページへ続く

お知らせ

- バイブレータを設定した場合、机の上等にFOMA端末を置いておくと、着信があったとき落下する恐れがありますのでご注意ください。
- バイブレータを設定しても、Flash画像（☞『アプリケーション編』P.61）の効果音が鳴る場合は、振動しません。
- マナーモード中にマナー設定の着信バイブレータを「ON」に設定し、バイブレータ設定を「OFF」に設定している場合、バイブレータは「パターン１」で振動します。
- GIFアニメーション（内蔵の場合は、待受画面メイン９）、Flash画像（内蔵の場合は、待受画面メイン７、８）を待受画面に設定した場合、「」はアニメーションが終了するまで表示されません。

応用操作編

呼出動作をすぐに開始しないようにする

電話帳に登録されていない相手の方（相手の方が電話番号を通知してこない場合も含む）から電話がかかってきたとき、あらかじめ設定した秒数後に着信音が鳴るように設定することができます。無音時間中は、メインディスプレイのみに着信画面が表示されます。

- 無音時間を設定した場合、呼出開始前に切れた電話を、着信履歴に表示するかどうかを設定することもできます。
- お買い上げ時は、「00秒」（すぐに着信音を鳴らす）に設定されています。

1 待受画面で、●1 7を押す。

2 無音時間（2桁：**00～99**秒）を入力し、●を押す。

3 1を押す。（**ON**：着信履歴に表示する）

着信履歴に表示しないとき

- 2を押します。

お知らせ

- 不在着信履歴表示を「OFF」に設定した場合は、着信履歴で📷9（全表示）を押すとすべての履歴を見ることができます。このあと、着信履歴で📷9（限定表示）を押すと再び履歴を表示させないようにできます。
- 伝言メモや留守番電話サービスを設定しているとき、無音時間設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービスの呼出時間より短く設定してください。
- 電話帳のPIMロック中は、電話帳登録している相手の方からの電話でも無音時間設定の動作となります。
- 無音時間設定と電話帳登録外着信拒否を同じに設定した場合、電話帳登録外着信拒否を優先して動作します。

指定した電話番号からの電話だけを受ける

電話帳の中から指定した、特定の相手の方からの電話だけをつながるようにすることができます。それ以外の電話番号からの電話（相手の方が電話番号を通知してこない場合も含む）は、つながらなくなります。
電話帳指定着信許可を設定するには、登録されている電話帳から着信許可するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。

- 電話帳指定着信許可に設定している相手の方が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながりませんので、ガイダンスの案内により「番号の通知のお願い」を行う、番号通知お願いサービスも併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信拒否、電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否、TV電話着信拒否を設定しているときは、電話帳指定着信許可は設定できません。
- 着信許可以外の相手の方へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに「着信あり」と表示され、着信履歴に名前または電話番号が記憶されます。
- 電話帳のPIMロック中は動作せず、すべての電話がつながります。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみ設定できます。

着信を許可する電話番号を登録する

電話帳指定着信許可の相手先電話番号は、最大20件まで登録することができます。

1 待受画面で、(●)(6)(3)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「✱」で表示されます。

2 (1)を押す。（電話帳指定着信許可）

- 電話帳指定許可画面が表示されます。

「電話帳指定拒否を解除してください」と表示されたとき

- 電話帳指定着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.148）

「着信拒否設定を解除してください」と表示されたとき

- 電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否、TV電話着信拒否のいずれかの着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。

3 (3)を押す。（リスト登録）

- すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。

「PIMロック中です」と表示されたとき

- 電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.194）

4 登録するリストの番号を選び、(●)を押す。

- 電話帳リスト画面が表示されます。

次ページへ続く

5 電話帳リスト画面で、登録する相手先電話番号を選ぶ。

- 選択された電話番号のみが登録されます。

6 ●を押す。

登録リスト画面

- 電話帳指定着信許可の相手先電話番号として、電話帳のリスト画面で表示されている電話番号が登録されます。（登録リストには、電話帳の名前が登録されます。）
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作４～６をくり返します。

電話帳指定着信許可を利用するには

- このあと、電話帳指定着信許可を設定します。

お知らせ

- 電話帳指定着信許可のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信許可に設定している場合は、電話帳の修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）は行えません。
- 番号通知お願いサービスについては、P.280を参照してください。
- 電話帳リスト画面で静止画を表示している場合、電話番号は１つ目の電話番号の 16 桁までしか表示されません。電話番号をすべて表示したい場合は、電話帳リスト画面で(i)（確認）を押し、内容表示画面を表示するか、(📷)(4)（表示切替）を押して、操作を行ってください。

相手先電話番号を削除するとき

1 操作４で削除する相手先を選び、●を押す。
2 (2)を押し、「はい」を選び、●を押す。

相手先電話番号を変更するとき

1 操作４で変更する相手先を選び、●を押す。
2 (1)を押し、変更する電話番号を選び、●を押す。

指定した番号からの着信を許可する

- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 待受画面で、●(6)(3)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

2 (1)を押す。（電話帳指定着信許可）

- 電話帳指定許可画面が表示されます。

「電話帳指定拒否を解除してください」と表示されたとき

- 電話帳指定着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.148）

「着信拒否設定を解除してください」と表示されたとき

- 電話帳登録外着信拒否、非通知設定着信拒否、公衆電話着信拒否、通知不可能着信拒否、TV 電話着信拒否のいずれかの着信拒否が設定されています。解除してからやり直してください。

3 (1)を押す。（ON：設定する）

- リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信許可が設定されます。

解除するとき

(2)を押します。

「PIMロック中です」と表示されたとき

- 電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.194）

指定した電話番号からの電話を受けない

電話帳の中から指定した、特定の相手の方からの音声電話やテレビ電話をつながらないようにすることができます。それ以外の電話番号からの電話（相手の方が電話番号を通知してこない場合も含む）はつながります。
電話帳指定着信拒否を設定するには、登録されている電話帳から着信拒否するすべての相手先電話番号をリストに登録し、そのあとで一括して設定します。

- 電話帳指定着信拒否に設定している相手の方が発信者番号を通知してこなかった場合、電話はつながります。ガイダンスの案内により「番号の通知のお願い」を行う、番号通知お願いサービスや、非通知理由別着信拒否も併せて設定することをおすすめします。
- 電話帳指定着信許可を設定しているときは、電話帳指定着信拒否は設定できません。
- 電話帳のPIMロック中は動作せず、すべての電話がつながります。
- 拒否した相手の方へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに「着信あり」と表示され、着信履歴に名前などが記憶されます。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- FOMAカード電話帳の電話番号は設定できません。FOMA端末（本体）電話帳に登録された電話番号のみ設定できます。

着信を拒否する電話番号を登録する

電話帳指定着信拒否の相手先電話番号は、最大20件まで登録することができます。

1 待受画面で、●６３を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

2 ２を押す。（電話帳指定着信拒否）

- 電話帳指定拒否画面が表示されます。

「電話帳指定許可を解除してください」と表示されたとき

- 電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.146）

3 ４を押す。（リスト登録）

- すでに他の方を登録しているときは、名前が表示されます。

「PIMロック中です」と表示されたとき

- 電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.194）

4 登録するリストの番号を選び、●を押す。

- 電話帳リスト画面が表示されます。

5 電話帳のリスト画面で、登録する相手の方の電話番号を選ぶ。

- 選択された電話番号の方のみが登録されます。

次ページへ続く

6 ◉を押す。

登録リスト画面

- 電話帳指定着信拒否の相手先電話番号として、電話帳のリスト画面で表示されている電話番号が登録されます。（登録リストには、電話帳の名前が登録されます。）
- 続けて、他の相手先電話番号を登録するときは、操作４～６をくり返します。

電話帳指定着信拒否を利用するには
- このあと、電話帳指定着信拒否を設定します。

お知らせ
- 電話帳指定着信拒否のリストに登録した電話帳を修正・削除すると、登録した内容も修正・削除されます。ただし、電話帳指定着信拒否に設定している場合は、電話帳の修正・削除（グループ内全件削除・全件削除は可能）は行えません。
- 番号通知お願いサービスについては、P.280を参照してください。
- 非通知理由別着信拒否については、P.150を参照してください。
- 電話帳リスト画面で静止画を表示している場合、電話番号は１つ目の電話番号の 16 桁までしか表示されません。電話番号をすべて表示したい場合は、電話帳リスト画面で（確認）を押し、内容表示画面を表示するか、（表示切替）を押して、操作を行ってください。

相手先を削除するとき
1 操作４で削除する相手先を選び、◉を押す。
2 を押し、「はい」を選び、◉を押す。

相手先を変更するとき
1 操作４で変更する相手先を選び、◉を押す。
2 を押し、登録する電話番号を選び、◉を押す。

指定した番号からの着信を拒否する

- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 待受画面で、◉を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「*」で表示されます。

2 を押す。（電話帳指定着信拒否）

- 電話帳指定拒否画面が表示されます。

「電話帳指定許可を解除してください」と表示されたとき
- 電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.146）

3 を押す。（ON：設定する）

- リスト登録をしていないときはリスト登録画面が表示されます。リスト登録が終わると電話帳指定着信拒否が設定されます。

解除するとき
- を押します。

テレビ電話のみを拒否するとき
- を押します。

「PIMロック中です」と表示されたとき
- 電話帳のPIMロックが設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.194）

電話帳未登録の相手からの電話を受けない

電話帳に登録されていない相手の方からの電話をつながらないように設定できます。

- ガイダンスの案内により「番号通知のお願い」を行う、番号通知お願いサービスも併せて設定することをおすすめします。
- お買い上げ時は、「許可」に設定されています。

1 待受画面で、●⑥③を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

2 ③を押す。（電話帳登録外）

- 電話帳登録外拒否画面が表示されます。

「電話帳指定許可を解除してください」と表示されたとき

- 電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.146）

「PIMロック中です」と表示されたとき

- 電話帳のPIMロックが設定されています。電話帳のPIMロックを解除してからやり直してください。（☞P.194）

3 ②を押す。（拒否）

許可するとき

- ①を押します。

お知らせ

- 相手の方には、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに「着信あり」と表示され、着信履歴に記憶されます。
- 無音時間設定と電話帳登録外着信拒否を同時に設定した場合、電話帳登録外着信拒否を優先して動作します。

発信者番号のわからない電話を受けない

発信者番号が通知されない着信があった場合、電話番号が通知されない理由（非通知理由）が通知されます。非通知理由によって、電話を受けないように設定できます。

- 着信拒否として指定した非通知理由に該当する相手の方から、電話がかかってきた場合、電話はつながらなくなります。それ以外の非通知理由の場合はつながります。着信拒否の相手の方へは、話中音が流れます。このとき、ディスプレイに「着信あり」と表示され、着信履歴に非通知理由が記憶されます。
- ガイダンスの案内により番号の通知のお願いを行う番号通知お願いサービスも併せて設定することをおすすめします。なお、テレビ電話着信時は番号通知お願いサービスを「開始」に設定しても、番号通知お願いガイダンスが流れず、通常のテレビ電話着信になります。（番号通知お願いサービスはご利用になれません。）
- 電話帳指定着信許可を設定しているときは、非通知理由別着信拒否は設定できません。
- SMSやｉモードメールは、この機能に関係なく受信されます。
- お買い上げ時は、いずれの非通知理由別着信拒否も「許可」に設定されています。

非通知理由別の種類

非通知設定	発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合。
公衆電話	公衆電話などから発信した場合。
通知不可能	海外からの着信や一般電話から各種転送サービスを経由しての着信など、発信者番号を通知できない相手から発信した場合。（ただし、経由する電話会社などにより発信者番号が通知される場合もあります。）

1 待受画面で、●6 3を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

2 非通知理由の種類（4非通知設定、5公衆電話または6通知不可能）を選び、●を押す。

「電話帳指定許可を解除してください」と表示されたとき

- 電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.146）

3 2を押す。（拒否）

許可するとき

- 1を押します。

テレビ電話を受けない

テレビ電話を受けないように設定できます。
● お買い上げ時は、「許可」に設定されています。

1 待受画面で、●⑥③を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

● 入力した端末暗証番号は、「*」で表示されます。

2 ⑦を押す。（**TV**電話）

「電話帳指定許可を解除してください」と表示されたとき
● 電話帳指定着信許可が設定されています。解除してからやり直してください。（☞P.146）

3 ②を押す。（拒否）

許可するとき
● ①を押します。

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを指定して電話をかけられるように設定できます。ISDN端末に電話をかけるときに、特定の端末を呼び出すことができます。

- お買い上げ時は、「ON」に設定されています。
- サブアドレスとは、1つのISDN回線に接続された複数のISDN端末を呼び分けるために付けられた番号です。また、M-Stage Vライブでコンテンツを選択するときにも利用します。

1 待受画面で、(●)(5)(0)を押す。

2 (1)を押す。（**ON**：サブアドレス指定可能）

解除するとき

- (2)を押します。

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスは、電話番号のあとに(＊)を付けてダイヤルします。

- 電話番号とサブアドレスは相手の方にお問い合わせください。

1 待受画面で、電話番号、(＊)、サブアドレスの順にダイヤルする。

2 (発信)を押す。

お知らせ

- 電話番号の先頭に(＊)を入力したときは、(＊)以降は電話番号とみなされます。
- 「184」、「186」、「＊31#」、「#31#」、プレフィックス設定で付加された番号のあとに(＊)を入力したときは、(＊)以降は電話番号とみなされます。

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

ノイズキャンセラを設定すると、通話中に周囲の騒音を抑えることで、通話が明瞭に行えるようになります。
- ノイズキャンセラはテレビ電話中も有効です。
- お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

1 待受画面で、●⑤①を押す。
- ノイズキャンセラ画面が表示されます。

2 ①を押す。（**ON**：設定する）

解除するとき
- ②を押します。

お知らせ
- 通常は、「ON」でのご使用をおすすめします。
- ノイズキャンセラでは、通話を明瞭にするために音声の加工処理をしています。周囲のノイズ状態や、話しかたにより、音声の聞こえかたが変わることがあります。

再接続機能

途切れた通話を自動的に再接続する

トンネルやビルの影などでは一時的に電波の状態が悪くなり、電話が途切れることがあります。すぐに電波状態がよくなった場合に自動的に再接続して、通話を継続できるようにします。再接続時はアラーム音でお知らせします。
- アラーム音は、高音／低音／アラームなしから選ぶことができます。
- 再接続機能はテレビ電話中も有効です。
- お買い上げ時は、「アラームあり（高音）」に設定されています。

1 待受画面で、●⑤②①を押す。
- 再接続設定画面が表示されます。

2 ①を押す。（アラームあり（高音））

低音にするとき
- ②を押します。

アラーム音を鳴らさないとき
- ③を押します。

お知らせ
- 電波の状態により、再接続可能な時間は異なります。目安としては約10秒間です。
- 再接続されるまでの間（最長10秒間）は、相手の方は無音状態になります。また、この間も通話料金がかかります。

通話品質アラーム

通話が途切れそうなときにアラームで知らせる

電波状態等の関係で、通話が途中で切れそうなとき、直前にアラーム音でお知らせします。
- 通話品質アラームは音声電話のみに対応しています。
- アラーム音は、高音／低音／アラームなしから選ぶことができます。
- お買い上げ時は、「アラームあり（高音）」に設定されています。

1 待受画面で、●⑤②②を押す。
- 通話品質アラーム画面が表示されます。

2 ①を押す。（アラームあり（高音））

低音にするとき
- ②を押します。

アラーム音を鳴らさないとき
- ③を押します。

お知らせ
- 急に通話品質が悪くなったときは、アラーム音が鳴らずに通話が切れてしまうこともあります。
- テレビ電話中は、アラームは鳴りません。

通話保留音

通話中の保留音を設定する

通話を保留にしたとき、相手の方へ流す保留音を「保留メロディ１」または「保留メロディ２」に設定することができます。
- 通話中の保留音は受話音量と同じ音量で流れます。
- お買い上げ時は、「保留メロディ１」に設定されています。

1 待受画面で、●①⑧②を押す。

2 保留音を選び、●を押す。
- ⓘ（再生）を押すと、保留音が再生されます。もう一度ⓘ（停止）を押すと、再生が停止され、元の画面に戻ります。
- 「保留メロディ１」にMAHLER GUSTAVのADAGIETTOを使用しています。

応答保留ガイダンスを設定する

応答保留中に相手の方へ流れるガイダンスを設定できます。応答保留音１（日本語）、応答保留音２（英語）から選択することができます。

応答保留音１…「ただいま電話に出ることができません。そのままお待ちになるか、しばらくたってからおかけ直しください。」

応答保留音２…「I can't take your call now. Please hold the line for a moment or call me back later, thank you.」

● お買い上げ時は、「応答保留音１」に設定されています。

1 待受画面で、●1 8 1を押す。

2 1を押す。（応答保留音１）

● i（再生）を押すと、応答保留音が再生されます。もう一度 i（停止）を押すと、再生が停止され、元の画面に戻ります。

英語のガイダンスを設定するとき

● 2を押します。

ダイヤルボタンを押して電話に出られるようにする

以外のダイヤルボタン（0、1～9、*）を押しても、電話を受けることができるように設定することができます。

● テレビ電話は、とi以外で受けることはできません。

● お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

1 待受画面で、●5 6を押す。

2 1を押す。（**ON**：設定する）

エニーキーアンサーを解除するとき

● 2を押します。

クローズ動作設定

FOMA端末を閉じたときの動作を設定する

通話中にFOMA端末を閉じたときの動作を設定することができます。
「保留」（保留音を流す）、「終話」（通話を終了する）、「ミュート」（保留音を流さずに通話を保留する）のいずれかを選ぶことができます。
● お買い上げ時は、「終話」に設定されています。

1 待受画面で、●55を押す。

2 1を押す。（保留）

「ミュート」に設定するとき

● 3を押します。

「終話」に設定するとき

● 2を押します。

お知らせ 「ミュート」または「保留」に設定すると

● 通話中にFOMA端末を閉じると保留状態になり、サブディスプレイには保留中を示すアニメーションが表示されます。
  ■ 「保留」に設定しているときは、保留音が流れます。保留音は変更することができます。（☞P.154）テレビ電話の場合、相手の方には保留画像設定（☞P.104）で設定した画像が送信されます。
  ■ 「ミュート」に設定しているときは、保留音（☞P.154）は鳴りません。テレビ電話の場合、代替画像設定（☞P.103）で静止画を設定したときは、相手の方には設定した静止画が送信されます。キャラ電を設定したときは、設定に関係なく「ブンブン」が送信されます。
  ■ 再びお話しするときは、FOMA端末を開きます。（相手の方とお話しできます。）
● 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売品）などを接続しているときは、ここでの設定にかかわらず、FOMA端末を閉じても通話が継続されます。
  ■ テレビ電話の場合、代替画像設定（☞P.103）で設定した代替画像が相手の方に送信されます。その後、FOMA端末を開いて自分側の映像をカメラ映像に切り替えることができます。（☞P.101）
  ■ FOMA端末を閉じた状態でイヤホンマイクを抜くと、保留状態になります。再びイヤホンマイクを接続するか、FOMA端末を開くと、お話しできます。

PLMN設定

通信事業者名を設定する

お客様がご利用になるFOMAサービスを提供するPLMN（通信事業者名）を設定することができます。

※ ドコモのFOMAサービスをご利用の場合、設定を変更する必要はありません。

● お買い上げ時は、「ネットワーク自動検索」に設定されています。
● ドコモ以外の通信事業者は選択できません。

1 待受画面で、●5＊を押し、2を押す。

● ネットワーク手動選択画面が表示されます。

2 ご利用になる**PLMN**を選び、●を押す。

● 選んだPLMNが設定されます。

積算情報を確認／リセットする

前回の音声電話通話時間とデジタル通信通話時間（テレビ電話通話時間＋64Kデータ通信時間）、積算の音声電話通話時間、積算のデジタル通信通話時間、前回のリセット日時を確認することができます。またリセットすることもできます。

- 通話時間は、かけた場合とかかってきた場合の両方ともカウントされます。

通話時間を表示する

1 待受画面で、◉ 3 ＊ を押す。

- 一度もリセットしていない場合には、前回リセット日時は「----/--/--(--)--:--」と表示されます。

2 確認を終わるときは、☎ を押す。

お知らせ 通話時間について

- 表示される通話時間はあくまでも目安であり、実際の時間とは異なることがあります。
- テレビ電話はデジタル通信のため「デジタル通信通話時間」としてカウントされます。
- 前回の音声電話の通話時間やデジタル通信通話時間が９時間59分59秒を超えると０分０秒からカウントします。
- 積算の音声通話時間やデジタル通信通話時間が999時間59分59秒を超えると０分０秒からカウントします。
- 電源を切っても、前回の通話時間や積算の記憶は消えません。
- 着信中や相手の方を呼び出している時間はカウントされません。
- ｉモード利用中の通信時間や通信料金はカウントされません。ｉモード利用料金などの確認方法については、ｉモードご契約時にお渡しする『FOMA ｉモード操作ガイド』を参照してください。

積算情報をリセットする

直前および積算の通話時間の記憶を「０」に戻すことができます。

1 待受画面で、◉ 3 ＊ を押す。

- 通話時間画面が表示されます。

2 ◉（リセット）を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

3 「はい」を選び、◉を押す。

- 前回リセット日時に、リセットした年月日と曜日と時間が登録されます。
- 時計が設定されていないときは、「--/--　--:--」と登録されます。

リセットしないとき

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

FOMA端末の着信音や着モーションを変更する

FOMA端末の着信音や着モーションを変えることができます。FOMA端末の内蔵メロディ、miniSDメモリーカードから読み込んだメロディ、iモードメールで受信したメロディやiモードでダウンロードしたメロディを、着信音に設定することができます。

- 着モーション（☞『アプリケーション編』P.29）、iモードでダウンロードしたiモーション、FOMA端末で記録した映像や音声を、音声電話やテレビ電話がかかってきたときに再生することもできます。
- マルチメディアのメロディから着信音、iモーションから着モーションを選ぶことができます。
- お買い上げ時は、「着信音1」に設定されています。

1 待受画面で、[●][1][2][1]を押す。

メール着信音を変更するとき

- [●][1][2][2] を押します。設定方法については『アプリケーション編』（☞P.198～P.199）を参照してください。
- メール着信音に動画／iモーションを設定することはできません。

オープン音、クローズ音、シャッター音、タイマー音を変更するとき

- [●][1][2][3]を押します。設定方法については、P.161～P.164を参照してください。
- 各種設定音に動画／iモーションを設定することはできません。

2 [1]を押す。（音声電話着信音）

TV電話着信音を変更するとき

- [2]を押します。

公衆電話着信音を変更するとき

- [3]を押します。

非通知設定着信音を変更するとき

- [4]を押します。

通知不可能着信音を変更するとき

- [5]を押します。

3 [1]を押す。（メロディ）

着モーションを設定するとき

- [2]を押します。
- 映像のみ、またはテロップをつけた動画／iモーション、再生制限のある動画／iモーションは、着信音に設定することはできません。
- 着信音設定が「不可」のiモーションは着信音に設定できません。（☞『アプリケーション編』P.288）
- miniSDメモリーカードからFOMA端末（本体）にコピーしたiモーションは着信音に設定できません。撮影した動画を着モーションに使用する場合は、FOMA端末（本体）に録画してください。

着信音を鳴らさないとき

- [3]を押します。

4 フォルダを選び、[●]を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

5 利用したい着信音を選ぶ。

- [●]（確認）を押すと、データが再生されます。[i]（停止）を押すと、再生が停止され、元の画面に戻ります。

マナーモードが設定されているとき

- 確認画面が表示されます。「はい」を選び、[●]を押します。

6 （決定）を押す。

お知らせ

- 着信音量（☞P.75）を「SILENT（サイレント）」に設定しても、利用したい着信音は、サブメニュー「7音量変更」で設定した音量で再生されます。
- 複数の着信音が設定されているとき、着信音は次の優先順位で鳴ります。

	優先順位（高→低）
着信音	電話帳指定着信音→グループ指定着信音→通常の着信音

- 指定着信音、指定メール着信音を設定していても、通常の着信音、通常のメール着信音選択を「着信音なし」に設定すると着信音は鳴りません。

あらかじめ登録されている着信音

曲名／表示名	作曲者名	曲名／表示名	作曲者名
陽気なセニョリータ	ー	海辺の街	ー
風の吹く島	ー	市場の喧騒	ー
ラ・クカラーチャ	メキシコ民謡	雅ーMIYABIー	ー
ラ・クンパルシータ	MATOS RODRIGUEZ GERARDO H	OP（標準）※1	ー
情熱のアンダルシア	ー	OP（HipHop）※1	ー
津軽三味線	ー	OP（クラシック）※1、※4	BACH JOHANN SEBASTIAN
The Valley	ー	OP（OPEN）※1	ー
ガヴォット	GOSSEC FRANCOIS JOSEPH	OP（レーザー）※1	ー
愛のあいさつ	ELGAR EDWARD	CL（標準）※2	ー
ウィリアム・テル序曲	ROSSINI GIOACCHINO ANTONIO	CL（HipHop）※2	ー
着信音１	ー	CL（クラシック）※2、※4	BACH JOHANN SEBASTIAN
着信音２	ー	CL（CLOSE）※2	ー
英語（電話）	ー	CL（爆発）※2	ー
英語（メール）	ー	標準音　※3	ー
黒電話	ー	時間です　※3	ー
アラーム	ー	It's time　※3	ー
クリスタル	ー		

※１　オープン音用のメロディです。（☞P.161）
※２　クローズ音用のメロディです。（☞P.161）
※３　タイマー用のメロディです。（☞P.163）
※４　トッカータとフーガの一部を利用しています。

お知らせ

- 電話帳指定着信音を設定すると、電話帳に登録した電話番号から電話がかかってきたときに、設定した着信音が鳴ります。また、指定メール着信音を設定すると、電話帳に登録したメールアドレスからのメールを受信したときに、設定した着信音が鳴ります。
- 発信者番号を通知しない電話がかかってきたときは、非通知設定着信音が鳴ります。
- 映像と音を含んだｉモーションを着モーションとして設定した場合、着信画面設定に関係なく、ｉモーションの映像が表示されます。
- 音のみのｉモーションを着モーションとして設定した場合、着信画面には「電話着信メイン１」の画像が表示されます。

登録したｉメロディは、パソコンをお持ちの場合は、miniSDメモリーカード（☞『アプリケーション編』P.332）データリンクソフト（☞『アプリケーション編』P.404）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。（再配布不可のメロディは転送できません。）

- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって登録内容が消失する場合があります。万が一、登録してある内容が消失しても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ボタン確認音

ボタンを押したときの音量を変更する

FOMA端末のボタンを押したときの音量（ボタン確認音）を変更することができます。

- 「SILENT」（サイレント）に設定すると、電池残量確認音やボタンを押したときの音が鳴らなくなります。
- マナーモード設定中は、この機能の設定にかかわらず、ボタン確認音は鳴りません。
- お買い上げ時は、「LEVEL３」に設定されています。

1 待受画面で、●1あ1あ3さを押す。

2 1あを押す。（ボタン確認音）

- ボタン確認音画面が表示されます。

3 「**SILENT**」（サイレント）、「**LEVEL 1**」（音量１）～「**LEVEL 5**」（音量５）を選び、●を押す。

お知らせ
- TV電話中（☞『アプリケーション編』P.94）、キャラ電プレーヤ中（☞『アプリケーション編』P.90）、キャラ電撮影中（☞『アプリケーション編』P.98）のキャラクター操作では、ボタン確認音は鳴りません。

充電開始音／充電完了音

充電時の確認音量を変更する

- マナーモード設定中は、この機能の設定にかかわらず、充電開始音・充電完了音は鳴りません。
- お買い上げ時は、どちらも「LEVEL３」に設定されています。

1 待受画面で、●1あ1あ3さを押す。

- 各種設定音量選択画面が表示されます。

2 4たを押す。（充電開始音）

- 充電開始音画面が表示されます。

充電完了時の音量を変更するとき
- 5なを押します。

3 「**SILENT**」（サイレント）、「**LEVEL 1**」（音量１）～「**LEVEL 5**」（音量５）を選び、●を押す。

電話機を開閉したときに鳴る音を変更する

電話機を開閉したときに鳴る音の音色を変更する

FOMA端末を開いたとき、閉じたときの音色を変更することができます。
- ｉモーションを待受画面に設定しているとき、オープン音は鳴りません。
- マルチメディアのメロディから選ぶことができます。
- お買い上げ時は、どちらも「標準音」に設定されています。

1 待受画面で、●①②③を押す。

2 ①を押す。（オープン音）

FOMA端末を閉じたときの音を変更するとき
- ②を押します。

3 ②を押す。（メロディ）

マルチメディアのメロディのフォルダ一覧が表示されます。

標準音にするとき
- ①を押します。

オープン音／クローズ音を鳴らさないとき
- ③を押します。

4 フォルダを選び、●を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

5 利用したいメロディを選ぶ。

- ●（確認）を押すと、データが再生されます。ⓘ（停止）を押すと、再生が停止され、元の画面に戻ります。

マナーモードが設定されているとき
- 確認画面が表示されます。「はい」を選び、●を押します。

6 ⓘ（決定）を押す。

鳴動時間の設定画面が表示されたとき
- 音が鳴っている時間（２桁：00～99秒）を入力し、●を押します。
- お買い上げ時は、オープン音／クローズ音はどちらも「３秒」に設定されています。

お知らせ
- 着信音量（☞P.75）を「SILENT（サイレント）」に設定しても、利用したい着信音は、サブメニュー「7音量変更」で設定した音量で再生されます。
- 動画／ｉモーションをオープン音／クローズ音に設定することはできません。

電話機を開閉したときに鳴る音の音量を変更する

● お買い上げ時は、どちらも「LEVEL3」に設定されています。

1 待受画面で、●1 1 3を押す。

● 各種設定音量選択画面が表示されます。

2 2を押す。（オープン音）

● オープン音画面が表示されます。

FOMA端末を閉じたときの音量を変更するとき

● 3を押します。

3 「**SILENT**」（サイレント）、「**LEVEL1**」（音量１）～「**LEVEL5**」（音量５）を選び、●を押す。

タイマーでお知らせする音を変更する

タイマーでお知らせする音の音色を変更する

タイマーの音色を変更することができます。

- マルチメディアのメロディから選ぶことができます。
- お買い上げ時は、「標準音」に設定されています。

1 待受画面で、●1234を押す。

2 2を押す。（メロディ）

- マルチメディアのメロディのフォルダ一覧が表示されます。

標準音にするとき

- 1を押します。

タイマー音を鳴らさないとき

- 3を押します。

3 フォルダを選び、●を押す。

- メロディ一覧が表示されます。

4 利用したいメロディを選ぶ。

- ●（確認）を押すと、データが再生されます。i（停止）を押すと、再生が停止され、元の画面に戻ります。

マナーモードが設定されているとき

- 確認画面が表示されます。「はい」を選び、●を押します。

5 i（決定）を押す。

鳴動時間の設定画面が表示されたとき

- 音を鳴らす時間（2桁：00〜99秒）を入力し、●を押します。
- お買い上げ時は、「15秒」に設定されています。

お知らせ

- 着信音量（☞P.75）を「SILENT（サイレント）」に設定しても、利用したい着信音は、サブメニュー「7音量変更」で設定した音量で再生されます。

タイマーでお知らせする音の音量を変更する

● お買い上げ時は、「LEVEL3」に設定されています。

1 待受画面で、(●)(1)(1)(3)を押す。

● 各種設定音量選択画面が表示されます。

2 (6)を押す。（タイマー音）

● タイマー音画面が表示されます。

3 「**SILENT**」（サイレント）、「**LEVEL1**」（音量１）～「**LEVEL5**」（音量５）を選び、(●)を押す。

シャッター音

カメラのシャッター音を変更する

シャッター音を、あらかじめ登録されている５種類のパターンから選ぶことができます。

● お買い上げ時は、「標準音」に設定されています。

1 待受画面で、(●)(1)(2)(3)(3)を押す。

2 利用したいシャッター音を選ぶ。

● (i)（再生）を押すと、シャッター音が再生されます。(i)（停止）を押すと、再生が停止され、元の画面に戻ります。

マナーモードが設定されているとき

● 確認画面が表示されます。「はい」を選び、(●)を押します。

3 (●)を押す。

お知らせ ● カメラのシャッター音の音量は変更できません。（マナーモード設定中も鳴ります。）

待受画面の表示を変更する

画像を待受画面に設定する

■ メインディスプレイに表示する

あらかじめ登録されている静止画やカメラで撮影した静止画、動画、サイトでダウンロードした静止画やFlash画像、ｉモーション、ｉモードメールで受信した画像など、マルチメディアに保存されている画像を、待受画面に表示することができます。

- マルチメディアのイメージのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーション、Flash画像や、ｉモーション内の動画／ｉモーションを利用できます。
- 映像のない動画／ｉモーション、再生制限のある動画／ｉモーションは待受画面に設定することができません。（ASFファイルも設定することができません。）
- お買い上げ時は、「待受画面 メイン１」に設定されています。

1 待受画面で、●21 1を押す。

- 待受画面設定［メイン］画面が表示されます。

2 1を押す。（イメージ）

- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

動画／ｉモーションを設定するとき

- 2を押します。

3 フォルダを選び、●を押す。

- フォルダ内の画像が表示されます。

画像を確認するとき

- 画像を選び、●（確認）を押します。戻るときは、CLRを押します。
- 動画／ｉモーションの場合は、●（一時停止）を押すと再生を一時停止します。続きを再生するときは●（再生）を押します。戻るときは、ｉ（停止）を押します。

4 画像を選び、ｉを押す。

- 待受画面に設定されます。

動画／ｉモーションのとき

- 「Sub QCIF：128×96」（横×縦）サイズの動画／ｉモーションの場合は、等倍または拡大を選び●を押し、待受画面に表示されるサイズを選びます。（Sub QCIFサイズ以外は「等倍・拡大」選択はできません。）
- 動画／ｉモーションの音量は、オープン音の音量で設定できます。

次ページへ続く

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定された静止画は選択できません。
- 保存したFlash画像は、サイトでの見えかたと異なる場合があります。
- Flash画像や動画／ｉモーションは最初の一コマ目が待受画面として表示されます。また、再生中にを押すと、Flash画像の場合は一時停止、動画／ｉモーションの場合は停止（先頭に戻る）となります。再度を押すと、再生が再開されます。
- 画像を待受画面に設定した場合、元の画像を削除しても、待受画面の設定を変更するまで画面は保持されます。
- ｉアプリ待受画面（☞『アプリケーション編』P.84）を設定している場合、待受画面にはｉアプリが表示されます。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、待受画面設定した画像が表示されます。
- ｉモーション待受画面からWeb To機能（☞『アプリケーション編』P.60）はご利用になれません。
- 設定したGIFアニメーションは、コマ落ちなど、サイトやインターネットホームページでの見えかたと異なる場合があります。
- GIFアニメーション（内蔵の場合は、待受画面メイン９）、Flash画像（内蔵の場合は、待受画面メイン７、８）を待受画面に設定した場合、次のマークはアニメーションが終了するまで表示されません。
  - ■ バイブレータ表示（☞P.141）
  - ■ 留守番電話新メッセージあり（☞P.266）
  - ■ スケジュール／アラーム表示（☞P.213）
  - ■ 伝言メモ表示（☞P.79）
  - ■ サイレント表示（☞P.75）
  - ■ ドライブモード表示（☞P.76）
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能（☞『アプリケーション編』P.22）がはたらき、サイトなどからダウンロードした画像を待受画面に設定してあった場合、待受画面の設定がお買い上げ時の画像に戻ります。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。
- miniSDメモリーカード内の画像を設定した場合､設定値表示欄にタイトル名は表示されません｡

サブディスプレイに表示する

あらかじめ登録されている静止画やカメラで撮影した静止画、サイトでダウンロードした静止画やｉモードメールで受信した静止画など、マルチメディアのイメージに保存されている静止画を、サブディスプレイの待受画面に表示することができます。

- マルチメディアのイメージの JPEG 画像、GIF 画像、GIF アニメーションを表示できます。（Flash画像・動画やｉモーションは表示できません。）
- お買い上げ時は、「待受画面サブ１」に設定されています。

1 待受画面で、2221を押す。

- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び、を押す。

- フォルダ内の静止画が表示されます。

静止画を確認するとき

- 静止画を選び､（確認）を押します｡を押すと元の画面に戻ります｡

3 静止画を選び、を押す。

- FOMA端末を閉じると、サブディスプレイに静止画が表示されます。

表示範囲指定画面が表示されたとき

- 選択された静止画が「サブ待受：160 × 120」（横×縦）サイズより大きいときは、表示範囲指定画面が表示されます。で表示位置を指定して、を押し、もう一度、を押します。

お知らせ

- FOMAカード動作制限機能が設定された静止画は選択できません。
- 画像を待受画面に設定した場合、元の画像を削除しても、待受画面の設定を変更するまで画面は保持されます。
- サブディスプレイ表示に対応しているｉアプリを待受画面に設定している場合、サブディスプレイの待受画面に画像を設定しても、画像は表示されません。ｉアプリ待受画面を解除すると、画像が表示されます。
- FOMAカードを別のFOMAカードに差し替えると、FOMAカード動作制限機能（☞『アプリケーション編』P.22）がはたらき、サイトなどからダウンロードした画像を待受画面に設定してあった場合、待受画面の設定がお買い上げ時の画像に戻ります。元のFOMAカードを挿入し直すと、設定した状態に戻ります。
- miniSDメモリーカード内の画像を設定した場合、設定値表示欄にタイトル名は表示されません。

ｉアプリ待受画面を設定する

- ｉアプリ待受画面には、対応しているソフトを１つのみ設定することができます。
- サブディスプレイ表示に対応しているｉアプリの場合は、サブディスプレイの待受画面にも表示することができます。

1 ●2 1 1を押す。

- 待受画面設定［メイン］画面が表示されます。

2 3を押す。（ｉアプリ）

- 待受画面設定画面が表示されます。

3 1を押す。（設定）

設定したｉアプリを終了するとき

- 2 1を押します。
- ｉアプリ待受画面の設定は変更されません。

設定したｉアプリを解除するとき

- 2 2を押します。
- ｉアプリ待受画面の設定が解除されます。

4 ｉアプリを選び、●を押す。

- ｉアプリが待受画面に設定され、ソフト一覧画面に戻ります。
- PWR HLDを押すと、待受画面に戻り、ｉアプリが起動します。

お知らせ

- 待受画面に設定したｉアプリは、viewを押すと起動します。ｉアプリ待受画面について詳しくは、『アプリケーション編』P.71を参照してください。
- ｉアプリのソフト一覧画面からも設定することができます。（☞『アプリケーション編』P.84）
- ｉアプリ待受画面を設定している場合、待受画面にはｉアプリが表示されます。ｉアプリ待受画面設定を解除すると、待受画面設定（☞P.165）した画像が表示されます。

カレンダーを表示する<カレンダー表示>

メインディスプレイに表示する

メインディスプレイの待受画像に重ねて、現在の月または、現在の月と翌月の２ヶ月分、６ヶ月分のカレンダーを表示することができます。

- ｉアプリ待受画面にカレンダーを重ねて表示することはできません。
- 待受画面にGIFアニメーションやFlash画像およびｉモーションを設定しているとき、カレンダーに切り替えると、待受画面の画像が停止します。
- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 待受画面で、●２１３を押す。

- カレンダー表示設定画面が表示されます。

2 表示方法を選び、●を押す。

１ヶ月（大）表示するとき

- １を押します。

１ヶ月表示するとき

- ２を押し、表示位置を選び、●を押します。

２ヶ月表示するとき

- ３を押します。

６ヶ月表示するとき

- ４を押します。

カレンダー表示しないとき

- ５を押します。

１ヶ月（大）表示

１ヶ月表示

２ヶ月表示

６ヶ月表示

- ２ヶ月表示に設定すると、今月と次月のカレンダーが表示されます。６ヶ月表示に設定すると、今月を含む２ヶ月単位で、奇数月を先頭に、６ヶ月分のカレンダーを表示します。
- ◯を押すと、前後の月のカレンダーを表示します。６ヶ月表示の場合は、前後２ヶ月分のカレンダーを表示することができます。
- 「１ヶ月（大）」に設定しているときは、スケジュールが設定されている日付にアイコン表示されます。６ヶ月表示以外のカレンダーは、スケジュールが設定されている日付にアンダーラインが表示されます。
- カレンダー表示を設定しているときに、待受画面で PWR/HLD を押すと、待受画像表示とカレンダー表示が切り替わります。

お知らせ

- 祝日は色分けして表示されません。

ディスプレイの表示やボタンの設定を変更する

サブディスプレイに表示する

サブディスプレイの待受画像に重ねて、カレンダーを表示することができます。

- 電池残量や電波状態などを示すマークも表示されます。
- ｉアプリ待受画面にカレンダーを重ねて表示することはできません。
- 待受画面に設定されているGIFアニメーションは、カレンダーを表示すると再生が停止されます。
- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 待受画面で、●223を押す。

- カレンダー表示設定［サブ］画面が表示されます。

2 1を押す。（**ON**：表示する）

- FOMA端末を閉じると、サブディスプレイにカレンダーが表示されます。

カレンダーを表示しないとき

- 2を押します。

前月や翌月のカレンダーを表示するとき

- カレンダー表示の待受画面で（背面中央ボタン）を押します。前月のカレンダーを表示するときは待受画面で（背面上ボタン）を、翌月のカレンダーを表示するときは（背面下ボタン）を押します。（背面中央ボタン）を押すと、カレンダー表示の待受画面に戻ります。

お知らせ

- 祝日は色分けして表示されません。
- カレンダー表示のとき、クイックメニュー（☞P.42）は表示されません。
- サブディスプレイの待受画面にカレンダーと時計を同時に表示することはできません。待受画面で（背面上ボタン）を押すと、表示を切り替えることができます。（☞P.35）

時計を表示する＜時計表示設定＞

メインディスプレイに表示する

メインディスプレイの待受画像に重ねて、時計を表示することができます。

- 時計表示を「ON」に設定すると、待受画面上部の時刻は表示されません。（待受画面以外では表示されます。）
- お買い上げ時は、「OFF」（表示しない）に設定されています。

1 待受画面で、●212を押す。

- 時計表示設定［メイン］画面が表示されます。

2 1を押す。（**ON**：表示する）

表示しないとき

- 2を押します。

サブディスプレイに表示する

サブディスプレイの待受画像に重ねて、デジタル式やアナログ式の時計を表示することができます。

- 電池残量、電波状態を示すマークも表示されます。
- ｉアプリ待受画面に時計を重ねて表示することはできません。
- 待受画面に設定されているGIFアニメーションは、時計を表示すると再生が停止します。
- お買い上げ時は、「デジタル表示１」に設定されています。

次ページへ続く

1 待受画面で、●2 2 2を押す。

表示する時計を確認するとき
- 設定する表示を選び、i（確認）を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

2 表示する時計を選び、●を押す。

- FOMA端末を閉じると、サブディスプレイに時計が表示されます。

表示しないとき
- 7を押します。

お知らせ
- 「アナログ表示」に設定したときの時計表示は目安です。
- サブディスプレイの待受画面にカレンダーと時計を同時に表示することはできません。待受画面で（背面上ボタン）を押すと、表示を切り替えることができます。（☞P.35）

通話時表示を変更する＜通話時表示設定＞

音声電話、テレビ電話の通話中や64Kデータ通信中に静止画をサブディスプレイに表示することができます。
- マルチメディアのイメージの画像サイズが横120×縦107ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを表示できます。（Flash画像・動画やｉモーションは表示できません。）
- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 待受画面で、●2 2 6を押す。

- 通話時表示設定画面が表示されます。

2 1を押す。（イメージ）

- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

静止画を表示しないとき
- 2を押します。

3 フォルダを選び、●を押す。

静止画を確認するとき
- 静止画を選び、●（確認）を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

4 静止画を選び、iを押す。

- 通話時表示に設定されます。

お知らせ
- 通話時表示に設定できない静止画は表示されません。
- 静止画を通話時表示に設定した場合、元の静止画を削除すると、「通話中 サブ1」が表示されます。
- miniSDメモリーカード内の静止画は、通話時表示には設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。

電話やメールの発着信時の画面を変更する

電話発信画面／着信画面を変更する<発着信画面設定>

■ メインディスプレイに表示する

電話をかけるときや、電話がかかってきたときに表示される静止画を変えることができます。

- マルチメディアのイメージの画像サイズが横240×縦84ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを表示できます。（Flash画像・動画やｉモーションは表示できません。）
- お買い上げ時は、発信画面は「電話発信　メイン１」、着信画面は「電話着信　メイン１」に設定されています。

1 待受画面で、●2147を押す。

- 発着信画面設定画面が表示されます。

2 1を押す。（発信画面設定）

- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

着信画面を設定するとき
- 2を押します。

3 フォルダを選び、●を押す。

静止画を確認するとき
- 静止画を選び、●（確認）を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

4 静止画を選び、iを押す。

- 発信画面が設定されます。

お知らせ
- 発着信画面設定で使用する横240×縦84ドットのJPEG画像は、カメラで撮影したり、本FOMA端末で編集して作成することはできません。
- 発信画面・着信画面に設定した場合、元の静止画を削除すると発信画面は「電話発信　メイン１」、着信画面は「電話着信　メイン１」が設定されます。
- 発信画面・着信画面に設定できない静止画は表示されません。
- 映像と音を含んだｉモーションを着信音に設定しているときに電話がかかってきた場合、着信画面に設定した画像ではなく、着信音に設定したｉモーションの映像が表示されます。
- 音のみのｉモーションが着信音として鳴るときは、着信画面の設定に関係なく、常に「電話着信　メイン１」が表示されます。
- miniSDメモリーカード内の静止画は、発信画面・着信画面には設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。

■ サブディスプレイに表示する

電話をかけるときや、電話がかかってきたときにサブディスプレイに表示される静止画を変えることができます。

- マルチメディアのイメージの画像サイズが横120×縦26ドットのJPEG画像、GIF画像、GIFアニメーションを表示できます。（Flash画像・動画やｉモーションは表示できません。）
- お買い上げ時は、発信画面は「電話発信　サブ１」、着信画面は「電話着信　サブ１」に設定されています。

1 待受画面で、●224を押す。

- 発着信画面設定画面が表示されます。

次ページへ続く

2 1を押す。（発信画面設定）

- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

着信画面を設定するとき
- 2を押します。

3 フォルダを選び、●を押す。

静止画を確認するとき
- 静止画を選び、●（確認）を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

4 静止画を選び、iを押す。

- 発信画面が設定されます。

お知らせ
- 発着信画面設定で使用する横120×縦26ドットのJPEG画像は、カメラで撮影したり、本FOMA端末で編集して作成することはできません。
- 発信画面・着信画面に設定できない静止画は表示されません。
- マルチメディアのイメージの静止画を発信画面・着信画面に設定した場合、元の静止画を削除すると発信画面は「電話発信　サブ１」、着信画面は「電話着信　サブ１」が設定されます。
- miniSDメモリーカード内の静止画は、発信画面・着信画面には設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。

メール送信画面／受信画面を変更する＜メール送受信画面設定＞

■ メインディスプレイに表示する

メール送信時、メール受信時の静止画を変えることができます。
- マルチメディアのイメージの画像サイズが横240×縦168ドットのGIF画像、GIFアニメーションを表示できます。（Flash画像・JPEG画像・動画やｉモーションは表示できません。）
- お買い上げ時は、メール送信画面は「メール送信　メイン１」、メール受信画面は「メール受信　メイン１」に設定されています。

1 待受画面で、●2 1 5を押す。

- メール送受信画面設定画面が表示されます。

2 1を押す。（メール送信画面設定）

- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

メール受信画面を設定するとき
- 2を押します。

3 フォルダを選び、●を押す。

静止画を確認するとき
- 静止画を選び、●（確認）を押します。CLRを押すと元の画面に戻ります。

4 静止画を選び、iを押す。

- メール送信画面が設定されます。

お知らせ
- メール送信画面・メール受信画面に設定できない静止画は表示されません。
- カメラで撮影した画像は利用できません。
- マルチメディアのイメージの静止画をメール送信画面・メール受信画面に設定した場合、元の静止画を削除するとメール送信画面は「メール送信　メイン１」、メール受信画面は「メール受信　メイン１」が設定されます。
- miniSDメモリーカード内の静止画は、メール送信画面・メール受信画面には設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。

サブディスプレイに表示する

メール送信時、メール受信時のサブディスプレイの静止画を変えることができます。

- マルチメディアのイメージの画像サイズが横120×縦82ドットのGIF画像、GIFアニメーションを表示できます。（Flash画像・JPEG画像・動画やｉモーションは表示できません。）
- お買い上げ時は、メール送信画面は「メール送信　サブ１」、メール受信画面は「メール受信　サブ１」に設定されています。

1 待受画面で、(●)(2)(2)(5)を押す。

- メール送受信画面面設定画面が表示されます。

2 (1)を押す。（メール送信画面設定）

- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

メール受信画面を設定するとき

- (2)を押します。

3 フォルダを選び、(●)を押す。

静止画を確認するとき

- 静止画を選び、(●)（確認）を押します。(CLR)を押すと元の画面に戻ります。

4 静止画を選び、(i)を押す。

- メール送信画面が設定されます。

お知らせ

- メール送信画面・メール受信画面に設定できない静止画は表示されません。
- カメラで撮影した画像は利用できません。
- マルチメディアのイメージの静止画をメール送信画面・メール受信画面に設定した場合、元の静止画を削除するとメール送信画面は「メール送信　サブ１」、メール受信画面は「メール受信　サブ１」が設定されます。
- miniSD メモリーカード内の静止画は、メール送信画面・メール受信画面には設定できません。FOMA端末にコピーしてから設定してください。

ディスプレイをアレンジする

ポップアップウィンドウの色や枠を変更する<ポップアップウィンドウ>

サブメニューなどのポップアップウィンドウの背景色や、枠の形状を変えることができます。

- マルチメディアのイメージの横201×縦62ドットのGIF画像を利用できます。(Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。)
- カメラで撮影した画像は利用できません。
- お買い上げ時は、「ポップアップ１」に設定されています。

1 待受画面で、(●)(2)(4)(2)を押す。

- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び、(●)を押す。

静止画を確認するとき

- 静止画を選び、(●)(確認)を押します。(CLR)を押すと元の画面に戻ります。

3 静止画を選び、(i)を押す。

- ポップアップウィンドウが設定されます。

お知らせ

- ポップアップウィンドウに設定できない静止画は表示されません。
- マルチメディアのイメージの静止画をポップアップウィンドウに設定した場合、元の静止画を削除してもポップアップウィンドウの設定を変更するまで画面は保持されます。
- miniSDメモリーカード内の画像を設定した場合、設定値表示欄にタイトル名は表示されません。

お知らせウィンドウの色や枠を変更する<お知らせウィンドウ設定>

確認やエラーが表示されるお知らせウィンドウの背景色や、枠の形状を変えることができます。

- マルチメディアのイメージの横201×縦182ドットのGIF画像が利用できます。(Flash画像、GIFアニメーション、JPEG画像は利用できません。)
- カメラで撮影した画像は利用できません。
- お買い上げ時は、「お知らせ１」に設定されています。

1 待受画面で、(●)(2)(4)(3)を押す。

- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び、(●)を押す。

- お知らせウィンドウに設定すると、画像内の４つの絵が４コマのアニメーションで表示されます。

静止画を確認するとき

- 静止画を選び、(●)(確認)を押します。(CLR)を押すと元の画面に戻ります。

3 静止画を選び、(i)を押す。

- お知らせウィンドウが設定されます。

お知らせ
- お知らせウィンドウに設定できない静止画は表示されません。
- マルチメディアのイメージの静止画をお知らせウィンドウに設定した場合、元の静止画を削除してもお知らせウィンドウの設定を変更するまで画面は保持されます。
- miniSDメモリーカード内の画像を設定した場合、設定値表示欄にタイトル名は表示されません。

メニュー画面の背景パターンを変更する<背景パターン設定>

メニュー画面の背景パターン(画面の端に表示される画像)をお好みで変更することができます。
- 横240×縦320ドットのJPEG画像、GIF画像を利用できます。(Flash画像、GIFアニメーションは利用できません。)
- お買い上げ時は、「背景パターン1」に設定されています。

1 待受画面で、(●)(2)(1)(6)を押す。
- イメージのフォルダ一覧が表示されます。

2 フォルダを選び、(●)を押す。

静止画を確認するとき
- 静止画を選び、(●)(確認)を押します。(CLR)を押すと元の画面に戻ります。

3 静止画を選び、(i)を押す。
- 背景パターンが設定されます。

お知らせ
- 背景パターンに設定できない静止画は表示されません。
- マルチメディアのイメージの静止画を背景パターンに設定した場合、元の静止画を削除しても背景パターンの設定を変更するまで画面は保持されます。
- miniSDメモリーカード内の画像を設定した場合、設定値表示欄にタイトル名は表示されません。

ピクチャーコールを表示する<ピクチャーコール設定>

ピクチャーコール設定(☞P.115)されている電話番号からの着信があったとき、ピクチャーコールの画像を表示するかどうかを設定することができます。
- 電話帳にピクチャーコール(画像)を設定していないときは、ピクチャーコール設定を「ON」にしてもピクチャーコールの画像は表示されません。(☞P.115)
- お買い上げ時は、「ON」に設定されています。

1 待受画面で、(●)(2)(4)(1)を押す。

2 (1)を押す。(**ON**:表示する)

ピクチャーコールを表示しないとき
- (2)を押します。

ディスプレイとボタンの照明を設定する

メインディスプレイ、サブディスプレイとボタンのバックライトの照明が点灯している時間を、次の場合についてそれぞれ設定することができます。設定した時間を過ぎると、微灯になります。

● お買い上げ時は、通常時は「15秒」、充電時、ｉモード時は「通常時と同じ」、テレビ電話時は「常にON」に設定されています。

通常時	電源を入れたときや、ボタンの操作／開閉を行ったり、着信があったときに照明が点灯している時間を０～99秒の間で設定することができます。
充電時	ACアダプタ、DCアダプタ接続時に照明が点灯している時間を「通常時と同じ」または「常にON」に設定することができます。
TV電話時	テレビ電話通話時に照明が点灯している時間を「通常時と同じ」または「常にON」に設定することができます。
ｉモード時	ｉモード中に照明が点灯している時間を「通常時と同じ」または「常にON」に設定することができます。

1 待受画面で、(●)(2)(6)(1)を押す。

2 (1)を押す。（通常時）

充電時の照明を設定するとき

● (2)を押し、(1)（通常時と同じ）または(2)（常にON）を押します。

テレビ電話時の照明を設定するとき

● (3)を押し、(1)（通常時と同じ）または(2)（常にON）を押します。

ｉモード時の照明を設定するとき

● (4)を押し、(1)（通常時と同じ）または(2)（常にON）を押します。

3 点灯時間（２桁：**00**～**99**秒）を入力し、(●)を押す。

● 通常時の点灯時間が設定されます。

お知らせ

● 点灯時間（秒数）は通常時のみ設定できます。
● 点灯時間を長くすると、連続待受時間が短くなりますのでご注意ください。
● 充電時、ｉモード時の照明時間設定を「常にON」に設定しても、画面表示時間設定（☞P.181）で設定された時間が経過すると、ディスプレイの表示は「OFF」になります。
● Flash画像、動画の再生は、再生中照明設定に従います。（☞『アプリケーション編』P.302）
● イメージビューア（☞『アプリケーション編』P.280）、ビデオプレーヤ（☞『アプリケーション編』P.302）、キャラ電プレーヤ（☞『アプリケーション編』P.97）で再生中照明設定を「照明設定に従う」に設定した場合、照明時間設定の通常時の設定が反映されます。
● スライドショー、カメラモードでは、ここでの設定にかかわらず、常に点灯します。
● 複数の照明時間が設定されているとき、次の優先順位で点灯します。

	優先順位（高→低）
照明時間	充電時→TV電話時／ｉモード時→通常時

明るさ調整（メイン）

メインディスプレイの明るさ（濃淡）を調整する

メインディスプレイ照明の明るさを16段階に調整することができます。

● お買い上げ時は、「明るさ12」に設定されています。

1 待受画面で、●2 ABC 1 7 PQRSを押す。

● 現在の明るさが表示されます。

2 ◯（明るくする）または◯（暗くする）を押す。

3 調整が終わったら、●を押す。

お知らせ ● 明るくすると、連続待受時間が短くなりますのでご注意ください。

明るさ調整（サブ）

サブディスプレイの明るさ（濃淡）を調節する

サブディスプレイ照明の明るさを16段階に調整することができます。

● お買い上げ時は、「明るさ12」に設定されています。

1 待受画面で、●2 ABC 2 ABC 9 WXYZを押す。

● 現在の明るさが表示されます。

2 ◯（明るくする）または◯（暗くする）を押す。

3 調整が終わったら、●を押す。

● FOMA端末を閉じると、設定した明るさで表示します。

お知らせ ● 明るくすると、連続待受時間が短くなりますのでご注意ください。

イルミネーション（着信ランプ）の色を設定する

着信ランプの色を設定する<着信ランプ色設定>

音声電話やテレビ電話の着信／メール着信があったときのランプの色を設定します。

- お買い上げ時は、音声電話着信ランプ、テレビ電話着信ランプは「グリーン」、メール受信ランプは「ブルー」に設定されています。

1 待受画面で、●25を押す。

2 11を押す。（音声電話）

- 着信ランプ色設定画面が表示されます。

ランプの色の種類

レインボー	ホワイト	イエロー
ミックス	レッド	パープル
サイクロン	グリーン	ライトブルー
ランダム	ブルー	

テレビ電話着信時のランプの色を設定するとき

- 12を押します。（TV電話）

メール着信時のランプの色を設定するとき（メール受信ランプ色設定）

- 2を押します。
- メール着信時のランプの色には、ランダムは選択できません。

3 着信ランプの色を選び、●を押す。

- 色を選ぶたびに、ピクチャーライト／着信ランプの色が変わります。
- 着信ランプの色が設定されます。
- 「レインボー」は赤、紫、青、水色、緑、黄のグラデーションで点灯します。
- 「ミックス」は赤、緑、青、水色、紫、黄が順に点灯します。
- 「サイクロン」は赤、黄、緑、水色、青、紫が順不同で点灯し、色の切り替えがだんだん速くなります。
- 「ランダム」は自局の電話番号・相手の方の発信者番号と日付によって、異なる色のグラデーションに点灯します。

お知らせ

- 複数の着信ランプが設定されているとき、着信ランプやメール受信ランプは次の優先順位で点灯します。

	優先順位（高→低）
着信ランプ	電話帳指定着信ランプ→グループ指定着信ランプ→通常の着信ランプ
メール受信ランプ	電話帳指定メール着信ランプ→グループ指定メール着信ランプ→通常のメール着信ランプ

着信ランプの動作を設定する<着信ランプ動作設定>

音声電話やテレビ電話の着信／メール着信があったときのランプの動作を設定します。

- お買い上げ時は、「メロディ非連動」に設定されています。

1 待受画面で、●25を押す。

- 着信ランプ設定画面が表示されます。

2 3を押す。（着信ランプ動作設定）

- 着信ランプ動作設定画面が表示されます。

メール着信時のランプの動作を設定するとき（メール受信ランプ動作設定）
- 4を押します。

3 1を押す。（メロディ連動）

- 着信ランプの動作が設定されます。

メロディ非連動に設定するとき
- 2を押します。

お知らせ　メロディ連動とは
- 着信ランプが動作するように設定されているメロディを着信音にしているとき、メロディからの指示で着信ランプを動作させる機能です。
- 着信ランプが動作するように設定されていないメロディを着信音にすると、連動しません。

メール本文表示設定

メールの着信時に本文を表示する

メール着信後（☞『アプリケーション編』P.141）に▯（背面中央ボタン）を押し、サブディスプレイにメール本文を表示させることができます。
- 相手表示設定（☞P.180）が「OFF」に設定されているときは表示されません。
- メールは全文を表示することができます。
- お買い上げ時は、「ON」（表示する）に設定されています。

1 待受画面で、●228を押す。

- メール本文表示設定画面が表示されます。

2 1を押す。（**ON**：表示する）

表示しないとき
- 2を押します。

着信とメール着信をバイブレータで確認する

シャッターを押したとき、バイブレータが作動して、不在着信（☞P.78)や、伝言メモ、新着メールがあることを確認することができます。

1 **FOMA**端末を閉じて、シャッターを押す。

- 不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話があるときは、「バイブパターン１」で２回振動します。
- 不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話がないときは、「バイブパターン２」で２回振動します。
- FOMA端末を開いた状態およびシャッター半押し状態では動作しませんので、ご注意ください。

相手表示設定

着信時に相手の方の名前などを表示する

電話がかかってきたとき相手の方の電話番号や名前、電話帳に登録されている静止画をサブディスプレイに表示することができます。
● お買い上げ時は、「ON」（表示する）に設定されています。

1 待受画面で、●2727を押す。

● 相手表示設定画面が表示されます。

2 1を押す。（**ON**：表示する）

表示しないとき
● 2を押します。

お知らせ
● 不在着信（☞P.78）の時や、メール受信後（☞『アプリケーション編』P.141）に0（背面中央ボタン）を押すと相手の方の名前または電話番号やメールアドレス、メールの件名、メール本文を確認することができます。（☞P.37〜P.38）
● ピクチャーコール（☞P.115）にｉモーションが設定されている場合は、相手表示設定が「OFF」の場合でも、着信時サブディスプレイに設定されたｉモーションが表示されます。

文字表示設定

文字の表示（太さ）を変更する

ディスプレイに表示される文字の太さを変更することができます。
● 設定できる文字の種類は３種類です。
● お買い上げ時は、「太字」に設定されています。

1 待受画面で、●23を押す。

● ◯で文字を選ぶと、見本の文字が表示されます。

2 1を押す。（細字）

太字にするとき
● 2を押します。

極太字にするとき
● 3を押します。

お知らせ
● この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよびLCロゴマークは、シャープ株式会社の登録商標です。

ディスプレイの表示やボタンの設定を変更する

省電力モードを設定する

FOMA端末を使用していないとき、特定の時間が経過すると、バッテリーの消費を抑えるためにメインディスプレイとサブディスプレイの表示をOFFにすることができます。サブディスプレイはスクリーンセーバーを表示させることもできます。
この省電力モードになるまでの時間を２～20分の間で設定することができます。

- お買い上げ時は、「表示時間２分、画面OFF、ランプ表示なし」に設定されています。
- FOMA端末を開いているときに、ピクチャーライトを点滅（黄色）させて、省電力モードになっていることをお知らせすることもできます。

1 待受画面で、●２６２を押す。

- 画面表示時間設定画面が表示されます。

2 表示時間（２桁：**02～20**分）を入力し、●を押す。

3 １を押す。（画面**OFF**）

サブディスプレイにスクリーンセーバーを表示するとき

- ２を押します。

4 １を押す。（ランプ表示あり：ピクチャーライト点滅）

ピクチャーライトを点滅させないとき

- ２を押します。

お知らせ

- 省電力モードでFOMA端末を開いているときにピクチャーライトを点滅させると、連続待受時間が短くなります。
- 省電力モードになっているときに、いずれかのボタンを押したり、着信などがあるとディスプレイ表示が点灯します。
- 「ランプ表示なし」に設定しているときは、いずれかのボタンを押して、電源が入っていることを確認してください。
- FOMA端末を閉じているときは、「ランプ表示あり」に設定していても、ランプは表示されません。
- サブディスプレイにスクリーンセーバーを表示するように設定しても、FOMA端末を開いているときはスクリーンセーバーが表示されません。
- 音声電話中・テレビ電話中・ｉモード通信中・メール通信中・カメラの起動中・ｉモーション再生中・スライドショー再生中・外部機器とのデータ転送中は、画面表示時間設定した時間が経過しても省電力モードになりません。
- 照明時間設定で充電時の照明を「常にON」に設定している場合でも、充電中に画面表示時間設定した時間が経過すると省電力モードになります。

画面を英語表示に切り替える

ディスプレイに表示される各機能名やメッセージ、およびメニュー項目名などを日本語表示／英語表示に切り替えます。

1 待受画面で、●(3)(0)を押す。

2 (2)を押す。（English）

- 英語表示に切り替わります。

日本語表示に切り替えるとき

- (1)を押します。

お知らせ

- この設定は、サブディスプレイに対しても有効です。

暗証番号について

FOMA端末には、便利にお使いいただくための各種機能に、暗証番号の必要なものがあります。各種端末操作用の端末暗証番号の他ネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号、ｉモードパスワードなどがあります。用途ごとに上手に使い分けて、FOMA端末を活用してください。

端末暗証番号（各種機能用の暗証番号）

端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで自由に番号を変更できます。

- 端末暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。
- 以下の機能を利用するときには、端末暗証番号の入力が必要となります。

電話帳指定着信許可の登録／設定／解除	P.145	設定リセット	P.249
電話帳指定着信拒否の登録／設定／解除	P.147	PIMロック中の起動	P.194
電話帳登録外着信拒否／許可の設定	P.149	通話時間／積算のリセット	P.157
非通知理由別着信拒否／許可の設定	P.150	電話帳、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ、ブックマーク、画面メモ、ｉアプリのソフト、キャラ電、メッセージR／F、メール、マルチメディアなどの全データ削除	P.129 P.224 P.235 P.246 アP.48 アP.52 アP.88 アP.103 アP.117 アP.187 アP.274 アP.297 アP.309
TV電話着信拒否／許可の設定	P.151	ドキュメントビューアのドキュメントフォルダ内の全件削除	アP.320
電話帳に登録しているｉモードのシークレットコードの修正	P.112	所有者情報の管理	P.58
シークレットモードの設定／解除	P.134 P.193	miniSDメモリーカード全件コピー	アP.343
メール送受信履歴表示の設定／解除	P.197	miniSDメモリーカードフォーマット	アP.345
着信履歴リダイヤルの表示の設定／解除	P.196	miniSDメモリーカードバックアップ	アP.339
PIN１コードの設定	P.186	赤外線全件送受信	アP.327 ～P.329
PINコードの変更	P.187	ソフトウェアの更新	P.349
端末暗証番号の変更	P.185	ｉモード接続先選択	アP.62
オールロックの設定／解除	P.191	ｉモード設定リセット	アP.69
ダイヤル発信制限の設定／解除	P.195	変換学習クリア	P.317
PIMロックの設定／解除	P.194	設定状況確認	P.248
追加サービス全件削除	P.292		

ネットワーク暗証番号

お申し込みが必要なサービスでお使いいただくネットワーク暗証番号

各種ネットワークサービスご利用時やドコモｅサイトでの各種手続き時にお使いいただく数字４桁の番号で、ご契約時に設定します。

- ネットワーク暗証番号をお忘れの場合は、「ドコモ総合案内・受付」（☞P.286）までご相談ください。また、ドコモショップなど窓口では、運転免許証などの確認書類により、契約者ご本人であることを確認させていただいたうえで、手続きさせていただきます。なお、「ユーザID」「パスワード」をお持ちの方は、パソコンからドコモｅサイトでも手続きできます。
  ※ ドコモｅサイトについてはP.262を参照してください。

PIN１コード・PIN２コード

FOMAカードには、PIN１コード、PIN２コードという２つの暗証番号を設定できます。これらの暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます。PIN１コードは、第三者による無断使用を防ぐため、FOMAカードをFOMA端末に差し込むたびに、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する４～８桁の番号（コード）です。PIN１コードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。PIN２コードは、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する４～８桁の暗証番号です。

- PIN１コードとPIN２コードについて詳しくは、P.185を参照してください。
- 以下の機能を利用するときには、PIN１コード・PIN２コードの入力が必要となります。

PIN１コード

- 電源をONにするとき（PIN１コード入力設定が設定されているとき）
- PIN１コードを変更するとき
- PIN１コード入力設定を設定するとき

PIN２コード

- PIN２コードを変更するとき
- ユーザ証明書の操作を行うとき
- FirstPass対応サイトに接続するとき

ｉモードパスワード

マイメニューの登録／削除、メッセージサービス、ｉモードの有料サービスのお申し込み／解約などを行う際には４桁の「ｉモードパスワード」が必要になります。ｉモードパスワードは、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様のお好みで、自由に番号を変更できます。（この他にも各情報サービス提供者が独自にパスワードを設定していることがあります。）

- ｉモードパスワードを万が一お忘れになったときは、ご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、ドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

お知らせ

- いたずら防止のため、端末暗証番号／PIN１コード・PIN２コード／ｉモードパスワードはご契約後にお好きな番号に変更してください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようにお気を付けください。
- 電話番号の下４桁など、わかりやすい番号の使用は避け、他人に知られないよう十分ご注意ください。

端末暗証番号を変更する

各種機能用の端末暗証番号は、お買い上げ時は「0000」に設定されています。お客様自身の端末暗証番号（4～8桁の数字）に変更しておきましょう。

1 待受画面で、(●)(6)(7)を押す。

● 現在の端末暗証番号を入力する画面が表示されます。

2 現在の端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、(●)を押す。

● 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

3 新しい端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、(●)を押す。

● 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

4 もう一度、新しい端末暗証番号を入力し、(●)を押す。

● 端末暗証番号が変更されます。

FOMAカード設定

PINコードを設定する

FOMAカードのPIN1コード、PIN2コードを変更することができます。

● PIN1コードは、FOMAカードを不正に使用されないための、4～8桁の番号です。
● PIN2コードは、サイトやインターネット接続などのオンラインサービスなどで個人認証が必要なときに入力する4～8桁の暗証番号です。ユーザ証明書操作時（FirstPassを利用するためのユーザ証明書の発行）や、FirstPass対応サイトに接続するとき（☞『アプリケーション編』P.65）に入力します。
● ご契約時、PIN1コード、PIN2コードは、どちらも「0000」に設定されています。
● 新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPIN1コード、PIN2コードをご利用ください。PIN1コード、PIN2コードを変更されていない場合は、「0000」となります。
● PIN1コード、PIN2コードは、FOMAカードに登録されます。

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定する<PIN１コード入力設定>

FOMA端末を不正に使用されないよう、電源を入れたときに、PIN１コードを入力させることができます。

- ご契約時は、「OFF」に設定されています。

1 待受画面で、●6 2を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

2 1を押す。（PIN１コード入力設定）

3 1を押す。（ON：設定する）

- PIN１コード入力画面が表示されます。
- 「残存入力回数３回」と表示されます。PIN １コードは３回まで入力することができます。

解除するとき

- 2を押します。

4 PIN１コード（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力したPIN１コードは、「＊」で表示されます。
- 起動時PIN１コード入力が「ON」に設定され、操作２の画面に戻ります。

お知らせ

- PIN１コード入力画面で、PIN１コードの入力を３回間違えると、PIN１コードがロックされます。PINロックを解除してください（☞P.189）。PINロック解除時に、新しいPIN１コードを入力する必要があります。

携帯電話の操作を制限する

PIN１コードを変更する<PIN１コード変更>

PIN１コードを変更することができます。
- ご契約時、PIN１コードは「0000」に設定されています。

1 待受画面で、●６２を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。
- FOMAカード設定画面が表示されます。

2 ２を押す。（**PIN１**コード変更）

- 「残存入力回数３回」と表示されます。PIN １コードは３回まで入力することができます。

3 現在の**PIN１**コード（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力したPIN１コードは「＊」で表示されます。

4 新しい**PIN１**コード（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力したPIN１コードは、「＊」で表示されます。

5 もう一度新しい**PIN１**コード（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 「変更しました」というメッセージが表示されます。

お知らせ
- PIN１コード入力画面で、PIN１コードの入力を３回間違えると、PIN１コードがロックされます。PINロックを解除してください（☞P.189）。PINロック解除時に、新しいPIN１コードを入力する必要があります。

PIN２コードを変更する<PIN２コード変更>

PIN２コードを変更することができます。
- ご契約時、PIN２コードは「0000」に設定されています。

1 待受画面で、●６２を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は「＊」で表示されます。
- FOMAカード設定画面が表示されます。

次ページへ続く

2 ③を押す。（PIN２コード変更）

- 現在のPIN２コード入力画面が表示されます。

3 現在のPIN２コード（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

- 入力したPIN２コードは、「*」で表示されます。

4 新しいPIN２コード（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

- 入力したPIN２コードは、「*」で表示されます。

5 もう一度新しいPIN２コード（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

- 「変更しました」というメッセージが表示されます。

お知らせ
- PIN２コード入力画面で、PIN２コードの入力を３回間違えると、PIN２コードがロックされます。PINロックを解除してください（☞P.189）。PINロック解除時に、新しいPIN２コードを入力する必要があります。

電源を入れたときにPIN１コードを入力する

PIN１コード入力設定（☞P.186）を「ON」に設定すると、電源を入れたときにPIN１コードの入力画面が表示されます。
- PIN１コードを入力しないとFOMA端末を操作できません。FOMA端末が無断で使用されるのを防ぐことができます。

1 電源（PWR）（電源）を２秒以上押し、電源を入れる。

- 「残存入力回数３回」と表示されます。PIN １コードは３回まで入力することができます。

2 PIN１コード（４～８桁の数字）を入力する。

- 入力したPIN１コードは、「*」で表示されます。

3 ◉を押す。

- PIN１コードを正しく入力すると、待受画面が表示されます。

お知らせ
- PIN１コード入力画面で、PIN１コードの入力を３回間違えると、PIN１コードがロックされます。PINロックを解除してください（☞P.189）。PINロック解除時に、新しいPIN１コードを入力する必要があります。
- PIN １コード入力設定を「ON」に設定したときは、電源を入れたあと、上記の操作を必ず行ってください。PIN１コード入力画面のままでは、FOMA端末を利用できません。

PINロックを解除する

PIN１コード／PIN２コードの入力が必要な画面で、PIN１コード／PIN２コードを３回間違って入力すると、PIN１コード／PIN２コードがロックされます。そのときは、PIN１コード／PIN２コードのロックを解除して、新しいPIN１コード／PIN２コードを設定する必要があります。

● PINロック解除コードについては、FOMAご契約時にお渡しするFOMA契約申込書（お客様控え）をご確認ください。

PIN１／PIN２がロックされた画面

● 「残存入力回数10回」と表示されます。
● PINロック解除コードは10回まで入力することができます。

PIN１ロックを解除するとき

1 **PINロック解除コード**（８桁の数字）を入力し、◉を押す。

● 入力したPINロック解除コードは、「¥」で表示されます。

2 新しい**PIN**１コード（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

● 入力したPIN１コードは「¥」で表示されます。

3 もう一度新しい**PIN**１コード（４～８桁の数字）を入力し、◉を押す。

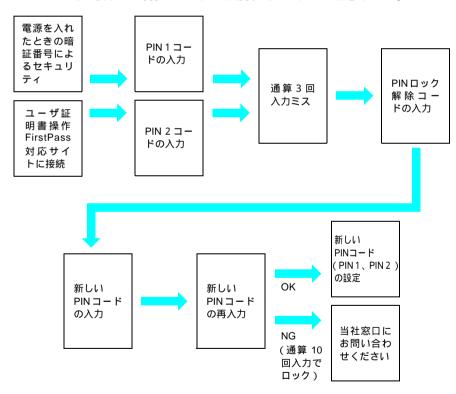
●「変更しました」というメッセージが表示されます。

お知らせ ● PIN２コードのロックを解除するときも、同様の操作で解除します。

PIN１コード、PIN２コードおよびPINロック解除コードの操作について

FOMAカードのPIN１コード、PIN２コードは、ご契約時には「0000」に設定されていますが、別の番号に変更することができます。なお、新しくFOMA端末を購入されて、現在ご利用中のFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPIN１コード、PIN２コードをご利用ください。また、PIN１コード、PIN２コードの入力を通算で３回誤ると自動的にロックされますので、設定した番号は控えを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。

- PINロック解除コードは、PIN１コード、PIN２コードがロックされた状態を解除するための８桁の番号です。PINロック解除コードを入力することによりロック状態を解除することができます。
- PINロック解除コードの入力を、通算して10回誤るとFOMAカードが完全にロックされます。PINロック解除コードは控えを取るなどしてお忘れにならないよう、ご注意ください。

※ FOMA契約申込書（お客様控え）をなくさないよう大切に保管してください。
※ PINロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、FOMA端末、ご利用中のFOMAカード、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）をドコモショップなど窓口までご持参いただくことが必要になりますのでご注意ください。

ロック機能について

電話帳の呼び出し、登録、削除やダイヤルボタンでの発信などができないようにします。電話帳を使えないようにしたいときや登録されている電話帳を保護したいとき、メールの送受信を制限したいときなど、用途に合わせて使い分けてください。

- ロックの設定／解除には、端末暗証番号が必要になります。
- 設定できる項目は次のとおりです。

ロック機能	動　作・制限内容	参照ページ
オールロック	お客様以外の方がFOMA端末を操作できないよう、電源のON／OFF以外の操作ができないようにします。	P.191
PIMロック	電話帳、メモ・スケジュール・ToDoリスト、メール、ｉモード、ｉアプリ、音声／TV電話伝言メモ・音声メモ、マルチメディアの表示や編集ができないようにし、個人情報の閲覧や書き換えを防止します。項目ごとに設定が可能です。	P.194
セルフモード※	音声電話やテレビ電話の発着信、ｉモードやSMS、メッセージR／Fの送受信は、ｉモードの機能を使えないように設定することができます。電話がかかってきた場合、相手の方には、電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。	P.197
ダイヤル発信制限	ダイヤル入力による電話の発信や電話帳の編集ができないようにします。電話帳か発信履歴を使った発信のみができます。	P.195
シークレットモード	電話帳、スケジュール、ToDoリストをシークレットデータとして登録すると、シークレットモードを「ON」に設定しなければ呼び出せないようになります。	P.193

※ セルフモードでは端末暗証番号の入力は必要ありません。

オールロック

他の人が使用できないようにする

オールロックを設定すると、電源のON／OFF以外の操作ができなくなります。

- オールロックを解除するときは、端末暗証番号の入力が必要です。
- お買い上げ時は、「解除」に設定されています。

オールロックを設定する

1 待受画面で、●(6)(6)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

2 (1)を押す。（オールロック）

- オールロック設定確認画面が表示されます。

次ページへ続く

3 「はい」を選び、◉を押す。

- オールロックが設定され、待受画面に「オールロック」と表示され、「🔒」が点灯します。

設定しないとき

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

オールロックを解除する

1 オールロック中の待受画面で、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、📞を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「✱」で表示されます。
- 待受画面の「オールロック」の文字と「🔒」が消え、オールロックが解除されます。

お知らせ

- オールロック中は待受画面を変更している場合でも、待受画面 メイン１の画像が表示されます。
- オールロック中は音声電話やテレビ電話をかけることも受けることもできません。着信の場合、相手には話中音が流れます。オールロック解除後、「着信あり」が表示されます。
- オールロック中は、緊急通報番号（110番、119番、118番）にも電話をかけることができません。
- オールロック中は、設定した時刻になってもアラーム音は鳴りません。また、ディスプレイにも表示されません。
- オールロック中も、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fの自動受信ができますが、画面には表示されません。オールロック解除後に、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fのアイコンが表示されます。
- オールロックは電源を切っても解除されません。
- オールロックの解除に５回続けて失敗すると、FOMA端末の電源が切れますが、再び電源を入れて、正しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力してください。

シークレット設定されている情報を表示できるようにする

シークレットモードを設定すると、「🔑」が点灯し、シークレットデータと通常の電話帳、スケジュール、ToDoリストが呼び出せるようになります。

- シークレットモードを解除すると、通常の電話帳、スケジュール、ToDoリストのみ呼び出すことができます。
- 電源を切ると、シークレットモードは解除されます。
- お買い上げ時は、「OFF」（解除）に設定されています。
- シークレットデータの登録方法については、電話帳はP.133、スケジュールはP.218、ToDoリストはP.232を参照してください。

1 待受画面で、(●)(6)(1)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

2 (1)を押す。（**ON**：設定する）

解除するとき

- (2)を押します。「🔑」が消灯します。

電話帳やスケジュールなどを表示できないようにする

個人情報を他の人が見たり、無断で書き換えられたりするのを防ぐため、メール、電話帳などへのアクセス制限を行うことができます。

- ロックできる項目
  電話帳、メモ・スケジュール・ToDoリスト、メール、ｉモード、ｉアプリ、音声電話伝言メモ・TV電話伝言メモ・音声メモ、マルチメディア
- 項目ごとにロックを設定することができます。
- お買い上げ時は、「解除」に設定されています。ロック対象項目の選択は、すべての項目が「ロック」に設定されています。

1 待受画面で、●⑥⑥を押し、端末暗証番号（４〜８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

2 ③を押す。（**PIMロック**）

- PIMロック確認画面が表示されます。

3 ①を押す。（**ON**：設定する）

解除するとき
- ②を押します。

4 ロックまたは解除する項目を選び、●を押す。

- チェックボックスが、☑はロック、□は解除の状態です。
- ●を押すと、ロックと解除を交互に切り替えることができます。

5 ⓘ（完了）を押す。

- PIMロックが設定されます。

お知らせ

- PIMとは「個人情報管理プログラム（Personal Information Manager）」を意味します。
- PIMロックは電源を切っても解除されません。
- PIMロック中は、ロックがかかっている項目の赤外線受信はできません。
- 電話帳登録外着信拒否を設定しているときは、電話帳をPIMロックできません。
- 電話帳のPIMロックを設定すると、設定前のリダイヤルと着信履歴、送受信アドレス履歴は削除されます。設定後に発信したリダイヤルと設定後の着信履歴からの発信は行うことができます。また、電話帳に登録されていても名前や画像は表示されません。
- 電話帳のPIMロックを設定すると、次の機能も禁止されます。
  - ■ ツータッチダイヤル
  - ■ 指定着信音、指定メール着信音、指定着信ランプ設定、指定メール着信ランプ
  - ■ Phone To機能
  - ■ ｉモードメールや SMS 送信時の電話帳を利用した宛先入力
  - ■ 電話帳指定着信許可・拒否の「OFF」以外の設定
  - ■ バーコードリーダー、文字読み取りでの発信
  - ■ アラーム、スケジュール、ToDoリストの電話帳を利用した連絡先設定
  - ■ スケジュールの連絡先別表示
  - ■ 電話帳登録外着信拒否
- メールのPIMロックを設定すると、設定前の送受信メールアドレス履歴は削除されます。設定後の送受信メールアドレス履歴は、PIMロックを解除しても保持されます。
- スケジュールPIMロック中は、スケジュールやToDoのアラームは鳴りません。（通常のアラームは鳴ります。）
- メールのPIMロック中、ｉモードメール／SMS／メッセージR／Fの自動受信はできますが、画面に表示されません。PIMロック解除後に、ｉモードメール／SMSやメッセージR／Fのアイコンが表示されます。
- テレビ電話時に代替画像を送信する場合は、マルチメディアがPIMロック中でも、設定した代替画像を送信できます。
- マルチメディアのPIMロックを設定すると電話帳の指定着信音、指定メール着信音は鳴らず、音選択で設定している着信音が鳴ります。またピクチャーコール設定した画像は表示されません。
- PIM ロック中の機能を利用しようとすると、端末暗証番号入力画面が表示されます。正しい端末暗証番号を入力すると、PIMロックは一時解除され、機能操作を終了すると再びロックされます。

ダイヤル発信制限

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

電話帳、リダイヤル以外で電話をかけられないようにすることができます。

- ダイヤル発信制限の設定中に、ダイヤルボタンを使って電話をかけようとすると、エラー音（ピッピッピッ）が鳴って「ダイヤル発信制限設定中です」と表示され、待受画面に戻ります。
- ダイヤル発信制限を設定していても、110番および119番、118番へはダイヤルして電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限の設定／解除には、端末暗証番号が必要になります。
- ダイヤル発信制限を設定すると、リダイヤルと着信履歴、送信アドレス履歴、受信アドレス履歴も併せて削除されます。ただし、設定後に発信したリダイヤルからの発信は行うことができます。

1 待受画面で、●66を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「＊」で表示されます。

2 2を押す。（ダイヤル発信制限）

次ページへ続く

3 1を押す。（ON：設定する）

解除するとき

● 2を押します。

お知らせ

● ダイヤル発信制限を設定すると、次の機能も禁止されます。
  ■ 直接アドレス入力による SMS および i モードメールの送信（電話帳からのアドレス入力の場合は可能）
  ■ 電話帳の登録／修正／削除
  ■ アラームからの発信
  ■ プレフィックス設定（国際電話設定）
  ■ 電話帳データの赤外線受信
  ■ 電話帳データの本体⇔ miniSD 間データ転送
  ■ 電話帳データの本体⇔FOMAカード間データ転送（もしくは、コピー）
  ■ Phone To機能
  ■ バーコードリーダー、文字読み取りでの発信
● ダイヤル発信制限後、ドコモのネットワークサービスのリダイヤルは行えません。

発着信履歴表示

リダイヤル／着信履歴を表示できないようにする

着信履歴とリダイヤルを表示しないように設定できます。

● お買い上げ時は、「ON」（表示する）に設定されています。

1 待受画面で、●64を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

● 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

2 1を押す。（着信履歴表示）

リダイヤル表示を設定するとき

● 2を押します。

3 2を押す。（OFF：表示しない）

● 着信履歴が表示されないようになります。

表示するとき

● 1を押します。

お知らせ

● 発着信履歴表示設定は電源を切っても解除されません。
● 着信履歴表示を「OFF」に設定しているときは、伝言メモ（☞P.84）を再生できません。
● 発着信履歴表示を「OFF」に設定している間も着信履歴、リダイヤルは記録されます。「ON」に設定したときに、「OFF」に設定していた間の履歴も見ることができます。

メール履歴を表示できないようにする

メールの送信アドレス履歴、受信アドレス履歴（☞『アプリケーション編』P.192）を表示しないように設定することができます。
- お買い上げ時は、「ON」（表示する）に設定されています。

1 待受画面で、●⑥⑤を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「✱」で表示されます。

2 ①を押す。（メール送信履歴表示）

メール受信履歴表示を設定するとき
- ②を押します。

3 ②を押す。（**OFF**：表示しない）

- メール送信履歴が表示されないようになります。

表示するとき
- ①を押します。

お知らせ
- メール履歴表示を「OFF」に設定している間も、メールの送信アドレス履歴、メール受信アドレス履歴は記録されます。「ON」に設定したときに、「OFF」に設定していた間の履歴も見ることができるようになります。
- メール履歴表示の設定は電源を切っても解除されません。

セルフモード

セルフモードを利用する

音声電話やテレビ電話の発着信、ｉモードメールやSMS、メッセージR／Fの送受信、ｉモードなどの通信が必要なすべての機能を使えないように設定することができます。
- セルフモードを設定中に電話がかかってきた場合、相手の方には電波が届かないか電源が入っていないことを通知するガイダンスが流れます。なお、ドコモの留守番電話サービス（☞P.263）、転送でんわサービス（☞P.271）をご利用の場合、FOMA端末の電源を切っているときと同様にサービスをご利用になれます。
- 電源をOFFにしても、セルフモードの設定は継続されます。
- セルフモード中でも、110番および119番、118番へはダイヤルして電話をかけることができます。
- 赤外線通信、赤外線リモコン操作を行うことはできません。
- お買い上げ時は、「OFF」（解除）に設定されています。

次ページへ続く

1 待受画面で、(●)(5)(8)を押す。

2 (1)を押す。（**ON**：設定する）

解除するとき
- (2)を押します。

3 「はい」を選び、(●)を押す。

- ディスプレイ上部に「self」が点灯します。

お知らせ
- ｉモード待機中（「 」点滅）は、セルフモードを設定することはできません。

セルフモード中は
- セルフモード設定前に受信しているｉモードメールやSMS、メッセージR／Fを読んだり、新規作成して保存することはできますが、送信することはできません。
- 送信されてきたｉモードメールやメッセージR／Fは、ｉモードセンターで、SMSはSMSセンターで、お預かりします。
- セルフモード中に通信を必要とする機能を操作した場合は、「セルフモード設定中です」もしくは「セルフモード設定中」と表示されます。

背面ボタン操作無効

シャッターや背面ボタンの誤動作を防止する

FOMA端末を閉じているときにシャッターや背面ボタンの操作ができないようにします。誤動作を防ぐことができます。
- 背面ボタン操作無効を設定したときは、 （背面上ボタン）での背面ボタン操作無効解除のみ有効となります。

1 **FOMA**端末を閉じ、サブディスプレイの待受画面で、 （背面上ボタン）を１秒以上押す。

解除するとき
- （背面上ボタン）を１秒以上押します。

お知らせ
- 背面ボタン操作無効中であっても、メインディスプレイでカメラモード操作中に、サブディスプレイに操作を切り替えた場合は、カメラモードが終了するまで背面ボタンの操作が有効になります。

携帯電話の操作を制限する

自動的に電源をONにする

あらかじめ指定した時刻に、FOMA端末の電源を自動的に入れることができます。
- 自動電源ONを設定すると、解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
- あらかじめ、日時を設定しておいてください。(☞P.56)
- 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くや、航空機内、病院など使用を禁止された区域に入る場合は、あらかじめ自動電源ONを解除してから、FOMA端末の電源を切ってください。
- お買い上げ時は、「OFF」(解除)に設定されています。

1 待受画面で、●371を押す。

2 1を押し、動作時刻(4桁)を入力する。(**ON**:設定する)

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◐で移動できます。

解除するとき
- 2を押します。

3 ●を押す。

4 1を押す。(**ON**:アラームを鳴らす)

- マルチメディアのメロディ内のフォルダ一覧が表示されます。

動作時にアラームを鳴らさないとき
- 2を押します。

5 フォルダを選び、●を押し、アラーム音を選ぶ。

- ●(確認)を押すと、アラーム音が再生されます。ⓘ(停止)を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。
- お買い上げ時は、「陽気なセニョリータ」に設定されています。
- アラーム音に動画/iモーションを設定することはできません。

6 ⓘ(決定)を押し、「**SILENT**」(サイレント)、「**LEVEL 1**」(音量1)～「**LEVEL 5**」(音量5)または「**STEP**」(ステップ)を選び、●を押す。

- 自動電源ON機能が設定されます。
- お買い上げ時は、「LEVEL 3」に設定されています。

指定した時刻になると

自動的に電源が入り、右の画面が表示されます。(アラームを設定した場合はアラーム音も鳴ります。)
- 指定した時刻に電源が入っていたときも、上記と同様の動作になります。
- PIN1コード入力設定(☞P.186)を「ON」にしているときは、PIN1コード入力画面になり、PIN1コード入力後「自動電源ON時刻が過ぎました」と表示されます。

次ページへ続く

● アラームが鳴るように設定しているときは、約30秒間アラームが鳴り、P.199「■指定した時刻になると」の画面が表示されます。いずれかのボタンを押すと止まります。
● 通話中の場合は、通話終了後、待受画面に戻るとアラームが鳴ります。ただし、電話帳などの機能を利用していたときに着信があった場合は、通話終了後、電話帳を終了して待受画面に戻るとアラームが鳴ります。
● FOMA端末を閉じている場合は、0（背面中央ボタン）を１秒以上押すと自動電源ONのアラーム音が止まります。

お知らせ
● 自動電源ONとアラーム（アラームまたはスケジュールで設定しているアラーム）を同じ時刻に設定すると、自動電源ON→アラームの順に動作します。
● 自動電源ONと自動電源OFFの時間設定を同時刻にした場合、FOMA端末が電源OFF状態のときは電源ONされ、電源ON状態のときは電源OFFされます。

自動電源OFF

自動的に電源を**OFF**にする

あらかじめ指定した時刻に、FOMA端末の電源を自動的に切ることができます。
● 自動電源OFFを設定すると、解除するまで、毎日同じ時刻に動作します。
● あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.56）
● お買い上げ時は、「OFF」（解除）に設定されています。

1 待受画面で、●372を押す。

2 1を押し、動作時刻（４桁）を入力する。（**ON**：設定する）

● 時刻は24時間制で入力します。
● カーソルは、◀▶で移動できます。

解除するとき
● 2を押します。

3 ●を押す。

● 自動電源OFF機能が設定されます。

指定した時刻に何かの操作をしていると（待受画面以外のとき：アラーム（鳴動時）／電卓／タイマー／メロディプレーヤ／マルチメディアのストリーミング再生・連続再生・スライドショー・全画面表示）、右の確認画面が表示され、「はい」を選び、●を押すか、約１分間何も操作しないでそのままにしておくと、電源は切れます。
「いいえ」を選び、●を押すと、操作を継続することができます。
（通常メニューの一覧表示中は待受画面に戻ります。）
● 通話中のときは、通話終了後待受画面に戻ると右の確認画面が表示されます。
● ソフトウェア更新中（☞P.349）は、自動電源OFFは動作しません。

お知らせ

- 自動電源OFFとアラーム（アラームまたはスケジュールで設定しているアラーム）を同じ時刻に設定すると、自動電源OFFにより電源が切れ、アラームは動作しません。（ただし、同時刻内に手動で電源をONにした場合や確認画面が表示された場合、「いいえ」を選び、◉を押したときは、待受画面に戻るとアラームが動作します。）
- ｉアプリ起動中は、自動電源OFFで設定した時刻になっても、電源は切れません。待受画面になると自動電源OFF確認画面が表示され、何も操作しないでそのままにしておくと電源が切れます。
- 赤外線通信機能起動中に自動電源OFFで設定した時刻になったときは、自動電源OFFは無効になります。（ただし、待受画面に戻ると、自動電源OFF確認画面（☞P.200）が表示されます。）
- 自動電源ONと自動電源OFFの時間設定を同時刻にした場合、FOMA端末が電源OFF状態のときは電源ONされ、電源ON状態のときは電源OFFされます。

アラーム

指定した時刻にアラームで知らせる

アラームは、あらかじめ指定した時刻／曜日に、アラーム音でお知らせします。

- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.56）
- アラームは、６件まで登録でき、解除するまでお知らせします。
- 着信バイブレータ（☞P.141）を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

アラームを登録する

ここでは、アラームが動作する時刻と曜日を設定する手順を例に、基本的なアラームの登録方法を説明します。

- アラーム音量や音色を変えたり、メッセージや電話番号を表示するなど、アラーム動作時の状態を設定することもできます。（☞P.202）

1 待受画面で、◉8 3を押し、登録する番号を選び、◉を押す。

アラーム登録画面

2 1を押す。（時刻入力）

3 動作時刻（４桁）を入力する。

- 時刻は24時間制で入力します。
- カーソルは、◐で移動できます。

4 ◉を押し、2を押す。（曜日設定）

次ページへ続く

タイマー機能を利用する

5 (1)を押す。(毎日)

アラームを動作させる曜日を指定するとき

- (2)を押し、アラームを動作させる曜日を選び、(●)を押すと、「☐」が「☑」に変わります。(i)(完了)を押します。
- 「☑」が表示されている曜日を選び、(●)を押すと、「☑」が「☐」に変わり選択が解除されます。

6 (i)(完了)を押す。

- アラームが設定されます。

設定内容の見かた

7 登録を終わるときは、(PWR HLD)を押す。

- 「♫」が点灯します。

お知らせ

- アラームとスケジュールアラームを同じ時刻に設定すると、アラーム→スケジュールアラームの順に動作します。
- 当日(時刻が過ぎている場合は翌日)、1回のみのアラームを設定(☞P.219)することもできます。(クイックアラーム)
- GIFアニメーション(内蔵の場合は、待受画面メイン9)、Flash画像(内蔵の場合は、待受画面メイン7,8)を待受画面に設定した場合、「♫」はアニメーションが終了するまで表示されません。

アラーム動作時の状態を設定する

次のアラーム動作時の状態を設定することができます。

メッセージ	アラーム動作時にメッセージを表示することができます。
連絡先	アラーム動作時に電話番号を表示することができます。
アラーム音選択	アラーム音を変えることができます。お買い上げ時は、「着信音1」に設定されています。
アラーム音量選択	アラーム音量を変えることができます。お買い上げ時は、「LEVEL3」に設定されています。
スヌーズ設定	アラームが鳴る回数と間隔を設定することができます。お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。
鳴動時間	アラーム動作時にアラームが鳴っている時間を変更することができます。お買い上げ時は、「15秒」に設定されています。

- 上記の設定は、アラーム登録画面(☞P.201)から行います。

アラーム動作時にメッセージを表示する

1 アラーム登録画面（☞**P.201**の操作１）で、(3)を押す。（メッセージ）

- メッセージは最大全角30文字（半角60文字）まで入力できます。

2 メッセージを入力し、(●)を押す。

アラームの登録を終了するとき

- (i)（完了）を押します。

アラーム動作時に連絡先を表示する

1 アラーム登録画面（☞**P.201**の操作１）で、(4)を押す。（連絡先）

2 入力方法を選び、(●)を押し、電話番号を入力または選択し、(●)を押す。

- 電話番号を直接入力するか、電話帳を選択します。電話帳を選択した場合は、電話帳に登録された名前と電話番号が連絡先として入力されます。電話番号が登録されていない場合は、連絡先として選択はできません。

アラームの登録を終了するとき

- (i)（完了）を押します。

お知らせ
- ダイヤル発信制限（☞P.195）中は、連絡先を入力することができません。
- 電話帳のPIMロック（☞P.194）中は、電話帳利用時に端末暗証番号の入力が必要です。
- アラーム動作時に連絡先を表示すると、簡単な操作で電話をかけることができます。（☞P.206）

アラーム音を変更する

- お買い上げ時は、「着信音１」に設定されています。

1 アラーム登録画面（☞**P.201**の操作１）で、(5)を押す。（アラーム音選択）

次ページへ続く

2 1を押す。（メロディ）

アラーム音を設定しないとき
- 2を押します。

3 フォルダを選び、アラーム音を選び、i（決定）を押す。

- アラーム音に動画／iモーションを設定することはできません。

アラーム音を再生するとき
- ●（確認）を押します。i（停止）を押すと再生が停止され、元の画面に戻ります。

アラームの登録を終了するとき
- i（完了）を押します。

アラーム音量を変更する

- お買い上げ時は、「LEVEL3」に設定されています。

1 アラーム登録画面（☞P.201の操作1）で、6を押す。（アラーム音量選択）

2 「**LEVEL1**」（音量1）～「**LEVEL5**」（音量5）または「**STEP**」（ステップ）を選び、●を押す。

アラーム音を鳴らさないとき
- 「SILENT」（サイレント）を選び、●を押します。

アラームの登録を終了するとき
- i（完了）を押します。

アラームの回数と間隔を設定する

- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 アラーム登録画面（☞P.201の操作1）で、7を押す。（スヌーズ設定）

- スヌーズ設定画面が表示されます。

2 1を押す。（**ON**：設定する）

解除するとき
- 2を押します。

タイマー機能を利用する

3 アラームを鳴らす間隔（２桁：**02**～**15**分）を入力し、●を押す。

4 アラームを鳴らす回数（２～６）を入力し、●を押す。

アラームの登録を終了するとき
- ⓘ（完了）を押します。

お知らせ　スヌーズ間隔について
- スヌーズ中に音声着信があった場合には、登録したアラームを鳴らす間隔の前でも通話終了後に鳴り、アラームが鳴った時刻からの間隔で次のアラームが動作します。

アラームを鳴らす時間を変更する

- お買い上げ時は、「15秒」に設定されています。

1 アラーム登録画面（☞**P.201**の操作１）で、8を押す。（鳴動時間）

2 アラームを鳴らす時間（２桁：**02**～**99**秒）を入力し、●を押す。

アラームの登録を終了するとき
- ⓘ（完了）を押します。

アラームを解除する

アラームは、１件ごとに設定／解除／削除できます。解除の場合はアラーム時刻などの登録内容は消えません。再設定の操作を行うことで、同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 待受画面で、●83を押し、登録する番号を選び、●を押す。

- 解除するときは、「⏲」が表示されている番号を選びます。

タイマ工機能を利用する

次ページへ続く

2 2を押す。（解除）

- アラーム一覧画面の「⏲」が消えます。

再設定するとき

- 1を押し、i（完了）を押します。
  アラーム一覧画面に「⏲」が表示されます。

削除するとき

- 3を押します。
  設定されていた内容が削除され、「-------------------」が表示されます。

3 操作を終わるときは、PWR HLDを押す。

- 再設定時は「🔔」が点灯します。

他のアラームの設定／解除／削除を行うとき

- アラーム一覧画面で、アラームの番号を押し、操作２を行います。

アラーム設定時刻になると

1 アラーム音が動作する。（「🔔」点滅）

- アラームのオプションで設定した、アラーム音、音量、鳴動時間などに従って、お知らせします。（登録しているメッセージも表示されます。）
- 着信バイブレータ（☞P.141）を設定しているときは、アラーム音と同時にバイブレータも動作します。
- サブディスプレイには、アラームのアニメーション、登録しているメッセージが表示されます。

2 アラーム音を止めるときは、FOMA端末のいずれかのボタンを押す。

- 表示を消すときは、PWR HLDを押します。（FOMA端末を閉じているときは、▯（背面中央ボタン）１秒以上を押します。）

スヌーズを設定しているとき

- PWR HLD 以外のボタンでアラーム音を止めると、あらかじめ指定した間隔で複数回アラームが鳴ります。
- PWR HLD でアラーム音を止めたときは、以降その時刻に対するスヌーズの動作は行われません。

電話番号を登録しているとき

- アラーム音を止めると、電話番号が表示されます。表示されている電話番号に電話をかけるときは、📞または●を押します。テレビ電話の場合はiを押します。
- ダイヤル発信制限中は、電話をかけることはできません。

お知らせ

- 赤外線通信中、データ送受信中，ソフトウェア更新中，赤外線リモコン操作中にアラームまたはスケジュールアラームで設定した時刻になったときは、通信が終了すると動作します。

操作２で何も操作しないで、アラーム鳴動時間が経過すると

- アラーム音が止まり、アラーム時間が過ぎたことを、ディスプレイの表示でお知らせします。（アラームの設定時間が表示されます。）

電源が切れた状態でアラーム時刻になったとき

- アラームは動作しません。

通話中にアラーム時刻になったとき

- 電話を終了し、待受画面に戻ったときに動作します。

マナーモード設定中にアラーム時刻になったとき

- アラーム音は鳴りません。

ドライブモード設定中にアラーム時刻になったとき

- アラーム音は鳴りません。ピクチャーライト、バイブレータも動作しません。

一定の時間が経過するとアラームで知らせる

設定した時間が経過すると、アラーム音でお知らせします。

- アラーム音は約15秒間鳴ります。いずれかのボタンを押すと止まります。
- 1秒～99分59秒の間で、時間を設定することができます。
- 着信バイブレータ（☞P.141）を設定していると、アラーム動作時にバイブレータも連動して動作します。

1 待受画面で、⦿⑨⑧を押す。

2 時間を入力する。

9分57秒
➡「09:57」

- 左の2桁に分を、右の2桁に秒を入力します。

3 ⦿（開始）を押す。

- タイマーが開始します。
- ⦿（停止）を押すと、タイマーが止まります。もう一度、⦿を押すと、タイマーが再開されます。ⓘ（リセット）を押すと、設定時間は「3分」に戻ります。
- ☎を押すと、タイマーが解除され、待受画面に戻ります。

お知らせ

- 待受画面で、時間を入力し、⦿③を押してもタイマーを開始することができます。このとき入力できる時間は、分（1～99）のみです。
- タイマーでお知らせする音（☞P.163）を変えたり、音量（☞P.164）を変えることもできます。
- タイマーを利用中にメール受信があった場合、タイマーは継続しますが、電話着信があった場合には、タイマーは終了します。
- タイマー動作中に電源OFFにした場合、タイマーは終了します。

カレンダーを表示する

ディスプレイにカレンダーを表示することができます。(☞P.168)メインディスプレイでは、スケジュール機能で登録した予定を確認することもできます。

● あらかじめ、日時を設定しておいてください。(☞P.56)
● 自分の休日など、新たな休日を登録し、カレンダーに表示することもできます。
● カレンダーの表示を2ヶ月表示や1ヶ月アイコンなどに切り替えても、待受画面のカレンダー表示設定には反映されません。(設定したスケジュールや休日は反映されます。)待受画面のカレンダー表示設定については、P.168を参照して操作を行ってください。
● お買い上げ時は、「2ヶ月表示」に設定されています。
● 祝日は設定されていません。

1 待受画面で、●81を押す。

● 今月のカレンダーが表示されます。

前の月または次の月のカレンダーを表示するとき

● ◎を押すと前の月のカレンダーが、◎を押すと次の月のカレンダーが表示されます。

日付を指定してカレンダーを表示するとき

● ◎7を押し、日付を入力し、●を押します。

2 カレンダーを消すときは、PWR HLDを押す。

カレンダー表示を切り替える<表示切替>

● お買い上げ時は、「2ヶ月表示」に設定されています。
● カレンダーの表示を2ヶ月表示や1ヶ月アイコンなどに切り替えても、待受画面のカレンダー表示設定には反映されません。(設定したスケジュールや休日は反映されます。)待受画面のカレンダー表示設定については、P.168を参照して操作を行ってください。

1 待受画面で、●81を押す。

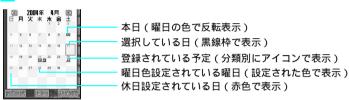
● 今月のカレンダーが表示されます。

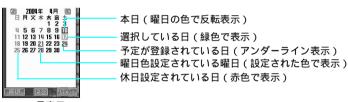
2 ◎5を押す。(表示切替)

スケジュールを登録する

3 表示方法を選び、◉を押す。

「1ヶ月表示」を選んだ場合

- カレンダー画面の表示が切り替わります。
- このあと、確認する予定を選び、◉を押すと、予定の内容が表示されます。(☞P.220)

■ カレンダー画面の見かた

1ヶ月アイコン表示

1ヶ月表示

2ヶ月表示

- カレンダー画面の見かたは、「1ヶ月表示」と同じです。

日付を入力してカレンダーを表示する<日付指定>

1 待受画面で、●8 1を押す。

● 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

2 📷7を押す。（日付指定）

3 日付を入力し、●を押す。

● 指定した日付のカレンダーが表示されます。

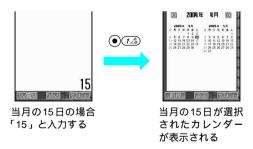
■ 待受画面で日付を入力してカレンダーを表示する

待受画面で日付を入力して、●1を押すと、今月のカレンダーを表示できます。

当月のカレンダー表示	当月の日付を入力します。
当年の月日カレンダー表示	0101～1231（1月1日～12月31日）を入力します。
指定年月日のカレンダー表示	20000101～20991231（2000年1月1日～2099年12月31日）を入力します。

● 1桁の日付の場合は、「01～09」と入力します。

当月の15日の場合「15」と入力する

当月の15日が選択されたカレンダーが表示される

● 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

休日を設定する＜休日設定＞

カレンダーから日を選んで１日単位で休日を設定したり、毎週決まった曜日を休日に設定することができます。最大100件まで設定することができます。また、自分で設定した休日をすべて解除したり過去の休日のみすべて（曜日指定で設定した休日を除く）解除することができます。

- 全解除を行うと、曜日指定で設定した休日も解除することができます。

1 待受画面で、[●][8][1]を押し、休日に設定する日（休日を解除する日）を選ぶ。

- 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）
- 毎週同じ曜日を休日に設定したり、休日をすべて解除するときは、休日を設定・解除する日を選ぶ必要はありません。

2 [📷][6]を押す。（休日設定）

3 [1]を押す。（当日設定／解除）

- 設定した休日は、赤色で表示されます。
- 操作１で、休日に設定されている日を選んだときは、設定が解除されます。

毎週決まった曜日を休日にするとき

- [2]を押し、設定する曜日を選び、[●]を押します。「□」が「☑」に変わり、設定されます。休日を解除する場合は、「☑」が表示されている曜日を選び、[●]を押します。「☑」が「□」に変わり、設定が解除されます。
- [i]（完了）を押します。

設定した休日をまとめて解除する

過去の休日をまとめて解除したり、設定したすべての休日を解除することができます。

- 曜日指定で設定した休日も全解除を行うと解除することができます。

1 待受画面で、[●][8][1]を押す。

- 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

2 [📷][6]を押す。（休日設定）

3 [4]を押し、「はい」を選び、[●]を押す。（全解除）

過去の休日をすべて解除するとき

- [3]を押し、「はい」を選び、[●]を押します。

曜日色を変更する<曜日色設定>

カレンダー画面で表示される曜日の色を変更することができます。

- お買い上げ時は、日曜日「レッド」（休日設定）、月曜日～金曜日「ブラック」、土曜日「ブルー」に設定されています。休日設定されている場合、曜日色設定を行っても、曜日の色は変更になりますが、日にちの色は赤色で表示されます。

1 待受画面で、●81を押す。

- 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

2 📷9を押す。（曜日色設定）

3 色を変更したい曜日を選び、●を押す。

4 変更したい色を選び、●を押す。

- 続けて他の曜日も設定するときは、操作３～４をくり返します。

5 ⓘ（完了）を押す。

- 曜日の色が変更されます。

お知らせ

- 曜日色を変更すると、メインディスプレイ、サブディスプレイの待受画面で表示されるカレンダーの曜日色も変更されます。（☞P.168～P.169）

スケジュールを登録する

スケジュールを登録する

予定の開始日時、終了日時、内容、連絡先（電話番号）などを登録して管理することができます。開始時刻前にアラームでお知らせしたり、メッセージや電話番号、静止画を表示することもできます。また、連絡先でスケジュールを検索したり、電話帳を表示して電話をかけたり、メールを作成することもできます。

- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.56）
- スケジュールは最大300件まで登録することができます。
- 2000年１月１日～2099年12月31日まで登録できます。

予定を登録する

ここでは、予定の日時と内容、分類、連絡先を登録する手順を例に、基本的な予定の登録方法を説明します。

- 開始日時と内容の設定は必ず行ってください。
- 予定の開始時刻前にアラームを鳴らしたり、シークレットデータとして予定を登録することもできます。（☞P.216、P.218）

1 待受画面で、●８１を押す。

- 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

2 予定を登録する日を選び、ⓘまたは📷１を押す。（新規）

予定登録画面

- １ヶ月アイコン表示の場合は、📷１を押します。

3 「日時」を選び、●を押す。

4 ２を押す。（毎日）

１回のみの予定を登録するとき
- １を押します。

毎週１回の予定を登録するとき
- ３を押し、登録する曜日を選び、●を押します。

毎月１回の予定を登録するとき
- ４を押し、登録する日を入力し、●を押します。

毎年１回の予定を登録するとき
- ５を押し、登録する月日を入力し、●を押します。

次ページへ続く

5 予定の開始時刻、終了時刻を入力し、◉を押す。

「毎日」を選んだ場合

- 時刻は24時間制で入力してください。
- 操作４で（1）（１回のみ）を押した場合は、このあと、操作７に進みます。

6 くり返しの回数（**00～99**）を入力し、◉を押す。

- 「00」を入力したときは、くり返し回数が制限なしの予定が登録されます。

7 「分類」を選び、◉を押す。

分類の種類

アイコン	分　類	アイコン	分　類	アイコン	分　類	アイコン	分　類
	分類なし		会議		誕生日		買い物
	プライベート		食事		趣味		習い事
	休日		ドライブ		デート		出張
	旅行		スポーツ		カラオケ		鑑賞
	仕事		記念日		飲み会		病院

8 予定の分類を選び、◉を押す。

- 選択された分類名が表示されます。
- 分類が決定されると次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が１番上に表示されます。

9 「画像」を選び、◉を押す。

10 （1）を押す。（イメージ）

- マルチメディアのイメージのフォルダ選択画面が表示されます。

静止画を設定しないとき

- （2）を押します。

スケジュールを登録する

11 フォルダを選び、◉を押し、静止画を選び、ⓘ（決定）を押す。

- 動画やｉモーションを選択することはできません。
- 選択された静止画のタイトル名が表示されます。
- 設定した画像は、予定リスト画面やスケジュール詳細画面で表示されます。

12 「連絡先」を選び、◉を押す。

- 連絡先を設定すると、スケジュール詳細画面やアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限中は連絡先を設定することはできません。

13 入力方法の種類を選び、電話番号を入力または選び、◉を押す。

- 電話番号を直接入力するか、電話帳を選択します。電話帳を選択した場合は、電話帳に登録された電話番号が連絡先として入力されます。電話番号が登録されていない電話帳は、連絡先として選択はできません。

14 「内容」を選び、◉を押す。

15 予定の内容を入力し、◉を押す。

- 最大全角100文字（半角200文字）まで入力できます。

16 ⓘ（完了）を押す。

17 「はい」を選び、◉を押す。

登録しないとき

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ

miniSDメモリーカードについて

- FOMA端末（本体）に登録したスケジュールをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞『アプリケーション編』P.338）、miniSDメモリーカード内のスケジュールを表示することができます。（☞『アプリケーション編』P.342）
- miniSDメモリーカードに保存されているスケジュールをFOMA端末（本体）にコピーすることができます。（☞『アプリケーション編』P.343）
- スケジュールに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞『アプリケーション編』P.332）やデータリンクソフト（☞『アプリケーション編』P.404）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

赤外線通信について

- FOMA端末（本体）に登録したスケジュールを赤外線通信で送信したり（☞『アプリケーション編』P.328）、赤外線通信でスケジュールを受信できます。（☞『アプリケーション編』P.327）

予定の開始時刻前にアラームでお知らせする<アラーム>

予定の開始時刻前にアラームでお知らせするように設定することができます。アラーム動作時の状態を設定することもできます。

- アラーム起動時にスケジュールに登録された連絡先が表示されます。
- バイブレータ（☞P.141）を設定していると、アラーム動作時にもバイブレータが連動して動作します。
- 同じ時刻に複数のスケジュールアラームを設定した場合、設定した回数、アラームが鳴ります。

アラーム時刻	予定の開始時刻の何分前にアラームを鳴らすか設定します。初期値は、「00分」に設定されています。
サブ画面内容表示	アラームと共に予定の内容の全角50文字分（半角100文字分）をサブディスプレイに表示するかどうかを設定します。初期値は、「ON」に設定されています。
アラーム音選択	アラーム音を変えることができます。初期値は、「着信音１」に設定されています。
アラーム音量選択	アラーム音量を変えることができます。初期値は、「LEVEL３」に設定されています。
鳴動時間	アラームが鳴っている時間を変更することができます。初期値は、「15秒」に設定されています。

- 上記の設定は、予定登録画面（☞P.213の操作１～２）から行います。

アラームを設定する

1 予定登録画面（☞**P.213～P.214**の操作１～６）で、「アラーム」を選び、◉を押す。

2 1を押す。（**ON**：設定する）

アラーム設定画面

解除するとき

- 2を押します。

3 1を押す。（アラーム時刻）

スケジュールを登録する

4 アラームを鳴らす時刻（予定開始時刻の何分前）を入力し、⦿を押す。

- ⓘ（完了）を押すと、予定登録画面に戻ります。

お知らせ
- GIFアニメーション（内蔵の場合は、待受画面メイン９）、Flash画像（内蔵の場合は、待受画面メイン７，８）を待受画面に設定した場合、「🔔」はアニメーションが終了するまで表示されません。

アラーム動作時にサブディスプレイにメッセージを表示する

1 アラーム設定画面（☞P.216の操作１～２）で、②を押す。（サブ画面内容表示）

2 ①を押す。（**ON**：設定する）

- ⓘ（完了）を押すと、予定登録画面に戻ります。
- アラーム動作時には、予定の内容の全角50文字分（半角100文字分）がサブディスプレイに表示されます。

サブディスプレイにメッセージを表示しないとき
- ②を押します。
- ⓘ（完了）を押すと、予定登録画面に戻ります。

アラーム音を変更する

1 アラーム設定画面（☞P.216の操作１～２）で、③を押す。（アラーム音選択）

2 ①を押す。（メロディ）

- このあと、音色を選び、ⓘを押します。詳しくは、P.203～P.204を参照してください。
- ⓘ（完了）を押すと、予定登録画面に戻ります。

アラーム音を設定しないとき
- ②を押します。

スケジュールを登録する

アラーム音量を変更する

1 アラーム設定画面（☞**P.216**の操作１～２）で、4を押す。（アラーム音量選択）

- このあと、音量を選び、●を押します。詳しくは、P.204を参照してください。
- i（完了）を押すと、予定登録画面に戻ります。

アラームが鳴っている時間を変更する

1 アラーム設定画面（☞**P.216**の操作１～２）で、5を押す。（鳴動時間）

- このあと、鳴動時間を入力し、●を押します。詳しくは、P.205を参照してください。
- i（完了）を押すと、予定登録画面に戻ります。

予定をシークレットデータに設定する

シークレットデータに設定した予定は、端末暗証番号（☞P.183）を入力してFOMA端末をシークレットモードにしない限り、読み出すことができなくなりますので、他の人に見られたくない予定を守ることができます。

- シークレットモードの設定方法については、P.134を参照してください。
- シークレットデータを解除するときは、あらかじめシークレットモードに設定してから操作してください。

1 予定登録画面（☞**P.213**～**P.214**の操作１～６）で、「シークレット」を選び、●を押す。

- シークレット画面が表示されます。

2 1を押す。（**ON**：設定する）

解除するとき

- 2を押します。

スケジュールを登録する

アラームの設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。アラームを止めるときは、エニーキーアンサーの各ボタンを押します。

● スケジュールに画像が設定されていたり、連絡先として登録した電話帳にピクチャーコール設定されている場合は、その画像が次の優先順位で表示されます。

	優先順位（高→低）
画像	スケジュールの画像→電話帳のピクチャーコール設定→通常のアラーム画像

● シークレットデータに設定している予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。（シークレットモードに設定しているときは、表示されます。）
● スケジュールのPIMロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
● 電源が入っていないときは、設定した時刻になってもアラームは動作しません。

通常の予定

シークレットデータ

クイックアラーム

クイックアラームを設定する

1 待受画面で、アラームを鳴らす時刻を入力する。

午後２時５分
➡「1405」

● 時刻は24時間制で入力します。

2 ⦿②を押す。（クイックアラーム）

3 「はい」を選び、⦿を押す。

● 入力した時刻がアラーム開始時刻に設定されます。
● 日時は当日（時刻が過ぎている場合は翌日）、分類は分類なし、内容はクイックアラームに設定されます。

登録しないとき

●「いいえ」を選び、⦿を押します。

予定を確認する

1 待受画面で、[●][8][1]を押し、確認する日を選び、[●]を押す。

- カレンダー画面で指定した日の予定が、リストで表示されます。（予定リスト画面）
- [◀]を押すと、前の日の予定一覧が表示されます。
- [▶]を押すと、次の日の予定一覧が表示されます。
- シークレットデータに設定している予定を確認するときは、シークレットモードに設定（☞P.134）してください。

miniSDメモリーカード内の予定を確認するとき

- カレンダー画面で、[📷][#]を押します。

予定リスト画面の見かた

画像（スケジュールに登録されている静止画または電話帳に登録されている画像）

2 予定を選び、[●]を押す。

スケジュール詳細画面

- 画像が登録されているとき、[i]を押すと、画像を確認することができます。
- 連絡先が登録されているとき、[●]（電話）[●]（音声電話）を押すと、電話をかけることができます。テレビ電話の場合は[●][i]を押すと、テレビ電話をかけることができます。

3 確認を終わるときは、[☎ PWR HLD]を押す。

お知らせ

- 音声電話の通話中やメール作成中などに[view]を押すと、スケジュールを呼び出して予定を確認することができます。（☞P.258）

すべての予定を確認する<スケジュール全件表示>

1 待受画面で、[●][8][1]を押す。

- 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

2 ⓪②を押す。（スケジュール全件表示）

- 登録されているすべての予定が、リストで表示されます。
- 確認する予定を選び、⦿を押すと、予定の内容が表示されます。

miniSDメモリーカード内の予定を確認するとき

- カレンダー画面で、⓪#を押します。

予定から電話をかける

連絡先が登録されているときは、スケジュール詳細画面から電話をかけることができます。

1 スケジュール詳細画面を表示する。（☞**P.220**の操作１～２）

2 ⦿を２回押す。

テレビ電話をかけるとき

- ⦿ⓘを押します。

予定からｉモードメールを作成する

連絡先の電話番号が電話帳に登録され、メールアドレスも登録されているときは、スケジュール詳細画面から電話帳を表示させ、ｉモードメールを作成することができます。

1 スケジュール詳細画面を表示する。（☞**P.220**の操作１～２）

2 ⦿（電話）を押し、◐でメールアドレスを表示させ、⦿を押す。

- メール作成画面が表示されます。選択したメールアドレスが入力されています。

3 ｉモードメールを作成し、送信する。

- 詳しくは、『アプリケーション編』P.128の操作５～６を参照してください。

分類別に表示する＜分類別表示＞

スケジュール登録されている予定を分類別に表示することができます。

1 待受画面で、●8 1を押す。

- 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

2 📷3を押す。（分類別表示）

- 分類の種類については、P.214を参照してください。

3 分類を選び、●を押す。

- 登録されている予定の中から選んだ分類が設定されているものだけ表示されます。
- 確認する予定を選び、●を押すと、予定の内容が表示されます。

連絡先別に表示する＜連絡先別表示＞

スケジュール登録されている予定を電話番号別に表示することができます。

1 待受画面で、●8 1を押す。

- 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

2 📷4を押す。（連絡先別表示）

- 電話帳リスト画面が表示されます。

3 連絡先を選び、●を押す。

- 登録されている予定の中から選んだ連絡先が設定されているものだけ表示されます。
- 確認する予定を選び、●を押すと、予定の内容が表示されます。

指定した日に保存された静止画を確認する＜イメージ検索＞

カレンダー画面で指定した日にカメラで撮影したり、ｉモードなどでダウンロードして保存した静止画を確認することができます。

1 待受画面で、●8 1を押す。

- 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

2 静止画を確認する日を選ぶ。

- カレンダー画面で選択されている日付（1ヶ月、2ヶ月表示は緑色で反転表示、1ヶ月アイコン表示は黒線枠表示）で静止画が検索できます。

3 📷8を押す。（イメージ検索）

- フォルダ一覧が表示されます。

4 フォルダを選び、●を押す。

- 指定した日に登録した静止画の一覧またはリストが表示されます。
- 選んだフォルダに検索条件に合う静止画がないときは、「指定された日付の画像は存在しません」と表示されます。

5 確認する静止画を選び、●を押す。

編集

予定を修正する

1 待受画面で、●(8)(1)を押し、修正する予定の日を選び、●を押す。

- シークレットデータに設定している予定を選ぶときは、シークレットモードに設定（☞P.134）してください。

2 修正する予定を選び、(カメラ)(2)を押す。（編集）

3 予定を修正する。

- 修正方法は、登録時の操作と同様です。（☞P.213～P.215）

4 修正が終わったら(i)（完了）を押す。

5 (2)を押す。（上書登録）

新たな予定として登録するとき

- (1)を押します。

6 「はい」を選び、●を押す。

登録しないとき

- 「いいえ」を選び、●を押します。

予定を削除する

予定は、次のいずれかの方法で削除することができます。

1件削除	予定を1件ずつ削除します。
過去全件削除	指定した日の前日までのすべての予定を削除します。
全件削除	すべての予定を削除します。
選択削除	複数の予定を選び、まとめて削除します。

1 待受画面で、●8 1を押し、◎2を押す。（スケジュール全件表示）

- スケジュール全件表示画面が表示されます。
- シークレットデータに設定している予定を選ぶときは、シークレットモードに設定（☞P.134）してください。

2 削除したい予定を選び、◎6を押す。（削除）

- 選択削除の場合、操作3で予定を選択します。

過去の予定をすべて削除するとき

- 削除を開始する予定を選びます。

3 1を押す。（1件削除）

過去のすべての予定を削除するとき

- 2を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押します。

すべての予定を削除するとき

- 3を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押します。

複数の予定を選択し、まとめて削除するとき

- 4を押し、削除したい予定を選び、●を押します。（状態マーク部分に「☑」が表示されます。選択を解除するときは、「☑」が表示されている予定を選び、●を押します。）
  削除したい予定をすべて選び、ⓘ（完了）を押します。
- 最大50件まで選択できます。

4 「はい」を選び、●を押す。

削除しないとき

- 「いいえ」を選び、●を押します。

ｉモードメールからスケジュールを登録する

受信／送信メールの本文をスケジュールの内容として登録することができます。
- ｉモードメールに添付されたファイルは、スケジュールの内容として登録できません。

1 登録したいメールを表示する。（☞『アプリケーション編』**P.176**の操作１～３）

2 受信メールのときは、📷(#)を押す。（スケジュール作成）

- スケジュール登録画面が表示されます。

送信メールのとき
- 📷(9)を押します。

スケジュールに登録される内容

	受信メール	送信メール
日時	受信日時	送信日時
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	−	
連絡先	差出人の登録されている電話帳の１つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合は、連絡先は登録されません）	宛先の登録されている電話帳の１つ目の電話番号（電話帳に登録されていない場合は、連絡先は登録されません）
シークレット	OFF	
内容	メールの題名と本文 （全角100文字（半角200文字）まで）	

3 スケジュールに内容を追加登録する。（☞**P.213**～**P.215**の操作３～**17**）

着信履歴／リダイヤルからスケジュールを登録する

着信履歴の電話番号をスケジュールの連絡先として登録することができます。

1 登録したい履歴を選ぶ。（☞P.72の操作１～２）

リダイヤルを選ぶとき

- 詳しくは、P.64の操作１～２を参照してください。

2 📷8を押す。（スケジュール作成）

- スケジュール登録画面が表示されます。

スケジュールに登録される内容

	着信履歴	リダイヤル
日時	着信日時	発信日時
分類	分類なし	
アラーム	OFF	
画像	－	
連絡先	相手の方の電話番号	
シークレット	OFF	
内容	「未入力」と入力されます。	

3 スケジュールに内容を追加登録する。（☞P.213～P.215の操作３～17）

イメージからスケジュールを登録する

マルチメディアのイメージの静止画をスケジュールの静止画として登録することができます。

● マルチメディアの動画／ｉモーションは、スケジュールの内容として登録できません。

1 登録したい静止画を選択する。（☞『アプリケーション編』P.255の操作１～２）

2 📷⑤④を押す。（スケジュール）

● スケジュール登録画面が表示されます。

スケジュールに登録される内容

日時	静止画の保存日時
分類	分類なし
アラーム	OFF
画像	静止画のタイトル名
連絡先	－
シークレット	OFF
内容	「未入力」と入力されます。

3 スケジュールに内容を追加登録する。（☞P.213～P.215の操作３～17）

お知らせ

● カメラ撮影後のプレビュー画面で📷①④を押すと、撮影した静止画をすぐに登録することができます。ただし、保存先をminiSDメモリーカードに設定しているときは、スケジュールに登録できません。保存先を本体に設定してから撮影してください。

● miniSDメモリーカード内の静止画から直接スケジュールを登録することはできません。FOMA端末（本体）にコピーしてから登録してください。

テキストメモからスケジュールを登録する

テキストメモの本文をスケジュールの内容として登録することができます。

1 待受画面で、●(8)(4)を押し、登録したいテキストメモを選ぶ。

2 (カメラ)(4)を押す。（スケジュール作成）

● スケジュール登録画面が表示されます。

スケジュールに登録される内容

日時	----/--/--
分類	テキストメモに登録されている分類
アラーム	OFF
画像	–
連絡先	–
シークレット	OFF
内容	テキストメモに登録されている本文

3 スケジュールに内容を追加登録する。（☞**P.213〜P.215**の操作３〜**17**）

カレンダーの1ヶ月アイコン表示からスケジュールを登録する

１ヶ月アイコン表示のカレンダーでは、簡単な操作で分類アイコンだけをスケジュールに登録することができます。

1 待受画面で、(●)(8)(1)を押す。

- 表示されるカレンダーは、現在設定されているカレンダーが表示されます。（☞P.208）

2 (📷)(5)を押す。（表示切替）

3 (1)を押し、(◎)で登録したい日にカーソルを移動する。

4 (i)（アイコン）を押し、分類を選び、(●)を押す。

- 分類の種類については、P.214を参照してください。

5 「はい」を選び、(●)を押す。

- 選択した分類のアイコンが表示されます。

スケジュールに登録される内容

日時	カーソル日＋操作した時間
分類	選択したアイコンの分類
アラーム	OFF
画像	－
連絡先	－
シークレット	OFF
内容	「未入力」と入力されます。

スケジュールに内容を追加登録するとき

- (●)を押し、(📷)(2)を押します。スケジュールの登録については、P.213～P.215の操作２～16を参照してください。

登録しないとき

- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

行動予定を登録する

行動予定の期日、内容などを登録して行動予定を管理することができます。優先度を設定したり、行動予定の期日前にアラームでお知らせすることもできます。

- あらかじめ、日時を設定しておいてください。（☞P.56）
- ToDoリストは最大100件まで登録することができます。
- 2000年１月１日〜2099年12月31日まで登録できます。

ここでは、行動予定の期日と内容、分類などを登録する手順を例に、基本的な行動予定の登録方法を説明します。

1 待受画面で、◉⑧②を押す。

- 行動予定を登録しているときは、その一覧が表示されます。

2 📷①を押す。（新規作成）

行動予定登録画面

3 「期限」を選び、◉を押す。

4 行動予定の期限（時刻）を入力し、◉を押す。

完了日を設定するとき

- このあと、「完了日」を選び、◉を押します。行動予定の完了日（時刻）を入力して、◉を押します。

状態や優先度を設定するとき

- このあと、「状態」または「優先度」を選び、◉を押します。状態または優先度の設定項目が表示されますので、項目を選択し、◉を押します。

5 「内容」を選び、◉を押す。

6 行動予定の内容を入力し、◉を押す。

- 内容は最大全角100文字（半角200文字）まで入力できます。
- 行動予定リスト画面では、要約が登録されているとき要約の先頭全角９文字分が表示され、要約登録されていない場合には内容の先頭全角９文字分が表示されます。

要約を入力するとき
- このあと、「要約」を選び、◉を押します。要約を入力し、◉を押します。
- 最大全角20文字（半角40文字）まで入力できます。

7 「分類」を選び、◉を押す。

- 分類の種類については、P.214を参照してください。

8 行動予定の分類を選び、◉を押す。

- 分類が決定されると、次回分類を選ぶときに、前回選択した分類が上に表示されます。

9 ⓘ（完了）を押す。

- アラーム設定、シークレット設定については、P.232を参照してください。

10 「はい」を選び、◉を押す。

登録しないとき
- 「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ
- 行動予定の内容が入力されていない場合ⓘを押しても完了することはできません。

miniSDメモリーカードについて
- FOMA端末（本体）に登録したToDoリストをminiSDメモリーカードにコピーしたり（☞『アプリケーション編』P.338）、miniSDメモリーカード内のToDoリストを表示することができます。（☞『アプリケーション編』P.342）
- miniSDメモリーカードに保存されているToDoリストをFOMA端末（本体）にコピーすることができます。（☞『アプリケーション編』P.343）
- ToDoリストに登録した内容は、別にメモを取るか、パソコンをお持ちの場合はminiSDメモリーカード（☞『アプリケーション編』P.332）やデータリンクソフト（☞『アプリケーション編』P.404）をご利用いただき、パソコンに転送・保管することをおすすめします。

赤外線通信について
- FOMA 端末（本体）に登録した ToDo リストを赤外線通信で送信したり（☞『アプリケーション編』P.328）、赤外線通信でToDoリストを受信できます。（☞『アプリケーション編』P.327）

行動予定の期日前にアラームで知らせる

行動予定の期日前にアラームを設定することができます。また、スケジュールと同様にアラーム動作時の状態（☞P.216〜P.218）を設定することができます。

1 行動予定登録画面（☞**P.230**の操作１〜４）で、「アラーム」を選び、◉を押す。

- アラーム設定画面が表示されます。

2 1を押す。（**ON**：設定する）

解除するとき
- 2を押します。

3 1を押し、アラームを鳴らす時刻（期日の何分前）を入力し、◉を押す。

- ⓘ（完了）を押すと、行動予定登録画面に戻ります。
- 連絡先を設定するとアラーム画面に表示され、簡単に電話をかけることができます。
- ダイヤル発信制限中は連絡先を設定することはできません。

行動予定をシークレットデータに設定する

シークレットデータに設定した行動予定は、端末暗証番号（☞P.183）を入力してFOMA端末をシークレットモードにしない限り、読み出すことができなくなりますので、他の人に見られたくない行動予定を守ることができます。
- シークレットデータの設定方法はスケジュールの場合と同様です。P.218を参照してください。
- シークレットモードの設定方法については、P.134を参照してください。

アラームの設定時刻になると

設定した内容でアラームが動作します。
アラームを止めるときは、エニーキーアンサーの各ボタンを押します。
- 連絡先として登録した電話帳にピクチャーコール設定されている場合は、その画像が表示されます。
- シークレットデータに設定している行動予定の場合、アラームは動作しますが、電話番号やメッセージ、登録画像は表示されません。（シークレットモードに設定しているときは、表示されます。）
- ToDoのPIMロック中は、設定した時刻になってもアラームは動作しません。
- 電話帳に静止画や動画／ｉモーションを設定（P.115）しているとアラーム動作時に静止画や動画／ｉモーションを表示することができます。静止画や動画／ｉモーションを表示させるには上記の「行動予定の期日前にアラームで知らせる」の操作３で3（連絡先）を押し、電話帳より静止画や動画／ｉモーションが設定された名前を選びます。ただし、動画／ｉモーションは再生しません。

通常の予定

シークレットデータ

行動予定を確認する

1 待受画面で、●8 2を押す。

- 登録されている行動予定が表示されます。（行動予定リスト画面）

miniSDメモリーカード内の予定を確認するとき

- 行動予定リスト画面で、◎#を押します。

行動予定リスト画面の見かた

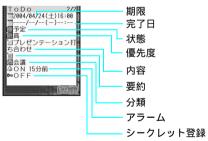
※要約が登録されているときは、要約の先頭全角９文字分（半角18文字分）が表示されます。要約が登録されていないときは、内容の先頭全角９文字分（半角18文字分）が表示されます。

2 行動予定を選び、●を押す。

- 選んだ行動予定の内容が表示されます。（行動予定内容画面）

確認を終了するとき

- ☎を押します。

行動予定内容画面の見かた

お知らせ
- 音声電話の通話中やメール作成中などに◎viewを押すと、ToDoリストを呼び出して行動予定を確認することができます。（☞P.258）

完了した行動予定をチェックする

1 待受画面で、●8 2を押し、チェックしたい行動予定を選ぶ。

2 ⓘ（☑）を押す。

- 「完」が表示され、チェックされます。（完了日時が自動的に登録されます。）
- すでに「完」が表示されている行動予定を選び、ⓘ（☑）を押すと、未チェック（「予定」）に戻ります。

ToDoリストを登録する

指定した行動予定のみを表示する<状態別表示／分類別表示>

状態や分類を指定して該当する行動予定のみを表示することができます。

1 待受画面で、●82を押す。

● 登録されている行動予定が表示されます。（行動予定リスト画面）

2 📷4を押す。（状態別表示）

● 状態別表示画面が表示されます。

分類別表示をするとき

● 📷5を押します。

3 指定する項目を選び、●を押す。

● 該当する行動予定のみが表示されます。

編集

行動予定を修正する

1 待受画面で、●82を押し、修正したい行動予定を選ぶ。

● 登録されている行動予定が表示されます。（行動予定リスト画面）

2 📷2を押す。（編集）

● 行動予定登録画面が表示されます。

3 行動予定を修正する。

● 修正方法は、登録時の操作と同様です。（☞P.230〜P.231）

完了日を設定するとき

● 行動予定登録画面で「完了日」を選び、●を押します。行動予定の完了日（時刻）を入力して、●を押します。

4 修正が終わったらⓘ（完了）を押す。

5 2を押す。（上書登録）

新たな行動予定として登録するとき

● 1を押します。

6 「はい」を選び、●を押す。

登録しないとき

● 「いいえ」を選び、●を押します。

ToDoリストを登録する

行動予定を削除する

行動予定は、次のいずれかの方法で削除することができます。

１件削除	行動予定を１件ずつ削除します。
完了のみ削除	完了したすべての行動予定を削除します。
全件削除	すべての行動予定を削除します。
選択削除	複数の行動予定を選び、まとめて削除します。

● 状態別表示や分類別表示のときは、完了のみ削除、全件削除を行うことはできません。

1 待受画面で、(●)(8)(2)を押す。

● 登録されている行動予定が表示されます。（行動予定リスト画面）

2 削除したい行動予定を選び、(📷)(6)を押す。（削除）

● 「完了のみ削除」、「全件削除」は、削除したい行動予定を選択する必要はありません。

3 (1)を押す。（１件削除）

完了したすべての行動予定を削除するとき

● (2)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押します。

すべての行動予定を削除するとき

● (3)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、(●)を押します。

複数の行動予定を選び、まとめて削除するとき

● (4)を押し、削除したい行動予定を選び、(●)を押します。（状態マーク部分に「☑」が表示されます。選択を解除するときは、「☑」が表示されている行動予定を選び、(●)を押します。）削除したい行動予定をすべて選び、(i)（完了）を押します。

● 最大50件まで選択できます。

4 「はい」を選び、(●)を押す。

削除しないとき

●「いいえ」を選び、(●)を押します。

よく使う機能を手早く実行する

よく使う機能をあらかじめショートカットに登録しておくと、簡単な操作でその機能を表示することができます。

ショートカットメニューを登録する

登録できるショートカットは、最大10件です。FOMA端末には、あらかじめ次のようなショートカットが登録されています。

1	着信音量選択	6	ToDoリスト
2	着信音選択	7	アラーム
3	iモード問い合わせ	8	電卓
4	Bookmark	9	イメージ
5	スケジュール	0	通話時間表示

1 登録したい機能（が表示されている画面）で、viewを１秒以上押す。

● 「」が表示されていない機能は、ショートカットに登録することはできません。

2 上書き登録する項目を選び、●を押す。

3 「はい」を選び、●を押す。

登録しないとき

● 「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ
● ショートカットに登録すると、自動的に登録名が付きます。
● すでに登録されているショートカットに上書き登録することができます。
● 設定リセット（☞P.249）を行うと、すべてお買い上げ時のショートカットに戻ります。

ショートカットメニューを実行する

1 待受画面で、○を押す。

● ショートカットメニューが表示されます。

待受画面にカレンダーを表示しているとき

● ○を押すと、カレンダーの月表示が変わります。このときは、PWR HLDを押しカレンダー表示を解除したあと、○を押してください。

2 ショートカットを選び、●を押す。

● 登録している機能が実行されます。

ショートカットメニューから削除する

1 待受画面で、◯を押す。

- ショートカットメニューが表示されます。

待受画面にカレンダーを表示しているとき

- ◯を押すと、カレンダーの月表示が変わります。このときは、(PWR HLD)を押しカレンダー表示を解除したあと、◯を押してください。

2 ショートカットを選び、(◎)(2)を押す。（削除）

3 (1)を押す。（１件削除）

すべてのショートカットを削除するとき

- (2)を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、◉を押します。

4 「はい」を選び、◉を押す。

- １件削除した場合はお買い上げ時の状態には戻らず、選択したショートカットが削除され、ショートカットメニューに表示されなくなります。

削除しないとき

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

ショートカットメニューの表示順を変更する

ショートカットを移動して、メニュー表示順を変更することができます。

1 待受画面で、◯を押す。

- ショートカットメニューが表示されます。

待受画面にカレンダーを表示しているとき

- ◯を押すと、カレンダーの月表示が変わります。このときは、(PWR HLD)を押しカレンダー表示を解除したあと、◯を押してください。

2 ショートカットを選び、(◎)(1)を押す。（移動）

- ショートカットメニュー移動画面が表示されます。

3 移動したい場所にカーソルを移動し、◉を押す。

- 操作２で選んだショートカットと入れ替わります。

相手の声や自分の声を録音する

音声電話の通話中に相手の方の声（通話中音声メモ）を録音したり、待受中に自分の声（待受中音声メモ）を録音することができます。

- 録音時間は１件につき約15秒で、音声伝言メモの用件（☞P.79）と合わせて最大３件（１件あたり約15秒）まで録音できます。
- TV電話伝言メモは、最大２件（１件あたり約15秒）まで録画できます。

通話中に相手の声を録音する

1 音声電話の通話中に📷1を押す。

- 録音時の注意点や録音の止めかたは、待受中の操作と同様です。

待受中に自分の声を録音する

1 待受画面で、◠（📼）◉を押す。（録音）

- 録音が始まります。
- 送話口から10cm以内でお話しください。
- すでに音声伝言メモと音声メモが３件録音されていて、TV電話伝言メモが２件録音されているときは、「これ以上録音できません」と表示されます。TV電話伝言メモが２件未満のときは、「音声伝言メモがすでに３件録音されています」と表示されます。不要な録音内容を削除してからやり直してください。（☞P.240）
- 録音は約15秒で自動的に終わります。
- インジケータおよび目盛りは目安です。

待受画面にカレンダーを表示しているとき

- ◠（📼）を押すと、カレンダーの月表示が変わります。このときは、PWR/HLDを押しカレンダー表示を解除したあと、◠（📼）◉の順に押してください。

15秒以内に録音を止めるとき

- ◉を押します。（中止前までの内容は録音されています。）

お知らせ

- 音声メモが３秒以下の場合、録音されないことがあります。
- 通話中音声メモでは、自分の声は録音されません。ただし、回線の状態などによっては、自分の声が録音される場合もあります。
- 圏外通知や番号変更案内、留守番電話開始などのガイダンスは録音できません。
- 待受中音声メモ録音中、ボタン確認音は鳴りません。

待受中音声メモ録音中に電話がかかってくると

- 録音は中止されます。📞を押すと電話に出ることができます。（中止前までの内容は録音されています。）

録音した内容は、別にメモを取り保管してくださるようお願いします。

- FOMA端末の録音内容は、使用誤りや静電気・電気的ノイズを受けたとき、また故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、録音内容が変化・消失してしまう場合もあります。万が一、録音した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

音声メモを再生／削除する

通話中音声メモや待受中音声メモの内容を聞いたり、TV電話伝言メモの内容を見たり、または削除することができます。

音声メモを再生する

1 待受画面で、◠（[メモ]）を押す。

待受画面にカレンダーを表示しているとき

- ◠（[メモ]）を押すと、カレンダーの月表示が変わります。このときは、[PWR/HLD]を押しカレンダー表示を解除したあと、◠（[メモ]）を押してください。

2 [2]を押す。（再生）

- 音声伝言メモやTV電話伝言メモ（☞P.93）も併せて、録音の新しいものから順に一覧が表示されます。
- メモが録音されていないときは、「メモがありません」と表示され、待受画面に戻ります。

3 再生するメモを選び、◉を押す。

- 再生が開始されます。

再生を途中で止めるには

- 再生中に◉（停止）を押します。

再生中の用件を最初から聞くには

- 再生中に◉（停止）を押し、もう一度◉を押します。

再生中に他の用件を聞くには

- 再生中に◉（停止）を押し、聞きたいメモを選び◉を押します。

音声メモを削除する

1 待受画面で、◯（[アイコン]）を押す。

● メモメニュー画面が表示されます。

2 [2]を押す。（再生）

3 削除したい音声メモを選び、[カメラ][1]を押す。（１件削除）

● １件削除確認画面が表示されます。

すべてのメモを削除するとき

● [カメラ][2]を押します。

4 「はい」を選び、◉を押す。

削除しないとき

●「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ

● 再生中に電話がかかってくると、再生は自動的に止まります。
● 再生中にアラームの指定時刻になると、再生は自動的に止まり、アラームが動作します。
● FOMA端末の日時を正しく設定していないときは、録音日時が正しく表示されません。
● 着信履歴表示を「OFF」に設定しているときは、伝言メモ、音声メモを再生することができません。

伝言メモ・音声メモのPIMロック中のとき（P.194）

● 操作を終了し待受画面に戻ると再びロックされます。
● 端末暗証番号入力画面が表示されます。端末暗証番号（４〜８桁の数字）を入力し、◉を押すとPIMロックは一時解除され、P.239の操作１に進みます。

バイブレータで伝言メモを確認するとき

● FOMA端末を閉じた状態で待受画面でシャッターを押すと、不在着信、伝言メモ、新着メール、留守番電話の有無をバイブレータで確認できます。いずれかがある場合は、「バイブパターン１」で２回振動します。何もない場合は「バイブパターン２」で２回振動します。

電卓を使う

電卓用の画面で加算、減算、乗算、除算、パーセント計算、税計算などができます。待受中に計算用の数字を入力し、●4を押しても、電卓の画面が表示されます。
- 電卓計算方法について詳しくは、P.339を参照してください。

1 待受画面で、●91を押す。

- 電卓画面が表示されます。

2 計算用の数字を入力する。

- 次のボタンを押して、入力します。

0～9	0～9の数字
*	小数点
#	＋／－の切り替え

- CLRを押すと、入力した数字がすべて消えます。

3 演算方法を選ぶ。

- 加減乗除は、ガイドボタンで指定します。

◐	＋ 加算	◑	－ 減算	◓	× 乗算	◒	÷ 除算

- 次の演算も指定できます。

メール	CM （クリアメモリ）	iモード	RM （メモリ呼出し）	i	% パーセント計算	スピーカー	TAX 税計算
カメラ	M+ メモリ加算						

4 計算用の数字を入力し、●（＝）を押す。

- 計算結果が表示されます。

税の計算をするとき

- 計算結果を表示し、スピーカー（TAX）を押します。
- 計算結果に税が加算されます。

税率を変更するとき

- 電卓画面で、1～99の数字（税率）を入力後、iを1秒以上押します。

電卓を終了するとき

- 電源を押します。待受画面に戻ります。

お知らせ

- 電卓表示中に、音声着信、アラーム時刻やスケジュールのアラームが動作した場合、待受画面に戻ります。
- メモリ計算をご利用の場合は、電卓を終了しても計算結果は保存されています。
- 計算中にスピーカーを1秒以上押すと、計算結果をマネーカルク（☞P.242）に反映することができます。
  例：120＋249 スピーカーを1秒以上押すと、マネーカルクに「369円」と表示
  小数点以下は省略されます。
  例：123÷4 スピーカーを1秒以上押すと、マネーカルクに「30円」と表示
- 税計算は小数点以下は省略されます。
  例：99［TAX］と押すと、「103」と表示されます。
- 計算中に*を1秒以上押すと、表示されている内容をコピーして、他の画面に貼り付けることができます。

入力した金額を積算する

マネーカルクを利用すると、順次入力した金額の合計を自動的に積算することができます。出張時の経費の計算などに便利です。

- マネーカルクには最大31件の金額が入力できます。（合計金額は30,999,969円まで、１回の入力は999,999円まで入力できます。）

1 電卓画面で金額または計算式を入力する。（☞P.241）

- 数字のみ登録することができます。

2 ( )を１秒以上押す。

- １回の入力で、±100万円以上を入力した場合、エラー音（ピッピッピッ）が鳴って「100万円以上は入力できません」と表示され、電卓画面に戻ります。
- 合計金額が±30,999,970円以上または32件以上になった場合、エラー音（ピッピッピッ）が鳴って「これ以上積算できません」と表示され、電卓画面に戻ります。
- 待受画面で、金額を入力し、(view)を押してもマネーカルクを起動できます。

3 明細名を選び、(●)を押す。

- マネーカルクに入力した金額が加算され、電卓画面に戻ります。
- 自動的に入力した日の日時が登録されます。
- 操作１～３をくり返して入力すると、マネーカルクが加算されていきます。
- 小数点以下はカットされます。

お知らせ 登録した内容は、別にメモを取り保管してくださるようお願いします。

- FOMA端末の登録内容は、使用誤りや静電気・電気的ノイズを受けたとき、また故障・修理・電話機の変更やその他取扱いによって、登録内容が変化・消失してしまう場合もあります。また、FOMA端末の電池パックを外した状態や電池が切れた状態でも、約１か月は記憶されていますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう恐れがあります。万が一、マネーカルクに登録した内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

マネーカルクを確認する

1 待受画面で、(●)(9)(2)(1)を押す。

- マネーカルクの内容が表示されます。

表示の続きや合計を見るとき

- ( )を押します。（合計は最後の行に表示されています。）

マネーカルクを削除するとき

- ( )を押し、「はい」を選び、(●)を押します。

マネーカルクの明細名を変更する

あらかじめ登録されているマネーカルクの明細名を、変更することができます。

- 1つの項目には、最大全角5文字（半角10文字）まで登録できます。

1 待受画面で、⦿⑨②②を押す。

- 現在の明細名が表示されます。

変更した明細名を元に戻すとき

- 元に戻したい明細名を選び、⦿を押し、現在の明細名を削除したあと、⦿を押します。あらかじめ登録されている明細名に戻ります。

2 変更したい明細名を選び、⦿を押す。

3 明細名を入力し、⦿を押す。

- 続けて、他の明細名を変更するときは、操作2～3をくり返します。

メモを入力する

よく利用する文章を登録しておき、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用することができます。

- テキストメモは、最大10件まで登録することができます。また、20種に分類することができます。

1 待受画面で、●84を押す。

メモを確認するとき
- メモを選び、●を押します。

2 📷1を押す。（新規作成）

すでに10件登録してあるとき
- 「これ以上登録できません」と表示されます。

3 「本文」を選び、●を押し、本文を入力したあと、●を押す。

- 本文は最大全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

4 「分類」を選び、●を押し、設定する分類を選び、●を押す。

- 20種類の分類設定から選ぶことができます。分類の種類については、P.214を参照してください。
- 前回選択した分類が一番上に表示されます。

5 i（完了）を押す。

- 新規登録確認画面が表示されます。

6 「はい」を選び、●を押す。

登録しないとき
- 「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ

miniSDメモリーカードについて
- FOMA 端末（本体）に保存されているテキストメモを miniSD メモリーカードにコピーしたり（☞『アプリケーション編』P.338）、miniSDメモリーカード内のテキストメモを表示することができます。（☞『アプリケーション編』P.342）
- miniSD メモリーカードに保存されているテキストメモをFOMA 端末（本体）にコピーすることができます。（☞「アプリケーション編」P.343）

赤外線通信について
- FOMA端末（本体）に保存されているテキストメモを赤外線通信で送信したり（☞『アプリケーション編』P.328）、赤外線通信でテキストメモを受信できます。（☞『アプリケーション編』P.327）

メモを利用する

テキストメモに登録されているメモを、メールやスケジュール、ToDoリストを作成するときに利用することができます。

1 待受画面で、●8 4を押し、メモを選び、●を押す。

2 ◎を押し、利用方法を選び、●を押す。

メールに利用するとき
- 2を押します。
- 「本文」には、メモの文章があらかじめ入力されています。

スケジュールに利用するとき
- 3を押します。
- 「内容」には、メモの文章があらかじめ入力されています。
- 「分類」には、メモの分類があらかじめ入力されています。

ToDoリストに利用するとき
- 4を押します。
- 「内容」には、メモの文章があらかじめ入力されています。
- 「分類」には、メモの分類があらかじめ入力されています。

お知らせ
- 音声電話の通話中やメール作成中などにviewを押すと、テキストメモを呼び出して確認またはコピーすることができます。(☞P.258)

登録したメモを修正する

1 待受画面で、●8 4を押し、メモを選び、◎2を押す。

- メモ編集画面が表示されます。

2 メモを編集する。

- 編集方法は、登録時と同様です。(☞P.244)

3 修正が終わったら、◎（完了）を押す。

- 編集画面が表示されます。

4 1を押す。(新規登録)

すでに10件登録してあるとき
- 「これ以上登録できません」と表示されます。

上書き登録するとき
- 2を押します。

メモを削除する

1 待受画面で、●8 4を押し、メモを選び、📷6を押す。

● 削除画面が表示されます。

2 1を押す。（1件削除）

すべてのメモを削除するとき

● 2を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押します。

複数のメモを削除するとき

● 3を押し、削除したいメモを選び、●を押します。（本文の前に「☑」が表示されます。
選択を解除するときは、「☑」が表示されているメモを選び、●を押します。）
削除したいメモをすべて選び、i（完了）を押します。

3 「はい」を選び、●を押す。

削除しないとき

●「いいえ」を選び、●を押します。

メモリ使用状況を確認する

確認できる内容は次のとおりです。

項　目	内　容
電話帳	残り件数・登録件数・シークレット件数
ブックマーク・スケジュール／ToDoリスト・テキストメモ	残り件数・登録件数
受信メール・送信メール・SMS送信・SMS受信・メッセージR／F・マルチメディアのイメージ、iモーション、メロディ、キャラ電・画面メモ・iアプリ	使用率（%）
miniSDメモリーカード	容量・使用容量・空き容量
FOMAカード	電話帳残り件数／登録件数・SMS使用率（%）

- マルチメディアのイメージのメモリの空き容量がないときは「M」、iモーションのメモリの空き容量がないときは「M」、イメージとiモーションのメモリの空き容量がないときは「M」が表示されます。
- シークレットデータの件数は、シークレットモード設定にしている時のみ表示されます。（☞P.134）

1 待受画面で、●③①を押す。

- 現在のメモリの使用状況が表示されます。
- インジケータ、および目盛は目安です。
- 他の機能のメモリ使用状況を表示するときは、○を押します。
- 確認を終了するときは、●（確認）または☎を押します。

miniSD
メモリーカード

miniSDメモリーカードやFOMAカードのメモリ使用状況を確認するとき

- ⓘ（⇒miniSD）を押します。miniSDメモリーカード使用状況が表示されます。もう一度ⓘ（FOMAカード）を押すと、FOMAカードの使用状況が表示されます。
- インジケータ、および目盛は目安です。
- 確認を終了するときは、●（確認）または☎を押します。

FOMAカード

- インジケータ、および目盛は目安です。
- 確認を終了するときは、●（確認）または☎を押します。

設定状況を確認する

各種機能の設定状況を確認することができます。

● 確認できる機能は次のとおりです。
音、表示、通話・通信設定、一般設定、セキュリティ、ｉモード、メール・メッセージ、ｉアプリ

1 待受画面で、●(3)(3)を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押す。

● 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

2 (1)を押す。（音）

● 「音」の設定状況が表示されます。(上下)を押して内容を確認することができます。
● ●を押すと、元の画面に戻ります。

「表示」を確認するとき
● (2)を押します。

「通話・通信設定」を確認するとき
● (3)を押します。

「一般設定」を確認するとき
● (4)を押します。

「セキュリティ」を確認するとき
● (5)を押します。

「ｉモード」を確認するとき
● (6)を押します。

「メール・メッセージ」を確認するとき
● (7)を押します。

「ｉアプリ」を確認するとき
● (8)を押します。

各種機能の設定を初期状態に戻す

お客様が設定できる内容を、初期状態（ご契約いただいたときの状態）に戻します。

● 初期状態の内容については、P.320～P.326「メニュー一覧」を参照してください。

1 待受画面で、●#を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

● 入力した端末暗証番号は、「✱」で表示されます。

2 「はい」を選び、●を押す。

リセットしないとき

●「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ　設定リセットを行うと

● 次のものはリセット（削除・変更）されません。リセットするときは、それぞれのページを参照してください。

日時設定（☞P.56）	ToDoリスト（☞P.235）
端末暗証番号（☞P.55）	画面メモ （☞『アプリケーション編』P.52）
所有者情報（☞P.58）	送受信／未送信メール （☞『アプリケーション編』P.187）
電話帳指定着信許可リスト（☞P.145）	署名の登録内容 （☞『アプリケーション編』P.203）
電話帳指定着信拒否リスト（☞P.147）	ネットワークサービスの設定 （☞P.276、P.278、P.281）
伝言メモなどの録音内容（☞P.85）	電話帳の登録内容（☞P.129）
マルチメディアのデータ（☞『アプリケーション編』P.103、P.274、P.297、P.309）	miniSDメモリーカード内のデータ （☞『アプリケーション編』P.343）
カメラで撮影した画像（☞『アプリケーション編』P.274、P.297）	テキストメモ（☞P.246）
Bilingual（☞P.182）	マネーカルク（☞P.242）
アラーム（☞P.205）	ユーザ辞書（☞P.313）
スケジュール（☞P.224）	ダウンロード辞書（☞P.314）

● ｉモードの設定のリセットについては、『アプリケーション編』P.69を参照してください。

● メールの設定のリセットについては、『アプリケーション編』P.206を参照してください。

イヤホンだけから着信音を鳴らす（オプション）

平型スイッチ付イヤホンマイク（別売品）などを接続したとき、着信音をイヤホンからのみ鳴らすことができます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売品）などが接続されていないときは、「イヤホンのみ」に設定していても、スピーカから着信音が鳴ります。
- お買い上げ時は、「イヤホン＋スピーカ」に設定されています。

1 待受画面で、●1 5を押す。

2 1を押す。（イヤホンのみ）

イヤホンとスピーカから着信音を鳴らすとき

- 2を押します。

お知らせ

- イヤホンマイクからの着信音量は着信音量選択（☞P.75）で設定されている音量で聞こえます。着信音量を「サイレント」に設定している場合は、着信音はイヤホンから聞こえません。
- イヤホンマイクのコードをFOMA端末に巻きつけないでください。アンテナがうまく働かなくなることがあります。
- 次のような場合は故障ではありません。
  - ■ 通話中にイヤホンマイクのプラグを半差しにすると、音が途切れたり雑音がすることがある
  - ■ 電源を入れた瞬間に、「パチッ」という音がする
- イヤホンマイクのプラグは確実に差し込んでください。半差しなどで途中で止まっていると、音が途切れたり、雑音や大きな音がすることがあります。

イヤホンをつないで自動で電話を受ける（オプション）

イヤホンマイク端子に平型スイッチ付イヤホンマイク（別売品）などを接続しているときに、かかってきた音声電話やテレビ電話を自動的に受けるように設定することができます。

- 自動的に電話を受けるまでの時間（着信時間）を設定することもできます。
- オート着信設定を「ON」に設定していても、スイッチ付イヤホンマイクを接続していないときは、自動的に電話を受けることはできません。
- お買い上げ時は、「OFF」に設定されています。

1 待受画面で、⦿(5)(7)を押す。

- オート着信設定画面が表示されます。

2 (1)を押す。（**ON**：設定する）

解除するとき

- (2)を押します。

3 着信時間（３桁：**000**～**120**秒）を入力し、⦿を押す。

- 電話を受けるまでの時間を入力せずに⦿を押すと、電話がかかってくると約２秒後に自動的に電話を受けます。（お買い上げ時は、「２秒」に設定されています。）
- 着信時間を「000秒」に設定すると、着信音やバイブレータが動作せずに電話を受けますのでご注意ください。

お知らせ

- 電話帳指定着信拒否･許可などの機能を利用して電話を受けないようにしている相手の方から電話がかかってきた場合、自動的に電話を受けることはできません。
- オート着信設定と伝言メモ応答時間設定（☞P.82）は、同じ設定時間にすることはできません。
- 留守番電話サービス（☞P.263）や転送でんわサービス（☞P.271）をオート着信設定と同時に設定しているときに､留守番電話サービスや転送でんわサービスの呼出時間を同じに設定した場合、留守番電話サービスや転送でんわサービスが優先される場合があります。オート着信設定を優先させるためには、伝言メモや留守番電話サービス、転送でんわサービスの呼出時間よりもオート着信設定の着信時間を短く設定してください。
- テレビ電話がかかってきたときは、代替画像設定（☞P.103）で設定した代替画像が相手の方に送信されます。その後、自分側の映像をカメラ映像に切り替えることができます。（☞P.101）

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた（オプション）

イヤホンマイク端子にスイッチ付イヤホンマイク（別売品）などを接続すると、スイッチを押すだけでメモリ番号に登録した相手の方に音声電話をかけたり、かかってきた音声電話やテレビ電話を受けることができます。イヤホンマイクは、次の単品あるいは組み合わせでご使用になれます。

- 平型スイッチ付イヤホンマイク
- スイッチ付イヤホンマイク + イヤホンジャック変換アダプタ P001
- ステレオイヤホンセット P001 + イヤホンジャック変換アダプタ P001
- イヤホンターミナル P001 + イヤホンジャック変換アダプタ P001
  （この組み合わせには、これらとは別にステレオイヤホンが必要です。）
- テレビ電話をかけるときはFOMA端末のボタンを操作してください。

電話番号を登録する

ワンタッチでかけたい相手の方の電話帳をメモリ番号000に登録しておくと（☞P.110）、電話番号をダイヤルしたり電話帳を呼び出さなくても、スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを押すだけで、メモリ番号に登録してある電話番号に音声電話をかけることができます。（FOMA端末を閉じた状態でも利用できます。）

- スイッチの操作でテレビ電話をかけることはできません。

スイッチを使って音声電話をかける

1 スイッチ付イヤホンマイクを接続する。

- イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 待受中に、スイッチを２秒以上押す。

- メモリ番号に登録されている電話番号に自動的に、発信されます。
- 相手の方が出たら、お話しください。

3 お話しが終わったら、スイッチを２秒以上押す。

- 電話が切れます。（FOMA端末の[PWR/HLD]を押しても、電話を切ることができます。）

お知らせ

- メモリ番号を、シークレットデータとして登録した場合は、シークットモードに設定してから、スイッチ操作で電話をかけてください。
- スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続したままかばんなどに入れると、スイッチが押されて電話がかかってしまうことがあります。使用しないときは、外してください。
- 電話帳のPIMロック中は、電話をかけることができません。
- スイッチのないイヤホンマイクを接続してすぐに外すと、自動的に電話をかけてしまう恐れがありますのでご注意ください。
- スイッチ付イヤホンマイクを接続すると、ボタン確認音は、イヤホンから聞こえます。
- イヤホンからの受話音量は受話音量調節（☞P.74）で設定されている音量で聞こえます。
- イヤホンマイク端子のゴムカバーは無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

スイッチを使って電話を受ける

1 スイッチ付イヤホンマイクを接続する。

- イヤホンマイク端子に、スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込みます。

2 電話がかかってくると、着信音が鳴る。

- 着信音は、着信音出力切替（☞P.250）で設定したところから流れます。

3 スイッチを２秒以上押す。

- 電話がつながります。（FOMA端末の[通話]を押しても、電話がつながります。）
- 相手の方と、お話しください。

テレビ電話がかかってきたとき

- スイッチを押すと、代替画像設定（☞P.103）で設定した代替画像が送信されます。その後、FOMA端末の[i]（自画像）を押すと自分側のカメラ映像に切り替えることができます。（☞P.101）

4 通話が終わったら、スイッチを２秒以上押す。

- 電話が切れます。（FOMA端末の[終話]を押しても、電話を切ることができます。）

お知らせ

- 着信音が鳴ってから接続する場合、スイッチを押していないのに、接続した瞬間に電話を受けてしまうことがありますのでご注意ください。使用しないときは、外してください。
- スイッチを連続して押したり離したりしないでください。自動的に電話をかけたり、受けたりすることがあります。
- スイッチ付イヤホンマイクのコードをFOMA端末（本体）に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。
- スイッチ付イヤホンマイクのコードを内蔵アンテナに近づけると、ノイズが入ることがありますのでご注意ください。
- プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえない場合があります。
- 通話中にプラグを半差しにすると「プー」という音がしますが故障ではありません。
- 電源を入れた瞬間に「パチッ」という音がすることがありますが故障ではありません。
- イヤホンマイク端子のゴムカバーは無理に引っ張らないでください。破損する場合があります。

FOMA端末から利用できるサービス

利用できるサービス		電話番号
コレクトコール（料金着信払通話）		（局番なし）106
一般電話の電話番号案内およびドコモとご契約の携帯電話の番号案内（有料） （電話番号の案内を希望されないお客様についてはご案内できません。）		（局番なし）104
電報の発信（有料）	午前８時〜午後10時	（局番なし）115
時報サービス（有料）		（局番なし）117
天気予報（有料）		知りたい地域の市外局番+177
災害用伝言ダイヤル（有料）		（局番なし）171
警察への緊急通報		（局番なし）110
消防・救急への緊急通報		（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報		（局番なし）118
お話中調べ		（局番なし）114

お知らせ

- コレクトコール（106）をご利用の際には、通話を受けた方に、通話料と１回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります。（2004年４月現在）
- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳しくは一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください。（2004年４月現在）
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できませんので、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認等の電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように立ち止まって通報し、通報後は、すぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されない場合はお近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の転送でんわやボイスワープをご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話／携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外、および電源を切っているときでも、発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスは、ご利用になれませんのでご注意ください。
  （一般電話または公衆電話から、FOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話はご利用になれます。）

マルチアクセスについて

FOMA端末では音声電話と一部のパケット通信（ｉモードメールの受信およびパソコンをつないだデータ通信）の複数の通信を同時にご利用いただけます。これをマルチアクセスと呼びます。

- マルチアクセスとは別に、音声電話などの通信中にSMSの受信を行うことができます。
- 音声電話中に他のパケット通信（ｉモードおよびｉモードメール送信）はご利用できません。

マルチアクセスの主な組み合わせ

FOMA端末で同時に使用可能な通信機能の主な組み合わせは次のとおりです。

現在の通信状態＼実行する通信	音声電話		テレビ電話		ｉモード接続	ｉモードメール		SMS		データ通信（パケット）		データ通信（64K）
	発信	着信	発信	着信		送信	受信	送信	受信	発信	着信	
音声電話中	×※1	×※1	×	×※2	×	×	○※3	×	○※3	○※9	×	×
テレビ電話中	×	×	×	×	×	×	×	×	○※3	×	×	×
ｉモード中	○※4	○	×※5	×	×	○※6	○※3	×	○※3	×	×	×
ｉアプリ中	×	○	×	×※7	×	×※8	○※3	×	○※3	×	×	×
データ通信中（パケット）	×	○※10	×	×	×	×	×	×	○※3	×	×	×
データ通信中（64K）	×	×	×	×	×	×	×	×	○※3	×	×	×

○：現在の通信状態を継続したまま、実行する通信を処理することができます。
×：現在の通信状態を継続します。（実行する通信を処理することはできません。）

※1 キャッチホンをご契約されていれば、処理することができます。（☞P.268）
※2 音声電話を継続するか、音声電話を切断してテレビ電話を受けるか選択できます。
※3 ｉモード問い合わせ／SMS問い合わせはできません。自動受信のみとなります。
※4 Phone To機能による発信が可能です。（☞『アプリケーション編』P.58、P.75）
※5 Phone To機能による発信が可能ですが、ｉモード通信は終了します。テレビ電話を終了すると、元の画面に戻ります。（☞『アプリケーション編』P.58）
※6 Mail To機能による送信が可能です。（☞『アプリケーション編』P.59）
※7 テレビ電話を受けると、ｉアプリは終了します。
※8 ｉモードメールを送信すると、ｉアプリは終了します。
※9 通話中はFOMA端末でデータ通信中（パケット）の画面が表示されます。このとき通信終了操作を行うと、まずデータ通信が終了し、その後の通信終了操作により音声電話が終了します。
※10 通信中は音声電話中の画面が表示されます。
このとき通信終了操作を行うと、まず音声電話が終了し、その後の通信終了操作によりデータ通信（パケット）が終了します。（パソコン等の接続機器で通信終了操作を行うと、上記にかかわらずデータ通信（パケット）を終了することができます。）

マルチアクセスでできる主な操作

音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信することが可能です。さらに、アシスタントビュー（☞P.258）をご利用になると、音声電話をかけながら、受信したメールを見ることなどもできます。

通話中にｉモードメールやSMSを受信する

音声電話の通話中にｉモードメールやSMSを受信したり、テレビ電話中にSMSを受信したとき、通話中の画面のまま受信することができます。

- テレビ電話中はｉモードメールを受信できません。ｉモードメールはｉモードセンターに保管されます。

1 音声電話の通話中にｉモードメールや**SMS**を受信する。

- ｉモードメールを受信すると、ディスプレイに「✉」が点灯します。
- このまま通話を続けて、通話終了後にｉモードメールやSMSを見ることもできます。

2 通話しながらｉモードメールや**SMS**を見るときは(view)を押す。

- アシスタントビューの使い方について詳しくは、P.258～P.259を参照してください。

通話中画面に戻るときは

- (view)を押します。

3 「メール」アイコンを選び、◉を押す。

4 「受信**BOX**」を選び、◉を押し、フォルダを選び、◉を押す。

受信トレイを
選んだ場合

5 メールを選び、◉を押す。

通話中画面に戻るときは

- (view)を押します。

マルチアクセス・アシスタントビュー

ｉモード中に電話をかける

ｉモード中に通信を継続したまま、Phone To機能により音声電話をかけることができます。

1 サイトやインターネットホームページで表示されている電話番号を選び、◉を押す。

2 「はい」を選び、◉を押す。

- ｉモードに接続したまま、ダイヤルされます。
- テレビ電話をかけた場合は、ｉモード通信が終了します。

3 通話が終わったら、PWR HLDを押す。

- サイトやインターネットホームページの画面に戻ります。

アシスタントビューについて

音声電話の通話中や機能の操作中に別の機能のデータを確認する

音声電話の通話中や機能の操作中に別の機能を起動して、データを確認したりコピーすることができます。音声電話中に予定や電話帳を確認したり、メール作成時に電話帳のメールアドレスや電話番号を利用するときなどに便利です。

- アシスタントビューで確認できる機能は、メール、電話帳、電卓、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモです。（起動中に使用していた機能によっては、一部の機能が確認できない場合もあります。）
  また、アシスタントビュー起動中に、さらにアシスタントビューを起動することはできません。
- アシスタントビュー起動中は、起動元の機能に応じたアシスタントビューマークが点滅します。（☞P.33）
- 起動中の機能では、データの確認、項目（文字）のコピー（メール、電話帳、テキストメモ、電卓の場合）が行うことができますが、編集、削除などはできません。また、データの確認の場合、メールの並び替え、電話帳検索を行うことができます。
- ｉモードアクセス中（「⊜」点滅）や音声伝言メモ録音中、テレビ電話の通話中、テレビ伝言メモ録音中、伝言メモ／音声メモ再生中、赤外線通信中などは、アシスタントビューは使用できません。

起動できる機能の組み合わせについて

		ｉモードメール／SMS	電話帳	スケジュール	ToDoリスト	テキストメモ	電卓
先に起動している機能	音声電話の通話中	○	○	○	○	○	○
	ｉモード中	○	○	○	○	○	○
	ｉモードメール／SMS	○	○	○	○	○	○
	電話帳	○	−	○	○	○	○
	スケジュール	○	○	−	×	○	○
	ToDoリスト	○	○	×	−	○	○
	テキストメモ	○	○	○	○	−	○
	定型文編集	○	○	○	○	○	○

○：起動できます。　×：起動できません。　−：同一機能のため起動できません。

お知らせ
- バーコードリーダーや文字読み取りで読み取ったサイトやインターネットホームページのURLに直接接続すると、ｉモード中にアシスタントビューを起動できない場合があります。その場合は、読み取ったURLを一旦ブックマークに登録し、ブックマークから接続してください。（☞『アプリケーション編』P.46）

1 音声電話の通話中や機能の操作中に、Ⓥviewを押す。

- 起動できる機能が表示されます。（グレー表示されている機能は起動できません。）
- アシスタントビューが使用できないときは、Ⓥviewを押しても何も表示されません。

マルチアクセス・アシスタントビュー

2 起動する機能を選び、●を押す。

- ◎でカーソルを移動します。
- 選んだ機能が起動します。機能によっては操作内容が制限されます。
- 機能の操作については、各機能の説明ページを参照してください。

電話帳の項目をコピーするとき

- 電話帳内容表示画面でコピーするデータを選び、📷3を押します。コピーした項目の貼り付けについては、P.311を参照してください。

テキストメモの文字をコピーするとき

- コピーするメモを選び、●を２回押します。その後の操作については、P.310を参照してください。
  コピーした文字の貼り付けについては、P.311を参照してください。

ｉモード中、電話帳、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモ起動中にアシスタントビューを使用していて音声電話やテレビ電話、メールの着信があったとき

- 電話がかかってきたときはアシスタントビューが終了し、着信画面が表示されます。通話を終了すると、アシスタントビューを起動する前の画面に戻ります。
- ｉモードメールやSMSが届いたときはアシスタントビューは終了せずに「✉」が点灯し、起動中のアシスタントビューからメールを確認することができます。

3 アシスタントビューを終了するときは、viewまたはPWR HLDを押す。

- 元の画面に戻ります。

マルチアクセス・アシスタントビュー

ネットワークサービスを利用する

FOMA端末から利用できるネットワークサービス

● FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスを利用できます。

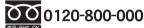
サービス名称	お申し込みの要／不要	月額使用料	参照ページ
留守番電話サービス	要	有料	P.263
キャッチホン	要	有料	P.268
転送でんわサービス	要	無料	P.271
迷惑電話ストップサービス	要	有料	P.276
発信者番号通知サービス	不要	無料	P.278
番号通知お願いサービス	不要	無料	P.280
デュアルネットワークサービス	要	有料	P.282
英語ガイダンス	不要	無料	P.284
通話中着信設定	不要	無料	P.288
遠隔操作設定	不要	無料	P.289

● 留守番電話サービス、キャッチホン、転送でんわサービス、迷惑電話ストップサービス、デュアルネットワークサービスはお申し込みが必要なサービスです。お申し込みに関しては下記にお問い合わせください。

ネットワークサービスについてご不明な点は、下記にお問い合わせください（番号をよくお確かめのうえ、おかけください）。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合 （局番なしの）151 無料

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

「留守番電話サービス」、「キャッチホン」、「転送でんわサービス」、「迷惑電話ストップサービス」、「WORLD CALL」、「WORLD WING」はドコモeサイトにてお申し込みいただけます。

● ｉモードはこちら（パケット通信料無料）
iMenu ▶ 料金＆お申込 ▶ ドコモeサイト
● パソコンなどはこちら

ドコモのホームページからアクセス！ http://www.nttdocomo.co.jp ▶ オンライン手続き/照会サービス ▶ ドコモｅサイト

直接アクセス！ http://www.esite.nttdocomo.co.jp/

※ ｉモードからご利用になる場合、ドコモにお申し込みいただいた「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ ｉモードからご利用になる場合のパケット通信料は無料です。ただし一部パケット通信料がかかる場合があります。
※ パソコンなどからご利用になる場合、「ユーザID」「パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「ユーザID」「パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は上記お問合せ先にご相談ください。
※ ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。
※ 一部ご利用できない料金プランがあります。

お知らせ
● ネットワークサービスは、ネットワークサービスセンターに接続して操作するサービスのため、サービスエリア外や電波の届かないところにいるときは操作できません。
● ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときには、新しいサービスをメニューに登録することができます。（☞P.291）

留守番電話サービスを利用する（有料）

電波の届かないところにいるとき、電源を切っているときは、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりします。音声電話をかけてきた方には、応答メッセージでお答えします。

- 留守番電話サービスは、お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。
- 日本全国どこからでも伝言メッセージを聞くことができます。
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

お知らせ

- 伝言メッセージの録音時間は、1件あたり3分間、20件まで録音できます。
- 伝言メッセージは72時間保存されます。
- 音声電話に出られないことをお伝えするだけの、不在案内機能もあります。留守番電話サービス設定で設定してください。（☞P.265）
- 留守番電話サービスを「開始」に設定していても、通常どおり音声電話をかけたり、受けたりできます。テレビ電話は留守番電話サービスの設定に関係なく、かけたり、受けたりできます。
- 留守番電話サービスを「開始」に設定しているときに音声電話がかかってきた場合は、着信音が約10秒間（お客様の設定も可能です：☞P.264）鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、自動的に留守番電話サービスセンターに接続します。この着信は、待受画面（☞P.78）や着信履歴（☞P.72）でもお知らせします。ただし、呼び出し時間を「0秒」に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 音声電話着信中に ⓐ④（留守転送）を押して手動で留守番電話サービスセンターに転送することができます。
- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動で留守番電話サービスセンターに接続されます。この着信は、待受画面（☞P.78）や着信履歴（☞P.72）でもお知らせします。
- 転送でんわサービス（☞P.271）を「開始」に設定すると、留守番電話サービスは自動的に停止します。
- サービスエリア外や電波の届かないところで、FOMA端末から留守番電話サービスの操作はできません。このようなときは、プッシュ式の一般電話、公衆電話などからネットワーク暗証番号を利用して留守番電話サービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定（☞P.289）で遠隔操作ができるように設定しておく必要があります。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます。留守番電話サービスはご利用できません。
- 急いでいるときなど、留守番電話サービスの応答メッセージを省略したい場合は、応答メッセージが流れているときに#を押すと、すぐに伝言メッセージの録音モードに切り替えることができます。
- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの呼出時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスをご利用になるには月々の使用料とは別に、伝言メッセージの再生などにかかる通信料が必要となります。
- テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを開始していても、留守番電話サービスセンターに接続されず、テレビ電話着信が継続されます。

留守番電話サービスの基本的な流れ

STEP 1 留守番電話サービスを開始する。
STEP 2 お客様のFOMA端末に音声電話がかかる。
STEP 3 音声電話に出ないと留守番電話サービスセンターに接続される。
STEP 4 相手が用件を伝言メッセージに録音する。
STEP 5 伝言メッセージを再生する。

留守番電話サービスを開始／停止する<留守番サービス開始／留守番サービス停止>

■ 留守番電話サービスを開始する

● お申し込み時、呼出秒数は「10 秒」に設定されています。呼出秒数を変更して開始することもできます。

1 待受画面で、◉④①を押す。

2 ③を押す。（留守番サービス開始）

3 ①を押す。（留守番サービス開始）

呼出時間を設定してからサービスを開始するとき
● ②を押し、呼出秒数（000〜120秒）を入力し、◉を押します。

4 「はい」を選び、◉を押す。

● 留守番電話サービスが開始され、メッセージが表示されます。

開始しないとき
●「いいえ」を選び、◉を押します。

■ 留守番電話サービスを停止する

1 待受画面で、◉④①を押す。

● 留守番電話画面が表示されます。

2 ⑤を押す。（留守番サービス停止）

3 「はい」を選び、◉を押す。

● 留守番電話サービスが停止され、メッセージが表示されます。

停止しないとき

●「いいえ」を選び、◉を押します。

伝言メッセージを聞く<留守番メッセージ再生>

1 待受画面で、◉（4）（1）を押す。

● 留守番電話画面が表示されます。

2 （2）を押す。（留守番メッセージ再生）

3 「はい」を選び、◉を押す。

再生しないとき

●「いいえ」を選び、◉を押します。

4 音声ガイダンスの指示に従って、伝言メッセージを再生する。

お知らせ

● 待受画面に「留守番電話 ×件」が表示されているとき、◉を２回押すとメッセージを再生できます。ただし、待受画面にｉアプリを設定しているときは、この操作を行うことはできません。
● 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
● この操作は、通話中に行うことができません。
● 音声ガイダンスに従ってボタン操作を行った場合、（PWR/HLD）を押しても通話が終わらないことがあります。この場合は（PWR/HLD）をもう一度押してください。

音声ガイダンスで留守番電話サービスを設定する<留守番サービス設定>

音声ガイダンスに従って留守番電話サービスの設定を行うことができます。

1 待受画面で、◉（4）（1）を押す。

● 留守番電話画面が表示されます。

2 （7）を押す。（留守番サービス設定）

3 「はい」を選び、◉を押す。

設定しないとき

●「いいえ」を選び、◉を押します。

次ページへ続く

4 音声ガイダンスの指示に従って、留守番サービスを設定する。

お知らせ
- この操作は、通話中に行うことができません。
- 音声ガイダンスに従ってボタン操作を行った場合、☎PWR HLDを押しても通話が終わらないことがあります。この場合は☎PWR HLDをもう一度押してください。
- GIFアニメーション（内蔵の場合は、待受画面メイン９）、Flash画像（内蔵の場合は、待受画面メイン７，８）を待受画面に設定した場合、「留守番電話アイコン」はアニメーションが終了するまで表示されません。

新しい伝言メッセージがあるか確認する＜メッセージ問い合わせ＞

留守番電話サービスセンターに、伝言メッセージが入っているかどうかを問い合わせます。

1 待受画面で、●41を押す。

- 留守番電話画面が表示されます。

2 1を押す。（メッセージ問い合わせ）

- 問い合わせが完了すると、メッセージが表示されます。
- 伝言メッセージが入っていると、待受画面に「留守番電話 ×件」の表示と「留守番電話アイコン」が点灯します。

お知らせ
- メッセージ問い合わせ後にお預かりしたメッセージは、本機能で確認できない場合があります。
- 表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。

留守番電話サービスの設定を確認して変更する＜留守番設定確認＞

留守番電話サービスの設定を確認してから、開始、停止、呼出時間を変更することができます。

1 待受画面で、●41を押す。

- 留守番電話画面が表示されます。

2 6を押す。（留守番設定確認）

- 現在の設定内容が表示されます。

3 📷を押す。

4 機能の番号（1～3）を押す。

留守番電話サービスを開始するとき
- 11を押し、「はい」を選び、◉を押します。

呼出時間変更と留守番電話サービスを開始するとき
- 12を押し、呼出秒数（000～120秒）を入力し、◉を押します。

留守番電話サービスを停止するとき
- 2を押し、「はい」を選び、◉を押します。

呼出時間を変更するとき
- 3を押し、呼出秒数（000～120秒）を入力し、◉を押します。

伝言メッセージが増えたときに着信音が鳴るようにする＜件数増加時鳴動設定＞

新しい伝言メッセージが届いたときに、着信音でお知らせすることができます。

1 待受画面で、◉41を押す。
- 留守番電話画面が表示されます。

2 8を押す。（件数増加時鳴動設定）

3 1を押す。（**ON**：設定する）
- 件数増加時鳴動が設定されます。

解除するとき
- 2を押します。

お知らせ
- メール着信音選択のSMS着信音で設定した着信音でお知らせします。（☞『アプリケーション編』P.198）

伝言メッセージマークを消去する＜表示消去＞

伝言メッセージが届いたことを示す「📼」を消去することができます。

1 待受画面で、◉41を押す。
- 留守番電話画面が表示されます。

2 9を押す。（表示消去）

3 「はい」を選び、◉を押す。
- 「📼」が消去されます。

消去しないとき
- 「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ
- 伝言メッセージが留守番電話センターに残っているとき、「📼」を消去しても、伝言メッセージは消去されません。メッセージ問い合わせを行うと、再び表示されます。

キャッチホンを利用する（有料）

通話中に第三者から電話がかかってきたことを、通話中着信音「ププ…ププ…」でお知らせします。現在お話し中の相手の方との通話を保留にしたまま、第三者とお話しすることができます。

- キャッチホンは、お申込みが必要なオプション（有料）サービスです。
- サービスエリア外や電波の届かないところで、キャッチホンの操作はできません。
- 以下の場合はキャッチホンはご利用できません。
  - 国際電話受付ダイヤル（0051）および110番、119番、118番、117番と通話しているとき
  - ダイヤル中および相手を呼び出し中のとき
  - 留守番電話サービスを開始していて、留守番電話サービスセンターに接続されているとき
  - 転送でんわサービスを開始していて、転送先に電話が転送されているとき
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

お知らせ
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をしたとき、番号通知お願いガイダンスが流れます。

キャッチホンを開始／停止する<キャッチホン開始／キャッチホン停止>

キャッチホンを開始する

1 待受画面で、(●)(4)(2)を押す。

2 (1)を押す。（キャッチホン開始）

3 「はい」を選び、(●)を押す。

- キャッチホンを開始する旨のメッセージが表示されます。

開始しないとき
- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

キャッチホンを停止する

1 待受画面で、(●)(4)(2)を押す。

- キャッチホン画面が表示されます。

2 (2)を押す。（キャッチホン停止）

3 「はい」を選び、◉を押す。

- キャッチホンが停止され、メッセージが表示されます。

停止しないとき
- 「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ
- キャッチホンを使用するときは、着信動作設定（☞P.287）を「通常着信」に設定してください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても、音声電話の通話中にかかってきた音声電話に応答することができません。
- キャッチホンは、日本電信電話株式会社の登録商標です。

キャッチホン設定を確認する

1 待受画面で、◉42を押す。

- キャッチホン画面が表示されます。

2 3を押す。（キャッチホン設定確認）

開始中の場合

- 現在の設定内容が表示されます。

通話中の音声電話を保留にして、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ・・・ププ・・・」という音が聞こえたら、☎を押す。

- 最初の方との通話は自動的に保留になり、あとからかかってきた音声電話を受けることができます。

2 あとからかかってきた方との通話が終わったら、☎を押す。

- 最初の方との通話に切り替わります。
- ☎を押すたびに通話の相手を切り替えることもできます。

保留中の音声電話を終わらせるとき
- ◎2を押します。

お知らせ
- 通話中のテレビ電話を保留にして、かかってきた音声電話やテレビ電話に出ることはできません。
- 通話中の音声電話を保留にして、かかってきたテレビ電話に出ることはできません。

通話中の音声電話を終わらせて、かかってきた音声電話に出る

1 通話中に「ププ・・・ププ・・・」という音が聞こえたら、[PWR/HLD]を押す。

- 新しくかかってきた電話の着信音が鳴ります。この場合、留守番電話サービスに自動では転送されません。手動で転送するときは、[カメラ][4]を押します。

2 [通話]を押す。

- 新しくかかってきた電話の方とお話しできます。

お知らせ
- 通話中のテレビ電話を終了して､かかってきた音声電話やテレビ電話に出ることはできません。

通話中の音声電話を保留にして、別の相手に音声電話をかける

通話中の音声電話を保留にして、新たにお客様のほうから別の相手に音声電話をかけることができます。

1 通話中に別の相手の電話番号をダイヤルする。

- 電話帳を利用してダイヤルすることもできます。

2 [通話]を押す。

- 新しくかけた相手の方とお話しできます。
- 最初の方との通話は自動的に保留されます。
- 保留中の相手がいるとき、[通話] を押して通話する相手を切り替えることができます。

3 新しくかけた相手の方とのお話しが終わったら、[PWR/HLD]を押す。

- 新しくかけた相手の方との通話が終了します。
- [通話]を押すと、最初の方とお話しできます。

お知らせ
- 通話中のテレビ電話を保留にして、別の相手に音声電話をかけることはできません。
- 通話中の音声電話を保留にして、別の相手にテレビ電話をかけることはできません。

転送でんわサービスを利用する（無料）

サービスエリア外や電波が届かないところにいるとき、電源を切っているときに、FOMA端末にかかってきた音声電話やテレビ電話を、一般の電話機や携帯電話、テレビ電話など、あらかじめ登録しておいた転送先に転送することができます。

- 転送でんわサービスは、お申し込みが必要なオプション（無料）サービスです。
- 電波が届かないところにいるとき、電源を切っているときでも、自動的に転送されます。
- 転送先として、フリーダイヤル、および110番などの３桁の番号は登録できません。
- テレビ電話は、3G-324M（☞P.86）に準拠したテレビ電話対応機のみに転送できます。
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

お知らせ

- 転送先は、１件だけ登録できます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定していても、通常どおり音声電話やテレビ電話をかけたり、受けたりできます。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときに音声電話やテレビ電話がかかってきた場合は、着信音が約７秒間（お客様の設定も可能です☞P.272）鳴ります。その間に応答すると、そのまま通話できます。その間に応答しない場合は、あらかじめ登録されている転送先に転送します。この着信は、待受画面や着信履歴でもお知らせします。ただし、呼び出し時間を「0秒」に設定した場合は、着信履歴に記憶されません。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しているときは、コレクトコール（料金着信払通話）での着信はできません。
- 音声電話やテレビ電話の着信中に📷3（着信転送）を押して手動で転送することができます。
- 通話中に別の音声電話がかかってきたときは、自動で転送することができます。
- 留守番電話サービス（☞P.263）を「開始」に設定した場合、転送でんわサービスは、自動的に停止されます。
- サービスエリア外や電波の届かないところで、FOMA端末から転送でんわサービスの操作はできません。このようなときは、プッシュ式の一般電話、公衆電話などから「ネットワーク暗証番号」を利用して転送でんわサービスの操作ができます。あらかじめ、遠隔操作設定（☞P.289）で遠隔操作ができるように設定しておく必要があります。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定中に「非通知設定」の着信をした場合、番号通知お願いガイダンスが流れます。転送でんわサービスは、ご利用できません。

転送でんわサービスの基本的な流れ

STEP 1 転送先の電話番号を登録する。
STEP 2 転送でんわサービスを開始に設定する。
STEP 3 お客様のFOMA端末に電話がかかる。
STEP 4 電話に出ないとあらかじめ登録した転送先に自動的に転送される。

転送でんわサービスを開始／停止する<転送サービス開始／転送サービス停止>

転送でんわサービスを開始する

1 待受画面で、●43を押す。

次ページへ続く

ネットワークサービスを利用する

2 1を押す。（転送サービス開始）

3 3を押す。（転送先電話番号入力）

4 1を押す。（直接入力）

電話帳から入力するとき

- 2を押し、電話帳から転送先を選び、●を押します。

5 電話番号を入力し、●を押す。

6 2を押す。（呼出秒数設定）

7 呼出秒数（３桁：**000～120**秒）を入力し、●を押す。

- お申し込み時は、７秒に設定されています。

8 1を押す。（転送サービス開始）

9 「はい」を選び、●を押す。

- 転送サービスが開始され、メッセージが表示されます。

開始しないとき

- 「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ

- 転送を行ったとき、転送でんわサービスを契約しているFOMA端末が位置登録しているエリアから転送先までの通話料金は、転送でんわサービスご契約者のご負担となります。お出かけ先で転送の設定をしたまま、FOMA端末の電源を入れないでいると、通話料金が高くなることがありますので、ご注意ください。
- 転送でんわサービスを「開始」に設定しても、相手の方からテレビ電話がかかってきた場合は、転送先が3G-324M（☞P.86）に準拠したテレビ電話対応機でないと接続されません。転送先をあらかじめご確認のうえ、転送設定を行ってください。
- サービスエリア外や電波の届かないところにいる場合、電源が入っていない場合は、着信音は鳴らずに自動的に転送されます。この場合も転送元から転送先までの通話料金は、転送登録したお客様のご負担となります。
- 転送先からの申し出があり、当社が必要と認めるときは、その転送を中止していただくことがあります。
- PBX、クイックキャスト※、FAXを転送先とした場合、かけてきた方に誤解を与えることがありますので、ご注意ください。
- 着信音が鳴っている間に応答すると、転送されずに通話することができます。

■ 転送でんわサービスを停止する

1 待受画面で、(●)(4)(3)を押す。

- 転送でんわ画面が表示されます。

2 (2)を押す。（転送サービス停止）

3 「はい」を選び、(●)を押す。

- 転送サービスが停止され、メッセージが表示されます。

停止しないとき

- 「いいえ」を選び、(●)を押します。

※ 2001年1月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

転送先を変更する<転送先変更>

1 待受画面で、◉④③を押す。

● 転送でんわ画面が表示されます。

2 ③を押す。（転送先変更）

3 ①を押す。（直接入力）

電話帳から入力するとき
● ②を押し、電話帳から転送先を選び、◉を押します。

4 転送先電話番号を修正し、◉を押す。

● 転送先変更確認画面が表示されます。

5 ①を押す。（転送先変更のみ）

● 転送先電話番号が変更されます。

転送先変更をしてからサービスを開始するとき
● ②を押します。

転送先が通話中のとき留守番電話サービスで応対する<転送先通話中時設定>

● 留守番電話をご利用になるには、留守番電話サービス（有料）のお申し込みが必要です。

1 待受画面で、◉④③を押す。

● 転送でんわ画面が表示されます。

2 ④を押す。（転送先通話中時設定）

3 「はい」を選び、◉を押す。

● 転送先通話時留守番サービスが設定され、メッセージが表示されます。

設定しないとき
●「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ ● テレビ電話がかかってきたときは、留守番電話サービスを開始していても、留守番電話サービスセンターに接続されず、相手の方には話中音が流れます。

転送サービス設定を確認する

1 待受画面で、(●)(4)(3)を押す。

- 転送でんわ画面が表示されます。

2 (5)を押す。（転送サービス設定確認）

- 現在の設定内容が表示されます。

通話中にかかってきた電話を転送先へ転送する

通話中（i モード待機中）に別の電話がかかってきても、その電話を登録されている転送先へ転送することもできます。

1 通話中に(📷)(3)を押す。（着信転送）

- かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

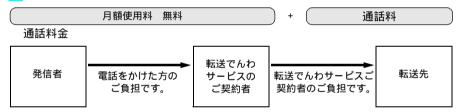
着信音が鳴っているときに電話を転送先へ転送する

1 着信音が鳴っている間に、(📷)(3)を押す。（着信転送）

- かかってきた電話を登録されている転送先へ転送します。

転送でんわサービスの料金

月額使用料　無料　＋　通話料

■ 通話料金

- 転送でんわサービスの転送先登録、サービスの開始／停止等の操作の通話料は無料です。

迷惑電話ストップサービスを利用する（有料）

いたずら電話や悪質なセールス電話など、特定の相手の方からの電話を着信しないように登録することができます。最大30件登録できます。

- 迷惑電話ストップサービスは、お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。
- 電波の届かないところにいるときは、迷惑電話ストップサービスは操作できません。
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

最後に通話した電話番号を迷惑電話ストップサービスに登録する＜迷惑電話拒否登録＞

1 待受画面で、◉44を押す。

2 1を押す。（迷惑電話拒否登録）

3 「はい」を選び、◉を押す。

- 電話番号が登録され、メッセージが表示されます。
- 最後に通話した電話番号が迷惑電話ストップサービスに登録されます。

すでに30件登録されているとき

- 「限度数を超えました　最も古い登録を削除し迷惑電話を登録しますがよろしいですか？」と表示されます。「はい」を選び、◉を押すと、上書き登録されます。

登録した電話番号をすべて削除する＜迷惑電話全登録削除＞

1 待受画面で、◉44を押す。

- 迷惑電話ストップ画面が表示されます。

2 2を押す。（迷惑電話全登録削除）

3 「はい」を選び、◉を押す。

- 電話番号が削除され、メッセージが表示されます。

削除しないとき

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

最後に登録した電話番号１件のみを削除する

1 待受画面で、(●)(4)(4)を押す。

● 迷惑電話ストップ画面が表示されます。

2 (3)を押す。（迷惑電話１登録削除）

3 「はい」を選び、(●)を押す。

● 電話番号が削除され、メッセージが表示されます。

削除しないとき

●「いいえ」を選び、(●)を押します。

お知らせ
● 迷惑電話番号を削除する方法は、すべて削除、最後に登録した１件の削除のいずれかとなります。それ以外の番号を選んで削除することはできません。

各サービス利用時の応答

次の各サービスの開始中に迷惑電話拒否登録した方から着信があった場合、次のようになります。

サービス名	迷惑電話拒否登録した方への応答
留守番電話サービス	拒否ガイダンスが流れます。メッセージはお預かりしません。
転送でんわサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。転送先には転送されません。
キャッチホン	着信拒否ガイダンスが流れます。
番号通知お願いサービス	着信拒否ガイダンスが流れます。

お知らせ
● 最後に着信して通話した相手の方の電話番号だけを拒否登録できます。ガイダンスに従って操作することもできます。
● 相手の方が発信者番号を通知してこない電話でも拒否登録することができます。
● 拒否登録をした相手の方からテレビ電話がかかってきたときは、着信拒否ガイダンスは流れず、切断されます。
● 国際電話を拒否登録することはできません。
● 拒否登録した電話番号は確認や問い合わせをすることはできません。拒否登録した電話番号は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
● この機能によって着信しなかった場合は着信履歴に記憶されません。

相手の電話機に自分の電話番号を通知する

発信時に相手の方の電話機のディスプレイへお客様の電話番号をお知らせすることができます。発信者番号はお客様の大切な情報ですので、通知する際には十分ご注意ください。

- 電波の届かないところにいるときは発信者番号通知の操作はできません。
- お申し込み時は、「通知しない」に設定されています。
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

発信者番号を通知する<発番号通知設定>

1 待受画面で、◉④⑤を押す。

2 ②を押す。（発番号通知設定）

3 ネットワーク暗証番号（４桁の数字）を入力する。

4 「はい」を選び、◉を押す。

- 発番号通知が設定され、メッセージが表示されます。

発信者番号を通知しないとき

- 「いいえ」を選び、◉を押します。

お知らせ

- 発信者番号通知は、相手の方の電話機が発信者番号表示が可能な場合のみ、利用できます。
- 発信者番号は、お客様の大切な情報です。「通知する」／「通知しない」の設定については十分ご注意ください。
- 電話番号をダイヤル入力したときや、電話帳、リダイヤルまたは着信履歴で電話番号を表示させたときに、発信者番号通知の通知／非通知を選ぶこともできます。
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが流れた場合は発信者番号通知を「通知する」に設定してからおかけ直しください。

設定内容を確認する＜発番号通知設定確認＞

1 待受画面で、●4 5を押す。

- 発信者番号通知画面が表示されます。

2 1を押す。（発番号通知設定確認）

非通知設定の場合

- 現在の設定内容が表示されます。

番号通知お願いサービスを利用する（無料）

発信者番号が通知されない電話をガイダンスの案内により、「番号の通知のお願い」をし、自動的に電話を切るサービスです。相手の方がわからない等によるトラブルを防ぎ、安心できる携帯電話の活用が可能になります。

- 番号通知お願いサービスは、お申し込み不要です。また、月額使用料、工事費とも無料です。
- 発信者番号の非通知理由が発信者の意思により発信者番号を通知しない「非通知設定」の場合のみはたらきます。（「公衆電話」、「通知不可能」は対象外です。）
- ガイダンスにかかわる通話については、発信者に通話料金がかかります。
- サービスエリア外や電波が届かないところで、番号通知お願いサービスの操作はできません。
- お申し込み時は、「停止」に設定されています。
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

お知らせ

- サービス開始後、発信者番号を通知しない電話へは、番号通知をお願いする旨のガイダンスが流れます。
- 番号通知お願いサービスを、「開始」に設定しても、テレビ電話がかかってきた場合は、番号通知お願いガイダンスが流れず、通常のテレビ電話着信になります。
- 番号通知お願いサービスの設定は、お客様ご自身のFOMAカードをセットしたFOMA端末からのみ「開始」／「停止」の操作が可能です。遠隔操作はできません。「開始」／「停止」の操作に通信・通話料はかかりません。
- 番号通知お願いサービスを「開始」に設定しているときに「非通知設定」で音声電話がかかってきた場合、着信履歴に記憶されず、不在着信も表示されません。
- FOMA端末の非通知理由別着信拒否（☞P.150）と番号通知お願いサービスを同時に設定した場合は、番号通知お願いサービスが優先されます。

■ 各サービス利用時の応答中の着信とサービスとの関係

番号通知お願いサービスを「開始」に設定している場合、次の各サービスの開始中に、発信者番号を通知しない着信があった場合、次のようになります。

サービス名	発信者番号を通知しない方への応答
留守番電話サービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。（メッセージはお預かりしません。）
転送でんわサービス	番号通知お願いガイダンスが流れます。（転送先には転送しません。）
キャッチホン	番号通知お願いガイダンスが流れます。
迷惑電話ストップサービス	迷惑電話拒否登録した電話番号から着信すると、着信拒否ガイダンスが流れます。

番号通知お願いサービスを開始する<番号通知サービス開始>

1 待受画面で、●46を押す。

2 1を押す。（番号通知サービス開始）

3 「はい」を選び、◉を押す。

● 番号通知お願いサービスが開始され、メッセージが表示されます。

開始しないとき

●「いいえ」を選び、◉を押します。

番号通知お願いサービスを停止する＜番号通知サービス停止＞

1 待受画面で、◉ 4 6 を押す。

● 番号通知お願いサービス画面が表示されます。

2 2 を押す。（番号通知サービス停止）

3 「はい」を選び、◉を押す。

● 番号通知お願いサービスが停止され、メッセージが表示されます。

停止しないとき

●「いいえ」を選び、◉を押します。

設定内容を確認する＜サービス設定確認＞

1 待受画面で、◉ 4 6 を押す。

● 番号通知お願いサービス画面が表示されます。

2 3 を押す。（サービス設定確認）

● 現在の設定内容が表示されます。

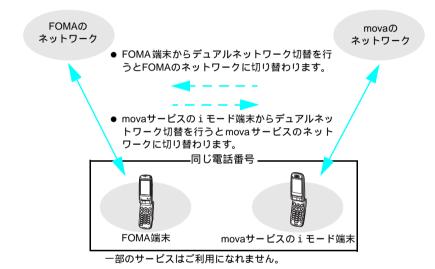
デュアルネットワークサービスを利用する

高品質な通信サービスのFOMA端末と、広範囲なサービスエリアを持つmovaサービスのｉモード端末とを、同じ電話番号で使い分けることができます。

- デュアルネットワークサービスは、お申し込みが必要なオプション（有料）サービスです。ご利用時には月額使用料がかかります。
- デュアルネットワークサービスで切り替えられるネットワークとは、ｉモードセンターやネットワークサービスセンターを含めたサービス全体を表しています。
- サービスエリア外や電波の届かないところで、デュアルネットワークの操作を行うことはできません。
- 詳しい操作については『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

デュアルネットワークサービスの切り替え

デュアルネットワークサービスの切り替えは、サービスエリア内で利用不可状態のFOMA端末またはmovaサービスのｉモード端末から操作することにより行います。

※一部のサービスはご利用になれません。

お知らせ

- FOMA端末では従来どおりFOMAのｉモードが利用できます。movaでもｉモードを利用することが可能ですが、一部利用できないサービスがあります。また、ｉモード利用時や各種ネットワークサービスにおいては、FOMA、movaそれぞれのネットワーク設備を利用するための制限事項や注意事項があります。詳しくは『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

FOMA端末を使えるようにする

FOMAのネットワークに切り替えます。

1 待受画面で、●40を押す。

2 1を押す。（デュアルネットワーク切替）

3 ネットワーク暗証番号（４桁の数字）を入力する。

- 入力したネットワーク暗証番号は、「*」で表示されます。

4 「はい」を選び、●を押す。

- ネットワーク切替が終了すると、メッセージが表示されます。

お知らせ
- それぞれのネットワーク切替を行うときは、アンテナ表示でサービスエリアであることを確認してください。FOMA端末、movaサービスのｉモード端末の画面の「Yll」は、電波状態を示しているもので、ネットワーク利用可能、不可能の状態を示しているものではありません。
- movaサービスのｉモード端末ご使用中に受信したｉモードメールは、ｉモードセンターに保存されます。保管期間内にFOMA端末により受信してください。

movaサービスのｉモード端末を使えるようにする

movaのネットワークに切り替えるには、movaサービスのｉモード端末からデュアルネットワーク切り替えを行います。

1 **mova**サービスのｉモード端末で1540をダイヤルする。

2 ガイダンスに従って操作する。

設定内容を確認する<ネットワーク状態確認>

1 待受画面で、●40を押す。（デュアルネットワーク）

- デュアルネットワーク画面が表示されます。

2 2を押す。（ネットワーク状態確認）

- 現在の設定内容が表示されます。

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスや転送でんわサービスなど、各種ネットワークサービス設定時の音声ガイダンスの言語を設定することができます。また、番号通知お願いサービスなど、お客様へ電話をかけてきた方へのガイダンスの言語を設定することもできます。

- ご利用できるガイダンスの言語は日本語と英語です。
- ガイダンスの言語設定は発信時、着信時それぞれについて設定することができます。
- サービスエリア外や電波の届かないところで、英語ガイダンスの操作はできません。
- 発信者が本サービスを利用している場合は、発信者側の発信時の設定が着信者側の着信時の設定より優先されます。
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

利用できるガイダンスの種類

	メニュー項目	ガイダンスの内容
発信時（ネットワークサービス設定時に流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	英語	すべて英語ガイダンスで流れます。
着信時（相手の方がかけてきたときに流れるガイダンス）	日本語	すべて日本語ガイダンスで流れます。
	日本語＋英語	最初に日本語ガイダンスが流れ、その後に英語ガイダンスが流れます。（英語のみのガイダンスに設定することはできません。）
	英語＋日本語	最初に英語ガイダンスが流れ、その後に日本語ガイダンスが流れます。（ドコモの携帯電話どうしでの通話の場合、発信者側の発信時の設定が着信側の着信時の設定より優先されガイダンスされます。）

- お申し込み時は、発信時、着信時どちらも、『日本語』に設定されています。

1 待受画面で、●4＊を押す。

2 1を押す。（ガイダンス設定）

発信のみのガイダンスを設定するとき
- 2を押します。

着信のみのガイダンスを設定するとき
- 3を押します。操作４に進みます。

3 1を押す。（発信+着信）

4 2を押す。（英語）

- 発信時のガイダンスを英語に設定します。

日本語のガイダンスにするとき

- 1を押します。

5 2を押す。（日本語+英語）

- 着信時のガイダンスを日本語＋英語に設定します。
- 操作3で2（発信のみ）を選んだときは、この画面は表示されません。
- ガイダンスが設定され、メッセージが表示されます。

日本語のガイダンスのみにするとき

- 1を押します。

英語のあとに日本語のガイダンスにするとき

- 3を押します。

設定内容を確認する＜ガイダンス設定確認＞

1 待受画面で、●4＊を押す。

- 英語ガイダンス画面が表示されます。

2 2を押す。（ガイダンス設定確認）

- 現在の設定内容が表示されます。

サービスダイヤルを利用する

お買い上げ時は、FOMAカードにはあらかじめ「ドコモ故障問合せ」と「ドコモ総合案内・受付」の電話番号が登録されています。メニュー操作で電話をかけることができます。

- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

故障の問い合わせをする

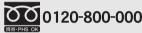
修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」(☞P.341～P.343)を参照してお調べください。
それでも調子が良くないときは、以下の連絡先にご相談ください。

1 待受画面で、●④ⓘを押す。

- サービスダイヤル画面が表示されます。

2 ①を押す。(ドコモ故障問合せ)

ドコモの携帯電話、PHSからの場合　(局番なしの) **113**　無料

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

総合案内・受付へ電話をかける

1 待受画面で、●④ⓘを押す。

2 ②を押す。(ドコモ総合案内・受付)

ドコモの携帯電話、PHSからの場合　(局番なしの) **151**　無料

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

通話中にかかってきた電話の対処を選択する

通話中に別の音声電話がかかってきたときの動作を選択することができます。キャッチホンのご契約をしていないときに利用すると便利です。

- 通話中に別の音声電話を着信させるには、通話中着信設定を「開始」に設定してください。（☞P.288）

選択できる着信動作

留守番電話	キャッチホンの「開始」／「停止」に関係なく、通話中にかかってきた音声電話を留守番電話サービスに自動で接続します。留守番電話サービスの「開始」／「停止」に関係なく、伝言メッセージをお預かりします。
転送でんわ	キャッチホンの「開始」／「停止」に関係なく、通話中にかかってきた音声電話を転送でんわサービスに自動で接続します。転送でんわサービスの「開始」／「停止」に関係なく、登録してある電話番号に転送します。
着信拒否	通話中にかかってきた音声電話の着信を自動で拒否します。
通常着信	キャッチホンが「開始」に設定されている場合、キャッチホンの動作となります。キャッチホンが「停止」に設定されている場合、次のいずれかの動作が可能です。 ● 通話中の音声電話を終了し、かかってきた音声電話に出ることができます。 ● 通話中にかかってきた音声電話を手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスへ接続、または着信拒否できます。 ● 留守番電話サービスや転送でんわサービスが「開始」に設定されているときは、その設定に従います。

- キャッチホンを使用するときは、「通常着信」に設定してください。
- 「留守番電話」「転送でんわ」「着信拒否」のいずれかに設定した場合、通話中に音声電話があったことを不在着信でお知らせします。
- お申し込み時は、「通常着信」に設定されています。

1 待受画面で、●48を押す。

2 サービスの番号（1～4）を押す。

お知らせ
- テレビ電話中やテレビ電話を着信した場合、または64Kデータ通信の着信をした場合は、着信動作設定どおりに動作しません。

通話中着信設定を開始／停止する

通話中着信設定を「開始」に設定すると、通話中に別の音声電話がかかってきたときに、着信動作設定（☞P.287）に従い着信させることができます。
● 通話中に、手動で留守番電話サービスや転送でんわサービスに接続することもできます。
● サービスエリア外や電波の届かないところで、通話中着信設定の開始、停止、確認の操作はできません。
● お申し込み時は、「停止」に設定されています。
● 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

通話中着信設定を開始する＜通話中着信設定開始＞

1 待受画面で、◉[4][7]を押す。

2 [1]を押す。（通話着信設定開始）

3 「はい」を選び、◉を押す。
● 通話中着信設定が開始され、メッセージが表示されます。

開始しないとき
● 「いいえ」を選び、◉を押します。

通話中着信設定を停止する＜通話中着信設定停止＞

1 待受画面で、◉[4][7]を押す。
● 通話中着信設定画面が表示されます。

2 [2]を押す。（通話中着信設定停止）

3 「はい」を選び、◉を押す。
● 通話中着信設定が停止され、メッセージが表示されます。

停止しないとき
● 「いいえ」を選び、◉を押します。

設定内容を確認する＜通話中着信設定確認＞

1 待受画面で、◉[4][7]を押す。
● 通話中着信設定画面が表示されます。

2 [3]を押す。（通話中着信設定確認）
● 現在の設定内容が表示されます。

遠隔操作を設定する

遠隔操作とは、留守番電話サービスや転送でんわサービスの操作を一般電話やNTT公衆電話などから行うことです。FOMAのサービスエリア外でも操作することができます。
遠隔操作を行う前に、遠隔操作設定を「開始」に設定してください。

- サービスエリア外や電波が届かないところでは、FOMA端末で遠隔操作設定の開始、停止、確認の操作を行うことはできません。
- 詳しい操作については、『ネットワークサービス操作ガイド』をご覧ください。

遠隔操作を開始する<遠隔操作開始>

遠隔操作ができるように設定します。

1 待受画面で、●49を押す。

2 1を押す。（遠隔操作開始）

3 「はい」を選び、●を押す。

- 遠隔操作が開始され、メッセージが表示されます。

遠隔操作を停止する<遠隔操作停止>

遠隔操作ができないように設定します。

1 待受画面で、●49を押す。

- 遠隔操作設定画面が表示されます。

2 2を押す。（遠隔操作停止）

3 「はい」を選び、●を押す。

- 遠隔操作が停止され、メッセージが表示されます。

設定内容を確認する<遠隔操作設定確認>

1 待受画面で、●49を押す。

- 遠隔操作設定画面が表示されます。

次ページへ続く

2 (3)を押す。（遠隔操作設定確認）

- 現在の設定内容が表示されます。

■ 公衆電話などからネットワークサービスの操作をする

ご契約のFOMA端末の電話番号と4桁のネットワーク暗証番号を使って、一般電話、NTT公衆電話、ドコモの携帯・自動車電話などから、留守番電話サービス、転送でんわサービスの各種設定を行うことができます。

- あらかじめFOMA端末で遠隔操作設定を「開始」に設定してください。

1 公衆電話などから次の番号をダイヤルする。

090-310-XXXX

- XXXXには以下の操作番号をダイヤルします。

留守番電話サービス
- ■ サービスの開始1411
- ■ サービスの停止1410
- ■ 新しい伝言メッセージの再生1417
- ■ 保存した伝言メッセージの再生、サービスの設定1416
- ■ 呼出時間の設定1419

転送でんわサービス
- ■ サービスの各種設定1429
- ■ サービスの開始（転送先登録）1421
- ■ サービスの停止1420

2 ガイダンスに従ってサービスの設定をする。

- 音声ガイダンスに従い、FOMA端末の電話番号とネットワーク暗証番号を入力し、設定を行います。
- 音声ガイダンスのあと、(PWR HLD)を押しても通話が終わらないときは、もう一度(PWR HLD)を押してください。

サービスを登録して利用する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加提供されたときに、新しいネットワークサービスを最大10件まで登録することができます。

特番とサービスコード(USSD)について

- 新しいサービスが追加提供されたときは、サービスを利用するための特番またはサービスコードをドコモがお客様にお知らせします。
- FOMA端末には、新しく追加提供されたサービスの特番またはサービスコードを登録することができます。
- サービスコードが提供される場合、FOMA端末には(USSD)として登録されます。

サービスを登録する

1 待受画面で、(●)(4)(#)を押す。

2 (📷)(1)を押す。(編集)

3 登録したいサービス名を入力し、(●)を押す。

- 最大全角10文字(半角20文字)まで入力できます。

4 追加するサービスの特番またはサービスコードを入力する。

5 (●)を押す。

- 新しいサービスが追加されます。

登録したサービスを利用する

1 待受画面で、●4#を押す。

● 追加サービス画面が表示されます。

2 利用するサービスを選び、●（発信）を押す。

登録したサービスを削除する

1 待受画面で、●4#を押す。

● 追加サービス画面が表示されます。

2 削除するサービスを選び、📷を押す。

3 2を押す。（1件削除）

すべてのサービスを削除するとき

● 3を押し、端末暗証番号（4～8桁の数字）を入力し、●を押します。

4 「はい」を選び、●を押す。

● サービスが削除されます。

削除しないとき

●「いいえ」を選び、●を押します。

登録したサービスの受信表示を編集する

1 待受画面で、●4#を押す。

● 追加サービス画面が表示されます。

2 編集したいサービスを選び、📷4を押す。（受信表示）

3 ◎1を押す。（編集）

- 受信表示名入力画面が表示されます。

受信表示を１件削除するとき

- ◎2を押し、「はい」を選び、◉を押します。

受信表示を全件削除するとき

- ◎3を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、◉を押します。

4 登録したい受信表示名を入力し、◉を押す。

- 最大全角10文字（半角20文字）まで入力できます。

5 特番またはサービスコードを入力し、◉を押す。

- 新しい受信表示名が登録または変更されます。

文字の入力のしかた

文字入力について

FOMA端末では、電話帳をはじめ文字メッセージ入力など、文字入力を行う機能がいくつかあります。
実際にお使いになる前に、文字入力のしくみを覚えておいてください。

文字入力方式について

かな方式	1つのダイヤルボタンに複数の文字が割り当てられており、ボタンを数回押すことにより目的の文字を入力する方式です。各ボタンの文字の割り当てについては、P.332〜P.333を参照してください。表示を逆戻りさせるときは[illegible]を押します。
2タッチ方式	ポケットベル※へ文字を送信するときのように、2つの数字を組み合わせて文字を入力する方式です。数字の組み合わせと入力できる文字（変換方法）については、P.334を参照してください。

● 文字入力方式の選択方法については、P.316を参照してください。
● それぞれの入力方式には、文字の種類に合わせた入力モードがあります。（☞P.297、P.316）
※ 2001年1月から、ドコモのポケットベルは、「クイックキャスト」に名称が変わりました。

入力できる文字の種類

全角文字	漢字、ひらがな、カタカナ、英大文字・英小文字、数字※、記号、絵文字
半角文字	カタカナ、英大文字・英小文字、数字、記号

※ かな方式での数字の全角文字は、全角英数字入力モードで入力できます。
● 詳しくは、P.332〜P.334を参照してください。

近似予測変換と連携予測変換について

近似予測変換	ひらがなを1〜3文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登録されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力・変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

● お買い上げ時は、両方の変換機能が利用できるように設定されています。個別に利用を停止することもできます。（☞P.315）
● 学習された変換候補をすべてリセットすることもできます。（☞P.317）

お知らせ ● 文字入力画面のデザインは、機能により異なります。

かな方式で文字を入力する

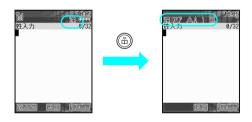
かな方式の入力モードの種類と切り替え方法

かな方式では、入力する文字の種類に合わせて、入力モードを切り替えます。

入力モードの種類

- ■ 漢字・ひらがな
- ■ 全角カタカナ
- ■ 半角カタカナ
- ■ 全角英数字
- ■ 半角英数字
- ■ 半角数字
- ■ 区点コード

1 文字入力画面で、(文字) を押す。

- ● を押すごとに、
  ア（全角カタカナ）➡ｱ（半角カタカナ）➡A（全角英数字）➡A（半角英数字）➡
  1（半角数字）➡区（区点コード）➡漢（漢字・ひらがな）の順に入力モードが切り替わります。
- ● 文字入力画面でを押したあとは、の代わりにを押しても上記と同様に切り替えられます。を押すと、逆の方向に切り替わります。

小文字を入力する

A（全角英数字）またはA（半角英数字）を選択時に、を押すと、小文字入力に切り替わります。もう一度、を押すと大文字入力に切り替わります。
文字を入力後、を押すと、１文字ずつ変換することもできます。

大文字　　小文字

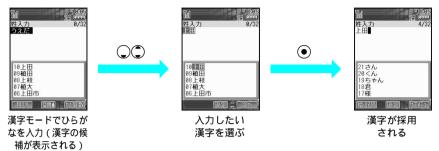
- ● 文字入力画面で「絵・記号」と表示されている場合は、（絵・記号）を押すと、絵文字入力モードや記号入力モードに切り替えることができます。（☞P.303、P.304）

お知らせ　文字入力を中止するとき

- ● 文字入力を中止し１つ前の画面に戻るには、CLRを押します。すでに文字を入力しているときは、CLRを押し、すべての文字を削除（☞P.300）したあと、CLRを押します。
  文字の途中にカーソルがあるときは、CLRを１秒以上押す操作を２回くり返します。
- ● メール本文入力中はCLRで文字入力を中止できません。●（決定）を押してメール作成画面に戻ってください。

漢字・ひらがな・カタカナ（全角）を入力する

漢字モードで、ひらがなを入力して漢字・ひらがな・カタカナ（全角）や記号などに変換します。

漢字モードでひらがなを入力（漢字の候補が表示される）　入力したい漢字を選ぶ　漢字が採用される

- ひらがなを１文字入力するたびに、変換候補が表示されます。採用するときは、◯を押し変換候補欄にカーソルを移動したあと、◯で入力したい変換候補を選び、◉を押します。
  変換候補欄では、◎（次へ）を押すと次の候補画面が表示されます。また、◎（前へ）を押すと、前の画面に戻ります。
  変換候補欄での選択をやめるときは、CLRを押します。文字入力画面にカーソルが戻り、入力を続けることができます。
- 同じボタンを使って次の文字を入力するとき（例：「あい」）は、必ず◯を押してカーソルを移動させてから入力してください。
- 目的の漢字に変換されないときは、変換の対象になる文字（反転している文字）の区切りを◯で変えて変換し直すことができます。
- ◯を押すと、ワンタッチ変換モードになります。（☞P.299）

１文字変換について

一度、通常の変換で入力した漢字を次回入力するときには、先頭の１文字を入力するだけで漢字に変換することができます。

入力したい漢字が見つからないとき（音訓変換）

漢字の音読みや訓読みを入力して１文字ずつ漢字を入力することができます。
音訓変換は、漢字モードでひらがなを入力したあと、◎（音訓）を押して行います。

漢字モードでひらがなを入力　漢字の候補が表示される　入力したい漢字を選ぶ

- このあと、◉を押すと漢字が採用されます。

お知らせ

- 漢字候補の表示順序は、辞書の学習機能によって変わります。
- 変換できる漢字は、JIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は、一部変形もしくは省いています。

濁点（゛）や半濁点（゜）を付ける

- ひらがな、全角カタカナの場合、を１回押すと濁点（゛）が、２回押すと半濁点（゜）がつきます。３回押すと元の文字に戻ります。
- 半角カタカナの場合、を１回押すと濁点（゛）が、２回押すと半濁点（゜）が、３回押すと長音（ー）が追加されます。４回押すと再び濁点（゛）に戻ります。
  追加された文字は１文字として数えられます。

お知らせ
- 濁点を付けたひらがなやカタカナは、一部を省略しているものもあります。

小文字に変換する

小文字に変換したい文字を入力し、を押します。
英字の場合は、小文字に変換され、入力モードも小文字モードになります。
- ひらがなやカタカナで小文字に変換できない文字の場合は、変換されません。

スペースを入力する

文字列の最後にカーソルがあるときは、を押してカーソルを進めます。
この場合、入力モードに関係なく半角スペースが入力されます。半角スペースは１文字として数えられます。

漢字変換用の文字を簡単に指定する＜ワンタッチ変換＞

ワンタッチ変換について

ワンタッチ変換を使うと、押したボタンに割り当てられているすべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。
ワンタッチ変換を利用するときは、ひらがなを入力し、を押します。目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。
例：おはよう

- ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
- ワンタッチ変換状態では、カーソルが青色になります。
- ワンタッチ変換状態（青色のカーソル）のとき、で、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
- ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。
- ワンタッチ変換の変換候補が表示されているときに、を押すと、変換前のひらがなに戻ります。この状態でを押すと、通常変換の変換候補が表示されます。
- 濁点・半濁点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを１回押したあと、濁点・半濁点を入力します。
  （例：「べんきょう」の場合「ばわかやあ」と入力）

推測頭出し変換について

１文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字（「あ」を入力した場合「あ」「い」「う」「え」「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

- 表示される言葉は、あらかじめ登録されています。
- 表示される言葉は、5:00〜10:59、11:00〜16:59、17:00〜22:59、23:00〜4:59の時間帯で変わります。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00〜16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ１文字学習について

以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の１文字（「あたあさわ」と入力してワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合は「あ」）を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果（「お父さん」）が表示されます。

文字を修正する

文字を追加する

で追加したい文字の位置にカーソルを移動し、追加する文字を入力します。

追加したい位置にカーソルを移動

カーソル位置に追加される

文字を削除する

で削除したい文字の位置にカーソルを移動し、CLRを押します。カーソル位置の文字が消えます。

削除したい位置にカーソルを移動

文字が削除される

- CLRを１秒以上押すと、カーソル位置に応じて文字をまとめて削除することができます。
  - ■ カーソルの前後に文字があるとき／カーソルの後ろだけに文字があるとき
    カーソル位置の文字を含み後の文字がすべて削除されます。
  - ■ カーソルの前にだけ文字があるとき
    カーソル位置の前の文字がすべて削除されます。

文字を変更する

上記の方法で、変更したい文字を削除したあと、文字を追加します。

変更したい位置にカーソルを移動

文字が削除される

カーソル位置に追加される

カタカナ（半角）を入力する

半角カナモードで、カタカナを入力します。

半角カナモードでカタカナを入力

採用される
※ｉモードメールの本文入力時は○で採用

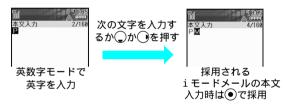
- 同じボタンを使って次の文字を入力するとき（例：「アイ」）は必ず○を押してカーソルを移動させてから入力してください。

英数字を入力する

英字を入力する

全角英数字モード（大文字／小文字）または半角英数字モード（大文字／小文字）で、英字を入力します。

英数字モードで英字を入力

採用される
※ｉモードメールの本文入力時は○で採用

- 同じボタンを使って次の文字を入力するとき（例：「AB」、「ab」）は、必ず○を押してカーソルを移動させてから入力してください。
- 漢字モードで英単語の固有名詞（例「はうす」など）を入力し、変換候補から半角英字（例「House」、「house」など）を選んで入力することもできます。
- 漢字モードでローマ字の読み（例「ひとみ」）を入力し、変換候補から半角ローマ字（例「hitomi」など）を選んで入力することもできます。

数字を入力する

半角数字モードで、数字を入力します。（半角数字）

半角数字モードで数字を入力するとすぐに採用される

- 全角数字は、全角英数字モード（大文字／小文字）で、入力したい数字のダイヤルボタンをくり返し押すと入力できます。
  例：「１」を入力するとき➡1を５回押す
  　　「２」を入力するとき➡2を７回押す（大文字の場合）／2を４回押す（小文字の場合）
- 漢字モードでひらがなを入力し、カナ英数変換候補から全角数字を選んで入力することもできます。

漢字モードのままカタカナ、英字、数字に変換する<カナ英数変換>

入力したひらがなをカタカナに変換したり、該当するボタンの英字や数字に変換することができます。カナ英数変換は、漢字モードのときのみ有効です。
文字を入力し、(カナ英数)を押します。

- で入力したい文字を選び、を押すと、採用されます。
- 変換候補が表示されたときに、ダイヤルボタンを使って直接選ぶことはできません。
- 数字は次のように変換されます。(小文字や濁点・半濁点付きも同様です。)

■あ行…1　■か行…2　■さ行…3　■た行…4　■な行…5　■は行…6
■ま行…7　■や行…8　■ら行…9　■わ・を・ん・スペース…0
※ 改行は、メールの本文入力時などに有効です。

文字入力のしかた

絵文字を入力する<絵文字入力>

絵文字入力モードにする

文字入力の各モード（画面左下に「絵・記号」が表示されている画面）で、（絵・記号）を押すと、絵文字モードになります。
絵文字モードでを押すと、絵文字モード１と絵文字モード２を切り替えることができます。

- 絵文字入力を終了し、元の入力モードに戻るときは、を押します。

絵文字モード１

画面で選んで入力するとき

絵文字モードで、を押して、絵文字を選び、を押します。

絵文字の一覧　入力する絵文字を選ぶ　絵文字が採用される

絵文字コードで入力するとき

絵文字モードで、３桁の数字（絵文字コード）を入力し、を押します。

絵文字が採用される

- 絵文字コードとは、絵文字ひとつひとつにつけられた固有の番号です。
  絵文字コードについては、P.336、P.337「絵文字一覧」を参照してください。
- 絵文字コードを入力し間違えたときは、そのまま３桁目まで入力したあと、もう一度３桁の正しい数字を入力し直してください。

お知らせ　● 一覧の１行目に表示される絵文字は、最近使用された10個の絵文字が表示されます。

記号を入力する<記号変換>

記号入力モードにする

文字入力の各モード（画面左下に「絵・記号」が表示されている画面）で、（絵・記号）を２回押すと記号モードになります。
記号モードでを押すと、全角記号モードと半角記号モードを切り替えることができます。

- 記号入力を終了し、元の入力モードに戻るときは、を押します。

全角記号モード

画面で選んで入力するとき

記号モードで、を押して入力する記号を選び、を押します。

- ２タッチ方式でも同様に操作できます。

記号の一覧　入力する記号を選ぶ　記号が採用される

記号コードで入力するとき

記号モードで、３桁（全角の場合）または２桁（半角の場合）の数字（記号コード）を入力し、を押します。

記号が採用される

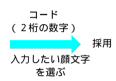
- 記号コードとは、記号ひとつひとつに付与されている固有の番号です。
- 記号コードについては、P.335「記号一覧」を参照してください。
- 記号コードを入力し間違えたときは、そのまま３桁目（全角の場合）または２桁目（半角の場合）まで入力したあと、もう一度３桁（全角の場合）、２桁（半角の場合）の正しい数字を入力し直してください。

お知らせ　● 一覧の１行目に表示される記号は、最近使用された10個の記号が表示されます。

顔文字を入力する＜顔文字＞

文字入力画面で◎④（顔文字）を押します。入力できる顔文字が画面に表示されます。
顔文字のコード（２桁の数字）を押すと、採用されます。

メニューが表示される

顔文字の一覧が表示される

- ひらがなで「かお」と入力し◯を押すと、漢字の候補と共に顔文字も表示されます。
- ◯で、顔文字を選び、◉を押しても、採用されます。

顔文字一覧表

コード	顔文字	コード	顔文字	コード	顔文字	コード	顔文字
01	(^O^)	14	(T_T)	27	(°　∇°　)	40	(￣∇￣；)
02	o(^-^)o	15	(￥_￥)	28	！(＾　＾)！	41	(　^^)Y☆Y(^^　)
03	(^O^)/	16	(@_@)	29	o(＞＜)o	42	o(^-^o)(o^-^)o
04	p(^^)q	17	(?_?)	30	(。。；)	43	(ノ°O°)ノ
05	(>_<)	18	(;_;)	31	φ(..　)	44	(°o°　)＼(-_-)
06	(ж_ж)	19	(O_O)	32	(^人^)	45	(∪o∪)。。。
07	m(__)m	20	(^_^)	33	＜(__)＞	46	(＾　＾)＼(°　°　)
08	f^_^;	21	(^^ゞ	34	(´Д`)	47	＼^o^／
09	(:_;)	22	(☆__☆)	35	＼(^^:;)	48	(┬┬__┬┬)
10	(-.-;)	23	(ノ＞＜)ノ	36	(#^.^#)	49	??(°　Q。)??
11	(+_+)	24	(ー_ー#)	37	(＾O)＝3	50	(^_-)-☆
12	(-_-)	25	(¨　;)	38	(；´・`)		
13	(v_v)	26	(ー_ーメ)	39	(´～`；)		

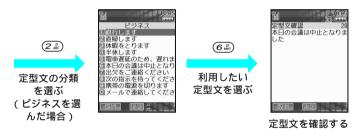
定型文を利用する<定型文挿入>

あらかじめ登録されている固定定型文（☞P.338）や、自分で登録した自作定型文（☞P.308）をメール本文の入力時などに利用することができます。

文字入力画面で㊞⑤（定型文挿入）を押します。

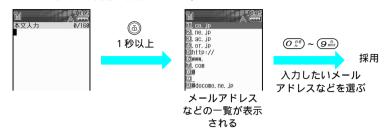
● 定型文の分類が表示されたら、分類を選び、◉を押したあと、利用する定型文を選び、◉を押します。

（切替）を押すと、全定型文が表示される

定型文を確認する

お知らせ

● テキスト入力画面で㊥を1秒以上押しても、定型文選択画面が表示されます。
● 定型文挿入画面で、ⓘを押して全表示をした場合、定型文は最後に使用されたものから、使用された順番に表示されます。

メールアドレスなどを簡単に入力する<メールアドレスURL変換>

入力できるメールアドレスなどの一部が画面に表示されます。
- ２タッチ方式でも同様に操作できます。

- でメールアドレスなどを選び、を押しても、採用されます。
- 選択されたメールアドレスなどは、半角で入力されます。

入力操作を取り消し、元に戻す<UNDO機能>

文字の入力操作（削除、切り取り）確認後、を押すと操作が取り消され、元に戻ることができます。を押すごとに前に戻り、最大10回前まで戻ることができます。更にを押すと、「これ以上元にもどせません」と表示され、10回前の画面に戻ります。
- 文字編集が終了すると、記憶されている操作はクリアされます。
- ｉモードメールの本文入力画面では、１回前にのみ戻ることができます。SMSの本文入力画面では、10回前まで戻ることができます。

表示文字のサイズを変更する<文字サイズ設定>

メール、電話帳の文字の入力画面で、（文字サイズ設定）を押し、表示される文字のサイズを設定することができます。
- メール作成時の宛先入力画面、題名入力画面では、「大きい文字」、「標準」、「小さい文字」を選ぶことができ、メール詳細画面にも反映されます。（本文入力中は表示文字サイズの変更はできません）
- 電話帳登録時の入力画面では、「大きい文字」、「標準」を選ぶことができます。
- パソコン等から受信したHTML形式のメール本文の表示文字サイズは変更できません。
- 設定した文字サイズは電源を切っても保持されます。

「大きい文字」を選んだ場合

「標準」を選んだ場合

「小さい文字」を選んだ場合

定型文を修正／登録する

よく使う言葉を自作定型文として登録したり、あらかじめ登録されている定型文を修正することができます。

- あらかじめ登録されている定型文については、P.338を参照してください。
- 定型文は全角64文字（半角128文字）まで入力できます。

1 待受画面で、●③⑥を押す。

- 定型文編集画面が表示されます。

2 ⑤を押す。（自作定型文）

登録されている定型文を修正するとき

- ①（あいさつ）～⑤（自作定型文）のいずれかを押します。

3 登録する番号を選び、Ⓘ（編集）を押す。

4 定型文を入力し、●を押す。

定型文をお買い上げ時の状態に戻す<リセット>

定型文のリセットを行うと、修正／登録した定型文を、お買い上げ時の状態に戻すことができます。
リセットできる種類は次のとおりです。

１件リセット	指定した定型文を１件ずつリセットします。
フォルダ内リセット	指定した分類内の定型文をすべてリセットします。
全件リセット	すべての定型文をリセットします。

■ １件リセット／フォルダ内リセットを行う

1 待受画面で、●３６を押す。

● 定型文編集画面が表示されます。

2 リセットする定型文が含まれるフォルダを選び、●を押す。

3 リセットする定型文を選び、📷を押す。

● サブメニュー画面が表示されます。

4 １を押す。（１件リセット）

フォルダ内の定型文をすべてリセットするとき
● ２を押す。

5 「はい」を選び、●を押す。

リセットしないとき
●「いいえ」を選び、●を押します。

■ 全件リセットを行う

1 待受画面で、●３６を押す。

● 定型文編集画面が表示されます。

2 📷を押す。（リセット）

3 「はい」を選び、●を押す。

リセットしないとき
●「いいえ」を選び、●を押します。

文字の切り取り・コピーと貼り付け

連続した文字列をコピー／切り取りして、他の場所に貼り付けることができます。

- 同じ画面へも、他の画面へも貼り付けできます。（「サブメニュー」が表示されていない画面へは貼り付けできません。）
- 切り取りした場合、指定した文字列は元の位置から削除されます。
- 他の画面へ一度に切り取り・コピーできる文字数は、最大全角1000文字（半角2000文字）までです。

文字をコピーする／切り取る

1 文字入力画面で、コピー／切り取りする文字列の最初の文字に、カーソルを移動する。

2 （＊）を１秒以上押す。

切り取るときは

- （＃）を１秒以上押します。

3 コピーまたは切り取る文字列の最後の文字に、カーソルを移動する。

- 文字列が選択され、反転表示されます。（反転表示されている文字列が、コピー／切り取りの対象になります。）
- （右）を１秒以上押すと、操作１で指定した開始位置以降のすべての文字を選択できます。
- （左）を１秒以上押すと、操作１で指定した開始位置以前のすべての文字を選択できます。

4 （●）を押す。

お知らせ

- コピー／切り取りして文字を記憶できるのは１件だけです。新たにコピー／切り取りを行うと、前に記憶していた文字に上書きされます。

メニューで操作するとき

- 文字入力画面で、（メニュー）（1）（コピー）または（メニュー）（2）（切り取り）を押しても、コピー／切り取りの操作を開始できます。（方向キー）と（●）で範囲を指定してください。

文字を貼り付ける

1 貼り付け先の画面（文字入力画面）を表示する。

2 (カメラ)(3)を押す。（貼り付け）

● 貼り付け画面が表示されます。

3 記憶されている文字列を貼り付ける位置に、カーソルを移動し、(●)を押す。

● 記憶されている文字列が、カーソルの位置に挿入されます。

お知らせ
● 電話帳の「フリガナ」入力欄など、半角文字のみ入力できる部分に貼り付けした場合、記憶されている文字列内の半角文字のみ入力されます。また貼り付け先に応じて入力可能な文字数分のみ貼り付けされます。
● コピー／切り取りした文字列は、新たにコピー／切り取りするか、電源を切るまで記憶しています。
● 一つ前の状態（画面）に戻るときは、(CLR)を押します。

区点コード入力

区点コードで入力する

４桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力することができます。

● 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付与されている固有の番号です。
区点コードおよび区点でコード入力できる文字については、P.327～P.331「区点コード一覧」を参照してください。

1 文字入力画面で、(文字)（文字）をくり返し押して区点コードモード（区）にする。

2 ４桁の区点コードを入力する。

区点コード
6211の場合

● ４桁目を押すと、コード入力した文字が表示されます。

区点コードを押し間違えたとき

● ４桁目を押す前に(CLR)を押すと、数字が消えます。正しい数字を入力し直してください。

文字入力のしかた

よく使う単語を登録する

よく使う単語に見出し語（全角ひらがな最大８文字）を付けて、最大100語まで登録することができます。登録した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され、入力することができます。

● 同じ見出し語を複数登録することはできません。

単語を新規登録する

1 待受画面で、⦿③④を押し、「新規登録」を選び、⦿を押す。

2 登録する単語を入力する。

● 最大全角15文字まで入力できます。
● 改行は入力できません。

3 ⦿を押し、見出し語を入力する。

● ひらがなで入力します。（最大８文字）

4 ⦿を押す。

お知らせ
● 待受画面で、⦿③④ⓘ（切替）を押すと、見出し語のリストが表示されます。
ⓘを押すたびに、単語のリストと見出し語のリストが切り替わって表示されます。

登録した単語を修正する

1 待受画面で、⦿③④を押す。

● 登録されている単語が表示されます。

2 修正する単語を選び、⦿を押す。

● ユーザ辞書修正画面が表示されます。

3 単語を修正し、⦿を押す。

● 修正しないときは、そのまま⦿を押します。

4 見出し語を修正し、⦿を押す。

● 修正しないときは、そのまま⦿を押します。

5 1を押す。（上書き登録）

新規登録するとき
- 2を押します。同じ見出し語がすでに登録されている場合は、新規登録できません。

登録した単語を削除する

1 待受画面で、●34を押す。
- 登録されている単語が表示されます。

2 削除する単語を選び、📷を押す。（削除）

3 「はい」を選び、●を押す。

削除しないとき
- 「いいえ」を選び、●を押します。

ダウンロード辞書

使用する辞書を設定する

FOMA端末には、サイトなどから日本語変換用の辞書をダウンロードして、最大５件まで登録することができます。このうち２件の辞書を、漢字変換用の辞書として使用することができます。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登録されている用語が変換候補に表示されるようになります。
- 辞書のダウンロード方法については、『アプリケーション編』P.57を参照してください。
- お買い上げ時は、ダウンロード辞書は登録されていません。

辞書の使用を設定／解除する

1 待受画面で、●35を押す。
- 登録されている辞書が表示されます。現在使用中の辞書には、「📘」が表示されます。

2 使用を設定／解除する辞書を選び、📷を押す。
- サブメニュー画面が表示されます。

3 1を押す。（使用辞書設定）

すでに２件使用されているとき

- 「使用辞書登録は最大２つまでです」と表示され、操作２の画面に戻ります。現在使用中の辞書を解除してから、やり直してください。

辞書の使用を解除するとき

- 1を押します。

辞書の情報を確認するとき

- 3を押します。辞書の情報（辞書名、作者、バージョン、ダウンロード日時など）が表示されます。CLRまたはi（戻る）を押すと、元の画面に戻ります。

お知らせ

- 文字入力画面で、カメラを押し、「ダウンロード辞書切替」を選び、●を押しても、設定／解除の操作を開始することができます。

辞書の内容を確認する

1 待受画面で、●35を押す。

- 登録されている辞書が表示されます。

2 確認する辞書を選び、●を押す。

- 辞書に登録されている単語の一覧が表示されます。
- 確認を終了するときは、CLRを押します。

見出し語の一覧を確認するとき

- i（切替）を押します。以降、i（切替）を押すたびに、「単語の一覧」、「見出し語の一覧」の順に切り替わります。

辞書を削除する

登録されている辞書を１件ずつ、またはすべての辞書をまとめて削除することができます。

1 待受画面で、●35を押す。

- 登録されている辞書が表示されます。

2 削除する辞書を選び、カメラ4を押す。（削除）

- 削除画面が表示されます。

3 1を押す。（１件削除）

登録されているすべての辞書を削除するとき

- 2を押します。

4 「はい」を選び、●を押す。

削除しないとき

- 「いいえ」を選び、●を押します。

お知らせ

- ダウンロードしたときに挿入していたFOMAカードとは別のFOMAカードが挿入されている場合、そのダウンロード辞書の横にFOMAカード動作制限マークが表示されます。その場合、辞書の内容を確認することはできませんが、削除することはできます。

使用する変換方法を選ぶ

近似予測変換（☞P.296）および連携予測変換（☞P.296）を使用するかどうかを設定することができます。

- お買い上げ時は、どちらも「ON」（使用する）に設定されています。

1 文字入力画面で、Ⓒを押す。

2 7を押す。（近似予測変換辞書）

連携予測変換を選ぶとき

- 8を押します。

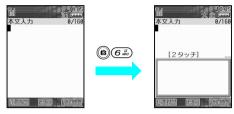
3 1を押す。（**ON**：使用する）

使用しないとき

- 2を押します。

２タッチ方式で文字を入力する

２タッチ方式に設定する<文字入力方式>

ボタン２つでひらがなが入力できる、「２タッチ方式」にします。２タッチでの文字指定に慣れた方におすすめです。
文字入力画面で◎⑥（２タッチ方式）を押します。

２タッチ入力画面

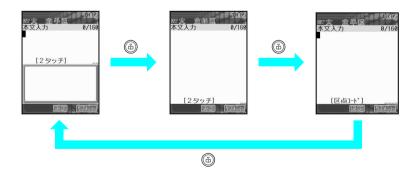
- ２タッチ方式は、通常の入力方式（かな方式）にするまで継続します。
- ２タッチ方式でも、◎（１秒以上）でのメールアドレス変換は、かな方式と同様に行うことができます。
- ２タッチ方式では、カナ英数変換はできません。

かな方式に戻すとき

文字入力画面で◎⑥（かな方式）を押します。

入力モードを切り替える

1 文字入力画面で、◎を押す。

- ◎を押すごとに、
  半（半角大文字）➡区（区点コード）➡全（全角大文字）に切り替わります。

- 大文字モード／小文字モードの切り替えは、全角モード／半角モードの状態で行うことができます。
  また、文字を入力後◎を押すと、１文字ずつ変換することもできます。（☞P.297）
- 文字入力画面で◎を押したあと、◎の代わりに◐を押しても上の図の方向に切り替えることができます。◑を押すと、逆の方向に切り替わります。

文字を入力する

２タッチ方式で、２桁の数字を押し、１文字ずつ指定します。

1 文字入力画面で、２桁の数字を入力する。

例：２２ ➡「き」

● 文字の割当てについては、P.334を参照してください。

変換学習クリア

学習された変換候補をリセットする

近似予測変換や連携予測変換機能などで学習された変換候補を、すべてリセットすることができます。

1 待受画面で、●３９を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

● 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。

2 「はい」を選び、●を押す。

変換候補をリセットしないとき

●「いいえ」を選び、●を押します。

文字入力のしかた

文字表示設定

文字の表示（太さ）を変更する

メインディスプレイに表示される文字の太さを変更することができます。
- 設定できる文字の種類は３種類です。
- お買い上げ時は、「太字」に設定されています。

1 待受画面で、●２３を押す。

- ◎で文字を選ぶと、見本の文字が表示されます。

2 １を押す。（細字）

太字にするとき
- ２を押します。

極太字にするとき
- ３を押します。

お知らせ
- この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計した LC フォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび LC FONT® は、シャープ株式会社の登録商標です。

ボタン操作一覧

文字入力画面でのボタン操作を確認する

文字入力画面でのボタン操作について確認することができます。

1 文字入力画面で、📷を押し、「ボタン操作一覧」を選び、●を押す。

文字入力のしかた

付録

メニュー一覧

設定メニュー

音

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
1音量選択	着信音量選択	●111	LEVEL３☆	P.75
	メール着信音量選択	●112	LEVEL３☆	アP.198
	各種設定音量選択	●113	LEVEL３☆	P.160 P.162 P.164
2音選択	着信音選択	●121	着信音１☆	P.158
	メール着信音選択	●122	着信音２☆	アP.198
	各種設定音選択	●123	※１☆	P.161 P.163 P.164
3バイブレータ設定	着信バイブレータ	●131	OFF☆	P.141
	メール着信バイブレータ	●132	OFF☆	P.141
4マナー設定		●14	※２☆	P.140
5着信音出力切替		●15	イヤホン+スピーカ☆	P.250
6メール着信鳴動時間設定		●16	ON／３秒☆	アP.199
7無音時間設定		●17	０秒／OFF☆	P.144
8保留／応答保留音	応答保留音	●181	応答保留音１☆	P.155
	保留音	●182	保留メロディ１☆	P.154

● 初期値欄に「☆」が付いているものは、設定リセット（☞P.249）で初期値に戻る項目です。

※１ シャッター音：標準音、オープン音：OP（標準）、クローズ音：CL（標準）、タイマー音：標準音
標準音はそれぞれの音で異なります。

※２ 伝言メモ：ON、着信バイブレータ：ON、マナートーク：ON

表示

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
1メイン画面設定	待受画面設定［メイン］	●211	待受画面メイン1☆	P.165
	時計表示設定［メイン］	●212	OFF☆	P.169
	カレンダー表示設定［メイン］	●213	OFF☆	P.168
	発着信画面設定［メイン］	●214	電話発信メイン1／ 電話着信メイン1☆	P.171
	メール送受信画面［メイン］	●215	メール送信メイン1／ メール受信メイン1☆	P.172
	背景パターン設定	●216	背景パターン1☆	P.175
	明るさ調整［メイン］	●217	明るさ12☆	P.177

付録

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
2サブ画面設定	待受画面設定［サブ］	●2221	待受画面サブ1☆	P.166
	時計表示設定［サブ］	●2222	デジタル表示1☆	P.169
	カレンダー表示設定［サブ］	●2223	OFF☆	P.169
	発着信画面設定［サブ］	●2224	電話発信サブ1／電話着信サブ1☆	P.171
	メール送受信画面［サブ］	●2225	メール送信サブ1／メール受信サブ1☆	P.173
	通話時表示設定	●2226	OFF☆	P.170
	相手表示設定	●2227	ON☆	P.180
	メール本文表示設定	●2228	ON☆	P.179
	明るさ調整［サブ］	●2229	明るさ12☆	P.177
3文字表示設定		●23	太字☆	P.318
4各種画面設定	ピクチャーコール設定	●241	ON☆	P.175
	ポップアップウィンドウ設定	●242	ポップアップ1☆	P.174
	お知らせウィンドウ設定	●243	お知らせ1☆	P.174
5着信ランプ設定	着信ランプ色設定	●251	音声電話グリーン／TV電話グリーン☆	P.178
	メール受信ランプ色設定	●252	ブルー☆	P.178
	着信ランプ動作設定	●253	メロディ非連動☆	P.178
	メール受信ランプ動作設定	●254	メロディ非連動☆	P.178
6省電力設定	照明時間設定	●261	15秒※3☆	P.176
	画面表示時間設定	●262	ON※4☆	P.181

● 初期値欄に「☆」が付いているものは、設定リセット（☞P.249）で初期値に戻る項目です。

※3 通常時：15秒、充電時・iモード時：通常時と同じ、TV電話時：常にON

※4 開始時間：2分、表示：画面OFF、ランプ表示：ランプ表示なし

付録

一般設定

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
1 メモリ確認		● 3 1	－	P.247
2 電池残量確認		● 3 2	－	P.54
3 設定状況確認	音	● 3 3 1	－	P.248
	表示	● 3 3 2	－	P.248
	通話・通信設定	● 3 3 3	－	P.248
	一般設定	● 3 3 4	－	P.248
	セキュリティ	● 3 3 5	－	P.248
	iモード	● 3 3 6	－	P.248
	メール・メッセージ	● 3 3 7	－	P.248
	iアプリ	● 3 3 8	－	P.248
4 ユーザ辞書		● 3 4	－	P.312
5 ダウンロード辞書		● 3 5	－	P.313
6 定型文編集		● 3 6	※５	P.308
7 自動電源ON／OFF	自動電源ON	● 3 7 1	OFF☆	P.199
	自動電源OFF	● 3 7 2	OFF☆	P.200
8 日時設定		● 3 8	※６	P.56
9 変換学習クリア		● 3 9	－	P.317
0 Bilingual		● 3 0	日本語	P.182
✱ 通話時間表示		● 3 ✱	すべて0時00分00秒☆	P.157
# ソフトウェア更新		● 3 #	－	P.349

● 初期値欄に「☆」が付いているものは、設定リセット（☞P.249）で初期値に戻る項目です。

※５ お買い上げ時に登録されている定型文については、P.338を参照してください。

※６ 2004年１月１日（時間未設定）

サービス

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
❶留守番電話	メッセージ問い合わせ	● 4 1 1	―	P.266
	留守番メッセージ再生	● 4 1 2	―	P.265
	留守番サービス開始	● 4 1 3	呼出時間：10秒	P.264
	留守番呼出時間設定	● 4 1 4	呼出時間：10秒	P.264
	留守番サービス停止	● 4 1 5	―	P.264
	留守番設定確認	● 4 1 6	―	P.266
	留守番サービス設定	● 4 1 7	―	P.265
	件数増加時鳴動設定	● 4 1 8	ON☆	P.267
	表示消去	● 4 1 9	―	P.267
❷キャッチホン	キャッチホン開始	● 4 2 1	―	P.268
	キャッチホン停止	● 4 2 2	―	P.268
	キャッチホン設定確認	● 4 2 3	―	P.269
❸転送でんわ	転送サービス開始	● 4 3 1	呼出時間：７秒	P.271
	転送サービス停止	● 4 3 2	―	P.273
	転送先変更	● 4 3 3	―	P.274
	転送先通話中時設定	● 4 3 4	―	P.274
	転送サービス設定確認	● 4 3 5	―	P.275
❹迷惑電話ストップ	迷惑電話拒否登録	● 4 4 1	―	P.276
	迷惑電話全登録削除	● 4 4 2	―	P.276
	迷惑電話１登録削除	● 4 4 3	―	P.277
❺発信者番号通知	発番号通知設定確認	● 4 5 1	非通知	P.279
	発番号通知設定	● 4 5 2	―	P.278
❻番号通知お願いサービス	番号通知サービス開始	● 4 6 1	―	P.280
	番号通知サービス停止	● 4 6 2	―	P.281
	サービス設定確認	● 4 6 3	―	P.281
❼通話中着信設定	通話中着信設定開始	● 4 7 1	―	P.288
	通話中着信設定停止	● 4 7 2	―	P.288
	通話中着信設定確認	● 4 7 3	―	P.288
❽着信動作設定		● 4 8	通常着信☆	P.287
❾遠隔操作設定	遠隔操作開始	● 4 9 1	―	P.289
	遠隔操作停止	● 4 9 2	―	P.289
	遠隔操作設定確認	● 4 9 3	―	P.289
⓿デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	● 4 0 1	―	P.282
	ネットワーク状態確認	● 4 0 2	―	P.283

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
*英語ガイダンス	ガイダンス設定	●4*1	－	P.284
	ガイダンス設定確認	●4*2	－	P.285
#追加サービス		●4#	－	P.291
iサービスダイヤル	ドコモ故障問合わせ	●4i1	－	P.286
	ドコモ総合案内・受付	●4i2	－	P.286

● 初期値欄に「☆」が付いているものは、設定リセット（☞P.249）で初期値に戻る項目です。

通話・通信機能設定

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
1ノイズキャンセラ		●51	ON☆	P.153
2通話中アラーム設定	再接続機能	●521	アラームあり（高音）☆	P.153
	通話品質アラーム	●522	アラームあり（高音）☆	P.154
3TV電話設定	音声自動再発信	●531	OFF☆	P.102
	送信画像設定	●532	※７☆	P.103
	画面サイズ設定	●533	拡大表示☆	P.95
	画像表示設定	●534	相手大・自分小☆	P.96
	子画面表示位置	●535	左上☆	P.96
	送信画質設定	●536	標準☆	P.105
4伝言メモ設定	伝言メモ設定	●541	OFF☆	P.79
	伝言応答時間	●542	８秒☆	P.82
	応答メッセージ	●543	応答メッセージ1☆	P.83
	TV電話時応答画像	●544	TV電話伝言メモ☆	P.94
5クローズ動作設定		●55	終話☆	P.156
6エニーキーアンサー		●56	ON☆	P.155
7オート着信設定		●57	OFF☆	P.251
8セルフモード		●58	OFF☆	P.197
9プレフィックス設定		●59	１件目：009130-010☆	P.68
0サブアドレス設定		●50	ON☆	P.152
*PLMN設定		●5*	ネットワーク自動検索☆	P.156

● 初期値欄に「☆」が付いているものは、設定リセット（☞P.249）で初期値に戻る項目です。

※７ 代替画像設定：ブンブン（Dimo）、発信時自画像送信：ON、応答保留画像設定：TV電話応答保留、保留画像設定：TV電話保留

付録

セキュリティ

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
❶シークレットモード		●61	OFF☆	P.134 P.193
❷FOMAカード設定	PIN１コード入力設定	●621	−	P.186
	PIN１コード変更	●622	−	P.187
	PIN２コード変更	●623	−	P.187
❸着信拒否／許可設定	電話帳指定着信許可	●631	OFF☆	P.146
	電話帳指定着信拒否	●632	OFF☆	P.148
	電話帳登録外	●633	許可☆	P.149
	非通知設定	●634	許可☆	P.150
	公衆電話	●635	許可☆	P.150
	通知不可能	●636	許可☆	P.150
	TV電話	●637	許可☆	P.151
❹発着信履歴表示	着信履歴表示	●641	ON☆	P.196
	リダイヤル表示	●642	ON☆	P.196
❺メール履歴表示	メール送信履歴表示	●651	ON☆	P.197
	メール受信履歴表示	●652	ON☆	P.197
❻ロック設定	オールロック	●661	−	P.191
	ダイヤル発信制限	●662	OFF☆	P.195
	PIMロック	●663	OFF☆	P.194
❼端末暗証番号変更		●67	0000	P.185

● 初期値欄に「☆」が付いているものは、設定リセット（☞P.249）で初期値に戻る項目です。

その他の設定

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
電話番号表示		●0	自局番号	P.58
初期設定		●*	−	P.55
設定リセット		●#	−	P.249

付録

マルチメディアメニュー

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
イメージ		●71	－	アP.255
iモーション		●72	－	アP.283
メロディ		●73	－	アP.304
キャラ電		●74	－	アP.90
プリント指定（DPOF）		●75	－	アP.281

アクションメニュー

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
スケジュール		●81	－	P.213
ToDoリスト		●82	－	P.230
アラーム		●83	－	P.201
テキストメモ		●84	－	P.244

ツールメニュー

機能メニュー		ボタン操作	初期値	ページ
電卓		●91	税率５%☆	P.241
マネーカルク		●92	－	P.242
赤外線受信	受信	●931	－	アP.327
	全件受信	●932	－	アP.327
ドキュメントビューア		●94	－	アP.314
miniSD管理	miniSDデータ参照	●951	－	アP.342
	データ一括転送	●952	－	アP.339
	インポート	●953	－	アP.347
	管理情報の更新	●954	－	アP.346
	フォーマット	●955	－	アP.345
バーコードリーダー		●96	－	アP.246
文字読み取り		●97	－	アP.249
タイマー		●98	－	P.207

● 初期値欄に「☆」が付いているものは、設定リセット（☞P.249）で初期値に戻る項目です。

区点コード一覧

４桁の区点コードを利用して漢字やひらがな、カタカナ、記号、英数字などを入力することができます。

- 区点コードとは、漢字などの文字ひとつひとつに付けられている固有の番号です。
  区点コードでの入力のしかたについては、P.311「区点コードで入力する」を参照してください。

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡		≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							0	1	2	3
032	4	5	6	7	8	9				
033				A	B	C	D	E	F	G
034	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
035	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	
036						a	b	c	d	e
037	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
038	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y
039	z									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138		≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
						あ				
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
						い				
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
						う				
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
						え				
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
						お				
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬

区点 1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
						か				
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫
207	贋	雁	頑	顔	願					
						き				
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
						く				
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂

お知らせ

- 区点コード一覧で該当する文字がない区点コードを入力すると、エラー音（ピッピッピッ）が鳴り何も入力されないか、またはスペースが入力されます。
- 区点コード一覧の表示は、実際の表示と見え方が異なるものがあります。

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
―け―										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
―こ―										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
―さ―										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
―し―										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
―す―										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
―せ―										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
―そ―										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
―た―										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎

区点1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
―ち―										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
―つ―										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
―て―										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
―と―										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
―な―										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
―に―										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
―ぬ～の―										
390									濡	禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					
―は―										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
					ひ					
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
					ふ					
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
					へ					
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
					ほ					
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
					ま					
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
					み					
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
					む					
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
					め					
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
					も					
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
					や					
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮
449	鑓									
					ゆ					
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
					よ					
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
					ら					
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
					り					
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
					る～れ					
466	瑠	塁	涙	累	類	令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
					ろ					
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
					わ					
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
476										
477										
478										
479										
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚

区点 1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤

区点	区点4桁目									
1～3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	褝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
752	覺	覽	覲	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			

区点	区点4桁目									
1〜3桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

ダイヤルボタンの文字割当て一覧（かな方式）

文字入力は、ダイヤルボタンで行います。１つのボタンには、次の表のように複数の文字が割り当てられています。

● ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：全角カナモードで1を３回押すと
1「ア」が表示➡1「イ」が表示➡1「ウ」が表示
（表示を逆戻りさせるときは🔈☎を押します。）

全角文字の割当て

ボタン	漢 漢字(ひらがな)入力モード	ア 全角カタカナ入力モード	全角英数字入力モード		区 区点コードモード
			A 大小文字	a 小文字	
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	．／＿＠１□(スペース)	．／＿＠１□(スペース)	1
2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ２	ａｂｃ２	2
3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ３	ｄｅｆ３	3
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ４	ｇｈｉ４	4
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ５	ｊｋｌ５	5
6	はひふへほ	ハヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ６	ｍｎｏ６	6
7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	ｐｑｒｓ７	7
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ８	ｔｕｖ８	8
9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	ｗｘｙｚ９	9
0	わをん□(スペース)	ワヲン□(スペース)	０□(スペース)	０□(スペース)	0
＊	゛゜（付加可能な文字の場合）↲※1		↲※1		－
＃	全角記号変換（ー、。！？・）				－
上	ワンタッチ変換(前候補)	カーソル上移動			
下	通常変換(次候補)／↲※1	カーソル下移動／↲※1			
左	カーソル左移動				
右	カーソル右移動				
メニュー	文字入力モードの切り替え				
メニュー 1秒以上押す	メールアドレスURL変換				
メール	小文字変換（小文字変換可能な文字の場合）		大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	－
メール 1秒以上押す	定型文挿入				
CLR	１文字削除、変換中止	１文字削除			入力済みコードまたは１文字削除
CLR 1秒以上押す	カーソルより前の文字削除※2				
●	採用、決定	決定			
🔈☎	逆順表示またはやり直し				やり直し

※１ 濁点・半濁点が付かない文字の場合は「↲」（改行）されます。「↲」は半角で表示されますが、全角１文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正することができます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。

※２ カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。

半角文字の割当て

ボタン	ｱ 半角カタカナモード	半角英数字モード		1 半角数字モード
		A 大小文字	a 小文字	
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	. / _ @ 1 ⬚(スペース)	. / _ @ 1 ⬚(スペース)	1
2	ｶｷｸｹｺ	A B C a b c 2	a b c 2	2
3	ｻｼｽｾｿ	D E F d e f 3	d e f 3	3
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	G H I g h i 4	g h i 4	4
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	J K L j k l 5	j k l 5	5
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	M N O m n o 6	m n o 6	6
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	P Q R S p q r s 7	p q r s 7	7
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	T U V t u v 8	t u v 8	8
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	W X Y Z w x y z 9	w x y z 9	9
0	ﾜｦﾝ⬚(スペース)	0 ⬚(スペース)	0 ⬚(スペース)	0
*	ﾞ ﾟ ｰ	↲※1		*
#	半角記号変換（-､｡!?･~()'";:¥&）※3			#
上	カーソル上移動			P（電話番号入力時）
下	カーソル下移動／↲※1			
左	カーソル左移動			
右	カーソル右移動			
文字	文字入力モードの切り替え			
文字 1秒以上押す	メールアドレスURL変換			
メール	小文字変換（小文字変換可能な文字の場合）	大小文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	大文字変換+大小文字／小文字入力モードの切り替え	なし
メール 1秒以上押す	定型文挿入			
CLR	1文字削除			
CLR 1秒以上押す	カーソルより前の文字削除※2			
●	決定			
通話	逆順表示			やり直し

※1「↲」（改行）されます。「↲」は半角で表示されますが、全角1文字分として数えられます。他の文字と同様に削除や修正することができます。メール本文入力時、スケジュール、ToDoリスト、テキストメモの内容入力時などに有効です。

※2 カーソルの前後に文字があるときや、カーソルの後ろだけに文字があるときは、カーソル位置の文字を含み、後ろの文字がすべて削除されます。

※3 半角英数入力限定時（メールアドレス、URL入力時）は、「、」「。」「・」を入力することはできません。

文字の数え方

全角1文字は、半角2文字分として数えられます。
半角文字では、濁点・半濁点も1文字分として数えられます。

ダイヤルボタンの文字割当て一覧（２タッチ方式）

全角文字

［全角大文字モード］

1桁目（最初に押すボタン）＼２桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	＆		☎	
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃		♥	※1
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

［全角小文字モード］

1桁目（最初に押すボタン）＼２桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ゃ		ゅ		ょ					※1
9										
0	ゎ			、	。					

※１［8］［0］を押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

半角文字

［半角大文字モード］

1桁目（最初に押すボタン）＼２桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#		♥	※1
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

［半角小文字モード］

1桁目（最初に押すボタン）＼２桁目（次に押すボタン）	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										
8	ｬ		ｭ		ｮ					※1
9										
0				,	.					

※１［8］［0］を押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

※２「☎」、「♥」は半角２文字分となります。

お知らせ

- 空欄はスペースを示します。
- ■部分は、文字入力後、［☎］を押すたびに、大文字←→小文字と切り替わります。ただし、メール本文入力中は、英字の全角大文字モードと全角小文字モードの切り替えはできません。

記号・特殊文字一覧

３桁の記号コードを利用して全角の記号や特殊文字を入力したり、２桁の記号コードを利用して半角の記号を入力することができます。

- 記号コードとは、記号や特殊文字ひとつひとつに付けられている固有の番号です。
  記号・特殊文字の入力のしかたについては、P.304を参照してください。

全角記号・特殊文字一覧表

コード番号	コード番号　3桁目									
1~2桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
00		、	。	，	．	・	：	；	？	！
01	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ	ヾ
02	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐
03	／	＼	～	‖	｜	…	‥	‘	’	“
04	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝	〈
05	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋
06	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧
07	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	＄
08	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★
09	○	●	◎	◇	◆	□	■	△	▲	▽
10	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	∈	∋
11	⊆	⊇	⊂	⊃	∪	∩	∧	∨	￢	⇒
12	⇔	∀	∃	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒
13	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬	Å	‰
14	♯	♭	♪	†	‡	¶	◯	ゎ	ゐ	ゑ
15	ヮ	ヰ	ヱ	ヴ	ヵ	ヶ	Α	Β	Γ	Δ
16	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ
17	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω
18	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ
19	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ
20	φ	χ	ψ	ω	А	Б	В	Г	Д	Е
21	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О
22	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш
23	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э	Ю	Я	а	б	в
24	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л
25	м	н	о	п	р	с	т	у	ф	х
26	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я
27	─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤	┴
28	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳	┫
29	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰	┥
30	┸	╂	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
31	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱
32	⑲	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ
33	Ⅸ	Ⅹ	㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
34	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
35	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡	㍻	〝	〟	№	㏍
36	℡	㊤	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾
37	㍽	㍼	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠
38	∟	⊿	∵	∩	∪					

特殊文字（コード番号302～384）

※ 特殊文字は、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。

半角記号一覧表

コード番号	コード番号　2桁目									
1桁目	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
0		!	"	#	$	%	&	'	(	)
1	*	+	,	-	.	/	:	;	<	=
2	>	?	@	[	¥	]	^	_	`	{
3	|	}	‾	｡	｢	｣	､	･	ｰ	ﾞ
4	ﾟ									

付録

絵文字一覧

絵文字１一覧表

コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字
001		037		073		109		145	
002		038		074		110		146	
003		039		075		111		147	
004		040		076		112		148	
005		041		077		113		149	
006		042		078		114		150	
007		043		079		115		151	
008		044		080		116		152	
009		045		081		117		153	
010		046		082		118		154	
011		047		083		119		155	
012		048		084		120		156	
013		049		085		121		157	
014		050		086		122		158	
015		051		087		123		159	
016		052		088		124		160	
017		053		089		125		161	
018		054		090		126		162	
019		055		091		127		163	
020		056		092		128		164	
021		057		093		129		165	
022		058		094		130		166	
023		059		095		131		167	
024		060		096		132		168	
025		061		097		133		169	
026		062		098		134		170	
027		063		099		135		171	
028		064		100		136		172	
029		065		101		137		173	
030		066		102		138		174	
031		067		103		139		175	
032		068		104		140		176	
033		069		105		141			
034		070		106		142			
035		071		107		143			
036		072		108		144			

- 本絵文字を送信した場合、相手の方の機種によっては正しく表示されないことがあります。また、ｉモード端末以外の携帯電話やパソコンなどに送信した場合、正しく表示されないことがあります。
- SMSでは「♥」「💔」「☎」以外はスペースになります。

絵文字２一覧表

コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字	コード	絵文字
001		017		033		049		065	
002		018		034		050		066	
003		019		035		051		067	
004		020		036	NG	052		068	
005		021		037		053		069	
006		022		038	©	054		070	
007		023		039	™	055		071	
008		024		040		056		072	
009		025		041	秘	057		073	
010		026		042		058		074	
011		027		043	®	059		075	
012		028		044		060		076	
013		029		045	禁	061			
014		030		046	空	062			
015		031		047	合	063			
016		032		048	満	064			

- 本絵文字を送信した場合、新絵文字対応機種以外には正しく表示されないことがあります。
- SMSではスペースになります。
- サイトによっては正しく表示されない絵文字もあります。

定型文一覧

分類	No.	定型文
あいさつ	1	おはようございます
	2	おやすみなさい
	3	昨日は､どうもありがとうございました
	4	行ってきます
	5	いってらっしゃい
	6	お疲れ様でした
	7	お世話になっております
	8	こんにちは
	9	こんばんは
	0	よろしくお願い致します
ビジネス	1	直行します
	2	直帰します
	3	休暇をとります
	4	半休します
	5	電車遅延のため、遅れます
	6	本日の会議は中止となりました
	7	出欠をご連絡ください
	8	次の指示を待ってください
	9	携帯の電源を切ります
	0	メールで連絡してください
プライベート	1	遊びに行こう
	2	飲みに行きませんか？
	3	遅れます
	4	変更します
	5	中止です
	6	先に行きます
	7	先に帰ります
	8	時間です
	9	何してるの？
	0	どこにいるの？
応答	1	OKです
	2	NGです
	3	ありがとう
	4	ごめんなさい
	5	待ってて
	6	今忙しい
	7	後で連絡入れます
	8	保留です
	9	キャンセルです
	0	時間がありません
自作定型文	1	--------------------
	2	--------------------
	3	--------------------
	4	--------------------
	5	--------------------
	6	--------------------
	7	--------------------
	8	--------------------
	9	--------------------
	0	--------------------

● 自作定型文はお買い上げ時は、登録されていません。

電卓計算例

計算例

計算例		操作	表示結果
加減乗除	14×3+5=	14[×]3[+]5[=]	47
	(−24)÷4−2=	[−]24[÷]4[−]2[=]	−8
定数計算	34+57= 45+57=	34[+]57[=] 45　[=] （加数が定数となります）	91 102
	48−23= 14−23=	48[−]23[=] 14　[=] （減数が定数となります）	25 −9
	68×25= 68×40=	68[×]25[=] 40　[=] （被乗数が定数となります）	1700 2720
	35÷14= 98÷14=	35[÷]14[=] 98　[=] （除数が定数となります）	2.5 7
パーセント計算	200の10％は？	200[×]10[％]	20
	9は36の何％？	9[÷]36[％]	25
消費税計算	3000円は消費税込みで？	3000[TAX]	3,150税込
	35円のものを13個買ったときは消費税込みで？	35[×]13[=][TAX]	477税込
割増割引計算	200の10％増しは？	200[+]10[％] （または200[×]10[％][+][=]）	220
	500の20％引きは？	500[−]20[％] （または500[×]20[％][−][=]）	400
べき乗	$(4^3)^2$=	4[×][=][=][×][=]	4096
逆数計算	1／8=	8[÷][=]	0.125
メモリ計算　累計	27×5= +)87÷3= +)68+15= （計）=	[CM] 27[×]5 [M+] 87[÷]3 [M+] 68[+]15[M+] [RM] （[M+]は[=]の働きをかねています。）	M　135 M　29 M　83 M　247
メモリ計算　一時記憶	(13+3×4)×(50−45)=	[CM]13[M+]3[×]4[M+]50[−]45[×][RM][=]	M　125
メモリ計算　定数記憶	135×(12+14)= (12+14)÷5=	[CM] 12[+]14[M+] 135[×][RM][=] [RM][÷]5[=]	M　26 M　3510 M　5.2

● メモリに「0」以外の数値が入ると、「M」が表示されます。

お知らせ
● メモリ計算では［CM］を押して、メモリ内容を消去してから始めてください。

「E」が表示されたとき
● 計算の結果、「E」が表示されると、それ以降の計算ができません。このときは、[C・CE]を押してください。
①除数が0の計算をしたとき（例：5［÷］0［=］）
②メモリの数値の整数部が12桁を超えたとき（例：[CM] 999999999999［M+］1［M+］）
③計算結果の整数部が12桁以上になったとき（例：1000000000［÷］0.01［%］）
● 税計算は小数点以下は省略されます。
例：99［TAX］と押すと、「103」と表示されます。

オプション・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまなオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できるようになりました。
なお、地域によってはお取扱いしていない商品もあります。詳しくは、当社窓口等へお問い合わせください。
また、オプションの詳細については、各機器の取扱説明書等をご覧ください。

ACアダプタ SH01

卓上ホルダ SH01

電池パック SH02

- キャリングケース SH02
- DCアダプタ SH01
- 車内ホルダ SH01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイクP001※／P002※
- ステレオイヤホンセット P001※
- イヤホンターミナル P001※
- FOMA USB接続ケーブル
- 平型ステレオイヤホンセットP01

※スイッチ付イヤホンマイク、ステレオイヤホンセット、イヤホンターミナルは、イヤホンジャック変換アダプタを接続しないとご利用になれません。

故障かな？と思ったら、まずチェック

症　状	説　明	ページ
動作しない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.53 P.54 P.47
電源が入らない	● PWR HLDを2秒以上押していますか？ ● 電池切れになっていませんか？ 警告音が鳴ったあと、電源が入らない場合は、しばらく充電してください。 ● 電池パックが正しく取り付けられていますか？	P.53 P.54 P.47
充電ができない	● 電池パックが正しく取り付けられていますか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● AC アダプタのコネクタが FOMA 端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか？ ● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？	P.47 — P.50 P.51 P.51
充電しても、すぐに使えなくなる	● 卓上ホルダにFOMA端末が正しくセットされていますか？ ● 電池の寿命がきていませんか？ ● 充電端子は汚れていませんか？ 端子部を綿棒などで清掃してください。 ● FOMA端末の扱いかたによって電池の持ち時間は変化します。	P.51 P.49 — P.49
ボタン操作ができない	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● オールロックや背面ボタン操作無効が設定されていませんか？	P.53 P.191 P.195 P.198
「圏外」が表示されて、電話がかけられない	● サービスエリア外か電波の弱い場所にいませんか？	P.63
「self」が表示されて電話がかけられない	● セルフモードが設定されていませんか？	P.197
電話帳ダイヤルで電話がかけられない	● 電話帳のPIMロックが設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.194 P.191
ダイヤルボタンで電話がかけられない	● ダイヤル発信制限が設定されていませんか？ ● オールロックが設定されていませんか？	P.195 P.191
通話がとぎれたり、切れる	● 電波の届きにくい場所にいませんか？ ● 電池切れになっていませんか？	P.62 P.54
通話中、相手の方の声が大きすぎる、ひずんで聞こえる	● 受話音量が大きくなっていませんか？	P.74
宛先登録時、「送信アドレス履歴」、「受信アドレス履歴」が選択できない	● メール送信履歴表示、メール受信履歴表示が「OFF」に設定されていませんか？	P.197

症　状	説　明	ページ
着信音が鳴らない	● 着信音量が「サイレント」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電話を切ってありますか？ ● 保留のままになっていませんか？ ● 無音時間を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信許可を設定していませんか？ ● 電話帳指定着信拒否を設定していませんか？ ● 非通知着信拒否を設定していませんか？ ● 電話帳登録外着信拒否を設定していませんか？ ● 着信音が「着信音なし」になっていませんか？ ● 留守番電話サービスを使用し、呼び出し時間を「０秒」に設定していませんか？ ● ドライブモードに設定していませんか？ ● マナーモードに設定していませんか？	P.75 P.54 P.53 P.62 P.63 P.76 P.144 P.146 P.148 P.150 P.149 P.158 P.263 P.76 P.139
メールを受信したとき設定した着信音以外の着信音が鳴る	● 電話帳に指定メール着信音を設定した相手の方からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 電話帳のグループにメール着信音を設定した相手の方からのメールを受信したときは、そのグループのメール着信音が鳴ります。 ● 指定メール着信音とグループメール着信音の両方を設定した相手の方からのメールを受信したときは、指定メール着信音が鳴ります。 ● 複数のメールを受信した場合、最後に受信したメールアドレスに設定した指定メール着信音が鳴ります。 ● 相手の方のメールアドレスが「携帯電話番号@docomo.ne.jp」のときは、電話帳のメールアドレスには電話番号のみを登録し、指定メール着信音を設定してください。 ● メール送信元のメールアドレスを電話帳に正しく登録し、指定メール着信音を設定していますか？ ● SMSを受信したときは、電話帳に設定された指定メール着信音が有効となります。 ● 電話番号が正しく登録されていますか？	P.113 P.131 P.113 — P.113 P.113 — P.108
ダイヤルしても話中音（ツーツー…）が出る	●「090」、「080」や「070」、または市外局番を忘れていませんか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ● 相手の方が携帯電話の場合、相手の電波状況が悪いと電話がかからないことがあります。	P.62 P.63 —
通話中に「プチッ」と音が入る	● 電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
「サービス未契約です」と表示される	● ｉモードをご契約いただいていないため、ｉモードのサービスをご利用になれません。	—
日付の順序が逆に表示される	● Bilingualで「English」に設定していませんか？	P.182
「しばらくお待ち下さい」が表示されて消えない	● 回線設備の故障、または回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。	—
表示された文字が消えない	● お知らせ内容をご確認のうえ、ダイヤルボタンを押すと、表示（文字情報）が消えます。	P.63
電話の発着信、メールの送受信、ｉモードの機能が使えない	● 電池切れになっていませんか？ ●「圏外」が表示されていませんか？ ● セルフモードが「ON」に設定されていませんか？	P.54 P.63 P.197

症　状	説　明	ページ
文字が入力できない	● 文字数の制限をオーバーしていませんか？	―
画面表示が消えた	● FOMA端末の電源が「切」になっていませんか？ ● 電池切れになっていませんか？ ● 省電力モードを設定していませんか？「ランプ表示あり」を設定していると、ピクチャーライトも点滅します。	P.53 P.54 P.181
ドコモホームページやｉMenuの「お知らせ＆ヘルプ」にソフトウェア更新が必要との案内がある	● ソフトウェアの更新が必要です。 ソフトウェアを更新してください。	P.349

こんな表示が出たら

ｉモードメールやカメラに関するエラーメッセージについては「アプリケーション編」に記載しています。こちらもあわせてご覧ください。

※ メッセージと共に、３桁の数字が表示される場合があります。一部の数字は、端末で表示させているドコモ独自のコードとなります。

表　示	説　明	ページ
「FOMAカードが異なるためご利用できません」	● FOMAカード動作制限機能により保護されている画像やメロディを選んで実行しようとしたときに表示されます。 ● FOMAカード動作制限機能により保護されている画面メモ、メッセージR／Fを選んで実行しようとしたときに表示されます。	P.45 P.45
「FOMAカードを挿入してください」	● FOMAカードが正しく差し込まれているかご確認ください。	P.43
「端末暗証番号は？」	● PIMロック設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。 正しい端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力すると、PIMロックが一時解除され、操作を行うことができます。	P.194
「PIN１コードがロックされています」	● PIN１コードがロックされているときに、電源を入れると表示されます。 しばらくするとPINロック解除コードを入力する画面が表示されますので、正しいPINロック解除コードを入力してロックを解除してください。	P.189
「PINロック解除コードがロックされています」	● PIN ロック解除コードがロックされているときに、電源を入れたりFOMAカードに関係した操作をしようとしたときに表示されます。 当社窓口までお問い合わせください。	P.189
「メモリの空きがありません」	● すでに FOMA 端末（本体）の電話帳に電話番号またはメールアドレスが750件登録されているときに、電話番号またはメールアドレスを登録しようとした場合に表示されます。	P.106
「このカードは認識できません」	● 本端末で使用できないFOMAカードが差し込まれている可能性があるときに表示されます。 ● FOMAカードが正しく差し込まれていないか、破損している可能性があるときに表示されます。 正しいFOMAカードが差し込まれているかご確認ください	P.43 P.43
「シークレットデータが登録されています」	● シークレットモードでないときに、シークレットデータをツータッチダイヤルで発信しようとしたときに表示されます。	P.133
「セルフモード設定中です」	● セルフモード設定中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.197
「ただ今、使用できません」	● サービスエリア外や電波が届かないところで、ネットワークサービスの操作をしようとしたときに表示されます。 「」が表示されるところまで移動してネットワークサービスの操作をしてください。 ● この表示はTV電話発信中のみ表示されます。	P.63 P.87
「ダイヤル発信制限設定中です」	● ダイヤル発信制限中に、禁止されている操作をしようとしたときに表示されます。	P.195
「端末暗証番号が違います」 「４～８桁で入力してください」	● 端末暗証番号（４～８桁の数字）の入力が必要な機能で、端末暗証番号を間違えたときに表示されます。 正しい端末暗証番号を入力してください。 端末暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、当社窓口までご持参いただくことが必要になります。	P.183

表　示	説　明	ページ
「ネットワーク暗証番号が誤っています」	● ネットワーク暗証番号の入力が必要な機能で、ネットワーク暗証番号を間違えたときに表示されます。 正しいネットワーク暗証番号を入力してください。 ネットワーク暗証番号を万が一お忘れになったときは、FOMA端末、およびご契約されたご本人であるかどうかが確認できるもの（運転免許証など）を、当社窓口までご持参いただくことが必要になります。	－
「メモリ番号：×××は書換えできません」	● シークレットモードでないときに、シークレットデータのメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。 ● 電話帳指定着信許可または電話帳指定着信拒否を設定中にリスト登録している電話帳のメモリ番号と同じ番号に電話帳を登録しようとしたときに表示されます。	P.133 P.145～P.148
「もう一つの電話機が利用中のため切替えできませんでした」	● もうひとつの電話機（端末）が利用中で、デュアルネットワーク切替ができないときに表示されます。 利用可能状態の端末の通信を終了してから切り替えを行ってください。	P.282
「しばらくお待ち下さい」	● 回線設備の故障、または回線が非常に混み合っていますので、しばらくたってからおかけ直しください。ダイヤルボタンを押すとメッセージが消えます。 ● 回線設備が故障、または回線が非常に混みあっていますのでしばらくたってからｉモードをご利用ください。 ● 発信規制中です。しばらくたってから音声電話やテレビ電話をご利用ください。	P.63 － －
「外部機器接続中のため使用できません」	● 外部機器接続中のため、ｉモードを終了する以外のｉモードの操作はできません。	P.32
「接続が中断されました」	● 電波が弱いため、ｉ モードが中断されました。電波の強い場所に移動してからｉモードのサービスをご利用ください。 ● 電波が強く「Yıl」マークが表示されているのにこのメッセージが表示される場合には、接続したサイトやインターネットホームページが非常に混みあっています。しばらくたってから接続してください。	P.63 －
「メモリ不足です」	● ブラウザのメモリが不足したため処理を中断し、前の画面に戻ります。	－
「入力データまたはURLが長すぎます」	● テキストボックスなどで入力した文字等が多すぎて送信することができません。文字数を減らしてから送信し直してください。	－
「画像に誤りがあり正しく動作しません」	● Flash画像に誤りがあります。	－
「未対応画像です編集できません」	● 画像データが正しくないため編集ができません。	－
「M点灯」	● イメージのメモリの空き容量が6Kバイト未満になったとき、または静止画の保存件数が300件に達したときに表示されます。 ● イメージの画像を整理し、空き容量を確保してから、もう一度操作を行ってください。	－ －
「M点灯」	● ｉモーションのメモリの空き容量が10Kバイト未満になったとき、または動画／ｉモーションの保存件数が100件に達したときに表示されます。 ● ｉモーションの画像を整理し、空き容量を確保してから、もう一度操作を行ってください。	－ －
「M点灯」	● イメージとｉモーションのメモリの空き容量について、上記の両方の状態が重なったときに表示されます。	－

表　示	説　明	ページ
「メモリが少なくなっています　不要な画像を削除してください」	● 本体の空きメモリが少なくなっているため、現在の設定のままで撮影した画像を保存するには、すでに保存されている別のファイルを削除して空きエリアを増やす必要があります。	－

その他の表示

表示	説明	ページ
「電池不足です フル充電してください」	● ソフトウェアの更新時、電池残量が 、 のとき表示されます。 になるように充電してください。	P.349
「通信に失敗しました」	● ソフトウェアの更新ができなかった場合に表示されます。一度、電源を切り、電池を抜き差ししてください。	P.349
「SSL 通信を切断しました」	● ソフトウェアの更新時、FOMA端末の日付（年月日）が正しく設定されていないとき表示されます。FOMA端末の日時設定を行ってください。	P.349
「SSL 通信が無効に設定されています」	● ソフトウェアの更新時、SSL証明書が有効に設定されていないとき表示されます。「証明書設定」で証明書１～５のすべてを有効にしてください。	P.349
「他機能実行中のため起動できませんでした」	● 他の機能が実行されているため、予約時刻にソフトウェア更新を実行できませんでした。別の日時を予約し直してください。	P.349
「ただいまメインカメラを利用できません」	● 高温下にて保管されていた場合や、長時間連続でご使用して、FOMA端末の温度が高くなった場合に表示されます。しばらくたってからカメラをご利用ください。 ● 電池残量が少ないときに、テレビ電話メインカメラを使用した場合に表示されます。充電してからご利用ください。	－ －

保証とアフターサービス

保証について

FOMA端末には、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。
必要事項が記載されていないときは、すぐにお買い上げの販売店へお申し付けください。
保証期間は、お買い上げ日より１年間です。

- この製品は付属品を含め、改良の為予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、予めご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他取扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。なお、パソコン（Windows 98 Second Edition、Windows Me 、Windows 2000 Professional、Windows XP Home Edition、Windows XP Professional）をお持ちの場合は、専用のデータリンクソフト（☞『アプリケーション編』P.404）をご利用いただくことにより、電話帳などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。また、FOMA端末の修理等を行った場合、ｉモード・ｉアプリにてダウンロードした情報は、著作権法により新しいFOMA端末などに移行を行っておりません。

アフターサービスについて

調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。
それでも調子が良くないときは、以下の連絡先にご連絡のうえ、ご相談ください。

ドコモの携帯電話、PHSからの場合　（局番なしの）113　無料

※一般電話からはご利用になれません。

一般電話等からの場合

※ドコモの携帯電話、PHSからもご利用になれます。
※ダイヤルの番号をよくご確認のうえ、お間違いないようおかけください。

※お問い合せの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

- 詳しくは、添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

保証期間内は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取扱い不良による故障・損傷等は有償修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有償修理となります。

■次の場合は修理できないことがあります。

- 水漏れシールが反応している場合、試験の結果、水漏れ・結露・汗等による腐食が発見された場合、および内部の基板が破損・変形している場合は修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外ですので有償修理となります。

保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

部品の保有期間は

FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後６年間です。この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、P.347に記載の連絡先へお問い合わせください。

お願い

FOMA端末および付属品の改造はおやめください。

- 火災・けが・故障の原因となります。
- 携帯電話は、電波の混信やネットワークの故障を防ぐため、法律により技術基準が定められており、技術基準を満たさない携帯電話は使用できません。
- 改造（部品の交換・改造・塗装等）が施された場合は、改造部分を元の状態（ドコモ純正品状態）に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取扱いをさせていただきます。ただし、改造の内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
- 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身で携帯電話機等に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- 携帯•自動車電話を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータ等が変化•消失等する場合があります。また、当社の都合によりお客様の携帯・自動車電話を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらデータ等は一部を除き交換後の製品に移し変えることができません。当社はこれらの責任を負うものではありません。

FOMA端末に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。

- 銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

技術基準適合認証品

各種機能のON／OFF設定や通話明細などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその取扱いによってクリア（リセット）される場合があります。

- お手数をおかけしますが、この場合は再び、設定を行ってくださるようお願いします。

電話機が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、電話機の状態によって修理できないことがあります。

ソフトウェアを更新する

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。

※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料となります。
　ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモホームページおよびｉメニューの「お知らせ＆ヘルプ」にてご案内させていただきます。

- 更新方法には「即時更新」と「予約更新」の２種類があります。
　　即時更新：更新したいときすぐ更新を行います。
　　予約更新：更新したい日時を予約すると、予約した日時に自動的にソフトウェアが更新されます。
- ソフトウェア更新前に不在着信などの表示があった場合でも、ソフトウェア更新の再起動時に消えます。
- ｉモード接続先をユーザ接続先に設定している場合もソフトウェア更新を行うことができます。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。
- 以下の場合はソフトウェアを更新できません。
  - ■日付・時刻を設定していないとき
  - ■電池残量アイコンが［電池アイコン］または［電池アイコン］になっているとき
  - ■通話中・圏外にいるとき
  - ■セルフモード中
  - ■外部機器と接続中
  - ■オールロック中
  - ■PIMロック中（ｉモード以外）
  - ■ダイヤル発信制限中
- PIN1コードON/OFF設定を「ON」に設定中にソフトウェア更新を実行すると、ソフトウェア書き換え終了後の自動再起動時に、PIN1コード入力画面が表示されます。正しいPIN1コードを入力しないと、電話の発信、着信、各種通信機能の操作ができません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書換え）には時間がかかることがあります。
- ソフトウェア更新中は、他機能を利用することはできません。（音声着信は可能です。）
- ソフトウェア更新中は、ｉモードメールやメッセージR／Fは受信されず、ｉモードセンターに保管されます。
- ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR／Fが保管されると「［メールアイコン］／［Rアイコン］／［Fアイコン］」が点灯しますが、ソフトウェア更新の再起動時に消えます。ｉモードセンターには保管されています。
- ソフトウェアの更新の際には、サーバ（当社のサイト）へSSL通信を行います。SSL証明書を有効にしておく必要があります。（お買い上げ時は「有効」に設定されています。☞『アプリケーション編』P.64）
- ソフトウェア更新は、電波が強く、アンテナマークが３本表示されている状態で、移動せずに実行することをおすすめします。
- ソフトウェア更新中は絶対に電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。更新に失敗すると「書換え失敗しました」と表示され、電源入・切以外の操作はできません。その場合には、ドコモ指定の故障取扱窓口（☞P.347）までご相談ください。
- ソフトウェア更新は、携帯電話に登録された電話帳、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行うことができますが、お客様の携帯電話の状態（故障・破損・水濡れ等）によってはデータの保護ができない場合がございますので、予めご了承願います。また、更新前にデータのバックアップをおすすめします。

ソフトウェア更新を起動する

1 待受画面で、●③#を押す。

2 端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、●を押す。

- 入力した端末暗証番号は、「¥」で表示されます。
- お買い上げ時は「0000」に設定されています。

次ページへ続く

3 1を押す。（**OK**）

電池残量が不足しているとき

- 2（キャンセル）を押します。十分充電してから、やり直してください。

4 1を押す。（**OK**）

ソフトウェア更新の必要性をチェックしないとき

- 2（キャンセル）を押します。

5 1を押す。（**OK**）

- ソフトウェア更新の際、お客様の携帯電話端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバ（当社が管理するソフトウェア更新用サーバ）に送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- 「チェック中」の画面表示中に電話がかかってきても電話を受けることができない場合があります。

ソフトウェア更新の必要がないとき

- 「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。●を押して、そのままご利用ください。

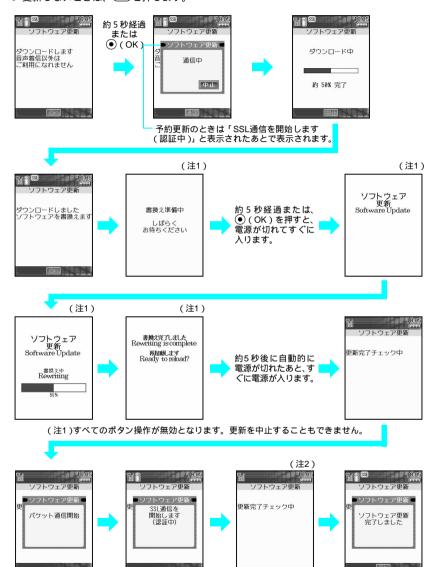
送信を中止するとき

- 終話キーを押します。

すぐにソフトウェアを更新する（即時更新）

1 ソフトウェア更新を起動する。（☞**P.349**～**P.350**の操作１～５）

2 1.あを押す。（今すぐ更新）

- ソフトウェアのダウンロードが開始されます。以降は、メニューなどを選択しなくても、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- 更新しないときは、3を押します。

（注2）「更新完了チェック中」と表示されたあと、すぐに次の画面が表示されます。

- ダウンロード中に PWR を押すと操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。終了した場合、それまでダウンロードされたデータは削除されます。（ソフト書換え中は操作できません。）

次ページへ続く

「通信中」と表示されたあと、「サーバーが混みあっています」と表示されたとき

- 1（予約）を押します。
- 以降の操作については、下記「日時を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）」の操作2～4を参照してください。
- 予約しないときは 2（更新しない）を押します。操作を終了するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。操作を終了するときは、「はい」を選び、●を押します。

3 ●を押す。

お知らせ

- 操作1～3を行っているときに電話がかかってきたときに、「ソフトウェア更新」、「ソフトウェア更新 書換え中」、「書換え完了しました　再起動します」以外の画面が表示されている場合は、電話を受けることができます。ただし、通話中に◎を押しても機能メニューは起動できない場合があります。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。
- 操作1～3を行っているときに、ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR／Fが届いても受信されません。ｉモードセンターには保管されています。
- ソフトウェア更新終了後、待受画面に「ソフトウェア更新完了」または「ソフトウェア更新説明あり」と表示されたら、●を押してください。正常に完了しなかった場合は、その旨のメッセージが表示されます。●を押して、更新をし直してください。

日時を予約してソフトウェアを更新する（予約更新）

ダウンロードに時間がかかる場合やサーバが混みあっている場合には、ソフトウェア更新を行う日時をあらかじめ設定しておくことができます。

1 ソフトウェア更新を起動する。（☞**P.349～P.350**の操作1～5）

2 2を押す。（予約）

- 日時は、サーバの時刻に合わせて表示されます。

3 希望日時を選び、◉を押す。

「その他の日時」を選び、◉を押したとき

- ご希望の日、時間帯を選ぶことができます。まず希望日を選び◉を押し、次に希望時間帯を選び、◉を押します。「通信中」と表示されたあと、選んだ日時の候補が表示されます。ご希望の予約候補を選択し、◉を押します。

4 「はい」を選び、◉を押す。

- 希望日時が予約されます。
- PWR/HLD を押すと操作を中止するかどうかの問い合わせ画面が表示されます。操作を中止するときは、「はい」を選び、◉を押します。

5 ◉（**OK**）を押す。

- 予約した日時に通話中の場合は、予約した日時を過ぎて待受画面に戻ってもソフトウェアは更新されません。

予約した日時になると

予約した日時に待受画面が表示されていると左の画面が表示され、自動的にソフトウェア更新を開始します。予約した日時に電源が入っていないときは、ソフトウェアは更新されません。
以降は「すぐにソフトウェアを更新する（即時更新）」の操作２と同じ動作になります。
約５秒経過するか◉（OK）を押すと、自動的にソフトウェア更新が開始されます。

- ソフトウェア更新の予約日時には電波の十分届くところで待受画面を表示させておいてください。また、予約した日時に電池残量アイコンが［電池アイコン］または［電池アイコン］になっていると、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時に待受画面以外の状態、着信中、メール送受信中、ｉモード中、ｉアプリ起動中、メニュー表示中、外部機器接続中、セルフモード中、オールロック中、PIMロック中（ｉモード以外）、ダイヤル発信制限中など操作を行っていた場合は、予約した日時を過ぎて待受画面に戻っても、ソフトウェアは更新されません。
- 予約した日時と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合は、ソフトウェア更新を優先し、ソフトウェアを更新します。
- ソフトウェア更新の予約日時になったときFOMA端末の電源が切れている場合や、予約起動後すぐにFOMA端末の電源を切った場合は、予約は無効となります。
- 予約した日時に通話中の場合は、予約した日時を過ぎて待受画面に戻っても、ソフトウェアは更新されません。

予約した日時を確認・変更・取消す

1 待受画面で、⦿3#を押し、端末暗証番号（４～８桁の数字）を入力し、⦿を押します。

- 画面に予約されている日時が表示されます。

予約を確認したとき

- 1を押します。

予約を変更するとき

- 2を押し、1（OK）を押します。希望日選択画面が表示されます。以降の操作については、「日時を予約してソフトウェアを更新する」（☞P.352～P.353　操作2～4）を参照してください。

予約を取消すとき

- 3を押し、「はい」を選び、⦿を押し、1（OK）を押します。「予約を取消しました」と表示されたら、⦿を押します。

お知らせ

- 予約更新の操作１～３、更新日時の変更・取消の操作１を行っているときに電話がかかってきたときは電話を受けることができます。通話を終了すると通話する前の画面に戻ります。ｉモードセンターにｉモードメールやメッセージR／Fが届いても受信されません。ｉモードセンターには保管されています。

主な仕様

品名		FOMA SH900i	
サイズ (H x W x D)		約105×51×26mm（折りたたみ時）（最厚部）	
質量		約132ｇ（電池パック装着時）	
液晶部	方式	メインTFT サブTFT	262144色 65536色
	サイズ	メイン サブ	2.4inch 1.2inch
	画素数	メイン サブ	240×320ドット 160×120ドット
連続待受時間※1※3		静止時 移動時	約480時間※4 約380時間※5
連続通話時間※2※3		音声電話 テレビ電話	約140分 約90分
最大出力		0.25W	
電池パック種別		専用リチウムイオン蓄電池	
電源電圧		3.7V	
電池容量		800mAh	
ACアダプタでの充電時間		約120分	
卓上ホルダでの充電時間		約120分	
DCアダプタでの充電時間		約120分	
撮像素子	種類	メインカメラ／CCD、サブカメラ／CMOS※6	
	サイズ	メインカメラ サブカメラ	CCD総画素数　約214万画素※6 CMOS総画素数　約12万画素※6
カメラ部	有効画素数	メインカメラ サブカメラ	202万画素 11万画素
	記録画素数	メインカメラ サブカメラ	200万画素 10万画素
	ズーム（デジタル）	メインカメラ サブカメラ	最大約20倍 最大約２倍

※１ 連続待受時間とはFOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる状態で移動したときの目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場合等）などにより、通話・待受時間は約半分程度になることがあります。ｉモード通信を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また通話やｉモード通信をしなくても、ｉモードメールを作成したり、ダウンロードしたｉアプリ、ｉアプリ待受画面を起動させると通話（通信）・待受時間は短くなります。

※２ 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※３ データ通信やマルチアクセス実行時およびカメラ起動時も、前述の通話時間や待受時間より短くなります。

※４ FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。

※５ FOMA端末を折りたたみ、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※６ CCD（charge coupled device：電荷結合素子）及びCMOS（complementary metal-oxide semiconductor：相補型金属酸化膜半導体）とは、銀塩カメラのフィルムに当たる部分を構成する撮像素子です。

索引

付録

た

な

は

英数字

付録

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収・リサイクルに出しましょう。

マナーもいっしょに携帯しましょう

FOMA端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■使用禁止の場所にいる場合

携帯電話を使用してはいけない場所があります。以下の場所では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

★航空機内　★病院内

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■運転中の場合

運転中のFOMA端末のご使用は、安全な走行の妨げとなり危険です。

※車を安全なところに停車させてからご使用になるか、ドライブモードをご利用ください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカ及び植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにすべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で**FOMA**端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、**FOMA**端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●マナーモード（☞**P.139**）／オリジナルマナーモード（☞**P.140**）

ボタン確認音・着信音などFOMA端末から鳴る音を消し、伝言メモが機能します（マナーモード）。マナーモード設定時に、自動的に設定される機能（伝言メモ、着信バイブレータ、マナートークモード）のON（設定）／OFF（解除）を設定することもできます（オリジナルマナーモード）。

●ドライブモード（☞**P.76**）

電話をかけてきた相手の方に、運転中のため電話に出られないことをお知らせするガイダンスを流し、電話を切ります。電話がかかってきても着信音が鳴らないので、安全に運転できます。

●着信バイブレータ（☞**P.141**）

電話がかかってきたことを、振動で知らせます。

●伝言メモ（☞**P.79**）

電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の方の用件を録音します。

※その他にも、留守番電話サービス（☞P.263）、転送でんわサービス（☞P.271）などのオプションサービスが利用できます。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

◎公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道
株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ北陸
株式会社NTTドコモ中国
株式会社NTTドコモ九州
株式会社NTTドコモ東北
株式会社NTTドコモ東海
株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ四国

製造元　シャープ株式会社

古紙配合率100%再生紙を使用しています

この印刷物は、植物性大豆油インキを使用しています

環境保全のため、不要になった電池パックはNTT DoCoMo
または代理店、リサイクル協力店等にお持ちください。

'05.1（10版）
TINSJA005AFZi
05A 30.0 DS TU364⑪